

70年のあゆみ



群馬県スケート連盟

伊香保リンクの変遷

昭和42年(1967)オープン リンクハウスと山荘のみ



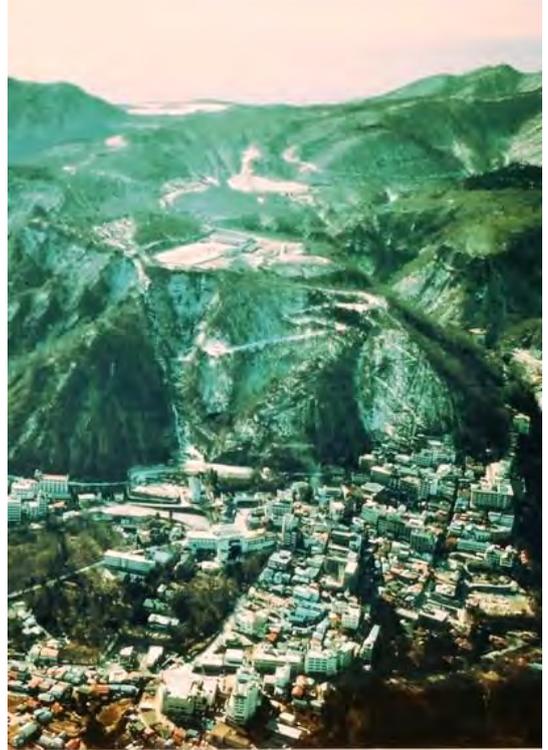
昭和58年(1983)赤城国体頃、管理棟ができ、山荘が無くなり、仮設ホッケーリンクができる。



平成5年(1993)世界スプリント頃
競技運営棟、観覧席が完成



オープン当時の伊香保温泉とリンク全景



昭和61年(1986)伊香保 IH,国体頃、
屋内Bリンク完成、500m スタート直線延長



平成 31 年(2019)3月現在



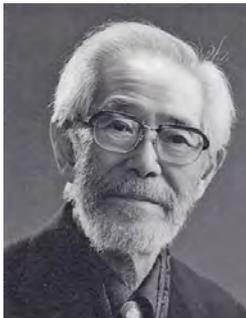
群馬県スケート連盟 歴代会長

初代



橋本 彦勝
昭和24年～25年

2代



千明 三右衛門
昭和26年～29年

3代



木暮 欽一
昭和30年～31年

4代



木暮 金太夫
昭和32年～42年

5代



横内 甲子吉
昭和43年～49年

6代



木暮 實
昭和50年～55年

7代



久保田富一郎
昭和56年～平成14年

8代



南波 和憲
平成15年～26年

9代



狩野 浩志
平成27年～現在

目次

1-1	表紙/		
1-2	伊香保リンクの変遷		
1-3	歴代会長		
1-4	目次		ページ
1-5	あいさつ	群馬県スケート連盟会長 (公財)日本スケート連盟会長 (公財)群馬県スポーツ協会会長	狩野 浩志 1 橋本 聖子 2 渡辺 幸男 3
2-1	群馬県スケート連盟のあゆみ		4-7
2-2	H12年～H30年までのあゆみ		8-13
	国際大会での活躍		14-20
3-1	トリノ14/バンクーバー15/ソチ16/ピョンチャン17/ ～6	世界スプリント18/アジア地区予選19/	
	各種大会の開催		21-32
4-1	第58回国体21/第62回国体23/第70回国体25/ ～2	第74回インカレ27/第52回・第61回全国高校29/第24回全国中学校31/	
5-1	県内各種大会・行事	各行事33/都市対抗・小学生総体34/県選手権35/県選抜36/フィギュア41/	33-41
6-1	回想 先輩を偲ぶ		42-46
6-2	回想 連盟とともに		47-51
6-3	回想 審判員として		52-61
6-4	回想 スケート選手として	オリンピック62/成年65/フィギュア76/	62-77
6-5		スピード少年78/	78-88
6-6	支部のあゆみ		89-101
7-1	強化のあゆみ	スピード102/フィギュア106/ 高崎健大スケート部創部107/ ショートのあゆみ109/審判部111/	102-106 107-108 109-111
	資料編		
8-1	国際大会出場選手役員及び成績		112-116
8-2	群馬県スピードスケートAL・SP選手権大会歴代入賞者		117-120
8-3	群馬県ショートトラック選手権大会歴代優勝者		121
8-4	国体フィギュアスケート全国予選会結果		122-123
9-1	国民体育大会群馬県選手団役員一覧表		124
9-2	国民体育大会出場選手一覧表		125-127
9-3	国民体育大会スケート競技会入賞者一覧表		128-153
9-4	国民体育大会歴代個人別得点表		154
9-5	国民体育大会スケート競技会歴代成績		155
10-1	群馬県スケート連盟公認審判取得状況		156-157
10-2	特別表彰		158
10-3	社会体育表彰		159-160
10-4	群馬県スケート連盟歴代役員		161
10-5	30年度群馬県スケート連盟役員		162
10-6	連盟規約	連盟規約163/登録規程169/表彰規程170/	163-170
10-7	あとがき	実行委員会	

創立70周年を迎えて



群馬県スケート連盟

会 長 狩野 浩志

群馬県スケート連盟創立70周年記念誌発刊するに当たり、ご逝去された久保田富一郎会長、さらにその後を引き継いだ現南波和憲名誉会長ら諸先輩に敬意を表するとともに会長として微力ではありますが全力でスケート群馬復活に力をそそぐ所存であります。先の五十年間は先輩方の活躍やご苦勞が実り、スケート王国群馬といわれるまでに成長してきました。この二十年間をたどってみますとオリンピックは2002ソルトレークで連続出場が途切れましたが、次の2006トリノで宮崎今佐人選手、今井裕介選手の二人が出場を果たしました。2010バンクーバーはショートで貞包紘子選手、2014ソチはショートで坂爪亮介選手が群馬で育った選手として出場を果たしましたが、スピードは出場を逃しました。2018ピョンチャンでは孀恋高校出身の土屋良輔選手、高崎健康福祉大学の佐藤綾乃選手、ショートで2大会連続の坂爪亮介選手ら3名が出場し、佐藤選手がチームパシュートで金メダルを取ったことは県民に希望を与えました。そしてオリンピック後の2019ワールドカップ第2戦で高崎健康福祉大学の新濱立也選手が500mで2連勝を飾り、世界スプリント選手権でも銀メダルを取りました。次期オリンピックのメダル候補の期待が高まっております。このように浮き沈みはありますがトップレベルの競技力は一定レベルを保っております。

平成27年度の総会で私が会長に就任し、副団長として臨んだ岩手冬季国体は散々な結果となりました。少子化による競技人口の減少が顕著になり、競技力が低下していることを痛感しました。リンクがなければ選手は育ちません。ショート、フィギュアの悲願である通年リンクの整備や、スーパーキッズの取り組み、スケート教室による底辺の拡大、一貫指導による少数精鋭の選手強化等連盟の組織をあげて、スケート王国群馬を復活させる所存であります。関係各位におかれましては今後も群馬県スケート連盟のさらなる発展にご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



祝 辞

公益財団法人 日本スケート連盟

会 長 橋本 聖子

群馬県スケート連盟創立70周年誠にありがとうございます。記念誌の発刊にあたり、心よりお慶びとお祝いの言葉を申し上げます。

昨年のピョンチャンオリンピックでは貴連盟所属の佐藤綾乃選手、土屋良輔選手が活躍し、本連盟にとって多大な功績を残されましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

私が銅メダルを取ったアルペールビルオリンピックでは、群馬県の入澤孝一ヘッドコーチのもと黒岩敏幸選手らのメダルラッシュに沸いたことが再現されたような気がします。また、伊香保のリンクには全日本スプリント選手権大会や全日本選手権大会など選手として参加しましたが、よく滑る氷で好記録が出たことや、親しみやすい役員、スムーズな競技運営などが楽しい思い出として今も心に残ります。

八戸に国内3番目の屋内リンクができますが、伊香保は屋外では日本一のリンクのひとつです。屋内リンクに負けず、これからも全国大会を開催しスケート王国群馬を継続してほしいと願います。特に毎年開催される全日本学生選手権大会は学生の競技力を高め、いまやナショナルチームの中核をなしています。

中でも高崎健康福祉大学の新濱立也選手は初出場の今季ワールドカップでいきなり表彰台に立つや、世界スプリントでは久しぶりに総合銀メダルを獲得しました。今後の活躍が最も期待されます。

前橋のアイスアリーナではショートや、フィギュアの全国レベルの大会を開催していただき、感謝申し上げます。また都市部での通年化リンクは競技人口の拡大、競技力の向上に必須であり、連盟としてもバックアップしていきますので、スケート人口の拡大により一層のご助力をお願い申し上げます。

関係の役員、指導者の皆様には大変お世話になりますが、この場を借りて日ごろのご苦勞に対する御礼を申し上げます。

70周年を契機に活力ある群馬県スケート連盟を築きあげてください。狩野会長をはじめとする関係各位のますますのご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



公益財団法人 群馬県スポーツ協会

会 長 渡 辺 幸 男

群馬県スケート連盟の創立70年に及ぶ輝かしい歩みを記念し、ここに70周年記念誌が発刊されますことを心からお慶び申し上げます。

貴連盟は1949年に創立されてから本県のスケートの普及・発展に向け、競技力の向上や指導者の養成等に努められ、スケート界の発展はもとより本県のスポーツ振興と県民の体力向上にも大きく貢献され、数多くの輝かしい足跡を残されてまいりました。これまでの間、組織の拡充・発展に尽くされた歴代会長をはじめ、関係の皆様のご功績に改めて深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

また、群馬県スポーツ協会が競技力向上対策事業として実施している「拠点施設活用事業」や「ぐんまスーパーキッズプロジェクト」等にも積極的に参画していただき、未来を担う子ども達の選手育成活動にも貴連盟は大きく貢献していただいております。感謝申し上げます。

さて、去年は韓国の平昌でオリンピックが開催されましたが、高崎健康福祉大学の佐藤綾乃選手がチームパシュートで金メダルを獲得されたほか、本県出身の土屋選手・坂爪選手の2名が平昌オリンピックに出場されたことは貴連盟の弛まぬご尽力の賜物であるとともに、群馬県のスポーツ団体として、また群馬県民としても大変誇らしく思います。

国民体育大会関係としましては、2028年開催となる第83回国民体育大会の群馬県開催が内々定されております。2020年東京オリンピック・パラリンピックの8年後に、この2巡目となる国民体育大会が開催され、本県の子ども達や指導者にとって大きな目標ができることとなります。

近年は急激な少子化に加え、スポーツの多様化、指導者数の減少等によりスケート界は勿論、スポーツ界全体を取り巻く環境は大変厳しいものになっておりますが、この度の創立70周年を契機として、オリンピック・パラリンピック、さらには第83回国民体育大会に向け、これまでの力強い取り組みを末永く継続・発展されるよう、関係の皆様のご尽力に大きな期待を寄せるところであります。

終わりに、70年の歴史を積み上げてこられた貴連盟各位のご尽力に改めて敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を祈念し祝辞といたします。

群馬県スケート連盟のあゆみ

	年	月	日	内 容
昭和	24	6	1	群馬県スケート連盟創立
	25	1	14	第1回県下スピードスケート選手権兼第5回国民体育大会群馬県予選会開催
			28～31	国体へ初参加 北海道（苫小牧市） 監督1名・選手7名
	26	2		第1回県下高等学校スピードスケート祭開催
	27	2	28	群馬県支部対抗始まる
	29	1	28～31	第9回国民体育大会 フィギュア一般男子の部で吉川 寿が本県選手として初入賞
	31	1		第5回全国高校選手権（八戸） 岩沢余春（室田）500m 8位 本県選手として初入賞
	33	1		第7回全国高校選手権大会（盛岡高松池） 和田真理子（渋女）500m 2位 学校対抗 渋女 4位初入賞
			2	2
	34	1		第8回全国高校選手権大会（帯広緑ヶ丘） 和田真理子（渋女）500m優勝（大会新） 学校対抗で渋女準優勝
	35	1	21～24	第15回国民体育大会冬季大会スケート競技会において初の皇后杯得点
	38	2	17	県下11市都市対抗スケート大会始まる（県連主管）
	40			指定選手制の強化始まる
	41	12		伊香保ハイランドスケートセンター屋外パイピングリンク完成 元旦から営業開始
	42	2	24・25	中総合による群馬選手権始まる（合わせて群馬県中学校優秀選手記録会を開催）
	43	1	25～28	第23回冬季国体アイスホッケー競技（帯広）で本県は未登録選手出場のため失格となる
			2	14～16
	44	6	7	連盟組織にフィギュア部を新設
			12	29
	47	2	13	群馬県小学生スピードスケート大会始まる
	50	1		第24回全国高校選手権大会（富士スバルランド）学校対抗で孺恋高校女子が初優勝
			2	8
	51	2		札幌オリンピック大会に競技役員として大場愛三・伊東正治の2名を派遣
	52	1	28～31	第25回全国高校選手権大会（スピード）伊香保開催 学校対抗 男子 孺恋高校 優勝 渋川高校 3位 女子 孺恋高校 優勝
			3	20～
	53	2		黒岩美智子 本県女子選手として世界ジュニア選手権大会初出場（モンリオール）
	56	1	17	群馬県スポーツ少年団スピードスケート交流大会始まる
			3～5	第1回全国中学校スケート競技会で孺恋西中学校男子がスピード総合優勝
			2	11
	57	1	22・23	世界スプリント選手権大会（フランス・グルノーブル） 黒岩美智子（西武）総合22位 黒岩 彰（専修大学）6位入賞
			29～31	第2回全国中学校スケート競技会で孺恋西中学校男子がスピード総合2連覇を達成
58	1	26～29	第38回国民体育大会冬季大会「あかぎ国体」伊香保で開催 スピード総合 第1位	
		2	26・27	世界スプリント選手権大会（ヘルシンキ） 黒岩 彰（専修大学） 総合優勝

	年	月	日	内 容
昭和	59	2	6～9	第4回全国中学校スケート競技会 伊香保で開催
			8～	第14回冬季オリンピック大会（サラエボ）へ黒岩 彰が出場 入澤孝一が日ス連プレスとして参加、その後ノルウェーに1年間コーチ留学
	61	1	19～23	第35回全国高校選手権大会 伊香保で開催 男子総合 孺恋 第4位 榛名 第6位
	63	2	1 27～30	第43回冬季国体「伊香保国体」 伊香保・前橋で開催
			2 13～28	第15回冬季オリンピック大会（カルガリー）へ本県よりコーチ1名、選手4名参加 コーチ 入澤 孝一（孺恋高校教員） 選手 黒岩 彰（国土計画）500m銅メダル 黒岩 宗久（専修大学） 黒岩 康志（専修大学） 清水 祥之（榛名高校）
平成	1			佐田建設スケート部創設 佐藤博義監督に就任する
	3	2	23・24	世界スプリント黒岩敏幸 総合3位
	4	2	8～28	第16回冬季オリンピック大会（アルペールビル） ヘッドコーチ 入澤孝一 選手 黒岩敏幸 500m 銀メダル
	5	2	27・28	1993世界スプリント選手権大会 伊香保開催
	6	2	1 26～29	第49回冬季国体「上州国体」伊香保・前橋で開催
			2 12～28	第17回冬季オリンピック大会（リレハンメル）本県よりコーチ1名 選手2名が参加 コーチ 佐藤 博義（佐田建設） 選手 黒岩敏幸（ミサワホーム） 楠瀬 志保（佐田建設）
		3	6	群馬県ショートトラックスピードスケート選手権大会始まる
	7	2	6～9	第15回全国中学校スケート競技会 伊香保・前橋で開催
	8	12	1 19～23	第45回全国高校選手権大会 伊香保・前橋で開催
			12 14・15	1996ウイダー杯ワールドカップ伊香保大会開催 本県からコーチ1名 選手2名が参加 コーチ 佐藤 博義（佐田建設） 選手 黒岩敏幸（ミサワホーム） 楠瀬 志保（佐田建設）
	10	2	7～23	第18回冬季オリンピック大会（長野）に本県より選手3名・コーチ1名及び役員7名が参加 コーチ 佐藤博義（佐田建設） 選手 黒岩敏幸（ミサワホーム） 楠瀬 志保（佐田建設） 香川真由美（佐田建設） 運営役員 鶴田智之・入澤孝一・松岡正義・大川好和 競技役員 中里昌明・山本 修・高野純一
	11	5	26	県議会で伊香保スケートセンターの県立移管が決まる
		10	7	佐藤博義監督（佐田建設）40歳で急逝
		12	5	世界スプリント記念国際交流大会
	12	1	15	全日本ジュニア選手権で小林和朗選手が総合3位 世界ジュニア出場
			15・16	アジア選手権（ウランバートル）出場 香川真由美 黒岩敏幸
			22-26	第49回全国高校選手権大会 土屋清貴 500m優勝 宮崎今佐人5000m 10000m 2連覇 学校対抗 男子 孺恋高校 第3位
			29-2/2	青森国体天皇杯3位（6年ぶり） 成年BCが今回で廃止
		12	16	県種目別大会に黒竜江省の選手が参加
	13	1	28・29	全日本選手権 伊香保開催 宮崎今佐人選手 5000m4位 総合8位入賞
			27	かいじ国体新種目ショートトラックで須藤良輔初入賞 黒岩敏幸32歳で500m優勝
			2	第50回支部対抗で孺恋が総合優勝する
	3	17	カルガリーファイナル大会において小林和朗選手が中総合151.192点で日本新記録樹立	

	年	月	日	内 容
平成	13	8	22	国体強化の一環でショート強化選手が韓国で強化合宿を8日間行う
		1	6-9	第74回日本学生氷上競技選手権大会伊香保開催 宮崎長距離2冠、小林1500m優勝
		2		第19回冬季オリンピック大会（ソルトレーク）に本県選手出場できず
	14	6	26	黒岩敏幸引退富士急コーチに就任 佐田建設に山崎めぐみ選手が入社 群馬国体の強化の一環で今井裕介、小佐野俊之、勅使河原郁恵 篠原祐剛が群馬登録
		12	26	全日本スプリント今井裕介総合5位 世界スプリント代表決定
	15	1	13	全日本ジュニア選手権で山崎めぐみ（佐田建設）が総合3位 世界ジュニア出場
			19-23	第52回全国高校選手権大会 伊香保開催 2000mリレーで孺恋 5位
		1	25~29	第58回「群馬国体」今井裕介 1000m1500m 2冠 土屋直司 500m優勝 2000mリレー 少年男子優勝 ショート1000m 石関祐樹 優勝 天皇杯3位 皇后杯3位
		2	2	青森アジア大会 宮崎今佐人 5000m 3位 10000m 2位
		10	30	久保田富一郎名誉会長逝去
		11	27	浅間選抜 山越竜輔 500m 日本中学新記録
		16	2	7-10
	11		28	ショートジュニアオリンピックカップ 貞包紘子（健大高崎）優勝 世界ジュニア代表
	17	1	8	世界選手権アジア地区予選会 伊香保開催（全日本マスターズと同時開催） 宮崎今佐人 10000m 2位 総合3位 世界選手権出場決定
		12	18	ショート全日本選手権8位 貞包紘子 世界選手権出場へ
	18	1	22-26	第55回全国高校 黒岩信允10000m大会新、長距離2冠 孺恋 学校対抗2位
		2	10~24	第20回冬季オリンピック大会（トリノ）へ本県より選手2名・競技役員1名が参加 選手 宮崎今佐人 今井裕介 スターター 高野純一（海外オリンピックで日本人初）
	19	1	27~31	第62回「ファイト群馬国体」開催 小川賛菜 選手宣誓 天皇杯6位 皇后杯5位 黒岩泰成 5000m、1000m 2種目優勝 市場菜々世 1500m 優勝
	20	1	10-13	全日本ジュニア選手権 黒岩美生 総合3位 世界ジュニア出場決定
	21	10		高崎健康福祉大学にスケート部創設入澤孝一監督就任 小原悠里が最初の選手
	22	1	30-2/2	第30回全国中学校スケート大会 千葉捺美（赤堀中）500m優勝
		2	12~28	第21回冬季オリンピック大会（バンクーバー）にショートで貞包智子が出場
		11		ショート全日本選手権大会 坂爪亮介 総合2位 世界選手権出場
	23	1	26-30	八戸国体 土屋良輔 長距離2冠 天皇杯3位 140点
		9	10・11	審判中央セミナー伊香保開催
		10	7	鶴田智之副会長生涯スポーツ功労者表彰（文部科学省）
			13-16	2011関東フィギュアスケート選手権大会前橋開催
		11	20	ジャパンカップ第2戦 黒岩信允 5000m優勝
	24	1	13-15	全日本ジュニア選手権 樋 沙織 総合3位 世界ジュニア選手権出場
		1	20~24	第61回全国高校選手権大会 伊香保・前橋で開催 土屋良輔 5000m優勝 樋沙織 1500m優勝 学校対抗 孺恋 男子3位 女子5位
		2	4	ジャパンカップ第4戦 伊香保大会開催
		3	2-4	世界ジュニア選手権大会 樋沙織 チームパシュート 2位
			24	第4回全日本ノービス&ジュニアカップ選手権大会（ショート）前橋開催

	年	月	日	内 容
平成	24	7	28	群馬県スケート連盟優秀選手・功労者表彰祝賀会を初めて開催
		11	3-4	東日本ショートトラック選手権前橋開催
		12	21	初心者指導員の配置事業を理事会で決定する
	25	1	12	全日本ジュニア伊香保開催 土屋良輔 総合2位 樋 沙織 総合優勝
		2	22-24	世界ジュニア選手権大会（コラルポ） 樋 沙織 チームパシュート優勝
		10	10	黒岩敏幸 ソチオリンピック東日本大震災の被災地中学生派遣視察団長
		11	1-4	東日本ジュニアフィギュアスケート選手権大会前橋開催
		12	15	坂爪亮介 ショートトラックソチオリンピック代表決定
	26	1	6	インカレ 女子500m 黒岩美生（日体大） 2連覇 女子1000m 阿部友香（高崎健大） 2連覇 男子10000m 土屋良輔 優勝
			12	坂爪亮介ソチオリンピック壮行会（太田工業高校スケート部OB会主催）
		2	7~23	第22回冬季オリンピック大会（ソチ） ショート坂爪亮介 出場
		10	26	鶴田智之副会長叙勲祝賀会
27	1	28~2/1	第70回「ぐんま冬国体」開催 黒岩美生 選手宣誓 天皇杯8位 皇后杯6位	
	8	1	連盟会長に狩野浩志氏が就任 南波和憲会長は名誉会長へ	
	10	29-11/1	東日本ジュニアフィギュアスケート選手権大会前橋開催、小林聖依 6位入賞	
28	1	8	高崎健大創部6年目でインカレ女子総合優勝	
	2	5-7	全日本ジュニア選手権大会 佐藤綾乃（健大） 総合優勝	
	3	11-13	佐藤綾乃 世界ジュニア総合6位 マススタート優勝	
	6		スーパーキッズスピードスケート立ち上げ	
	11	26-27	ジャパンカップ第2戦伊香保開催 マススタート実施	
29	3	25-26	東日本ノービス&ジュニアショートトラック選手権大会前橋開催	
	7	16	ホテルラシーネ前橋で優秀選手功労者祝賀会開催	
	11	23-26	全日本ジュニアフィギュアスケート選手権大会前橋開催	
	12	8	ワールドカップ1~3戦 チームパシュート 佐藤綾乃 世界新 3戦連続金メダル	
30	2	8~25	第23回冬季オリンピック大会（ピョンチャン） 選手3名参加 佐藤綾乃 チームパシュート 金メダル 3000m 8位 土屋良輔 5000m 16位 10000m10位（日本新） チームパシュート 5位 坂爪亮介 1000m 5位 500m 8位 リレー 7位	
			21	佐藤綾乃・入澤孝一 凱旋パレード 雪みぞれの中15000人の市民が集まる 佐藤綾乃 高崎市より市民栄誉賞を受賞
	3	22	ピョンチャンオリンピックで活躍した3名と、佐藤の監督である入澤氏が、群馬県より表彰される。佐藤「スポーツ特別賞」、土屋、坂爪「スポーツ栄誉賞」 入澤監督「スポーツ功労賞」	
	11	23-25	ワールドカップ第2戦（苫小牧） 新濱立也 500m 2連勝	
31	2	23-25	世界スプリント 新濱立也 総合2位	
	3	9-11	ワールドカップ第6戦ソルトレーク大会 500m新濱立也日本新記録樹立33.790 土屋良輔 マススタート優勝	

平成 12 年度

世界スプリントを契機に群馬県独自の国際交流スケート大会を開催してきた。12月に黒竜江省の選手が参加して、県種目別大会が開催された。年末に伊香保で全日本選手権が開催され、宮崎今佐人選手が総合8位に入賞した。かいじきらめき国体では32歳の黒岩敏幸選手が500mで優勝した。小林和朗選手がカルガリーで中総合日本新記録を樹立した。

平成 13 年度

冬季オリンピック大会(ソルトレーク)に本県選手出場できず、6大会連続出場ができなかった。

理事長が入澤孝一から熊川輝男に交代した。

氷上インカレが伊香保で行われた。

平成 14 年度

オリンピック後に企業スポンサーがスケートから撤退し、今井裕介、小佐野俊之、勅使河原郁恵、篠原祐剛選手が、群馬県登録をした。伊香保で全国高校選手権、続けて第58回国体が開催され、今井裕介選手の2種目優勝、ショートでの1000m石関選手、田上選手の1、2位などで天皇杯、皇后杯3位となる。

平成 15 年度

10月に県スケート連盟に数々の功績を残された久保田富一郎名誉会長が逝去された。

浅間選抜で山越選竜輔手が500m日本中学新記録を樹立した。全国中学校スケート大会が伊香保で開催され、山越選手が500m2位・1000m3位、今井まどか選手が1000mで3位入賞した。

平成 16 年度

ショートトラック貞包紘子選手(健大高崎)がジュニアオリンピックカップで優勝し、世界ジュニア代表に選ばれたが3日後の練習中に骨折し出場を断念した。

(以上 文責 高野 純一)

ワールドカップには本県から今井裕介(県ス連)と宮崎今佐人(県ス連)が参加した。今井は長野大会1000mで2位に入賞した。宮崎はベルリン大会の5000mBグループ4位が最高位であった。宮崎はインスブルックで開催されたユニバーシアード大会10000mで優勝した。また地元伊香保で開催された世界選手権アジア予選会で総合3位となり世界オールラウンド選手権に

出場した。国内大会では今井が真駒内選抜1000m、浅間選抜1500mで優勝した。宮崎が全日本選手権総合3位、黒岩慎也(日体大)が全日本選抜5000mで優勝と活躍した。富士吉田市で行われた国体では本県は22種目に入賞と大活躍であった。特に少年男女で56点を獲得しスピード得点83点、ショートが17点、計110点で5位と健闘した。八戸で行われたインターハイでは嬭恋高校男子が学校対抗6位と健闘した。同じく八戸で開催された全国中学は黒岩美生(嬭恋西中)が3000mで6位に入賞した。小学生総体では6年男子は奥村雄樹(嬭恋西)、6年女子は井上瑞穂(北軽)がそれぞれ総合優勝した。

平成 17 年度

2006年2月にイタリアで開催されたトリノオリンピックには今井裕介(県ス連)と宮崎今佐人(緑陽会)が出場した。入賞が期待された今井は1000m20位と力を発揮できなかった。宮崎はチームパシュートで8位入賞を果たした。国内大会では今井が全日本距離別で1000m、1500mで優勝、宮崎も3000m優勝。全日本選抜の10000mで黒岩信允(嬭恋高校)が優勝と活躍した。苫小牧市での国体では少年男子が大活躍した。嬭恋高校の山越が1000m、黒岩信允が10000mで優勝し種別で46得点した。スピード86点、ショート成年男子1000mで2位入賞した石関祐樹(早稲田)の活躍でショート21点、計117点で4位と活躍した。苫小牧でのインターハイでは黒岩信允(嬭恋)が長距離2冠を達成し男子学校対抗2位と活躍した。釧路市での全中では市場菜々世(嬭恋西)が1500m3位、宮崎麻衣(嬭恋西)が500m6位入賞した。県小学生総体では6年生で男子は田中博基(応桑小)、女子は百崎いろり(嬭恋西)が総合優勝した。ショートでは貞包紘子(健大)が全日本選手権8位となり、世界選手権に出場した。

平成 18 年度

国際大会では宮崎今佐人(県ス連)がワールドカップに出場し、トリノ大会で5000mBグループ5位が最高位であった。ユニバーシアードのトリノ大会に鈴木暢(県体協)が参加し500m10位であった。全日本大会では宮崎今佐人が全日本選手権で総合2位、黒岩信允(明治大)が真駒内選抜10000m2位入賞した。本

県で5回目の開催である第62回ファイト群馬国体では昨年に続き少年が大活躍であった。少年男子では黒岩泰成（孀恋）が5000m10000mで2冠達成。少年女子1500mで市場菜々世（孀恋）が優勝、黒岩美生（孀恋）が3位と大活躍した。ショートも石関祐樹（早稲田）、貞包紘子（順天堂大）らの活躍で20点を獲得しスピードの107点と参加点を合わせて137点と大活躍であった。スケート競技の天皇杯も6位と地元開催で活躍が目立った。日光でのインターハイでは黒岩泰成が10000m優勝。女子2000mR優勝。1500m黒岩美生が2位、3000m市場菜々世が2位と大活躍し、孀恋高校は男女共に学校対抗2位と素晴らしい成績を残した。苫小牧市での全国中学では入賞が無かった。県小学生総体では6年男子は横沢右京（鎌原）、女子は千葉捺美（伊勢崎赤堀）が総合優勝した。

平成19年度

国際大会では黒岩美生（孀恋）が中国の長春市で開催された世界ジュニア選手権に参加し500m5位に入賞、総合19位であった。国内大会での優勝は山越竜輔（専修大）の全日本ジュニア選手権500m1日目だけだった。国体での表彰台は少年男子2000mR（黒岩、干川、佐藤、小川）で3位、少年女子1000m黒岩美生（孀恋）が2位、2000mR（宮崎、市場、小島、黒岩）で2位であった。ショートトラックは石関祐樹（群大大学院）が成年男子1000mで3位に入賞した。スケート競技の天皇杯は90.5点獲得し5位と健闘した。インターハイは男子500mで小川輝之（前商）が5位、黒岩聖矢（育英）が8位、女子500mは宮崎麻衣（孀恋）が8位、1000mで黒岩美生3位、宮崎麻衣7位、2000mRは孀恋（宮崎、市場、黒岩、久保）が2位に入賞し学校対抗で孀恋は4位と健闘した。全国中学は古市博人（孀恋西）が500mで7位に入賞した。県小学生総体は6年男子で須永尚樹（伊勢崎北第二）、6年女子は田中真理（応桑）が総合優勝した。

平成20年度

国際大会では黒岩信允（明治大）が中国ハルビンで開催された第24回冬季ユニバーシアード大会で1000m4位入賞と健闘した。国内大会では黒岩泰成（明治大）が学生選手権総合2位、黒岩信允（明治大）が、

浅間選抜10000mの2位が最高順位であった。八戸国体の表彰台は成年男子500mで鈴木暢（県体協）が2位、少年男子2000mRで小川、横手、奥村、黒岩が2位、少年女子1000mは宮崎麻衣（孀恋）が優勝、2000mRで市場、黒岩、井上、宮崎が3位と健闘した。ショートでは坂爪亮介（日体大）が成年男子500mで優勝した。スケート競技天皇杯は97点獲得し6位と健闘した。恵那インターハイでは男子で黒岩聖矢（育英）が500m2位、1000m7位と2種目入賞を果たした。2000mRで孀恋（干川、武藤、奥村、佐藤）が6位入賞した。女子は宮崎麻衣（孀恋）が500m8位、1000mで6位、2000mRで孀恋（宮崎、黒岩、市場、井上）が3位に入賞し学校対抗で8位に入った。全国中学は古市博人（孀恋西）が500m5位、千葉捺美（伊勢崎赤堀）が500m3位に入賞し健闘した。県小学生総体は6年生で黒岩一聖（孀恋西）、岡部栞（伊香保）がそれぞれ総合優勝した。

平成21年度

第21回冬季オリンピック大会（バンクーバー）にショートで貞包紘子が出場した。スピードでは国際大会への出場は無かった。バンクーバーオリンピックのシーズンでありオリンピック選考会に本県から6名参加したが代表には入らなかった。国内大会では浅間選抜で黒岩信允（明治大）が10000mで優勝、同じく川崎みなみ（県体協）が3000mで優勝した。釧路国体の表彰台は少年男子500mで黒岩聖矢（育英）が2位、黒岩紘岳（孀恋）5000m、10000mで2位、少年女子2000mRで井上、斎藤、黒岩、小島が3位、成年女子2000mRで宮崎、黒岩、川崎、今井が2位と上位入賞を果たした。スケート競技天皇杯は88点獲得し6位入賞と健闘した。釧路インターハイでは男子は奥村雄樹（孀恋）が500m6位、1000m5位に入賞、2000mRで孀恋（古市、奥村、下田、黒岩）が3位に入賞した。学校対抗では孀恋が4位と健闘した。女子は2000mRで孀恋（井上、斎藤、黒岩美、黒岩亜）が4位となり学校対抗でも8位に入賞した。全国中学は男子で土屋良輔（孀恋西）が3000m6位、5000m5位に入賞。女子は千葉捺美（伊勢崎赤堀）が500m優勝、1000m3位となり学校対抗でも3位と大健闘した。500mで土屋萌

(長野原西)が8位、1000mで樋沙織(孀恋東)が8位と入賞ラッシュとなった。県小学生総体は6年生で野口和馬(孀恋西)、中野あやめ(元総社)がそれぞれ総合優勝した。高崎健康福祉大学にスケート部が創設され、入澤孝一監督が就任した。小原悠里が最初の選手であった。

平成22年度

ショートでは全日本選手権大会で坂爪亮介が総合2位となり世界選手権に出場した。国際大会は藤村祥子(県ス連)がワールドカップモスクワ大会に出場した。カルガリーファイナルで土屋良輔(孀恋)が5000m、10000mで優勝した。国内大会では藤村祥子(県ス連)がジャパンカップ(JC)2戦1500mで優勝、黒岩信允(JAつまごい)がJC5戦10000m優勝、今井まどか(山学大)が学生選手権スプリントで優勝した。富士急から高崎健大に入学した小原悠里がJC1戦の1000mで2位に入った。ちなみにジャパンカップはこれまでの真駒内選抜等の選抜大会をJCに名称を改めて1戦から5戦まで実施されるようになった。八戸国体の表彰台は成年男子500mで山越竜輔(専修大)が3位、1000mで黒岩聖矢(早稲田)が3位、成年女子2000mRで宮崎、今井、久保、川崎が3位、少年男子500m奥村雄樹(孀恋)が優勝、古市博人(孀恋)が2位、5000m、10000mで土屋良輔(孀恋)が優勝、2000mRで古市、土屋勝、干川広、奥村が2位、少年女子2000mRで千葉、井上、黒岩美、樋が優勝と、入賞ラッシュの大会であった。スピードは120点を得点し大健闘であった。ショートは5000mRで石関、川島、清水、浜野が3位と活躍した。スケート競技天皇杯も140点第3位と大躍進の大会であった。長野インターハイでは男子500mで奥村雄樹(孀恋)が4位、土屋良輔(孀恋)が5000m2位、10000m優勝、2000mRで孀恋(古市、田中、干川、奥村)が県高校新で3位に入賞した。学校対抗では孀恋が3位と活躍した。女子は樋沙織(孀恋)が1500m、3000mで5位、2000mRで孀恋(井上、斎藤、黒岩、樋)が4位に入り学校対抗でも孀恋が5位入賞と健闘した。全国中学は男子500mで小林裕司(孀恋西)が4位入賞と健闘した。県小学生総体は6年生の部で百崎心太郎(孀恋西)、井上紗江加(応桑)

がそれぞれ総合優勝した。(以上文責 熊川輝男)

平成23年度

理事長が熊川から高野に交代した。

12月に功労者表彰を兼ねて伊香保で南波会長の慰労会を行い、親睦を深めた。

樋沙織が全日本ジュニアで総合3位に入り世界ジュニアに初出場。チームパシュートで銀メダルを獲得した。

本県開催となったインターハイでは土屋良輔が5000m優勝、10000m2位、樋が1500m優勝、3000m2位と活躍し、男子総合で孀恋高校が3位に入るなど健闘した。国体は2人の上位入賞はあったがスピードは得点が昨年より半減した。ショートの坂爪の2位入賞などで、かろうじてスケート競技天皇杯8位を保った。

昨年より始まったジャパンカップが2月に伊香保で開催された。今シーズンはショートのノービス&ジュニアを含めて全国大会を3つ開催した。

創部2年目の高崎健大はインカレ2000mRで初優勝、小原悠里は500mで2位に入賞した。スケート王国群馬の復活のために今後が期待される。

平成24年度

選手の激励と審判の慰労を兼ねてマーキュリーホテルで7月に優秀選手功労者表彰祝賀会を初めて開催した。選手の活躍にも関わらず、伊香保リンクの存続が危ぶまれて久しいがこれを起爆剤にして選手役員の奮起を促したい。

また連盟の組織の見直しを行い、広報普及部の充実について検討し、広報についてホームページの活用が必要と判断し、ホームページを立ち上げた。さらに大会参加申し込みを簡素化した。普及については一般大衆への普及、普及指導員の養成が行われていない現状から神宮普及部長を中心にシニアスケーターに指導をお願いすることになった。

連盟の会議は春の総会と秋の理事会だけであったが冬の国体選手選考会を臨時理事会にして、その他の事項も審議することにした。そこでリンクの一般開放時に合わせ連盟が初心者指導員を配置する事業を決定した。リンクの活性化のために創意工夫をすることが

今後ますます重要である。黄色の目立つジャンパーを着て指導することになった。やってみたところ好評なので今後とも継続していきたい。

地元開催となった全日本ジュニアでは樋が女子総合1位、土屋が男子総合2位となった。土屋は大学入試のため、残念ながら世界ジュニアを辞退した。樋は2年連続の世界ジュニア出場である。チームパシュートで金メダルを獲得した。土屋良輔は国内で活躍し、インターハイ2冠を達成した。

大学生では高崎健大の阿部友香がインカレ3種目優勝ジャパンカップでも優勝し目覚ましい活躍をした。

ショートでは所属が和歌山県に変わった坂爪亮介が全日本選手権に初優勝し、世界選手権では総合9位となった。有力選手の大学卒業後の就職先が県内で見つからないのが課題である。

郡山で初めて開かれた国体は上記3選手の活躍と千葉捺美、リレーの健闘で天皇杯7位入賞した。地元国体を2年後に控え選手層の薄さが気になる。

鶴田智之副会長が県功労賞、入澤孝一副会長が体育功労者表彰、高野純一理事長がスポーツ功労者表彰を受賞した。

平成25年度

検討を続けていた連盟規約を一部改定した。

国体強化を推進するため、協賛募金を行った。支部の専門会員数に応じて目標額を決定した。

8月に第2回となる優秀選手功労者表彰祝賀会を開催した。昨年活躍した樋沙織は日本電産に入り、長野県所属となった。

9月には地元国体を1年後に控え審判中央講習会を開催し、51名(県内30名)の参加があった。

高崎健大は創部4年目を迎え益々選手層が厚くなり、ユニバーシアードに坂本、関口、阿部、長屋選手と入澤コーチの5名が参加。県内からは他に土屋良輔、宮崎麻衣、黒岩美生が選ばれた。

ソチオリンピックにはワールドカップで骨折し、出場が心配されたショート坂爪亮介が出場した。太田で行われた壮行会には南波会長、中里副会長、高野理事長、清水副理事長が参加した。

群馬の審判員が多数応援した日光国体は少年男子小

林裕司、成年男子土屋良輔が優勝、阿部、黒岩美生が3位など活躍したもののショートの低迷で得点は昨年より14点も低く、スケート競技天皇杯11位と沈んでしまった。フィギュアは予選突破が困難である。

平成26年度

国体年度になり、協賛金も順調に集まり、スピード・ショート・フィギュア3部門に強化費を配分した。募金のお礼は名入りタオルを配布した。

春の叙勲で鶴田副会長が旭日雙光章を受章した。連盟主催で叙勲祝賀会を10月に行った。

日本スケート連盟はソチオリンピックの反省から橋本会長の肝いりでオランダからコーチを招聘しナショナルチームを立ち上げた。群馬県のエース土屋良輔がナショナルチーム入りし、全日本距離別マスタートに優勝しワールドカップ代表に選ばれ、国体に出られず地元国体としては誠に残念だった。

国体選考会で少年女子はリレーの補員がいなかったため、急遽追加の選考会を行い、B級を取得した長岡と、昨年全中決勝進出した井上を追加した。連盟として総力を挙げた国体は優勝者無しのかびしい結果となったが、表彰台には2位の阿部、3位の黒岩美生、小林裕司、岡部葉が登った。死力を尽くした2000mRは少年男子2位、成年女子4位、成年男子5位、少年女子6位と全種別で入賞し、何とか面目を保った。スケート競技得点は95点、天皇杯は8位、皇后杯は6位であった。

国体の結果を総括し、3月末に総務委員会準備会を開き、今後の連盟の在り方について話し合った。強化を含めた組織の若返り、普及部の在り方、HPの活用、理事会の構成、会計処理、70周年に向けてなど内容は多岐にわたった。(以上文責 高野純一)

平成27年度

8月1日の総会において、狩野新会長が誕生。南波前会長が名誉会長となる。理事長も高野から富澤へ、副会長に高野と荒木が承認され、事務局長不在の中、新体制がスタートした。10月以降より理事長が事務局長を兼ねることとなった。

10月、前橋アリーナを会場として第41回東日本フィギュア選手権・第32回東日本ジュニア選手権が開催

され、運営面等で高い評価を得る。また、ジュニア女子に出場した小林聖依が6位入賞を果たし、フィギュア界に期待の新星が現れた。

高崎健康福祉大学スケート部が、創部6年目でインカレ女子総合優勝を果たす。さらに、同大学の佐藤綾乃が全日本ジュニアで総合優勝し世界ジュニアに出場。総合6位入賞およびマススタート優勝の大活躍。

岩手国体においては、選手層の薄さから、スケート競技得点20点、男女総合成績17位という屈辱的な敗北を喫した。ジュニア世代の強化が叫ばれる。

平成28年度

ジュニア世代の強化の一環として、県スポーツ協会の「スーパーキッズプロジェクト」事業に応募し、男子8名、女子1名でスタートする。

総会において、日ス連スピード委員を高野から深井へと交代。

11月にジャパンカップ第2戦を伊香保リンクで開催。氷の心配はあったが、好記録と高崎健康福祉大学及び同校卒業生の活躍により成功裏に終わる。阿部友香（JAつまごい）が1000m、1500m優勝、浅野美久が500m優勝、1000m2位、酒井寧子が1500m2位、新濱立也が500m2位。

高崎健康福祉大の佐藤綾乃がワールドカップ前半の第1戦～第3戦のチームパシュートで3戦連続優勝。世界新記録を樹立。

長野国体では、阿部の1500m優勝やショートトラック得点21点という頑張りにより、スケート競技得点47点と徐々にではあるが復活の兆しが見られた大会となった。

3月には、前橋アイスアリーナで第9回全日本ノービス&ジュニアカップショートトラックスピードスケート大会第2戦が行われ、滞りのない運営ができた。

ジュニアBで山口^{ひろちか}撞親（4年生）の1000m3位や、ジュニア世代の本県選手の頑張りが大会を盛り上げた。

平成29年度

オリンピックイヤーとしての年度を迎え、伊香保リンクの指定管理者が渋川市から群馬県スポーツ協会へ変わり、施設設備の充実に向け県スポ協・県ス連・県ア連・渋川市の協力、連携がはかられる。

6月の総会において、連盟規約の一部改定と県ス連登録料の変更を行う。

11月に前橋アイスアリーナにてJOC全日本ジュニアフィギュア大会が行われ、連日、朝の6時頃から行列ができるほど盛大な大会となった。トリプルアクセルを着氷した紀平が女子の部で優勝。

山梨国体では、上位入賞は成年女子の2000mRの3位のみであったが、少年男女で下位入賞が多く、これからの期待のもてる大会であった。

平成30年2月、第23回冬季オリンピック（ピョンチャン）に本県関係者3名が出場。佐藤綾乃がチームパシュートで金メダルを獲得、3000mでも8位入賞を果たす。土屋良輔はチームパシュートで5位入賞や10000mで日本新記録を樹立。ショートトラックの坂爪亮介は2大会連続出場。出場3種目全てに入賞する。1000m5位、500m8位、5000mR7位。3名の活躍と指導者を称え、3月に群馬県より、佐藤に「スポーツ特別賞」、土屋と坂爪に「スポーツ栄誉賞」、入澤監督に「スポーツ功労賞」が授与された。又佐藤、入澤においては、高崎市が凱旋パレードを企画し、雪の降りしきる中、1万5千からの市民の声援を受け、高崎駅から市役所まで、盛大なパレードが行われた。

平成30年度

総会において、県ス連表彰規定の改定や国体選考委員会の設置を確認し、県ス連70周年記念事業として、70周年記念誌作成を決定する。また、会計についても、本部会計のほか、スピード、ショート、フィギュアの3部門の会計を審議するようにした。

釧路国体では、群馬に帰県した樋沙織（高崎健康福祉大学）の1500mと成年女子2000mRの2位や、少年男女の頑張り、ショートの欄瀬ななみの500m3位など確実な歩みを確認できる大会となった。

12月のワールドカップ第2戦（苫小牧）で、高崎健康福祉大学の^{ひろちか}新濱立也が500mで2連勝。さらに、2月の世界スプリントにおいては総合2位。3月のワールドカップ最終戦では2日目の500mで優勝、日本新記録（33秒79）を樹立。日本短距離界のホープとして躍り出た。また、土屋良輔はワールドカップ最終戦のマススタートで初優勝し、北京オリンピックへ

向けて順調なスタートを切った。

今年で90周年を迎える日本スケート連盟の功労者に、県連盟から8名が選出され、4月の式典で表彰された。(荒木和夫、入澤孝一、鏑木咲千好、熊川輝男、清水久男、神宮元、高野純一、中里昌明。)

(以上文責 富沢 宏之)

平成28年度

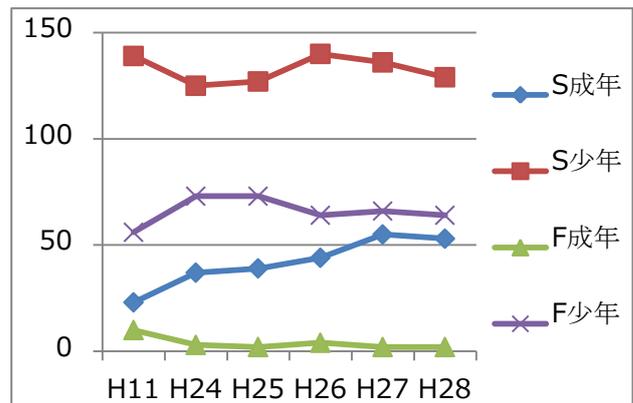
都道府県別スケート登録者 スピード登録者数

1	東京	1270	1	北海道	577
2	北海道	864	2	長野	265
3	神奈川	610	3	群馬	181
4	大阪	574	4	東京	105
5	愛知	534	5	山梨	97
6	長野	329	6	岐阜	80
7	兵庫	319	7	神奈川	79
8	福岡	274	8	岩手	79
9	群馬	248	9	青森	69
10	京都	235	10	埼玉	67

ショート・フィギュアの練習拠点



前橋:アイスアリーナ



日本スケート連盟登録人数の推移



群馬県スポーツ賞顕彰記念 平成30年3月22日 昭和庁舎正庁の間



国際大会での活躍

第20回冬季オリンピック大会



会期 2006年2月10日～22日

■成績

場所 イタリア・トリノ

選手 宮崎 今佐人
今井 裕介
スターター 高野 純一

宮崎	5000m	21位	6' 40" 03
	チームパシュート	8位	3' 50" 37
今井	1000m	20位	1' 10" 48
	1500m	34位	1' 50" 56



第21回冬季オリンピック大会



会期 2010年2月12日～28日

場所 カナダ バンクーバー

選手 貞包 紘子



■成績

1500m	B決勝	4位	2. 43. 135	総合12位
3000m	リレー	7位	4. 28. 745	



第22回冬季オリンピック大会

会期 2014年2月7日～23日

場所 ロシア ソチ

選手 坂爪 亮介

成績 1000m予選6組3位1.26.468 予選敗退

1500m予選3組4位2.17.985 予選敗退



2012.12WC名古屋大会



2013.9.29WCP右足首骨折



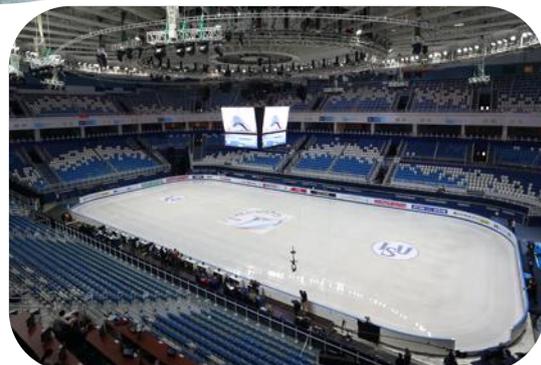
2014.2.13 1000m予選3位



被災地中学生派遣視察団



アイスパーク・スケーティング・パレス



第23回冬季オリンピック大会

会期 平成18年2月8日～2月25日

場所 韓国 平昌 (ピョンチャン)

選手 土屋 良輔、佐藤綾乃、坂爪亮介



■成績

TP ; チームパシュート MS; マススタート

土屋	5000m	16位	6' 22" 45	MS		1回戦敗退
	10000m	10位	13' 10" 31	日本新		
	T P	5位	3' 41" 62			
佐藤	3000m	8位	4' 04" 35	MS	(転)	1回戦敗退
	T P	1位	2' 53" 89			
坂爪	500m	8位	40" 985	1000m	5位	1' 27" 522
	5000mR	7位	7' 02" 554			



2019世界スプリント 銀メダル 新濱 立也(高崎健康福祉大学)

ワールドカップ第6戦ソルトレーク大会

500m日本新記録樹立

連日の33秒台 33" 835 33" 790



WC第1戦帯広で3位デビューを飾る



WC第2戦苫小牧で初優勝(2回連続)



2005 世界オールラウンドスピードスケート選手権大会・アジア地区予選会

2005 アジアスピードスケート距離別選手権大会・伊香保大会



会期 2005年1月8日～9日

場所 群馬県伊香保町

選手 宮崎今佐人(地区予選)

■成績

小林 和朗(距離別選手権)

宮崎	500m	7	39.05	5000m	2	6.53.60	1500m	3	1.52.04
〃	10000m	2	14.02.97	総合	3	159.904			
小林	1000m	4	1.13.73	1500m	1	1.54.84			



オープニングドロ

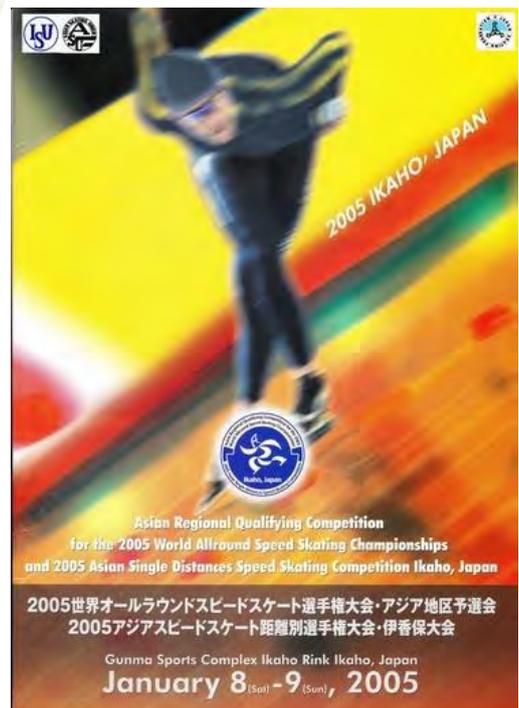


挨拶

ISU代表トロン・エスペリ



アジア地区のISUレフェリー・スターター





オープニングセレモニー ISU代表挨拶



ISU、JSF役員



地区予選 5000m 2位 宮崎 今佐人



表彰式



距離別 1500m 1位 小林 和朗



表彰式



競技役員打ち合わせ



記録室



式典表彰係控室

各種大会の開催

第58回国民体育大会冬季大会



風になる人 群馬国体

会期 平成15年1月25日～29日

会場 群馬県前橋市・高崎市・伊香保町



皇太子殿下のおことば

第58回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の開会式に全国から参加された多くの選手、役員、そして地元群馬県の皆さんと共に出席できることを、大変うれしく思います。

国民体育大会は、多くの関係者の熱意と努力に支えられ、スポーツの振興と国民の健康増進に大きな役割を果たしてきました。この大会に参加される選手の皆さんが、

日ごろの練習の成果を十分に発揮されるとともに、お互いの友情をはぐくみ、地元の皆さんとの交流を深められることを期待しています。

上毛三山を始めとする、美しい豊かな自然に恵まれたこの地で開催される「群馬国体」が、いつまでも皆さんの思い出に残る実り多い大会となることを願い、私のあいさついたします。

開会式宣誓文

宣誓、私たち選手一同は、第58回国民体育大会、群馬国体に参加し、「風になる人」のスローガンのもと、郷土の榮譽と競技の栄光のため、また、ここ群馬県にさわやかな風を吹かせるため、力一杯滑り抜くことを誓います。

平成15年1月25日

選手代表

群馬県 藤井 有加



■参加人員

役員	スピード		ショート		フィギュア		アイスホッケー		視察員	合計
	監督	選手	監督	選手	監督	選手	監督	選手		
286	64	402	65	246	54	178	42	832	67	2011



成年男子1000m優勝今井裕介(赤)5位小佐野俊之(茶)



少年男子2000mR優勝 アンカーは土屋賢祐



500m優勝土屋直司(白)



少年女子500m3位貞包紘子



少年男子1000m優勝石関祐樹2位田上真一



酒井 理香



天皇杯・皇后杯3位

第62回国民体育大会



明日へ!未来へ!

ファイト! 群馬国体

会期 平成19年1月27日～31日
会場 群馬県前橋市・高崎市・渋川市



皇太子殿下のおことば

第62回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の開会式にあたり、全国から参加された多くの選手、役員、そして開催地である群馬県の皆さんとお会いできることを、うれしく思います。

国民体育大会は、昭和21年に第1回大会が開催されて以来、多くの関係者の熱意と努力に支えられ、国民の健康増進やスポーツの普及、振興に大きく貢献してきました。

この伝統と意義ある大会に参加される皆さんには、日ごろ鍛えた力と技を十分に発揮されるとともに、お互いの友情をはぐくみ、また、地元の皆さんとの交流を深められることを期待しています。

上毛三山をはじめとする雄大な自然の下で開催されるこの大会が、皆さんの心につまでも残る素晴らしいものとなることを願い、私のあいさつといたします。

開会式宣誓文

宣誓、私たち選手一同は、第62回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会において、「明日へ!未来へ!」のスローガンのもと、郷土の代表選手であることに誇りを持ち、疾きこと上州の風のごとく、華麗なること利根川の青き流れのごとく、凜とすること上毛三山のごとく、自分に、そして郷土の多くの人たちに、大きな感動を与えられるよう正々堂々最後まで力一杯競技することを誓います。

平成19年1月27日
選手代表
群馬県 小川 賛菜



■参加人員

役員	スピード		ショート		フィギュア		アイスホッケー		視察員	合計
	監督	選手	監督	選手	監督	選手	監督	選手		
409	56	309	67	179	57	120	42	791	48	2078



先頭は1000m3位入賞 山越竜輔



5000m,10000m 2冠 黒岩泰成



少年女子1500m優勝 市場菜々世、3位黒岩美生



少年女子2000mリレー2位入賞
美生・市場・小池・宮崎



1000m5位入賞 木村享平



提供:上毛新聞社

伊藤絵美



黒岩菊男スターター



500m、1000m5位入賞 貞包紘子



500m7位、1000m6位入賞 東城 有香



天皇杯6位 皇后杯5位

第70回国民体育大会冬季大会スケート競技会



会期 平成27年1月28日～2月1日
 会場 群馬県前橋市・高崎市・渋川市



皇后杯6位



提供:上毛新聞社

開会式宣誓文

宣誓 私たち選手一同は、第70回国民体育大会冬季大会スケート競技会アイスホッケー競技会において、自然豊かなこ群馬県を舞台に、本日まで支えてくださった多くの方々への感謝と誠意の気持ちを込めて、全国から集う仲間と共に、磨きあげてきた力・技・心を存分に発揮し冬季スポーツの魅力と感動を伝えるべく、最後まで力一杯競技することを誓います。

平成27年1月28日

選手代表 群馬県 黒岩 美生



役員	スピード		ショート		フィギュア		アイスホッケー		視察員	合計
	監督	選手	監督	選手	監督	選手	監督	選手		
306	57	297	47	166	47	109	39	618	42	1728



500m7位永田希絵



500m5位宮崎麻衣



少年女子1000m 3位 岡部 葉(緑)



成年女子1000m 2位 阿部(左) 3位 黒岩美生(右)



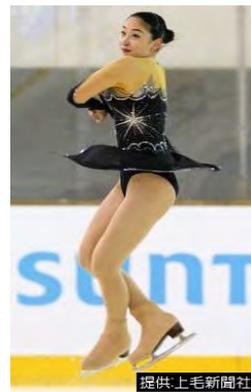
ショート少年男子500m 7位 丸山凜太郎



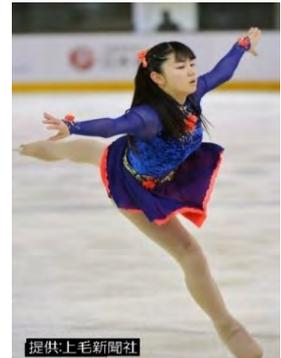
天皇杯8位



少年男子5000m 7位 飯塚智樹(緑)



平野夏帆



武田祐佳

第74回日本学生氷上競技選手権大会

会期 平成14年1月7日～9日

会場 群馬県伊香保町

宮崎今佐人（明治）5000m、10000m 2冠 小林 和朗（明治）1500m優勝



10000m 宮崎 今佐人(明治大)



10000m優勝宮崎、表彰者は鶴田副会長



1500m 小林 和朗(明治大)



1000m 橋爪 亮(東洋大)



1500m 小林陽介(東洋大)



1000m 土屋 清貴(関東学院大)左



1500m 黒岩 雅昭(日本大)



10000m 黒岩 慎也(日本体育大)



2部 3000m 須藤 勇氣(信州大)



2部 3000m 高野 正樹(早稲田大)



日本体育大学 “エイサツサ”



閉会式

第52回全国高等学校スケート競技選手権大会

第61回全国高等学校スケート競技選手権大会



会期 平成15年1月19日～23日

会場 群馬県伊香保町・前橋市

第52回入賞

2000mR⑤ 孺恋(智広・賢祐・裕昭・慶成)
2.34.34

第61回入賞

500m⑦ 古市 博人 孺恋 75.700

1000m⑧ 古市 博人 孺恋 1.15.08

5000m① 土屋 良輔 孺恋 7.02.99

10000m② 土屋 良輔 孺恋 14.14.72

2000mR② 孺恋(古市・正晃・博基・紀之)
2.28.50

500m④ 千葉 捺美 前商 82.980

1500m① 樋 沙織 孺恋 2.07.06

3000m② 樋 沙織 孺恋 4.28.80

2000mR② 孺恋(真理・亜沙美・沙織・玲菜)
2.52.38

学校対抗 男子 ③孺恋 女子 ⑤孺恋



会期 平成24年1月20日～24日

会場 群馬県伊香保町・前橋市



5000m 優勝 土屋 良輔(孺恋)



1500m 優勝 樋 沙織(孺恋)



選手宣誓 倉田哲也



第52回大会 10000m決勝 17位 倉田 哲也



500m 15位 土屋 智広



1500m 20位 土屋 賢祐



1500m 22位 黒岩 裕昭



2000mR 5位 孺恋男子



1500m 17位 小池 雅子



3000m 24位 飯島 彩



1000m 22位 川田 希



1000m 19位 干川 浩未



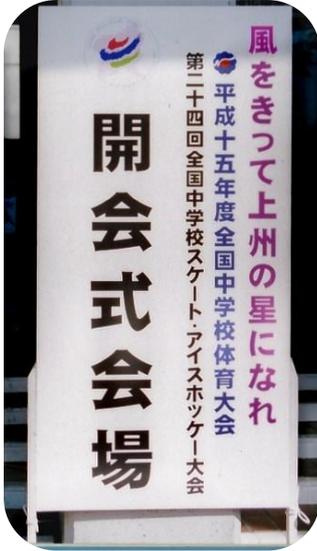
講評 熊川 輝男レフェリー

平成 15 年度全国中学校体育大会

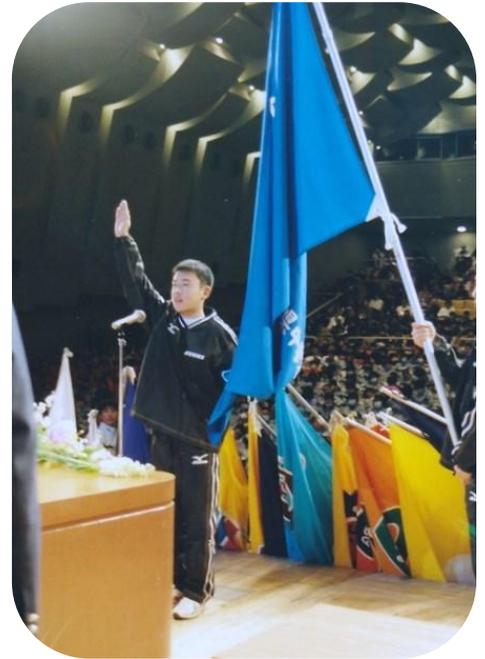
第 24 回全国中学校スケート・アイスホッケー大会

会期 平成 16 年 2 月 7 日～9日

会場 群馬県伊香保町



歓迎の言葉 関口俊二町長



選手宣誓 黒岩 泰成



500m 第 2 位 山越竜輔



第 8 位 小池由佳子



1000m 第 3 位 山越竜輔



第 3 位 今井まどか

第 7 位 小池由佳子



3000m

第 7 位 市場菜々世





500m予選(緑)山越 (白)芳賀



黒岩彰両親と南波会長



3000m予選 黒岩 美生



3000m決勝 16位 黒岩 泰成



1000m予選 宮崎 麻衣



500m予選(緑)小池由佳子



500m予選 干川 芳紀



1000m決勝 23位久保佳乃子



1000m予選 今井まどか



2013.2.26 樋沙織県表敬訪問(世界ジュニア)



2015.2.4 中高新人戦



2014.8.2 夏季孺恋強化合宿激励会



激励する県スポーツ協会海野強化部長



2014.11.16 審判伝達講習会



伝達講師は富沢宏之氏



2019.7.20 功労者表彰祝賀会



謝辞を述べる関口定彦氏



左 2016 年度、右 2017 年度受賞者

2018.12.29 スケート祭り



都市対抗



選手宣誓 富岡市 佐藤憲一



優勝 渋川市

小学生大会



平成 29 年度 11 連勝を重ねる渋川市



5 年女子表彰



低学年女子表彰



5 年男子 今泉景斗



群馬選手権スプリント選手権



電気時計



通告席



スタートを待つコーチ



アドバイスする佐藤コーチ



記録室



ラップを出す山越コーチ



寺島 詩恵



黒岩 なつ子



左) 青木龍之介 (右) 新井 墨



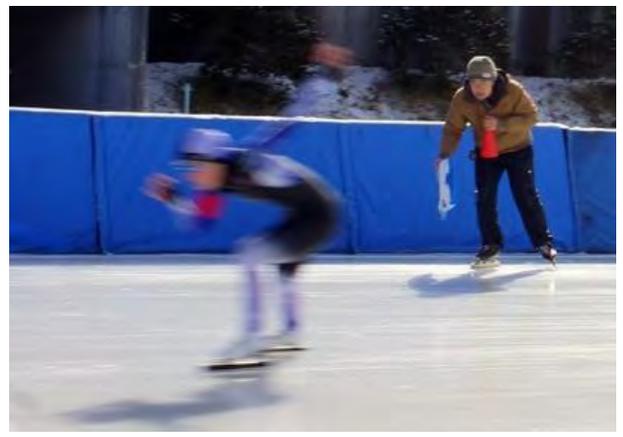
(左) 干川武流 (右) 宮原啓



柳沢コーチ



スケート卒業式に集まった面々



新井コーチ

2018群馬県選抜競技会

中学生



櫻井 楓雅(長西中)



新井 宏聖(桐生中央中)



千川 武流(孺恋中)



市場 椋也(孺恋西中)



宮原 啓(群大付属中)



篠原 蓮人(孺恋西中)



矢島 大悟(東吾妻中)



橋爪 大智(長西中)



市場 翔太(孺恋中)



市場 柚(孺恋中)



宮崎 はぐみ(孺恋中)



関口 綾華(孺恋中)



本間 美帆(孺恋中)



滝澤 さくら(孺恋中)



藤原 明咲(渋川中)



小野里 佳悟(金島中)



横沢 太希(孺恋中)



青木 龍之介(相生中)



小針 悠聖(渋川北中)



今泉 蒼生(渋川北中)



山崎 凌駕(渋川クラブ)



山口 楠生(大間々中)



山崎 心乃(孺恋中)



星 伯空(伊勢崎第一中)



小林 創太(渋川中)



小島 翼(孺恋中)



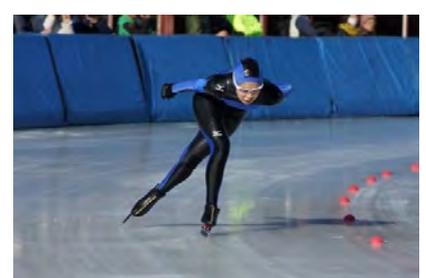
佐々木 大和(長西中)



黒岩 心(孺恋中)



黒岩 修成(孺恋中)



田野 晴風(伊勢崎境南中)

高校生



松崎 淳也(前橋育英高)



本間 新之助(孺恋高)



梶原 豪(群馬高専)



梶原 碧(渋川高)



黒岩 大地(孺恋高)



黒岩 太陽(孺恋高)



蜂須賀 大翔(孺恋高)



狩野 亜聞(孺恋高)



新井 萌佳(四ツ葉学園)



本多 優(孺恋高)



篠原 梨乃(孺恋高)



山口 友菜(市立前橋)



梶原あかり(市立前橋)



内田奈々美(利根実業高)



大川 夏美(吾妻中央高)



大崎 有紗(渋川女子高)



伊藤 琢真(渋川工業高)



土屋 慶介(孺恋高)



伊藤 隼人(孺恋高)



干川 脩太(孺恋高)



黒岩 花子(孺恋高)

大学生



黒岩 千聖(高崎健大)



河島 ほのか(高崎健大)



水野 達喜(高崎健大)



小原 優雅(高崎健大)



磯 卓磨(高崎健大)



安保 和也(高崎健大)



上原 悠馬(高崎健大)



新井 塁(高崎健大)



樋 沙織(高崎健大)



黒岩 岳史(東洋大)

一般



平成9年バッチテスト

小学生



千葉 捺美(県スポーツ協会)



丸山左右吾(左) 山崎撞親(右)



永尾 謙介(孺恋クラブ)



橋爪美来(左) 橋爪春花(右)



青木 瑠衣(桐生クラブ)



永尾明日香(孺恋クラブ)

コーチ



スーパーキッズ練習風景



フィギュア



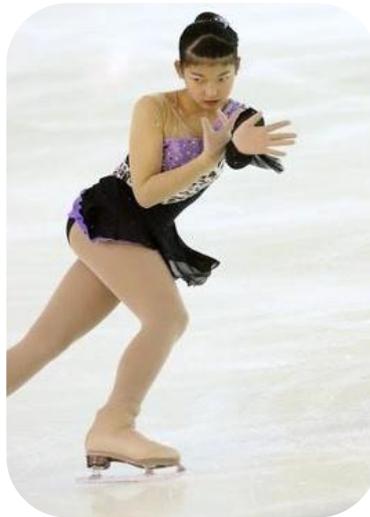
高柳 瑠々菜



山崎愛莉(左) 小林聖依(右)



武田 祐佳



星野 彩音



車崎 芽生



菊池 梨子



田部井 宏美

回想

先輩を偲ぶ

久保田富一郎会長を偲んで



昭和32年、県議会議員であった父侑太郎氏の意志を継ぎ、36歳で町議会議員になり、昭和40年には、議長にも就任。地元大泉町の発展に長年にわたり多大な貢献をされました。(平成14年に大泉町の名誉町民。)

昭和42年に県議会議員に初当選、以後連続8期を務めました。昭和57年には第55代県議会議長に就任するなど多くの要職を歴任し、その卓越した識見、力量を発揮されて県政の充実、発展に大きな功績を残されました。

その活躍の舞台は、「県議会の重鎮」・「農林関係団体の代表」・「アマゾン群馬の森」の建設への先頭に立っての尽力(日本で最初の緑の大使)や「スポーツ・文化の振興」等への熱心な支援・指導等でありましたが、私たちにとっては、「スケート王国群馬」の栄光を支えた会長としての「顔」でした。

久保田会長と本県スケート界との出会いは1980年(昭和55年)の第35回苫小牧国体でした。県議の視察団の一員として参加された時で、当時の本県スケート界は3年後に控えた「あかぎ国体」の劈頭を飾る「冬季スケート国体」に向けて選手強化を着々と推進し、成果を上げつつありました。観覧席で応援する久保田議員さん達の目前で、当時、孺恋高3年の黒岩彰選手が500m・1500mの2種目に優勝、黒岩美智子選手が成年で500m、1000mの2種目に優勝、深井靖士選手の成年男子500mの優勝を筆頭に17人の選手が延べ32種目に入賞するなどの大活躍に歓喜、感動して頂きました。木暮實団長のご下命で、説明役にな

った私も、「責任先頭制」などを説明しながら、一緒になって歓喜していたことを今でも憶えております。

当時の木暮實会長は地元伊香保町長でもあり、会場地として国体開催の陳情から施設の新設改修等の諸準備に全力で取り組まれておりました。特に「あかぎ国体」の劈頭を飾るスケート競技会の成功を願い、全てを考慮して会長は久保田県議にお願いして自分自身は副会長となって開催地の町長としての立場であかぎ国体スケート競技会の大成功に多大な貢献をされました。

久保田会長は1981年(昭和56年)に県スケート連会長に就任。2001年(平成13年)4月に勇退するまで「あかぎ国体」、「伊香保国体」、「上州国体」の3回の地元国体の陣頭指揮を執られ大成功に導かれたことは周知の通りであります。その間、施設関係では、国体会場の伊香保スケート場の整備、県総合スポーツセンターアイスアリーナ新設、伊香保スケート場の県移管、青葉湖に孺恋高校のスケートリンク新設など、全力で尽力されました。以後これらの施設が、本県スケート界の充実、発展に絶大な役割を果たしてきています。また、佐田建設スケート部の創設にも尽力されました。

会長在任中、数々の国内外のビッグ大会の開催にも意欲的に尽力されました。主な大会は1982年(昭和57年)に第1回全日本学生スピード選手権大会を開催し、大学選手の競技力向上などの役目を果たしつつ伝統ある大会に育てて毎年継続しております。

1993年(平成5年)には、世界スプリントスピードスケート選手権大会を開催しました。本県にとって世界大会は初めてでしたが、県・町・連盟・関係団体が、ひとつになって準備、運営にあたり、大きな感動を残して成功裏に終了しました。この大会は、その後の国際大会開催等の貴重な経験になりました。閉会のバンケット会場は久保田会長の心配りで、この大会に合わせて咲かせた桜をはじめ、美しい花木に出席者から感嘆の声が上がりました。

1996年（平成8年）には、96/97スピードスケートワールドカップを開催し、本県の楠瀬志保選手が1000mに2位入賞、黒岩敏幸選手が1000mに3位入賞しました。



サラエボ会（於：新花の茶家）

久保田会長に随行させて頂いた大会で忘れられないのは、1984年（昭和59年）第14回のサラエボオリンピック、当時はユーゴスラビアの都市で、第一次大戦の引き金になったオーストリア皇太子暗殺事件の起きた場所、久保田会長の提案で連盟の応援（視察）団が実現しました。久保田団長以下11人が現地入りしました。途中、首都ベオグラードでユーゴ大使の天羽氏公邸を訪問し、福田元総理と中曽根総理のメッセージを団長から大使に渡しました。そのお陰か、翌日の天羽大使主催のレセプション（日本代表選手団激励会）に団員全員が招待され、大会期間中に数回の「おにぎり」などの差し入れも頂き驚きました。

前年の世界スプリント総合優勝の黒岩彰選手、私たちは勿論、日本中が金メダルを期待したが完敗という結果に終わりました。500mの順位が確定した瞬間、黒岩選手はリンクサイドの椅子に腰かけ、頭を抱え、久保田団長はスタンドの雪の上に座り込んでしまいました。今でもその情景が、鮮やかに思い出せます。その翌日、団長の提案で、入澤先生、黒岩美智子先輩らの段取りを頂いて、選手村から民泊の団長部屋に黒岩選手を招きました。500mの直後なので心配でしたが、表情は思っていたより明るく、私たち応援団も一安心しました。

団長は、日本から持参したみそ汁、おしる粉、塩辛などを黒岩選手にふるまいながら、慰労と激励のこと

ばを述べかづけました。そこで黒岩選手は「カルガリーでもう一度メダルを狙います」と覚悟をハッキリと言いました。団長も「オリンピックでメダルを取るのはたいへんなことが初めてわかった。彰君と一緒に私たちも、もう一度カルガリーに挑戦する。」と四年後に夢を託しました。

その後、同行の上毛新聞の武尾記者のインタビューに『オリンピックでは「体力」、「技術」とともにギリギリまで強化しなければ勝てない。』その意味でも黒岩選手には「雑草のようにたくましく、武者のように強く動じない選手になってもらいたいと思う。」と語りました。その夜が、次のカルガリーへのスタートであったと今でも思っています。

そして、その四年後（1988年）再起した黒岩彰選手はカルガリーオリンピックで銅メダルを見事に勝ち取りました。次のアルベールビルオリンピックでは黒岩敏幸選手が銀メダルを獲得する快挙を成し遂げ「スケート王国群馬」の実力を国内外に示し、その後の本県スケート界の快進撃にも大きな力となりました。



アメフト観戦（カルガリー強化合宿視察）

久保田会長になって、県スケート連盟の事業も、国際化しました。夏のカルガリーでの長期の強化合宿が毎年実施され、会長自ら訪問して視察、激励してくれました。また、中国の黒竜江省との伊香保リンクとハルビンのリンクでの交換合宿や記録会を毎年継続して実施、役員も相互に表敬訪問したりして、日中の親善と競技力の向上に大きな成果を上げることが出来まし

た。国体が最初の出会いだったせいか、楽しそうだったのは毎年団長として参加した「国体」でした。郷土、群馬をこよなく愛した団長の求心力が役員、指導者、選手の心を一つにまとめ「オール群馬」の力で「スケート王国群馬」に相応しい成果を出し続けました。競技会場の団長は、常にリンクサイドの最寄りの席で応援し、時にはコースの間近で声援して係員に注意される程で、学校の大運動会で応援する生徒のように純粋で熱心でした。

団長は大会が終盤を迎える頃になると、天皇杯、皇后杯の順位を気にして、入賞者の点数を計算させて順位を予想するのが常でした。

「紙(天皇杯、皇后杯の賞状のこと)を貰えるかな？」8位以内に入らなければ閉会式での出番も無いので気にしておりました。

閉会式のステージで表彰を受ける時の久保田団長の顔はいつも最高の笑顔でした。

これまでも幾多の業績を述べましたが、久保田会長は多くの偉大な功績により、勲三等瑞宝章、藍綬褒章をはじめ多くの表彰の荣誉に輝きました。

久保田会長の人生での信条は、自身の「座右の銘」からも窺い知ることができます。

「俺がやらねば誰がやる」

「人生意気に感ず、功名誰か復論ぜん」

人生の指針として、自己を律する格言ですが、生前「自分は人の思いや心意気などに感じ、自分が信じたことをするだけ。功名や利得、名誉などは関係ない。」と語り、自分が信じた信条で充実した人生を全うしました。

私も会長からの教訓・遺訓として人生の指針として大切にしております。

結びに、久保田会長に長期にわたる「スケート王国群馬」の栄光の道を支え、本県スケート界に大きな貢献を頂いたことに心より感謝申し上げますと共に、輝かしい歴史を支えてきた連盟関係者が一致団結して、まずは「スケート王国群馬」の復活を目指して頑張ることをお誓い申上げて、会長への「偲ぶことば」とさせて頂きます。(顧問 鶴田 智之)

宮崎守先生を偲んで



孀恋スケートの基礎を築き、平成元年から県スケート連盟の副会長を18年間勤められた宮崎守先生が平成19年6月に80歳でご逝去されました。県内のスケート関係者の皆さんには誰とでもにこやかに接し温かな人柄が思い浮かぶことでしょう。

孀恋村のスケートは昭和30年代後半に田んぼリンクから生まれました。孀恋の人たちは、夏はキャベツで朝早くから夜遅くまで働きますが、冬は主だった仕事も無く田んぼリンクの整備にはたくさんの人たちの協力が得られました。この田んぼリンクの運営に宮崎先生は先頭で活躍され、冬季の子供たちのスケート活



動の場を提供してくださいました。

上の写真は地域の人たちが田んぼリンクの水まき作業をしているところで、左側の白いコートを着た人が宮崎先生です。

次ページの写真は太田地区の田んぼリンクの全景です。こんなにたくさんの子供たちの遊び場になっていました。そして宮崎先生は勤務先である孀恋西小学校の校庭にもスケートリンクを作り授業でスケートができるようにもしました。

しかし校庭のリンクは水漏れ等もあり数年で終了しました。

大笹の田んぼリンクをきっかけに干俣小学校にも



校舎の裏に小さなリンクができました。この両リンクから篠原弘、黒岩菊男、佐藤博義、黒岩美智子、黒岩恵子、黒岩彰、黒岩康志、黒岩宗久、黒岩敏幸と続々と選手が排出されました。まさに宮崎先生が孀恋スケートの基礎を築いて下さったのです。そして昭和52年に孀恋西小に宮崎先生、孀恋西中に熊川、孀恋高校に入澤先生と小中高に指導者が揃ったところで選手を小中高と一貫指導を実践し是が非でもオリンピック選手を孀恋から排出しようと孀恋スケートクラブを立ち上げ各年代で実践すべきことを明確にしました。それから6年後、念願であった孀恋からオリンピック初出場を黒岩彰がサラエボオリンピックで果たしました。



そんな数々の功績が認められ平成15年に体育振興功労として「旭日雙光章」の叙勲を受章さ

れました。宮崎先生の御功績はたくさんあり紹介しきれません。群馬県スケート連盟70周年のうち約50数年をスケート界でご尽力された宮崎守先生に甚大なる感謝を申し上げ先生のご冥福をお祈り申し上げます。

(副会長 熊川 輝男)

半田 博

顧問を偲んで



群馬県スケート連盟が発足して70年が過ぎ、今までに世界大会及び全日本大会など当連盟主管の競技会が数多く開催されました。その歴史は多くの方々に支えられ今日がありますが、その中でも伊香保町(故)半田 博さんの功績を忘れることができません。半田さんは祖父勝三氏が考案された伊香保名物の湯の花饅頭の製造元勝月堂の三代目として家業の傍らスケートに対する情熱は人一倍のものがありません。

半田さんは「人に迷惑をかけるな」のモットーを貫き、勿論それは自らのスケート人生にも言える事であったと思います。選手としても小学校から渋川高校まで続け、その後審判に転向し第2種公認審判員の資格を取ったのは、奇しくも伊香保ハイランドが設立された昭和40年のことで、その3年後には第1種を取得、伊香保で最も早かった。昭和56年にはナショナル審判員資格を取得、以来レフェリーの名声をほしいままにしました。特に国体や、全日本学生選手権その他の競技における冷静なジャッジは本県審判員の高水準を全国に知らしめる結果となりました。

指導者としても伊香保町スポーツ少年団の代表を務め、子供たちの練習の時は必ずリンクに出向き、寒い夜でも熱心に指導していた姿は忘れることができません。群馬県スケート連盟では、理事、副理事長、副会長として運営に携わり、家業の傍ら競技会には絶えず参加し運営に当たりました。伊香保町が財政難でリンクの存続が不可能で閉鎖せざるを得ない時も、リンクをなくすことはできないと町に掛け合うなど奮闘してくれました。

このような功績が認められ平成12年には群馬県体育協会スポーツ功労者賞を受賞し、平成19年には春の叙勲で「瑞宝雙光章」を受章されました。

遺言で群馬県スケート連盟に10万円のご寄付を頂きました。スケートを愛しながら生涯をまっとうされました半田 博さんに心から感謝を申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。（副会長 荒木 和夫）

深井 正昭

副会長を偲ぶ



横内町長の懐刀として行政手腕を発揮していた深井さんは昭和42年伊香保町営ハイランドスケートセンターがオープンした最初の観光事業部長としてスケートセンターの管理を任されました。当時はスケートが流行していて、400mのリンクに人があふれんばかりに滑っていました。観光事業として手腕を発揮され、伊香保ウインターカーニバルを開催しました。リンク内側に特設ステージを設け、いしだあゆみや小柳ルミ子などの歌手やグループサウンズを毎年呼んでテレビ放映されるなど賑やかでした。インドアリンクではショートの世界大会を主催し、太田クラブの狩野四郎さんが活躍していました。

榛名、赤城から伊香保に県連の主要な大会が移され本格的な競技会が行われるようになった最初のころは競技役員が少なく、審判が足りないときは伊香保町営のリンクということもあり、町の職員が応援に came ました。これも深井さんの力が大きかったのではないかと思います。

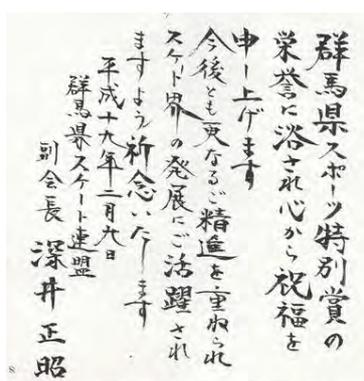
その後総務部長として栄転し、リンクを離れました。木暮實町長の突然の交通事故死により、当時助役だった深井さんが、木暮町長の後を継いで町長選に立候補し、町長に当選しました。その後3期12年町長を務め、永年の功績が認められ平成10年春の叙勲で旭日雙光章を受章されました。

連盟副会長に昭和58年度に就任し、昭和61年にインターハイ、続いて昭和63年に第43回伊香保国体を行い、町民挙げての歓迎で大会を大成功に導きま

した。カルガリ、アルペールビルオリンピックでのメダル獲得の活躍を受け、平成5年（1993）に世界スプリントを伊香保で開くことが決まり、施設設備が拡充されました。世界スプリント大会では歓迎レセプションで自ら日本舞踊を披露し、拍手喝さいを受けました。まさに多芸多才であることに驚かされました。大会運営や地元のホスピタリティの良さがISUに高く評価され、平成8年（1996）には再び短距離の世界カップが伊香保で開催されるなど、伊香保の知名度の向上に貢献しました。当時ISU技術代表のトロン・エスペリ氏（現副会長）は、私が伊香保のスターターであることを知り、懐かしんでおられました。（平成17年のアジア地区予選にISU代表で再来している）

町長を辞した後もライフワークの特攻戦没者の遺芳録の整理、戦友との交友、慰霊碑の建立を続けていました。また連盟の副会長として、日本スケート連盟評議員や、競技役員として活躍を続けました。

リンクの県立移管や、その後の渋川市との合併など伊香保町とスケートセンターを取り巻く環境は大きく変わりました。連盟として一番痛かったのは旧伊香保町の職員の審判が激減したことです。そんな中でも深井さんは地道に競技運営に貢献され続けました。そし



て連盟の公認審判の試験手続きなども担当されました。私がトリノオリンピックに派遣されたときは、お祝いを下さり、スポーツ特別賞を受賞したときには祝電を頂きました。

副会長からの励ましに感謝するとともに感激しました。

平成21年11月、急性心不全により享年80歳で逝去されました。まだまだ、お元気で活躍できると思っておりましたが、誠に残念です。リンクが生まれて今年で52年、リンクとともに歴史を刻んだ深井副会長のご冥福をお祈り申し上げます。

（副会長 高野 純一）

回想

連盟とともに

会長の思い出

前会長（現名誉会長）
南波 和憲



群馬県スケート連盟が70周年を迎えること心からお喜び申し上げます。思い出を書かせていただきます。

平成7年県議会議員に初当選し、2年ほど経過した夏の早朝、国際電話で起こされました。久保田富一郎先生からの電話です。スケート連盟の海外合宿中、カナダ・カルガリーからでした。「孀恋のスケートの練習場が無くなる。村内にどうしても整備しなければならない。県関係の手配は私がする。南波君は今日から孀恋村の地元の人達から出来るだけ多くの陳情を取り付けてくるように。」翌日から行動を開始し、無事孀恋高校スケートリンクとしてオープンしました。

また時を同じく、スケート連盟副会長となりました。平成11年選挙を前に、先生が勇退されました。先生から「会長を務めるように。」と言われました。「先生、私は小学校の頃近所の池で下駄スケートをやったぐらいで滑れません。」と申しますと、「政治家が滑ったら（選挙で落ちたら意）困るだろう。応援団長としてやるのがこの会の会長の仕事だ。」と言われ、お引き受けいたしました。以後、平成12年から15年間、会長の職を預かりました。3回の国体を開催させていただきました。鶴田副会長、入澤理事長をはじめたくさんの経験者、スタッフが揃っていました。

平成15年58回大会では今井裕介選手の活躍がとても嬉しく思えました。平成19年の62回大会では招致に向け知事の同意を頂くことに苦心しました。皇太子殿下をお迎えレフィギュアスケートの会場をご案内させていただくことができました。殿下と雅子妃

殿下の気さくな人柄に触れることもできました。平成27年の第70回群馬冬国体では老朽化してきた施設の改修の為のよいチャンスでありました。橋本聖子会長のご配慮を頂き多額の設備整備費を頂戴し伊香保リンクの冷凍設備を一新することができました。

久保田先生から「選手の練習会場、そして競技環境を整えてやること、そして激励することが一番の仕事だよ」と、言われておりました。幾分なりとも寄与できたかな、と思っております。

また、入澤さんと共に高崎健大にお伺いし、スケート部の創設をお願いしました。オリンピックで活躍する選手を輩出できた事うれしく思います。引き継いでいただいた狩野浩志会長はしっかりと次を見据え、頑張ってくださいと安心しております。

理事長の思い出

副会長
入澤 孝一



平成9年の役員改選で連盟理事長に指名されました。理事長就任当初の大きな課題は、第1に軽井沢リンクの閉鎖に伴う孀恋地区の練習拠点の問題、第2に伊香保ハイランドスケートセンター存続の問題、第3に連盟創立50周年事業、第4に第58回冬季スケート国体群馬開催準備という懸案事項がありました。

これらの事業を成功裏に終了するためには連盟組織を活性化し、関係者が一丸となって問題点を共有し組織として取り組む事が必要であると考えました。2の懸案事項については、県が関係する大きな問題であり、久保田会長の尽力なくしては解決の糸口も掴めない問題でした。1998年（平成10年）には孀恋高校の体育施設として青葉湖に練習用リンクを新設すること

が決定され、1999年（平成11年）県議会で伊香保リンクの県営移管が決定され、スケート競技活性化の基盤である施設の整備の問題が解決しました。

強化については、佐田建設スケート部が比較的層の薄い群馬県の成年選手の強化を一身に担ってもらいました。佐田建設監督の佐藤博義が1999年（平成11年）合宿中に40歳の若さで急死するという悲劇もあり、成年選手の競技力低下が、しばらく続きました。

私は平成21年に高崎健康福祉大学にスケート部を創部しましたが、群馬県の成年の競技力向上に役に立ちたいと思っています。

50周年事業に向けた準備は2年間にわたって多くの連盟関係者によって進められ1999年（平成11年）11月23日に伊香保さつき亭石坂において50周年事業記念式典が盛大に挙行することができました。

予算の確保のために、寺島理事の協力を得て、黒岩彰、敏幸の写真に本人直筆のサインを貰い、寄付してくれた皆さんにお礼としてお渡ししました。これらの事業を通して群馬県スケート連盟登録者の皆さんの気持ちが一体となって動いていることを実感しました。

最後に、ご逝去された久保田名誉会長のことで、思い起こすのは、群馬、中国、韓国、カナダによる世界スプリント記念国際大会を群馬県独自事業として開催した際のことです。

中国・黒竜江省選手とビザ発給が遅れ来日が危ぶまれた際に、久保田会長にお願いしました。しかし、予定通り日本に向けて出発したかの確認が取れないまま成田まで黒竜江省選手を迎えに行った時の事です。入国ゲートから出てきた中国選手団を見て安堵のあまり久保田会長に報告するのが帰りのバスの中になってしまいました。報告と同時に雷のような大声で怒鳴られた声は今でも頭に焼き付いて離れません。おそらく久保田会長が落とした雷の直撃を受けたのは会長任期中で私が最初で最後ではないかと思えます。久保田会長も真剣勝負をしていたことに思いが至らなかった不甲斐なさに情けなくなったことを思い出します。

未熟な理事長を、長い目と思いやりの心で見守っていただいた久保田名誉会長、鶴田理事長そして南波新会長の大きな心の中で我儘一杯に、理事長の仕事がで

きたことを感謝しながら職を降りることができ幸運であったと思っています。

連盟とともに

副会長

中里 昌明



昭和40年前半の競技会は、天然氷の赤城山大沼、榛名湖で行われていました。リンクをつくるのに、役員、選手が一体になり、湖面に積雪があれば除雪し、コースにクレパスがあれば、雪で埋めてバケツで散水しました。

強化合宿を赤城山大沼で、宿舎は前橋市青少年の家で行われました。浴室フローが凍結して居り、先に入った方が「スケート選手が滑らないように」と注意してくれました。想像より気温が低いので驚きました。

競技会も、当初は国体予選、群馬県選手権大会で、榛名湖で昭和38年より、群馬県民体育大会冬季大会兼第1回群馬県都市対抗が開催されました。第2回大会は、結氷状況不良の為に中止、榛名高原学校に前夜宿泊をして翌早朝より競技開始でした。第3回大会は、男子500m、10代、20代、女子1000m競技終了時で湖面がウェーブを打つ様になり中止し、全員無事に避難しました。

昭和42年に、伊香保町営のハイランドスケートセンターがオープンされ、数年後、競技会は夜間に開催されるようになりました。このリンクのお陰でたくさんの競技会が可能になりました。

平成12年より群馬県に移管され、群馬県総合スポーツセンター伊香保リンクと名称も変更になりました。

都市対抗は、第50回平成24年より現在の午前開催時間になりました。

伊香保リンクも、ビックイベントの度に充実してまいりました。

第26回昭和52年開催の、インターハイでは、急遽51年10月1日より私が事務局入りをして、八ヶ岳の

パンテスコープを参考にした外周のブロックを排除して頂き、真駒内リンクと同じ寸法で縦、横 50cm 長さ 2 m のグリーンのコナーマット 1 2 6 本を作成、当初予算にない為、各支部にプログラム、広告掲載のご協力を頂きまして経費を賄いました。

伊香保神社よりリンクまでの山道に、コンクリートの階段に街灯付きを桐生の県会議員さんをお願いして完成させて頂きました。

昭和 58 年、あかぎ国体では、管理棟、貴賓室を含む、バックストレート階段下に監督控室を作成、冷凍機 5 機新規購入して頂きました。

私はアイスホッケー運営担当になりました。57 年 9 月に第 3 リンクの設計が出来ましたので見ましたら、スピードリンクの中に作成。以前山梨国体でスバルランド開催リンクが同様でして、群馬県スケート連盟会長 久保田富一郎さんが上毛新聞に「あの様なリンクは駄目だ」と書かれたことがありますので、連絡しますと「別の所に移動しなさい。」と言われました。リンク下の駐車場に設計変更し、冷凍施設もパイプも新規にしました。バスの駐車場をリンク坂の上の山を削り取る事にしましたが、土地の所有は温泉協会の為、群馬県アイスホッケー連盟理事長高橋弘氏にお願いしまして、急遽理事会を開催して頂き了解を頂きました。「ただし、舗装等はせず温泉源になるのでそのままにする。」条件付きでした。結果は、スピード競技の活躍が見え総合優勝し大成功でした。

第 35 回昭和 61 年開催のインターハイでは、現有施設での開催で了解頂きましたが、60 年 8 月 13 日に群馬県アイスホッケー連盟理事長 高橋弘氏より電話があり、「相談したい事があるので、伊香保へ直ぐ来る様に」。伺いますと、群馬県アイスホッケー連盟副会長福田實氏、市川一夫氏、高橋弘氏の 3 名の方が居り、「今年 1 月の競技会で雪が 30cm くらい積もり、競技が中止になった。それで良いか」と言われました。

群馬県スケート連盟会長 久保田富一郎さんに実情を説明し、お願い致しました。B リンクが屋内施設になり、全ての競技が無事に終了する事が出来ました。

平成 5 年世界スプリントスピードスケート選手権大会では、3 階建てドーピングルーム、トレーニング室

を備え、地下道でリンク中央に出る立派な選手控室が完成されました。

平成 8 年スピードスケートワールドカップ伊香保大会では、冷凍機 5 機を新規購入して頂きました。暖冬で外国選手は T シャツ 1 枚で屋外にいる状況でしたが、冷凍機をフル稼働して対応できました。

群馬県スケート連盟会長 久保田富一郎さんの絶大なご尽力により施設の充実がなされた事に衷心より感謝申し上げます。

平成 27 年ぐんま冬国体では、リンクを全面改修、平面度 5/100mm を施工に立ち会った、群馬県スケート連盟事務局長 荒木和夫氏により管理、群馬県スケート連盟会長 南波和憲さんのご尽力により伊香保リンクの開始が 11 月可能になりました事は、今後の競技力増強に効果的であると思います。

多くの皆さんによって伊香保リンクが充実され、益々レベルアップされた選手が誕生されます事をご祈念申し上げます。



日本スケート連盟関東ブロック指導員、

準指導員講習会

普及部長

神宮 元



・過去の講習会

2012. 9	神奈川県相模原銀河アリーナ	250 名
2013. 9	東京都 東伏見スケート場	80 名
2014. 10	茨城県笠松運動公園スケート場	50 名

2015. 9 埼玉県上尾スケート場 80名
 2016. 10 山梨県甲府小瀬アイスアリーナ 50名
 2017. 7 千葉県千葉アクアスケート場 40名
 視察富沢理事長・鎗木副理事長

2018. 10 群馬県総合スポーツセンターアイスアリーナ 50名

・内容

13:00~14:00 普及部長会議

開催県挨拶 (会長代理) 富沢理事長

普及部長挨拶

議長 (開催県普及部長)

1、各都県の行事報告

2、19年度開催県について 神奈川県に決定

14:00~16:00 講習会初日

- ・基礎スケート指導、指導員の心得
- ・基本、基礎スケーティング
- ・指導の要点
- ・教室運営
- ・安全管理/その他

16:00~18:00 氷上練習

18:00~ 食事(親睦会)

2日目

9:00~10:30 氷上練習およびテスト

10:45~ 講習会2日目

- ・公的対応
- ・連盟普及部
- ・バッジテスト
- ・リテラシー
- ・暴力、ハラスメント根絶に向けての会長声明

11:45~講習会まとめ

12:00 記念撮影後、解散

今年度群馬県で開催されました関東ブロックの講習会におかれましては富沢理事長、鎗木副理事長、フィギュア部の皆様、前橋支部、伊香保支部、スポーツ協会の皆様、アイスアリーナの皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。私は普及部長として2012年の講習会から県の普及部を代表して講習会に参加してまいりました。2013年の東伏見の講習会では準指導員の資格を黒沢幸代さんが取得しました。今後

も関東ブロックで普及事業や講習会が開催されます。

ぜひ多くの方に準指導員・指導員の資格を取得して県内のスケート教室の指導者として活躍してほしいと思います。

今回、日本スケート連盟の野頭普及部長、日下副部长にも参加いただき群馬県での講習会も成功裡に終了いたしました。重ねてありがとうございました。

スケート教室も各支部で行われておりますが、連盟としてこのような講習会の存在を十分に生かし切れていないのが現状です。スケートの底辺拡大のために普及部がもっと力を出さなければいけないと常々感じております。

事務局長の思い出

副会長

荒木 和夫



群馬県スケート連盟が発足したのは、伊香保温泉の老舗千明仁泉亭の先代(故)千明三右エ門氏が群馬も国体に参加したいとの思いから、昭和24年6月に群馬県スケート連盟を発足し、日本スケート連盟に登録の翌年から国体に参加しました。私は子供がスケートをしていたことから昭和52年に審判資格を取り、群馬県スケート連盟の一員となり、現在に至っております。

昭和63年伊香保国体、平成1年上州国体の折には事務局員として2回の国体を経験しました。

又、町の関係から私が平成9年にスケートセンター勤務となり、同時にスケート連盟の事務局長になりました。伊香保町が昭和42年に伊香保ハイランドスケートセンターを開場させ、48年間温泉と石段とスケートの町として営業してまいりましたが、折しも平成9年に伊香保町が財政困難に陥り、町としては継続不可能で閉鎖をやむなしとの結論に達し、今後について検討するよう命じられました。

しかしリンクを閉鎖することはできないとの思い

から当時会長であった(故)久保田富一郎氏の自宅へお伺いし、町が財政難で存続できない旨を伝え相談に乗っていただきました。

紆余曲折はありましたが、最終的に県がスケートリンクを引き継ぎ、平成11年に県に移管されました。しかし県には運営のノウハウがないとのことで、伊香保町に運営委託の打診があり、町としても協力することとなり、平成15年までの5年間リンクの運営に当たりました。その後県が本格的に運営することとなり、当時のスポーツ振興事業団から渋川市に委託、平成29年度より、群馬県スポーツ協会が運営することとなり現在に至っています。その間国体等の開催時にリンクの改修維持整備を行ってまいりましたが、老朽化が目立つようになりました。

平成27年に第70回国体の開催が決定された際、当時の南波会長から施設の全面改修の必要性を相談されました。冷凍機、冷凍液、錆で腐食している埋設管、リンク表面の凸凹など全面改修する検討を行い、見積もりを提出いたしました。これに伴い、県が本格的に改修するための検討が始まり、億単位の予算を計上し、改修が行われ、平成26年末に完成し、無事に国体を迎えることができました。製氷能力が一段と向上し、平成27年度からは11月にオープンでき、競技会も1カ月早く開催できる運びとなりました。

平成30年度から本格的に一般開放がなされ、平成31年11月の開場時には1万人目の来場者に記念品を小林リンク長より贈呈しました。

県スケート連盟としても今後スケート教室等を計画し、スケート人口の増大、選手の強化に向け70周年を迎えて群馬県から世界に羽ばたく選手が誕生することを願う次第であります。



回想 審判員として

トリノへの道

高野 純一

★スケート審判としての歩み

私は25歳で第2種公認審判員の資格をとり、31歳で1種になりました。33歳で日光国体のスターターをやりました。36歳で全日本実業団のスターターをやった以後、県内開催の全国大会でスターターを経験しました。40歳でナショナルスターターに昇格し、47歳のとき、岡谷で行われたISUスターター講習会に参加し、翌年48歳でインターナショナルスターターに推薦され、ミネアポリスで行われたISU講習会に派遣されました。1998長野オリンピックで引退した北海道の新保さんに代わって49歳でISU選手権スターターに指名されました。その後世界選手権スターターとして2000長野距離別、2001ブタペスト世界選手権、2002コラルボ世界ジュニア、2003カルガリースプリント、2004距離別辞退、2005モスクワ世界選手権を経験し、56歳で2006トリノオリンピックスターターに指名されました。今年70歳になりますが、審判歴45年になりました。

★ISUスターター講習会

1999年度からISU選手権スターターに指名され、オランダのユトレヒトで行われたISUスターター講習会に参加しました。

グループワークでは英語がほとんど聞き取れず苦労しました。スケート場でグループワークの実技が終わった後、ベンチで休んでいたら眠ってしまい、気がつく私のグループは誰もいませんでした。ホテルへ戻るバスは出てしまい、残っていたグループと一緒にタクシーに6人乗りで戻りました。時差ボケと緊張で失敗してしまいました。

★ブダペスト世界選手権

初めてのヨーロッパ一人旅で不安でした。不安は的中しフランクフルトに着いて飛行機を降りたところで係員が私の名前を書いた紙を持って立っていました。

新刊 雑誌

トリノ五輪でスピードスケートのスターターを務める たかの 純一さん 56



顔

「五輪はスターターにとっても最高の舞台なんですよ。トリノではわずか4人。国外開催の五輪で日本人が選ばれたのは初めてだ。本業は群馬県立桐生養高。催定時制の教頭。昨年9月、国際スケート連合（ISU）から依頼があった。「自分で活動を始めよう」と、群馬大時代にスケート部を作り、部員同士でスターターをしたのが始まり。実業団での選

「目標は、ミスなく目立たず」

「いいのよ。そんな思いつきで、長年取り替える審判1種資格をの経験に裏打ちされた取得した。自信が「大役」を、数多くの国内大会のほか、98年の長野五輪ではアシスタントスターターを務めた。99年、「世界で25人」の枠が決まると、理想されるのは「1秒」。普段からストップウォッチを使ってイメージトレーニングを重ね、誤差0.1秒以内という精度を体で覚え込ませた。

世界中の視線が注がれる五輪だけに、「想像以上の緊張」を覚悟している。その大舞台での目標は、ミスなく目立たず、誰の記憶にも残らないこと。「それが最高のスターターです。それ以外に、華やかな選手の前で、開志をうちに秘め、静かに五輪に挑む。（前橋支局 浅見孝史、写真も）」

まっぴら最高資格「ISUチャンピオンシップスターター」に認定された。スターター役の微妙な乱れはない。選手の前から身離まで、理想されるのは「1秒」。普段からストップウォッチを使ってイメージトレーニングを重ね、誤差0.1秒以内という精度を体で覚え込ませた。

乗り換えになるハンガリーのマリブ航空がストで欠航となり代りにルフトハンザを手配するとのことでした。6時間待つ夜中の1時過ぎにブダペストに着きました。暖冬のため、天然の氷が溶けてしまい、夜間レースとなり、毎晩10時過ぎからディナーとなり、ホテルに帰るのは真夜中でした。緊張と疲労と時差ボケが重なり、私は食事中こっくりこっくり半分寝てしまいました。リンクは古城の池に作った特設のため、スターターの回りはロープがあるだけで、すぐ後ろにもハイネッケンを持った背の高いオランダ人観客がいて、台に乗っている私と同じ高さに顔があり、びっくりしました。ランチの時、役目を終えたスターターがビールを頼んでいました。私も「セイム」と言って同じ飲物を頼んで飲んでみると、サンドビック技術代表に次のスターターは誰だと注意されました。次の女子担当のスターターはジュースを飲んでいました。私はあわ

ててビールを止め、ジュースを頼みました。この大会最終種目の10000mでオランダのポストマを日本の白幡が大逆転する名勝負がありました。25周のうち、後3周まで半周引き離してポストマがリードしていました。残り3周、白幡がラップを上げ猛然と追いかけて、とうとう抜き返してゴールしました。オランダの大応援団は信じられないと啞然としていました。

★2002 ソルトレーク講習会

スターター講習会では自己紹介の後、前年度の経験から気がついたことを発表します。私はスタート位置が違う場合、両者に同時に発砲が聞こえるようにするという提案をしました。1000mスタートは約15mの差がありますが、本物のピストルは大きい音がするけれども距離の差で近い方の選手が有利になり、遠くなると遅れが出てきます。インの選手がわずかに出遅れるように見えました。日本ではインの選手がほぼ良い成績をだすのに外国ではアウトの方が良いので、おかしいと感じてピストルの音の伝わる差を計算したところ約0.04秒の差が出ました。つたない英語でインレーンの選手が0.04秒遅れることや、1/100秒を争う競技では大きな差であるなどと説明しました。その結果、両者が同時にスタート音を聞けるようルールの変更が行われました。特別規則271条の第4項は私の提案でできたルールです。

★ハンドサイン提案

私は毎回外国のスターターのハンドサインとショートコメントを見習ってやってきました。スターター同士のコミュニケーションにハンドサインを使いますが、バラバラだったので、共通にしたらどうかと思っていました。そこでハンドサインを一覧表にまとめて提案しましたが、賛否半々に分かれました。ヨーロッパのスターターからは敬遠されました。決めればそれに縛られるのを嫌ったようです。全体会議では「デヴェロップ」と言われ、この結論は保留されました。ところが、後日送られてきた結論では明確に否定されていました。会議の最終日のグループワーク発表はグループによって結論はまちまちです。結論をまとめるのは難しいことだと思います。それ以上にヨーロッパの壁を実感しました。多くの欧米やアジアのスターターと研

修を通じて、仲間を増やしていかなければと思いました。

★トリノ指名を受ける

9月28日、妻から家のFAXに英文でトリノ内定の連絡が来ていると連絡が入りました。それを聞いたときは足が震えました。最初「やったー」と言う喜びで一杯でしたが、その後は「自分で大丈夫か」という不安で一杯になりました。さらに私の職場や校長が許可してくれるかどうか不安になりました。妻と相談して行くことを決断しました。10月8日(金)期限ぎりぎりに県教委の許可がありました。9日にインターネットを通じて必要な資料を送ることができました。

★オリンピック前に考えたこと (失格を出さない)

10月にカルガリーで行われたISU講習会でルールに追加がありました。それは「意図的に構えの遅い場合は不正スタートとする」という条項です。私は意図的でなくても相手により不正スタートと見なされるのではないかと疑問に思いました。スケーターの構える時間の規制はないので、早い人と組めば不正スタート、遅い人と組めばOKとなります。この構えるまでの時間差が0.5秒以上大きいと理論上問題が発生します。そこで構える時間を測定することにしました。

★セッティングタイム測定

県内の大会や長野で行われたオリンピック予選大会でセッティングタイム(readyの号令から選手が構えて静止するまでの時間)を測定しました。岡崎は構えが早く、吉井は遅いことが分かりました。その結果をオリンピックに出場するコーチに連絡しました。

★幸運なトリノオリンピックスターター

トリノのISU指名スターターは左からルイーダ(イタリア) マルセル(ノルウェー) ロブ(オランダ)



★開会式

開会式は-10度以下でしたが会場の熱気と白いポンチョと膝掛けが配られたので寒さを感じませんでした。舞台があちこちにあって目移りしました。F1フェラーリーのデモは迫力がありました。ビートルズのイメージと小野ヨーコさんの平和へのアピールが印象的でした。オペラ歌手のテノールの歌声などイタリアらしい情熱を感じさせる開会式でした。

★入場ゲート

IDを掲げ、ユニフォームを着ていても毎日金属探査機のゲートをくぐって中に入ります。ショートのパラベラの駐車場に入るとき、トランクに置いたルイジのピストルが検出されて入場ができませんでした。

★食事

プレハブの役員用食堂で、ほとんど毎日昼食を取りました。飲み物はスポンサーのコカコーラ提供、食事はバイキングでイタリア料理中心でした。私は水又はジュースと日替わりスープ、野菜サラダ、肉類に果物、みかんは日本のみかんに似ていました。パスタも日替わりで出ましたが、余り食べませんでした。

★スタートトライアル

各種目の前日にトライアルが行われます。吉井は終わった後「ありがとうございました」と礼儀正しくて笑顔が印象的でした。選手の癖、スターターの癖をお互いに確認し本番に備えます。私はセッティングタイムとインターバルタイムを測定しました。

★初仕事は女子 3000m

スターターの仕事は2人のスケーターの呼吸を合わせて同じタイミングでスタートさせる。これだけのことですが、1/100を争う競技なので、スタートは非常に重要です。go to the startの声をかけるタイミング、声の調子その後 readyの発音は優しく、構えた後の静止時間1~1.5秒で発砲。オリンピックの舞台では、選手は舞い上がっています。実はスターターも上がっているのですが、そんなそぶりは見せられません。トリノで高野スタイルを確立しました。それは左手を上げて選手を招く動作です。これにより選手はプレスタートラインに着きます。私が手を挙げない限り選手はスタート付近で勝手に動いています。スタート2分前に

笛を吹きます。選手の紹介の後、シーンと静まりかえった瞬間「go to the start」会場の全観衆がスタートに注目します。手に汗をかき心臓がばくばくします。深呼吸をして[ready]を言います。のどは渇き、声が少しかすれて、きつくなります。トリガが重くて引けずワンテンポ遅れて「バーン」。発砲と同時に大歓声が起こり、レースが終了するまで続きます。その間ほっと一息入れ緊張を下げ、弾込めをして次の準備をします。選手に気合い負けしないように毎回精神集中して深呼吸をして気合いを込めます。スケーターに集中してどのような動きも見逃さないようボーッと全体を見ています。緊張すると心拍が上がり、リズムが早くなり1秒のインターバルが狂ってきます。何回も何回も練習していますがそれでも心配でした。トイレも30分前に済ませていても又出そうな感じでした。ペットボトルは必需品で必ず、手元を持ってチビチビと飲んでいました。終わった後「good job」と同僚がねぎらってくれました。VIPラウンジでワインを頂きましたが、のどを通ってもまだ緊張がほぐれない状態でした。夕食が終わってホテルの部屋に戻ると疲れがどっと出ました。疲れるのは毎日ですが、ある時風呂にお湯を張っている間に寝てしまい、お湯を出したままのこともありました。渋川から寺島さん、小松君が応援に来ていてうれしかったです。

★メダルプラザ

表彰式は王宮広場に作られたメダルプラザで行われます。表彰の後、ライブコンサートがありよく出かけました。表彰を終わったロシアの女子選手が後ろの席に来て「トライアルの時、失敗をしてごめんなさい」と私に花束をプレゼントしてくれました。とてもうれしかったです。花は椿の1種でした。葉の緑とピンクの花がとてもきれいでした。ホテルに戻ると、フロントの女性が「欲しい、欲しい」というのでリボンは記念に残し、花はプレゼントしました。

★ティメル 500mの失敗

ティメルはトリノで唯一失格した選手です。女子500mのティメルのセッティングタイムは参加選手中一番遅く、500mではセッティングタイムの早い選手と組んだため、スタートが合いませんでした。1回目

は韓国静止後、ティメルがまだ静止できず、韓国が待ち切れず動いてしまいました。2度目は両者緊張して動きがおかしくなりティメルは右腕がずっと動いたままで、思わずラインを切ってしまいました。スターターはティメルが2回目にフライングをしたということで失格にしました。500mの終わった後、彼女のコーチは血相を変えてISUラウンジに駆け込んできてスターターのマルセルに詰め寄ってきました。私は一歩前に出て間に割って入りました。二人とも2m近い大男で殴り合いになるのではないかと私は背筋がぞっとしました。どのコーチも国やスポンサーの期待を背負っていて、又その後の生活もかかっている所以真剣そのものです。失格をさせることはルール通りであっても人間の感情は別であることを味わい、胸の中につらいものが残りました。私は1000mではティメルに最高のスタートをさせようと心で誓い、トライアルに望みました。1000mではどのようなタイミングや声の調子がいいか考えました。結果はどんびしゃりとスタートが決まり、おまけに金メダルまで取ってしまいました。本当によかったと思います。

★全ての競技を終えて

マルセルが体調を崩し、声がかすれながらも無事全競技を終了することができました。全員満足感で満たされました。この日は日本人のNHK係員が体調不良で休みました。スピード会場の映像はNHKが担当しており、相当のスタッフが会場にいました。

★トリノ報告書(フライングの原因を解明)

オリンピックのトライアルで測定した結果を英文でまとめて報告しました。セッティングタイムの差が0.5秒以上有るとフライングが発生することを検証しました。個人別、国別、性別、スターター別の差を比較検討しました。その結果セッティングタイムは選手固有のものであることが分かりました。そこで私は標準の値を統計的に出しました。

★最後の仕事 2010 世界選手権

2008年に続き、2回目のヘレンベーン。今回引退する私を含めISUレフェリー、スターターの3名にISU代表や大会組織委員会から感謝の言葉や記念品を頂きました。カナダのコーチからも感謝の言葉をかけ

て貰い、ISUスターター最後の大会を気持ちよく終了することができました。今回ドイツのスターター、クラウス氏も妻を帯同し、妻同士意気投合し、毎日楽しく交流し、最後は涙のハグで別れを惜しまました。

★最後に

私は中里先生のあとを追いかけてスターターのキャリアを積みました。オリンピックに出場できたのは私の力だけではありません。みんなの支えがあったから出来たのだと思います。私を支え、育ててくれた全ての人々に感謝します。ありがとうございました。

レフェリーとして

副会長
熊川 輝男



平成14年度まで27年間(小学校1年、中学校11年、高校15年)の選手指導を終え、平成15年から競技会の審判として競技運営に携わってきました。いきなりレフェリーの業務になり、大まかなルールは長い指導者歴の中で理解していたつもりでしたが、各ポジションの具体的な仕事や競技会の運営、進行についてや細かいルール等まったく無知であり、にわかには規則集をめくり猛勉強の毎日でした。入澤先生や高野先生からの指導も仰ぎ、数年経ってやっとレフェリーの務めが落ち着いてできるようになりました。レフェリーをやっていていつも思うことはたくさんの審判員の方々が各ポジションできっちり任務をこなしていることへの感謝です。ほぼボランティアのスケート審判に休日や夜間に時間を作って伊香保リンクに参集して下さる皆さんには頭が下がりますし、それぞれの方を大切に感謝の気持ちを持ってレフェリーを務めることの大切さは競技会の度にいつも肝に銘じながらやっているつもりです。

15年のレフェリー経験の中でたくさんの競技会に携わりました。国内大会ではレフェリーとして全日本選手権、ジャパンカップ、全日本ジュニア選手権、全



日本マスターズ、それに毎年伊香保で開催される全日本学生選手権、インカレ、インターハイ、全国中学、アシレフで国体と主要な国内大会に全て関わることができ幸せだったと思います。それぞれの大会すべて記憶に残っていますが、特に緊

張したのが全日本選手権、インカレ、インターハイ、全中でした。指導者としてインカレ以外全ての大会に出ていましたから、その大会の重要性はよく分かっていました。全日本選手権は世界大会の国内予選ですからトップ選手の気合の入れ方が全く違いました。インカレ以下の大会は一年間この大会を目標に頑張ってきた選手、チームがほとんどです。インカレは12月に伊香保で実施する学生選手権の時と選手、監督コーチの顔つきが全く違ってきます。学生にとって個人の成績はもとより所属の学校の順位が非常に大切なわけです。それだけに競技運営も「選手が100%の力が発揮できるように」ということを一番に掲げ臨みました。レフェリーはどちらかと言うと選手の失格行為に重点的に目が行きがちですが、全ての選手を公平にジャッジするという気持ちを前面に持ちました。指導者時代以上に緊張感のあった大会でしたが、それだけに終わったあとの充実感は満足のいくものでした。

私も年齢も高くなり、これからは県内大会がメインになると思いますが、選手のために今できることを精一杯やるのがすべてと思い頑張りたいと思います。

審判員として

嬭恋支部
黒岩 菊男



私がスケート選手生活終了と同時に、審判資格を取得して、30数年が経ちますが、正直、審判でリンクへ

向かうことをためらう時もありました。でも、今日まで良く続けてこられたと思っています。

審判として当初は、トラックジャッジ・タイマー・フェニッシュラインジャッジ等の競技役員を努めることが多く、また、近県への派遣競技役員も、タイムキーパー・フェニッシュラインジャッジとして派遣されることがほとんどでありました。

県内競技会では、最近、スターターを努めることが多くなっています。



私がスターターを始めたころは、「無難に」選手をスタートさせることだけに注意を払い、選手の細かい動きを見落とししたり、スタート姿勢の静止から一定の間隔をおいて発砲しなければならないところ、組によって長かったり・短かったりのスタートの繰り返して、安定した発砲ができていませんでした。

試行錯誤を繰り返し、選手のスタート前に行う行動が完了したと思ったところで、スタート号令をかけたところ、スムーズなスタートへとつながったことで、今では、選手にとってベストなスタートを心がけるようにしています。

また、日本スケート連盟主催のスターターミーティングに参加をし、スタート手順の変更点・他県のスターターとの良い点を学び、技術の向上を図ることで、さらに安定させることができるようになりました。

県外派遣審判では、競技会の運営方法・やり方は同じでも、多少の違いがある点で、戸惑うこともありましたが、温かく受け入れていただいたことで、最後まで務められたのは、良い思い出となっています。

また、競技会終了後レフェリーから「競技役員1人1

人が考え、工夫を続けることが良い競技運営となります」との言葉が、今でも印象に残っています。

今後は、競技役員として時間の許す限り、体力的に無理のない範囲で続けたいと思います。

審判員として

高崎支部
清水 宏和



私が初めてスケートをしたのは、昭和40年代で場所は、安中駅近くの碓氷川と近郊の堤と言われた溜め池が凍り午前中はスケートが楽しめました。

何回か中軽井沢のスケートセンターへ行ったのと、高校のスケート教室で伊香保スケートセンターで滑った記憶があります。その後まさか東毛へ行きスケート競技をするとは思っていませんでした。

大泉の東京三洋へ就職して全日本実業団スピードスケート競技会の2000mリレーで入賞を目指している村越さんと小林さんと出会い、同僚の本多に誘われて太田スケートクラブの仲間と日々練習に励み、(年末から年始の富士スバルランド合宿が恒例でした。夜練は-10℃以下、広間での雑魚寝でしたが楽しかった)

第19回全日本実業団スピードスケート競技会(S55年)2000mリレーにて、2位となることができました。その後、地元へ帰ってきて高崎スケート教室(観音山



第73回富士の国山梨国体・前橋応援団と

カップピアからサンピア開催)と市民大会(今年で73回と歴史があります)、榛名町民大会(当時は榛名湖実施)に参加させてもらいながら、審判員の手伝いを始め58国体に向かい審判資格を取得して、当初は支部担当日のみの審判員参加でしたが、年々審判参加者が減っていくなか、遠距離での先輩常連参加者を見ると、都合がつく日はできるだけ協力しようと思いつつ通っています。近年は県外審判員として他県へ行く機会もあり他県の審判員との交流のなかで、スケート競技人口の減少と審判員不足及び高齢化は同じ悩みを抱えていることを痛感しています。時代の流れと言ってしまうかもしれませんが・・・。

審判の期間は11月末～2月と短く慣れた頃に終わるため、人的ミスの発生は否めなく、使われる道具・機器は進化していますが、使うのは人で、人は完璧ではないため時々ミスの発生があり、当事者は気まずくなるのですが、その雰囲気や和らげて次の活動に繋げていける環境作りが必要と思われます。

スケートの思い出

渋川支部
深井 朗正



石段とスケートの町、伊香保温泉の出身です。昭和30年生れ満63歳になります。私のスケート歴は小学4年生から高校卒業まで9年続きました。小学6年時(昭和42年冬)伊香保リンクがオープンし、それまでロープウェイ駅にあった小さなリンクから現在の地に移りました。オープン当初設備も整っていないリンクで国体予選をしていたのを思い出します。

当時の小学生は今のようワンピースではなく、上はセーター、下はタイツ、頭はサル帽、何とも不格好なでたちでした。そんな小学生を前に国体予選をしている高校生の姿がまぶしく見えたものです。

当時は競技人口も多く、予選から決勝は、今に比べて驚くほどの組数がありました。私といえば、小学生

のころ、合宿に来ていた東洋大学の女子学生の後ろについて、毎日ただ滑っているばかりでした。そして中学生の時、榛名一中から尾崎先生を迎え「これが練習か！！」と一喝され鍛えられました。それまでのただ滑るから、レースに勝つための練習へと切り替わりました。(厳しかったなー)

バジテストの折は、選手数が多かったこともあって、午前0時過ぎまでレースがあり、帰宅出来ず、知人の家にお世話になった方もいたようでした。

昭和45年の榛名湖でのレースは湖上での県内最後の大会であったと思います。高原学校に泊まって1000mを滑った記憶があります。最初で最後の湖上スケートでした。吹きさらしの中、氷上のコンディションも良くなく大変な思いをしました。このころが一番真剣にスケートと向き合った時期でした。高校生になると、あまり真面目な選手ではありませんでした。時には練習をさぼったりと、今思うと恥ずかしい限りです。そんなこんなで9年間スケート選手を続けた訳ですが、当時を思うと辛かったことより楽しかったことのほうが鮮明に蘇ってきます。今、練習を頑張っている子供たちも、20年30年後には楽しい思い出につながると思います。

その後、縁あって20数年前から渋川スケートクラブに入会し、現在は審判を勤めさせていただいております。毎年シーズンになると週末リンクに上がっています。この冬もリンクに上がります。

みなさんリンクでお会いしましょう。

審判員として

伊香保支部
半田 正博



「審判員として・・・」この「・・・」は何だろうかかと考えてみました。

日ス連公認審判員規則第1条には、競技会を厳正かつ円滑に運営するために公認審判員を置く(抜粋)とあります。「厳正に」とは、規則・規定に精通し、公正

無私な態度を貫くという事であり、「円滑に」とは、選手の体力的かつ精神的負担を軽減するため、予定通りに競技を遂行する事であると思います。

ただし、両者とも、悪天候・事故・リンク状態・抗議対応等異例的な場面において、如何に的確で合理的な判断ができるかという事であると思います。そのためには、長年の経験に基づく判断能力・勘・度胸・情熱が必要です。

私は、伊香保のスケート一家に生まれ、幼少期の冬の遊びは、雪上のソリとスケートでした。

小学校四年生の時に、現在の伊香保リンクが完成し、五年生の時から競技を本格的に始め、その時のコーチは前伊香保町長の関口俊二氏でした。中学校では、尾崎完二先生に指導を受け、渋川高校では、現理事の寺島惟考氏と大学生であった現副会長の高野純一先輩、現同の熊川輝男先輩から指導を受けました。ただし、成績はパツとしたものではなく、この限りで引退しました。

お世話になった方々には、この場を借りて深くお詫びいたします。その後、名門専修大学に進学。入部はしませんでした。キャンパスでは、スケート靴を抱えた女子部員とすれちがったり、現役の後輩と昔話に花を咲かせ、心をときめかせました。卒業後、群馬銀行に就職。転勤先の嬭恋支店では、宮崎守先生を始め、多くの方から協力・支援を受けました。当時お世話になった方々には、この場を借りて深く感謝いたします。

しばらくスケートを離れていた私ですが、その間も先述したスケートに対する情熱は持ち続けておりました。現在、体調に若干の難はありますが、審判員として、今後とも宜しく願いいたします。

ショート審判として

太田支部
北爪 大春



平成という時代も残り72日となりました。太田スケートクラブでのショートトラックの歴史は意外と古

く、50年以上も前になります。専門の役員はいなく、選手も、アウト、ショートかけもちで競技をやっていました。伊香保室内Aリンクで、一年一回、3月にショートの大会が行われていました。その中で、太田クラブの狩野氏が1500mの日本記録を樹立しました。彼は、元々は東京のメリーメントクラブで活躍していました。

その後、ショートトラックのバッチテストなどが行われるようになりました。

自分がショートの世界大会を初めて見たのは、東京品川のリンクでした。世界レベルのコーナーリングと、かけひきに夢中になったのを今も強烈に覚えています。

その日は、冬季オリンピックで初めて全種目優勝した、米国のE・ハイデンも見学していました。

あれから30年近くの年月がたちました。太田、桐生、伊勢崎の3クラブは、スケートの交流を深めるために、足利市にあったアピタスケート場で数回ショートの試合を開催しました。その中から素晴らしい選手も生まれました。

伊勢崎の島田、須藤。桐生の山口、石関、田上選手達でしょうか。印象に残っているのは、あと一步の所でトリノオリンピックの切符を逃した田上選手でした。近年は、太田市出身の坂爪選手でしょうか。彼は2大会続けてオリンピックに出場しましたね。

自分は早期退職したため、その分スケートの大会役員として、また、応援という形で、神戸・大阪・京都・名古屋等の競技会、ワールドカップ等を車で回りました。気がつけば、自分の競技役員歴も、今年で45年目



に成りました。いろいろ教えていただいた先輩方も、

今は引退して少し寂しいこの頃です。県スケート連盟の為に、自分はまだ少しだけ頑張っていこうと思っています。

スターターとして

伊香保支部
安部 信志



私が本格的にスピードスケートを始めたのは伊香保小学校の時からでした。当時スポーツ少年団の発足に伴いスタートしました。同級生の男子は私一人で他の同級生はアイスホッケーの少年団に加入していました。しかし上級生や下級生が大勢いましたので楽しく取り組めたのを覚えています。

競技者としては高校卒業まで自分なりに真剣に取り組んできたと思います。当時、あかぎ国体の開催もあり群馬県の高校生が集められ、他校と合同で合宿を行い練習したのは辛くもあり、また今考えれば今の自分にとってもプラスになった経験をさせていただいたと思います。

卒業後は、しばらくはスケートとは離れていましたが、平成3年より競技役員としてお世話になっています。最初に思ったのは競技役員の大変さでした。自分のポジションから離れず、寒い中でも競技中は動けない状況で選手のためにひたすら役割に集中するのはとても大変なものだと思います。私も色々なポジションで役員をしてきましたが、現在はスターターとして競技に参加する事が多くなりました。群馬県のスターターの先輩方は国際大会でも活躍された方がおり、直接指導を受けられるとても良い環境でスタートできたと思います。常に公平で冷静に競技者がベストな状態でスタートできるよう心がけて参加しています。一番近い場所で競技に参加できるスターターは、とても光栄でもあります。プレッシャーもあります。直接選手に注意したり、失格も取れてしまう事もあり重要なポジ

ションです。自分をしっかり持ちどこの大会に参加しても恥ずかしくないようレベルを上げていく事を感じています。

これからの群馬県のスケートは、競技者が減っていき、全国で活躍できる選手の育成が大きな課題と感じます。オリンピック選手が沢山出ている群馬県として、スケート王国の復活を期待しています。そのために競技役員として役に立てるよう今後も携わっていきたいと思います。

群馬県スケート連盟70周年おめでとうございます。

スケートとの出会い

「そしてこれから」

伊勢崎支部
内山 和夫



私が初めてスケート靴を履いたのは、町内の子供会で赤城大沼に行った時のことでした。二回目は榛名湖へ、中学生の頃だったと思います。

その後、東京に就職し、名古屋に転勤し、初めて自分のスケート靴を購入し、スケートを楽しんだ。東京に戻り、品川、池袋、晴海のスケート場で時々滑る程度でした。

前橋に戻り、中華料理店を開き、そこへ中学校の時の恩師である鶴田先生が来店され、「内山！、中学校でスケート教室があるので指導員として来てくれ」と頼まれたが、指導方法も何も知らない私でした。「子供に怪我をさせない様に居てくれるだけでいい」との事。その時が最初。

隣の指導員の指導方法を真似て子供に教えていたので、心苦しかった。そこから自己流のスケート練習。上級者の滑りを観察、後ろについて滑るが直ぐに置いていかれる。

考える、滑る、考える、滑る、試行錯誤の繰り返し、

自分なりに少しずつ上達する。その繰り返しで自分の指導に対する思いが子供達に伝わり、子供達の緊張が少しずつ笑顔に変わっていった。子供達に合った指導方法を選ばなければならない。難しい事を話しても理解できなければ上達しない。「ここを直せばよくなるよ」と少しでも良い所を誉めていくうちに、目に見えて上達する。当然、滑れるようになると楽しくなり、意欲が湧いてきて、子供達は満面の笑顔になる。

スケート教室は多くの人、子供達を指導できる良い機会である。楽しく怪我をさせないで終われば大成功。「またスケートに行こう。友達を誘って！」の輪が広がればスケート人口は増える。

指導者は我慢強くなくてはいけない。自分の実績や栄光ばかりでなく、失敗談、悔しかった事、寂しかった事も伝えなければならない。悔しさや寂しさを経験すると、心の成長、人への優しさが生まれる。子供達には、他人に目配り、気配り、思いやり、かゆい所に手が届く人間として成長してほしいと願っています。

終わりに、群馬県スケート連盟70周年にあたり、今後益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。



2019. 2. 5 高商スケート教室 (サンピア)



国体の監督として

高崎支部
鈴木 みゆき



国民体育大会、この大会は県の代表2名が競技に向かい、協力して得点を稼ぐ大会です。フィギュアスケート競技は、成年男子、成年女子、少年男子、少年女子の4カテゴリーしか競技は無く、総勢でも選手8名、監督4名です。スケート競技で得点を稼ぐスピードスケートは、男女差も含めた距離の種目が複数あり、競技種目が多岐にわたるので、得点を得ること自体がフィギュアスケートとは比較ができません。ショートトラック競技も同様です。しかしながら「フィギュアは得点を稼げないから」と良く言われます。稼げないのではなく、限られた種目のなかでのレベルの格差が大きく、通年リンクの環境がある県には勝てないのです。通年リンクと指導者が揃えば得点が稼げる選手を出します。そういう気持ちで動いている指導者が群馬県にもいるのです。

フィギュアスケートはお金のかかるスポーツだと言われていますが、群馬県には通年リンクが無いので、リンクを渡り歩くしか無い為、シーズンオフは送迎の親御さんの負担もありますが、選手の負担も相当あり、往復で疲れてしまう選手もいます。氷にのって成長があるスポーツなので、この負担が成績に大きく影響を及ぼしていると考えております。リンク代やインストラクターへの指導料が経済的な負担となっているのです。

選手を輩出し、成績を残すことが全てだとは思っていませんが、スケートという競技を選んだ選手に対して、私がしてあげられることは何かを常に考え、監督として、今この選手にしてあげられることは何か、私にできることは何かあるのかを考えて動くことが私の使命です。群馬県代表選手が表彰台に立つ日を見届けたいという壮大な目標に向かい、まずは通年リンクの実現を目標にし、これからの私の指導者人生を歩んでいきたい。

審判員としての思い出

桐生支部
中村 眞規子



審判員として活動を始めて随分経とうとしていますが、結婚、出産を経てコンスタントに行えているのは、ここ近年10年来のことになります。これはフィギュアスケート競技の中での大きなルール改正が行われたころとちょうど同じ期間になるように思います。

それまでは県内大会で審判を行うことが主でしたが、ルールを学ぶ上でも県外大会、国内大会に行くべきと思っていったことを覚えています。

審判員としての思い出といってもいろいろありますが、毎年同じ大会の審判をしていると現在のトップアスリートの幼少期の審判に入ることもありました。例えば、羽生弓弦選手とか。審判席に入ってひときわ目を引く上手な選手がいて、それが羽生選手だったわけですが、その時はまだ小学生で、選手名の「弓弦」というのはなんと読むのだろうと思ったことを覚えています。今では世界で活躍している数々の選手の出場する大会にかかわってきて、いろんな思い出があります。東京の大会では皇族の方の審判にかかわったこともありました。審判員としての思い出は選手との出会いだけでなく、審判員同士でもあり、自分が出場した国体（あかぎ国体）で審判を務めていた方に今度は同じ審判員として大会にかかわったときは不思議な感じがしました。エピソードは上げたらきりがなくどれも大切な思い出ですが、成功の思い出ばかりではないので、苦い思い出も大切にしながら今後も審判活動を行っていきたいと思います。

回想

スケート選手として

トリノオリンピック

吾妻広域消防本部
宮崎 今佐人



私はトリノオリンピック代表になる事に特別強い思いを持っていました。4年前のソルトレイクオリンピック代表選考会で後一步のところまで代表になることが出来ず、その後の4年間オリンピックに出場する事を目標に努力を重ねてきました。そして、4年越しの思いが実を結び私は5000mとチームパシュートの2種目でオリンピックのスタートラインに立つ事が叶いました。

トリノオリンピックでは、直前まで合宿を重ね、慎重になりすぎないように調整を行いました。5000mはスピードスケート最初の種目という事もあり、自分のレースで日本チームに勢いをつけたいという思いでレースに挑みました。しかし、大きな舞台で自分の力を出し切るということはとても難しく、4年間の思いは出し切ったつもりですが、結果を残す事はできませんでした。レース直後はオリンピックに出場できたという達成感や充実した思いがありました。しかし、その気持ちはすぐに無くなり、最終順位を見たとき心には悔しい気持ちしか無く、『4年後、もう一度この場所に帰ってきてもう一度勝負したい』という思いでいっぱいでした。

オリンピックに出場して改めて気づいたことがありました。それは本当に多くの方に支えられてここまでスケートを続けてこられたという事です。オリンピック出場が決まった直後から、地元の群馬県、嬭恋村を始め、今まで自分がお世話になっていた多くの方にお祝いや激励の言葉をいただき、自分の力にすることができました。スケートを始めた小学校の頃、特に目

立つ選手でもなく、ただスケートを滑るのが楽しくて続けてきた自分を、オリンピック出場まで導いてくれたのは自分の周りに居た沢山の方々と出会えたからだと思っています。その様な人々に出会えたことがオリンピックへの道だったのだと思っています。また、小学校の頃の事は自分の中では大きな財産であり、今後現場で選手に接する機会がある時は声に出して『遅くても好きで続けていれば、いつかはわからないが成果は必ずでる』と伝えていけたらと思っています。応援していただき本当にありがとうございました。



オリンピックに至る道

角田 紘子 (旧姓貞包)



私は、小学校3年生のときに渋川市のスポーツ少年団でスピードスケートと出会い、夏はローラースケート、冬はスピードスケートとショートトラックに励む日々が始まりました。そして高校生の頃からは、最後まで何が起こるか分からないドキドキ感と駆け引きに魅力を感じ、ショートトラック1本に専念することに



なりました。

私の競技生活には怪我がつきものでした。高校3年生のときに JOC ジュニアオリンピックカップで優勝し、念願だった世界ジュニア選手権の代表に選ばれました。しかし、喜びも束の間、数日後の練習中に転倒に巻き込まれ胸椎と腰椎を圧迫骨折。一歩間違えたら下半身不随の大怪我でした。怪我をしたことはもちろんショックでしたが、何より1ヵ月後に控えた世界ジュニア選手権に出場できなくなってしまったことが本当に悔しく、絶望のどん底に突き落とされたのを今でもはっきりと覚えています。私はその他にも、手首や鎖骨、恥骨・座骨・仙骨を同時に骨折するなど、度重なる怪我に悩まされてきました。怪我をするたびに、地道なりハビリから始まり、少しずつ氷に慣れていくという作業が繰り返されていく中で、転んだらまた怪我をするかもしれないという恐怖心が芽生え始めました。そして次第に自信をなくし、レースで力を出し切れずに終わるといったことが増えていきました。

スケートへの情熱が薄れかけていた大学3年生のときに、あるコーチから「このまま終わっていいのか」と諭され私は目が覚めました。大学卒業後の2010年バンクーバーオリンピック出場を最終目標とし、よりスケートに打ち込めるようコーチも練習環境も一新し、一からスケートと向き合うことにしたのです。怪我をしない体と自信を取り戻すために日々練習に励みました。そして、徐々にその成果が表れ始め、アジア選手権やワールドカップ、世界選手権の代表に選ばれるようになりました。オリンピックシーズンのワールドカップでは、手応えを感じるまでになりました。そして、オリンピック代表選考会。転倒などがありヒヤッとす

る場面もありましたが、無事バンクーバーオリンピックの1500mと3000mリレーの日本代表に選ばれることができました。

オリンピック代表の座を勝ち取り、あとは本番まで更に調子を上げていこうと思っていた矢先、私は原因不明のスランプに陥りました。スケーティングを見直したり、エッジの調整をしたり、思いつくことはすべて試しましたが一向に調子は上がらず、気持ちばかりが焦っていました。そして、本番当日の公式練習でも変わらず絶不調のまま。ここまで来たらもう開き直ってオリンピックを楽しもう、楽しまなきゃ損だと思い、私はオリンピック独特の雰囲気や大歓声を楽しむことにしました。そして、個人種目の1500m。さすがに緊張するかと思いましたが、自分でもビックリするほど緊張せずリラックスしていました。レース中も、あの大歓声の中でもコーチの指示をしっかりと聞くことができ、冷静にレースを展開していきました。あ那时的調子から考えると、予選を通過することさえ難しいと思っていましたが、予選を無事通過し準決勝へと駒を進め、9~12位決定戦まで進むことができました。残念ながら決勝に進むことはできませんでしたが、あの絶不調の中でのびのびと滑り自分の力を出し切ることができたので、滑り終えたときの達成感は今までに感じたことのないものでした。3000mリレーでは、日本チームは転倒もあり7位という悔しい結果に終わりました。しかし、直前まであれだけ絶不調だったにも関わらずなぜ私はあそこまで戦うことができたのか。今思えば自分でも気付かないうちに、「出場するからには結果を出さなくては」と自分自身に対してプレッシャーをかけてしまっていたのかもしれない。4年に一度のオリンピック本番に調子のピークを合わせることの難しさ、そして、大きな舞台でも平常心を保つこと

の大切さを私はオリンピックから学びました。

私はバンクーバーオリンピック後に競技を引退し、現在は3歳と1歳の息子の母となり、毎日子育てに奮闘してい



ます。私のスケート人生は決して順風満帆ではありませんでしたが、諦めずに夢を追いかけることができてとても幸せでした。

ショートトラックはスピードスケートやフィギュアスケートとは違いまだまだマイナーな競技ですが、間近で見るとスリリングで予測できないレース展開がとても面白い競技なので、もっとたくさんの人にショートトラックの魅力を知ってもらえるよう、日本チームが活躍してくれることを願っています。

平昌とソチ

オリンピックを経て

坂爪 亮介



幼い頃からの夢はオリンピックでした。スケートを練習しだしたのは小学校4年生頃でしたが、そこから19年間スケートに打ち込みました。

小中学生時代は特にパツとしない選手ではありませんでしたが、いつも練習映像を見て研究しましたし、どうやったら速くなるんだろう、どうやったら上手く滑れるんだろうとアドバイスを頂いたり、自問自答しながら情熱を注いだ記憶があります。ハードな練習とたくさんの切磋琢磨する仲間のおかげもあり、高校生になる頃にはなんとか国体で入賞出来るくらいのレベルになりました。ですが練習中の転倒で高校2年生の時に左足の大腿骨を骨折しました。これが初めての挫折となりました。とても落ち込みましたし、スケートができない日々が続きました。学校にも行けない日々が続きましたが、友達が色紙をくれて、その中で今も大切にしている言葉があります。多くの友達は応援メッセージや励ましの言葉をくれましたが1人の友達が「自分次第」という一言だけ書いてあって、最初は少し冷たい言葉だなと感じたんですが、それが頭の中にずっと残り、どういう意図があったんだろうと理解しようと考えま

した。そこで気づいたんですが、僕は怪我をして、当たり前にあったスケートや時間や環境が全て当たり前ではなくなりました。同じ出来事でも、ある一面からは悲観的に捉えられますし、ある一面からは前向きに捉えることが出来るんだなと。その頃からきついスケートができる喜びがいかにか幸せか気付かされましたし、当たり前にあることはずっとあるわけではないということに気づき、感謝を学びました。捉え方、見え方1つで取り組み方は変わるんだと思います。自分はどんなことを努力出来るんだろうとより考えるようになりました。

僕はオリンピックに2大会行きましたが、行ったからこういう事を感じれるようになったわけではなく、こういった心の成長があったから、オリンピックに行くことができたんだと思います。誠心誠意向き合うということが成長のキッカケになるのではないかと思います。

今は現役を引退して、コーチで2022年のオリンピックで金メダリストを出すことは目指しています。

最後に、僕の原点を作っていたいただいた皆様に深く感謝致します。



地元国体 500m で優勝して

嬭恋高校・山梨学院大学卒
松本 直司 (旧姓 土屋)



【写真右が私、左は土屋清貴】

私が初めて国体を見たのは、第 49 回上州国体でした。そのとき出場した土屋一子先生が大会新記録で優勝した滑りは今でもはっきりと覚えています。私も優勝したいという思いで日々練習に励み、高校 2 年生の盛岡国体の 500m で優勝することができました。

しかし、高校 3 年生の長野国体では 500m 2 位、1000 m は 3 位と思うような結果が出ず、もう一度高いところに上りたいと練習に取り組んでいました。

大学に進学した後は環境も変わり、思うような結果が出ずに苦しみました。日常の生活や練習に対する自分の甘さが招いた結果だと再認識しました。どれだけ恵まれた環境の中で、素晴らしい先生方に指導して頂いていたか、本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。私を育ててくれた両親を始め、先生方にもう一度恩返しをしたい、それには大学 4 年生の最後の年に開催される「群馬国体」しかないと思い、全力で練習に取り組みました。

大学 4 年生になり、徐々に調子も上向き、万全の状態で大大会に臨みました。予選、準決勝と無事に通過し、いよいよ決勝です。高校 2 年生の時のレース展開しかないと思いスタートしました。思い通りの位置につくことができ、レース展開は完璧でした。そして、最後の直線で「いける！」と思い全力で滑りましたが、残

り 30m で、気持ちは前に行くのですが状態が浮いてしまい、ゴールラインで必死に頭を下げました。結果 1000 分の 1 秒差で優勝することができました。

努力すること、諦めないことの大切さを、スケートを通じて学ばせて頂きました。13 年間のスケート人生でお世話になった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

親になり、子ども達がスケートを始めました。スケートが大好きで、練習に楽しく取り組んでいる姿をみるととても嬉しくなります。

子ども達がこれからも、素晴らしい先生方や環境の中で、スケート人生が送れるよう自分もできる限りの支援をしていきたいと思っています。そしてまた、スケートを通じて沢山の事を学んで欲しいと思っています。

スケート王国群馬の復活へ

嬭恋高校・日本大学卒
ミサワホーム、黒岩水道
黒岩 敏幸



【成年男子 2000mR 優勝メンバー：写真右端が私、左から山崎裕哉、土屋清貴、土屋直司、中央は干川多賀幸監督】

私が初めて国体に出場したのは、高校 1 年生の八戸国体でした。その後、高校・大学時代に何度か国体に出場させて頂きましたが、優勝することはできませんでした。大学生になり、ナショナルチームに選出され、ワールドカップや世界スプリント等世界を転戦する時

期が続き、国体からは離れた選手生活を送ってきました。そして、アルベールビルオリンピックでは銀メダルを獲得することができ、リレハンメル、長野オリンピックに出場することができました。長野オリンピックが終わり、地元に戻りソルトレイク五輪への挑戦を決意しました。

孺恋西小学校、孺恋西中学校、孺恋高校と地元群馬で育てていただいた感謝の気持ちと、ナショナルチームで培ってきたノウハウを後輩に伝えていきたい、そんな気持ちを込めて山梨で行われる「かいじ国体」への出場を決めました。久しぶりに出場する国体は新鮮で、若い選手達との戦いや、「チーム群馬」のリーダーとしての役割を楽しみながらレースを行うことができました。1000mでは久しぶりのレースで最後に栃木の羽石君に優勝を奪われましたが500m、2000mRで優勝することができました。特に2000mRでは、若い群馬の選手達に私の経験を、身をもって伝えられた気がしました。そして同時に、今までお世話になった「地元群馬」へ少しながらの恩返しができるかなと胸をなで下ろしたのを覚えています。

今、家業を継ぎながら、JOCや、日大のコーチ、群馬県スケート連盟の役員等、スケートに関わる仕事もさせて頂いています。今後も群馬県スケート連盟の発展のため、微力ながら力を注いで行きたいと思っています。

全国高校 500mに優勝して

孺恋高校・関東学院大学卒
土屋 清貴



私は父の影響でスケートを始め、小学生の低学年の時からスケートクラブに入り、競技の道へと進みました。大会ではなかなか勝てませんでしたが、次こそは

いい結果を、と毎回挑戦していました。

中学になり、短距離を選び、年間を通してスケートの練習をすることになりましたが、孺恋東中学校には練習環境が整ってい

なかったため、隣の孺恋高校を借りて練習させてもらうこともありました。

全中3位になり、インターハイではそれ以上の結果を求め、孺恋高校へ進学しました。良き仲間に出会い、日々の練習の中で切磋琢磨し、厳しい練習をこなしました。3年生の時、万全の状態で迎えたインターハイでは500mで優勝することができました。苦しく、辛いことも多かったです。それを乗り越え結果が残せて本当に幸せなスケート人生を送ることができました。応援して下さいみなさまには感謝しています。



スケート競技と私

孺恋高校・山梨学院大学卒
土屋 直人



私は、両親と兄の影響で、スケートを始めました。小学校2年生に始めたスケートですが、大学を卒業するまでの15年間、競技を続けてまいりました。

大会での大きな成績はありませんでしたが、高校3年では、インターハイ5000m9位、国体1500m3位、1500m、3000mでの県高校記録の樹立が思い出となっております。

高校生活での最後の県大会となった、県選手権では、

4種目での総合優勝をすることもできました。

日々の練習や合宿などはつらいものでしたが、集団での生活、大会や合宿の遠征など、競技以外での場面も含めて、スケートを通して学んできた事が、現在にも大いに活かされていることを実感しております。

高校・大学と進学してくる中で、競技をやめることを考えたこともありました。大学卒業までやり切ったことにも、とても大きな意味があったと感じます。単なる競技だけでなく、スケートを通じた活動のすべてがとても良い経験であり、人生の基盤となっております。



スケートと私

(公財) 群馬県スポーツ協会
千葉 捺美



私が本格的にスピードスケートを始めたのは、小学3年生のときです。ローラースケートをやっていたことをキッカケにスピードスケートの世界に飛び込むことになりました。スピードスケートは摩擦で滑っているため、足を止めるとすぐに減速してしまい、ローラースケートより難しい競技だと感じていました。初めは上手く滑ることができず、記録も出ず悔しい思いをしましたが、小学3年生の小学生総体でC級をとることが出来て、スケートの楽しさを知りそこからどんどんスケートにのめり込んでいきました。

それから、伊香保リンクに通い始めて10年以上経ちますが、スケートを通して様々なことを学んできました。

まず1つ目ですが、できないこと（不得意なこと）を諦めず最後まで取り組むということです。人間誰しも得意・不得意なことがあります。不得意なことに目を向けて取り組むことは苦しいと思います。ですが、スポーツだけでなく何かを改善したいと思ったとき、そこに目を向けなければ今の自分を越えることは難しいです。スケートで言えば、体力・筋力が優れていても技術が向上しなければある程度のところで記録が伸びなくなります。技術を改善させることは難しいことですが、主観的感覚と客観的感覚のズレを少しずつ埋めていくことが、技術向上の近道だと思っています。できないことができるようになれば必ず結果はついてくると私は思っているので、できないことに目を向けてできるようになるまでやるようにしています。

次に2つ目ですが、感謝の気持ちを忘れないということです。私は小学生～高校生の間、両親に伊勢崎から伊香保リンクまでほぼ毎日送迎してもらっていました。その送迎がなければ練習することはできなかった。その送迎がなければ練習することはできなかった。文句一つ言わず送迎をしてくれた両親には感謝しています。また、県内問わず数々の大会が開催されていますが、大会を開催するには各県のスケート連盟やリンク関係者等の方々の協力があり大会が行われているので、何不自由なくレースに参加できていることに感謝しています。

上記2つのことをあげましたが、他にもたくさんのことを学んできました。スケートという競技を選んだからこそ出会えた友達（ライバル）がたくさんいて、良い刺激を受けていました。群馬で1番でも全国に行けば更に上の選手がいて、シーズンオフは全国のライバルを意識しながら練習に取り組んでいました。

スケートを続けて約15年経ちますが、今でもスケートが好きで社会人2年目になっても続けています。後世を育てようと指導者になる道も考えましたが、まだ競技人生においてやり残したことがたくさんあると思ったため、競技続行を決断しました。言葉では伝えられないことを私が滑ることで後輩たちが何かを学び

感じ取ってくれればと思っています。

永い間、群馬県スケート連盟や伊香保リンク、役員の方々にお世話になった分、身体が動くうちは現役を続行し、スケートを通して恩返しをしたいと思っています。また、引退後は全国や世界で戦える選手育成に努め、「スケート王国群馬」復活を目指し、スケートに携わっていきたくと思っています。

また、理学療法士の資格を活かし、障害予防とコンディショニングをしながら選手育成をしたいと考えています。



(黒) 千葉捺美

日本中学新記録達成

嬭恋中学校教諭
山越 竜輔



男子2×500m 日本中学記録 75.99 (37.93-38.06)
日本記録を樹立したのは、平成15年11月27日(木)の長野県松本市で行われた、第34回浅間選抜競技会であった。W杯前半戦の代表選考会にもなっていた主要大会だった。当時、全日本の大会では500mを2本滑った合計タイムで争われることが主流であった。

中学生男子で全日本の権利を持っているのは私ただ一人。選手控室の奥には清水宏保(NEC)、加藤条治(三協精機)など、当時日本スケート界のトップに君臨していた選手たちがオーラを放っていた。私は、そ

の選手たちの控室に居場所はなく、入口のドアのところに体育座りほどのスペースに毛布を敷いた。それを見ていた、清水選手が「中学生名前はなんて言うの?ここ使いなよ。」と隣を空けてくれた。実業団や大学生や高校生の間を抜け、隣に毛布を敷かせてもらった。そんなやり取りをして少し気持ちに余裕ができた。全日本の大会出場4大会目で初めて記憶に残るレースをすることができ、「将来この人とレースをしたい」と思えた瞬間であった。(大学1年の浅間選抜で同走)

それまで参加した盛岡選抜・全日本距離別・真駒内選抜は、過度の緊張でうっすらとしか覚えていない。

500m1本目は、インスタート独走。100m通過10.16で少し上体は浮いたものの初めての37秒台を出すことができた。

500m2本目は、アウトスタート。100m通過10.07で最終コーナーはバランスを崩し転びそうになったが、どうにかゴールできたレースだった。2本そろえる難しさもこのレースで経験した。

100mについては、シーズン初めから顧問の土屋学先生とスタートに力を入れて改良し、平均10.1と安定するようになり、練習した成果が結果として表れた。

この結果が日本中学新だということも宿舎に向かう帰りの車の中で先生に知らされた。その時は実感がなかったが、後に境勇也選手(世界Jr500m優勝)の記録を抜いたと聞き、印象的であり、ようやく実感することができた。

(右:上毛新聞)



そして、そこから精神的苦労の連続であった。全国中学校大会に向けて、新聞記者には「優勝します。」としか言えない環境の中、全中開会式では、上毛・デイリー・中日・読売・毎日・朝日・産経・道新など約10社の新聞記者に囲み取材を受けたことを今でも覚えている。プレッシャーを肌で実感させられたのは、これが初めてだった。そこから先は、全中のスタートライ

ンにどのように立ったのか覚えていない。今思うと貴重な経験ができたと思う。そんなプレッシャーの中の地元全中の結果は、500m2位・1000m3位であった。

(2/10 の上毛新聞には、500m 表彰式・2/11 は、1000m の残念。全中3位が残念と掲載された中学生は、



他競技でもいなかったと思う。)それからは県外高校からの誘いもあり、進学するか悩んだが地元で恩返しをしたいという考えから、嬭恋高校、専修大学とスケート選手として小学校3年生から14年間「感謝」の気持ちを大切にやってきたつもりである。スケートをやってきて誇れるものは、中学校2年生で全日本選抜権を獲得してから、現役終了まで一度も権利を落とさずに現役を終えたことである。

今現在は、指導者という立場で群馬県や嬭恋・長野原などに関わらせてもらっている。そこでも大切にしているのは「感謝」の気持ちである。私とその言葉で育ってきたように、子どもたちには競技の結果を追い求めるだけでなく、指導者や地域の人々、送迎してくれる保護者など様々な人がいてこそスケートができているのだということを伝えていきたい。「感謝」の気持ちこそが群馬県スケート王国発展を支えるはずだ。

地元国体選手宣誓

渋川特別支援学校
小川 賛菜



兄の背中を追いかけて始めたスケート。両親が全力で応援してくれたスケート。そして、私を成長させてくれたスケート。私は、スケートによって生かされ、



今がある。

小学生の頃は、一位になることや記録が伸びることに喜びを感じ、とにかく楽しかった。中学生以降は全国の舞台では全く歯が立たない現実と向き合うこととなり自信を失い、さらには仲間が一人減り二人減り寂しさを感じていた。自分に限界を感じ、努力しきれないことで自己嫌悪に陥った。続けることも苦、辞めることも苦であり、思い悩んだ時間も多かった。しかし、多くの人に応援していただき、努力が結果に結びつくことの楽しさを求め、偉大なる先輩方を追いかけて続けた。佐田建設の選手、大学生選手、嬭恋高校の選手の背中を見て育った。スケートを続けたことで、様々な経験を積むことができ、多くの人との出会いもあった。その一つが国体での選手宣誓である。地元国体前に就職に向けて引退したが、教員採用試験合格後、選手に復帰した。スケートクラブの子どもたちと一緒に過ごすことでスケートの楽しさを思い出したことも大きく影響した。そして選手宣誓の話ももらった。過去に地元国体で選手宣誓をした方々は全国でも大活躍されており、自分には荷が重いと感じていたが、地元群馬県に恩返しをするという使命感に突き動かされた。選手宣誓文は群馬らしさを表現できるよう考えた。そして感謝の気持ちを込めて選手宣誓を行った。リハーサルという裏舞台も目の当たりにしたことは、何かの運命だったのかもしれない。7年後の70回国体の際には、国体推進室の一員として、運営に携わることとなった。大会開催のために多くの人の尽力があることを知り、選手強化の難しさも痛感した。その経験があり、選手が伸び伸びスケートに打ち込める環境を作るためにできることをやろうと思うようになり、県内大会の運営

等にかかわるようになった。マイナースポーツ特有の困難さが多々あるが、スケートを頑張りたいという子どもたちを可能な限り応援していきたいと思う。

スケートから学んだ経験

を次世代へ

県立渋川特別支援学校

石関 祐樹



50周年誌発刊の際には中学生だった私が、20年の時を経て今度は指導者となり再び寄稿させていただくこととなった。私のスケート選手としての現役生活を振り返ると、目指していた目標には届かず、心の底から満足するものではなかった。しかし、それでもスケートに真剣に向き合い、夢中になって取り組んできたことは、私にとって大きな財産である。そして、この20年、常にスケートに関わることができたことを大変幸せだと感じている。

50周年誌以降のことを振り返ってみたい。高校2年時に県の強化合宿として強豪国の韓国での合宿に参加させていただく機会があった。この経験はその後の競技生活に大きな影響を与えてくれた。練習に参加させていただいたチームの中に、その後のオリンピックで多くの金メダルを獲得した安賢洙選手がいたのだ。安選手はもちろんのこと、小学生と思われる小さな子供達も驚くほど速く、ついていくことすらできなかった。韓国選手のレベルの高さや練習量の多さにも圧倒されるとともに、自分自身に対する不甲斐なさを強く感じたことを今でも覚えている。そこで、帰国してからはより真剣に競技に取り組んだ。その甲斐あってか、このシーズンは世界ジュニア出場まであと一步というところまで迫ることができた。高校3年時には、ショートトラック競技が国体の正式種目となってから初めての地元開催だった。そして、この大会において1000mで優勝することができた。この優勝は、私自身の最高のレースの中の一つとして鮮明に覚えている。

大学に進学すると、周囲の高いレベルの選手から刺激を受けながら競技に打ち込むことができた。大学1年時には、アジア選手権に出場することができ、夢だった日本代表のユニフォームに袖を通すことができた。このことは私の競技人生において最も大きな喜びであった。その後、競技力向上を目指し、大学2年時にはカナダへ、大学3年時には再び韓国へそれぞれ2ヶ月弱トレーニングに出向いた。海外のチームの練習に参加することで、多くの学びがあり、スケートに対する考え方を深めることができたと感じている。

現在は、現役時代から常に指導していただいている大川好和先生のもと、県内のショートトラック選手の指導を行なっている。今後、スケートに関わる子供たちのために力を尽くすことで、今まで支えてくださった方々や、私の人生に大きな影響を与えてくれたスケートに少しでも貢献できたらと思っている。最後に、群馬県のスケート競技を支えてくださっている全ての方に感謝するとともに、今後の群馬県のスケート競技がより一層発展することを切に願っている。

ありがとう、スケート

J Aつまごい村

黒岩 信允



私がスケート競技を始めたのは小学3年生の時。兄弟が競技をやっていたり、学校の授業で滑ったりと、私は自然と「スケート」に触れる環境にありました。そして、その中で「スケートって楽しいな」と単純に思ったことが競技を始めた一番のきっかけでした。それから大学、社会人2年を含む24歳までの16年間競技を続けてきました。ただ好きで始めた「スケート」を通して、努力の大切さを実感したり、勝利の喜びも、時には敗北の悔しさも味わったりと様々な経験の舞台となっていきました。燃えるような情熱をスケートにぶつけた青春であり、私自身「スケート」を通して成



長していきま
した。現在、現役
を退いて7年と
なりますが、あ
れだけの情熱を
費やすことで
きる事に会っ
たことはとても
幸せなことであ
り、その日々は

私の宝であると心底思います。

競技成績としては、全中入賞から始まり、インターハイ優勝、国内大会優勝、国際大会ではユニバーシ

アード4位入賞などの成績を残す事が出来ました。全くの平凡な少年であった私がこれだけの結果を残すことができたのは、ひとえに指導者、目標の選手、仲間、ライバル・・・沢山の「人」との出会いがあったからこそその事です。それ以前に、ここまで競技生活を続けられたのは、両親はもとより沢山の方々の支援があったの事でした。感謝してもしきれません。そんな感謝しかないスケート人生ですが、私の「妻」までもスケートが縁で知り合ったということは言うまでもありません。

群馬県スケート連盟創立70周年おめでとうございます。今後の発展を祈念するとともに、微力ではありますが私も尽力させていただきたいと思っております。

スケート競技と私

山中 麻衣(旧姓宮崎)



「スケート」という競技が、私という一人の人間の人生を豊かにしてくれた。

私がスケートをはじめたきっかけは、素晴らしい環境がある嬭恋村という地域に生まれたこと。そしてスケートに熱心に取り組む多くの仲間や地域の人が、ご

く自然に自分の周りにいたことが原点だ。

小学生の頃、学校の裏や青葉湖のリンクで友達と遊びながら滑るのがとにかく楽しかった。だが、3年生の校内スケート大会でこれまで感じる事のなかったある気持ちが私の中で湧いてきた。それは仲のよい友達にレースで負けて「うわー、悔しい」という感情だった。そこで私は初めて「スケート部に入ってもっと速く滑りたい」という目標を持った。その翌年からスケート部に入部し、初めての経験をたくさん積みかせてもらった。夏の練習では学校以外の場所でローラースケートを滑ったり、中学生・高校生と合同の夏季合宿に参加したりと自分の活動場所が大きく広がり、新しい出会いが一気に増えた。

特に思い出に残っているのは夏季合宿だ。家族と離れて寝泊りをするというだけでもドキドキだった当時の自分を、中学生や高校生のお兄さん・お姉さんが生活の面でも、練習の面でもとても親切に引っ張ってくれて、楽しい思い出しか思い浮かんでこないほどである。そして冬になると、そこでお世話になったお兄さん・お姉さんに青葉湖のリンクで会えるということがまた嬉しかった。嬭恋のスケートの基礎はこの縦の繋がりにあるのではないかと思う。憧れを抱ける先輩方がすぐそこにいる。そしてその先輩方が活躍する生の姿を見て、私は「自分も世界の舞台で活躍する選手になる」という具体的な目標を持つようになった。

幸いなことに私はその目標に向かって中学、高校、大学、そして社会人までスケート競技に打ち込むことができた。スケート競技はいかに速く滑るか、自分自身のタイムをどれだけ縮めていけるかを追求する非常にシンプルな競技である。それは心技体の成長なくして成し得ることができないということ、身を持って感じた競技人生でもあった。全国や世界の舞台で得られた特別な喜びや達成感、試行錯誤する面白さ。反対に、うまくいかないもどかしさや悔しさ。これは本気で取り組んだからこそ得られた自分の財産であると思っている。スケートを通して多くの人と出会い、感謝することの意義を知ることができた。競技を追求する中で思考・判断・決断・実行を繰り返し、自分と向き合うことができた。もちろん楽しいことばかりではなか

ったが、スケートをやっていなければここまで豊かな人生を送ることはできなかつたろう。これまでのスケート人生を自分の芯として、これからも歩んでいきたい。

スケートと私



佐々木 美生 (旧姓黒岩)

小学校3年生のとき兄の影響ではじめたスピードスケートは、滑れば滑るほど面白くなり、気が付けば無我夢中で滑っていたことを思い出します。

小学校3年生から挑戦し続けた18年間は、たくさんの人と出会い、支えられ、様々なことを経験することができました。しかし、嬉しいことばかりではなく、もがき苦しむことの方が多かったように感じます。そんな中でも、いつも味方で、側で支えてくれた家族をはじめ、多くの方々からの応援が力となりました。引退するときには、スケート人生を悔いなく終えることができたことにとても感謝しています。また、スケートを通して、結果以上に学ぶことや得ることの方が多く、人としてどうあるべきか考えさせられる時間でもありました。スケートをしていなければ今の自分はいないと言ってもおかしくないほど、私の人生に大きな影響をあたえてくれたと思っています。

お世話になった方から、「スケート選手として、一人の人として愛され応援される人になれ」と、言われたことがあります。その言葉は選手のときはもちろん、今でも私の心の支えとなり、自分を見つめ直すきっかけとなっています。これからもこの言葉を胸に刻み、スケートを通して学んだことや得たことを活かしながら、私が選手時代にたくさんの人から支えていただいたように、今度は私が誰かを支えてあげられるように頑張りたいと思います。

群馬県でスケートができて本当に幸せだったと心から思っています。

スケート競技と私



市場 菜々世

私がスケート部に入ったのは、小学4年の時だ。小さい時からみんなが当たり前前にスケートをやっている環境。遊び感覚でやっている中、校内スケート大会で毎年入賞できず、芽生えた悔しいという感情。

「よし、スケート部に入ろう。」

小学校の県大会では、同学年に同じぐらいの力を持つ仲間が何人かおり、毎回誰が勝つか分からない戦い。勝った時の嬉しさ、負けた時の悔しさを味わい、どんどんスケートにのめり込んでいった。

中学、高校と本格的にやればやるほど楽しいことばかりではなかったけれど、同じ志を持つ仲間と切磋琢磨しながら乗り越えてくることができた。

他の競技をしていたら、立つことができなかつたかもしれない全国の舞台に立たせてもらい、全国の高い壁を味わい、また新たな目標にむかって日々努力する。0.1秒でも速くなるために。

スケートと共に歩んできた9年間で学んだこと、貴重な経験、出会った仲間は私にとって大きな財産だ。

スケートで培った精神力と体力は社会人になった今でも役にたっている。私を成長させてくれた競技人生に感謝の気持ちでいっぱいだ。

世界ジュニアに参加して



高崎健康福祉大学
樋 沙織

世界ジュニアに出場した時のことは、今でもよく覚えています。その時の経験は、様々な思いとともに、

今でも大切なことを私に思い出させてくれます。

私が初めて世界ジュニア選手権に出場したのは、婦恋高校2年の冬でした。選考会として同会場で行われた全日本ジュニアでは、まさか世界大会の切符をつかめるとは思っていませんでした。そんな中、本番では会場の雰囲気や初めて戦う海外選手に圧倒され、自分のベストを尽くすことができませんでした。その時の悔しさや情けなさは、今もよく覚えています。

それから、高校3年時には再び世界ジュニアの舞台上で、ベストを尽くせるよう一年間頑張りました。そのシーズンでは、ジュニアワールドカップの連戦を経て、自分の全てをぶつけ力を出し切ることができました。更に、同大会でのチームパシュートでは優勝することもできました。その時私は、世界の舞台上で表彰台に立ったことが嬉しかった半面、同年代のジュニア選手との力差に再び悔しさを感じていました。その経験から、更に自分を高めていきたいという思いが大きくなっていきました。それは、高校卒業後の進路にも大きく影響しました。

また、この経験から学んだことは今も私の支えとなっています。3年時の世界ジュニアでは、それまでの不調を先生方や多くのスタッフに支えられ乗り越えていきました。もちろん家族や友達の応援も心の支えとなり、優勝という形で高校最後の大会を終えることができたのです。改めて、自分の周りの方々や環境に感謝の気持ちが溢れてきました。この経験からは、これまでの人や物事の出会いから今の自分ができているという事を実感し、「どんな時も感謝を忘れない」ことの大切さを学びました。

感謝は当たり前のことでも、一番大切なことである



のはこれからも変わりません。これまでの出会いに感謝し、そしてこれからの出会いも大切に、自身の道を歩んでいきたいです。

スケート競技と私

黒岩 宗一郎



私は3歳からスケートを始め、10歳から25歳まで約16年間競技生活を送りました。競技を始めた頃から小柄で大学に進学するまでは女子選手に勝てないような私でした。辛く悔しい思い出しかありませんが、自分自身の記録更新を楽しみに、またスケートを通じて出来た仲間と切磋琢磨出来ることが楽しかったため、競技を続けていました。しかし、中高時代はしばらく補欠要員が続き、高3時にインターハイ、国体に出場する事が出来るようになるまでは卒業と同時にスケートも辞めようと考えていました。

監督コーチの熱心な指導のおかげで大学でも競技を続行し、進学後は選抜権を取得できました。ジャパンカップなどで表彰台も経験させていただきました。これらの成績は今までの自分には想像出来ないような成績でした。その中でも私のスケート人生で唯一記憶に残っているレースが、大学4年のインカレ10000mです。レース前の緊張感、レース中の状況、声援、すべて覚えています。なぜなら中高時代に僕が出場する



事すら出来なかった大会で表彰台に立っていた人達に勝つことが出来た瞬間だった為で、大変嬉しかった事を覚えています。

最後まで目立った成績を残すことは出来ませんでした。気付けば学生卒業後も3年間競技をさせていただきました。全日本のレースで戦えるまでに育てて下さった群馬県の監督コーチ、関係者の方々には大変感謝しております。ありがとうございました。

スケート選手として

阿部 友香



私は幼少から、野球、スケート、陸上と様々なスポーツに挑戦してきましたが、その中でスケートは自分の最も不得意で嫌いなスポーツでした。それでもなぜ辞めずに現在も続けているのか、自分のことなのにずっとわからないでいました。憧れの選手がいる訳でもなく、目標すらありませんでした。私の母は元スケート選手で全日本チャンピオンにもなった選手でした。母は「始めたからには中途半端にやるな、最後までやりきれ」。スケートを辞めたいと言う私にいつも言っていました。やらされているという気持ちがいいつも心の中にあり、反発する時期もありました。頑張っってやってはいましたが目標がない私には当然結果が付いてくることもありませんでした。そんな中、大学進学が決まり、内心スケートは辞めたかったし、道外に出るのは抵抗しかありませんでした。たくさんの不安を抱え入学したのは高崎健康福祉大学。そこで入澤孝一監督に出会いました。入澤監督は私に自信と目標を持たせてくれました。その途端、今までとは違った感情が私を奮い立たせてくれました。スケートって楽しい！もっともっと速くなりたい！こんな気持ちは初めてでした。社会人になりその気持ちは更に強くなり、私も世界で戦いたい！と思うようになりました。負ければさぐく悔しいし、チームでは一番、日本で一番と目標も



高くなり、自分の負けず嫌いがここまで私を成長させてくれたのだと思いました。社会人4年目にして初のワールドカップの代表に選出されることが出来ました。目標のひとつであった事が達成できたのは嬉しかったのですが、結果に満足出来ず苦い思い出になりました。

現在の目標は北京オリンピックで活躍する事です。今しか出来ないスケートの楽しさを教えてくれた母、入澤監督、羽田監督には感謝してもしきれません。あの時スケートを辞めなくてよかったと心から思います。スケートを通じて感じたこと、学んだことは私の人生の財産です。

スケートの思い出

日本大学

小林 裕司



70周年おめでとうございます。

私はスケートの思い出と言われるとまず思い浮かぶのが合宿です。

厳しい合宿も多かったですが、スケートで多くの友達や仲のいい先輩後輩ができたなと思います。特に高校生の時は夏の帯広合宿や冬は遠征など多くの合宿があったなと思います。みんなと一緒にいる時間が長い分多くのことを相談したり、スケートのこと以外でも色々な経験ができたと思います。大学を卒業した今でも付き合いのある先輩や、いつも遊びに行く友達など



その多くがスケートで共に練習をした人であるという事がスケートをやってきて良かったなと特に強く思います。

競技の面で思い出に残っている大会といえば高校三年生の時にあったぐま冬国体です。前年の日光国体で優勝したこともあってかなり注目やプレッシャーのある大会だったことを覚えています。また、その年の春からみんなで地元国体で活躍するということが合言葉になるくらい意識して望んだ大会でした。結果は500mで3位、リレーでは2位に入ることが出来ました。総合的な得点としては低かったかもしれないもののリレーで2位に入れた感動と、みんなで目標にしてきた大会で表彰台に立てたことが、いまだに思い出として強く残っています。

スケートという競技を通して多くのことを学び、普通の人ではあまり経験できないような経験を多くすることが出来ました。これからも群馬県のスケートが、さらに活気ある競技となっていくように私も微力ながら貢献できていければと思います。群馬県でスケートができたことに感謝しかありません。またこれからも宜しくお願いします。

スケート競技と私

太田支部
西村 清人



私は山口県出身で、20歳までスケートを滑ったことはありませんでした。就職先の職場に狩野さんがいて私たち職場のみんなに教えてくれました。今考えると都市対抗要員を育てる為だったように思えます。

その後、都市対抗に出場することとなり、現在までスケートを続けています。最初に出た1500mでは、スターターに「手を付いていいですよ。」と言われ、又、ゴールするまで2、3回転倒し、タイムは4分30秒位だったような気がします。それから毎年出場するようになりました。

太田支部の都市対抗成績は、平成19年度に優勝をすることが出来ました。また、ここ何年かは、3位をキープすることが出来、2位になることを目指しています。太田支部には、特に速い選手はいませんが、各種目に出場しフルエントリーを目指して人選を行い、また、速くても遅くても多くの選手が出られるように1人1種目とし、みんなで協力をしあっています。

また、太田支部は、スケートリンクの無い支部です。その為、部員の勧誘が非常に厳しいです。太田運動公園で、ローラー教室、桐生スケートセンターで、スケート教室を開催し、部員の勧誘を行ってきました。その中に、オリンピック選手となった、坂爪選手もいました。当時は5、6名の選手がいて、みんな一生懸命に練習をしていました。ソチ、ピョンチャンオリンピック予選の野辺山大会では、太田市からバスを出してもらい応援に行きました。また、オリンピック本大会での坂爪選手が出場時は、パブリックビューイングを開いてもらい、太田支部員、太田市民で応援をしました。

全国大会に出場する選手は、ここ何年かは出ていませんが、川島選手、山田選手と私は、全日本マスターズ大会に出場しています。川島選手は毎回表彰台に上がっています。また、毎年世界マスターズ大会にも出場をしています。山田選手と私は運が良ければ表彰台に上がることが出来ます。また、多くの部員が全日本マスターズ大会に出場するように誘っています。

今後もスケートの底辺を広げる為にがんばって行きます。

私のスケート人生

～選手から指導者へ～

高崎支部

平野 夏帆



私は少年女子として4回、成年女子として3回、国体に県の代表として出場しました。選手歴は16年、指導者としての今があるのは、フィギュアスケートをしてきた時期が私の人生において特別な環境であり、切り離せないものだったことを意味しているのではないかと。

2015年1月31日。群馬国体をもって現役生活を終えた。選手生活の集大成…全てをかけて望んだ結果、ショート通過！図らずもフリー進出することができました。私にとって最後の国体は特別なものだった。16年間で一番楽しめた試合だったかもしれない。最後に最高の舞台を用意してもらえた気がしました。関わったインストラクター、スケート連盟フィギュア部役員の皆さん、群馬県の役員さんがリンクサイドに集結し、ハイタッチしながら私を盛大に送り出してくれました。とても嬉しかったです。競技の内容も悔いの無いものでした。

競技が終了し、出迎えてくれた関係者の方々を見たとき、私がこの舞台に立つ為に、数え切れない方のサポートがあったことを改めて感じました。感謝しかありませんでした。

フィギュアスケートは、決して自分に向いていたスポーツとは言えないけれど、家族や周囲の方々に恵まれていたからこそその充実した16年だと思います。この経験を生かし、今までお世話になった方へ恩返しのもりで指導にも携わるようになりました。指導者としての成長の過程の途中ですが、私なりの経験を生かした指導が、未来のスケーターに引き継がれるよう、尽力したい。フィギュアスケートは、氷にのる時間が直接成長に繋がるスポーツです、選手時代はリンクを求めて遠くのリンクまで通いました、是非とも通年リンクを群馬県にという思いがあります。私が指導者でい

る間に実現して欲しい願いです。

フィギュアスケートを

メジャースポーツに

高崎支部

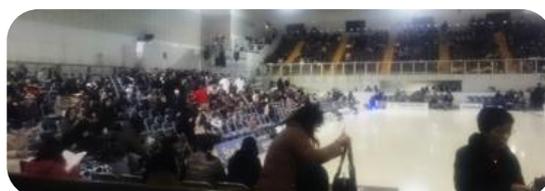
車崎 芽生



私がフィギュアスケートに憧れを抱いたのは幼い頃。姉と滑った日々が懐かしいです。今でも競技生活をしていますが、シングルスケーターとシンクロチームの一員としてのチームスケーターの二足のわらじを履いています。フィギュアスケートが大好きだから、まだ滑っていたいという思いがあります。

群馬県から国体選手として少年で2回、成年で3回出場しました。国体独特のルールがあり、2人1組で戦うところ。一人がいい成績でも、もう一人が下位だと成績は残せない。大変でもあり、醍醐味でもありました。相方の為、群馬県の為、応援してくれている皆の為という気持ちで臨んだ演技は素晴らしいものになることを私は知っています。県の代表として出場することでスケートに向かう気持ちが演技に大きく影響することに気づきました。私の滑りをみて誰か一人でも“がんばろう”と思ってくれる選手が育つよう、見本となるような存在でありたい。引退後は経験を生かした指導に就きたいと考えております。

今はまだ現役、群馬県の選手の刺激になるようなスケーターを目指し、日々練習しています。群馬県を離れて思うのですが、通年リンクが無いと練習環境の確保が難しい競技なので、未来の選手達には近くに練習拠点を作ってあげたいと感じています。群馬県でもフィギュアスケートをメジャースポーツにすることが私の願いです。 (浅田真央サンクスツアー)



私の抱負

桐生支部

星野 真璃



私は今までスケートの大会で、上手に表現することができず、恥ずかしい気持ちの方が勝って、あまり表現することができていませんでした。フィギュアスケートは、ジャンプやスピン、ステップなど技術的要素と表現などの芸術的要素が組み合わさって人々を感動させることができる競技だと思うので、今後は観ている人達を笑顔にできるような演技をしていきたいと思っています。

今年は中学校に進学したので、勉強とスケートを両立させて自分自身を高めていきたいです。両方を頑張ることは難しいと思います。勉強も一生懸命、スケートも一生懸命頑張ることが私の抱負です。

スケートの練習の送迎を家族がしてくれ、お母さんは仕事をしながら送迎をしてくれます。家族への感謝の気持ちを忘れずに、スケートと向き合い、上手になれるよう、たくさん練習します。

2019年度全国中学校スケート競技会の出場がかかってくるので、群馬県代表として出場できるように、今日より明日・・・毎日の積み重ねを継続し、頑張っていきたいと思っています。

私の目標

桐生支部

星野 有璃



私の目標は浅田真央ちゃんです。真央ちゃんのように世界で活躍できるトップ選手になることです。スケートを始めた頃は、難しくて先生の見本のようにできなくて休んでしまうこともあったけれど、今は

スケートが楽しいし、真央ちゃんの様になりたいので頑張っていきたいと思います。

2019年度は全国有望新人発掘合宿（野辺山合宿）に参加できるよう、しっかり練習したいです。

関東地区予選を通過するためには、たくさん練習することだと思います。

群馬県に1年中滑れるリンクを作ってください。私の目標のためには必要だから。

スケートと僕

伊勢崎支部

佐々木 陽人



フュギュアスケートを始めたきっかけは、お母さんにスケートに連れて行ってもらったことです。初めてスケートを滑ったときは、緊張しました。でも、楽しくてわくわくもしました。

そのあと、スケート教室に2シーズン通いました。その時、先生として教えてくれたお姉さんの大会を見に行きました。とても上手でした。自分もやりたいと思ってクラブに入りました。今、頑張っていることはダブルループジャンプです。小学校6年生までにはトリプルジャンプが飛べるようになりたいです。

僕は埼玉県まで練習に通っています。スケートが上手になる為には1年中やっているスケートリンクへ行かなければならないからです。群馬県にも1年中やっているリンクができると良いです。



2019.4.25 日本スケート連盟 90周年
トークショーで語る紀平選手と新濱選手

スケート競技と私

渋川女子高校
大崎 有紗



初めてスケート靴を履いた小学校2年生の冬。滑ることが楽しくて、記録が出るのが嬉しくて、スピードスケートという競技に惹きこまれていきました。そして今年でスピードスケートを初めて10年となります。数多く出場してきた大会の中で国民体育大会は私にとって嬉しさも悔しさも経験した思い入れの深い大会です。

初めて出場した1年生。憧れていた大会に出場できる喜びと、群馬県の得点に貢献しなくてはという緊張を抱えながらスタートラインに立ちました。結果は個人種目500m、1000m共に予選落ち。気持ちを切り替え挑んだ2000mリレーでも私のミスで失格という結果に終わってしまいました。申し訳なさや悔しさで涙が止まりませんでした。

雪辱を果たすため挑んだ2年生。予選、準決勝へと駒を進め、格上の選手が揃うなかB決勝に出場し500mで7位、2000mリレーでも4位入賞を果たしました。国体の賞状はとても大きく、表彰式では嬉しさでいっぱいでした。



そして、少年の部最後の3年生。受験のため例年と比べて練習量が半分以下だったこともあり、不安な気持ちが多くありました。ですがそれが、スケート自体を楽しむ良いきっかけにもなったと思います。挑戦者として1レース、1レース、楽しく滑ることができま

した。思うようなスタートが決まらず、後方からのレース展開となってしまいましたが、なんとか順位を上げ、6位入賞を果たすことができました。この結果には自分でも驚きましたが、運良くも入賞することができ、安心しました。また2000mリレーでは、今まで共にスケートを頑張ってきた仲間たちと5位に入賞することができました。

思うように記録が出ず悩んだこと、大好きなスケートを嫌いになってしまったこともありましたが、頑張ってきてよかったと感じさせてくれた、自分に自信を持たせてくれた、それがスピードスケートです。スケートを通して得たたくさんの経験や多くの方との出会いは私の大切な宝物です。温かい多くの方々に囲まれ、スケートを続けることができるという感謝の気持ちを忘れず、これからも精進していきます。

ショート選手として

前橋市立前橋高等学校
栢瀬 ななみ



今年の釧路国体でずっと目標にしていた入賞をすること、そして初の表彰台に上ることができました。とても嬉しかったです。

今年は大学受験のためシーズンに入ってから練習不足で不安な点もありましたが、少年カテゴリー最後の年で絶対に入賞すると強く思っていたので、夏場の陸トレや、体のケアも頑張ってきました。スケートにおいて冬場はもちろんのこと、夏場のトレーニングがとても重要だと思います。ほとんど滑れないシーズンオフでも、体力・筋力を落とさずさらにパワーアップできます。受験期であまり練習できていなかった中でも入賞できたのは、夏のトレーニングで身につけたものがあってからだだと思います。勉強とスケートの両立は思っていた以上に大変ではありましたが、監督・コーチ、両親や仲間がいたおかげで何とか乗り越えることができました。

小3でスケートを始め、氷上に1人で立っていることもできない私を優しく、あたたかく迎え入れて、今まで指導してくださった監督・コーチ、そしていつも応援してくれている両親に感謝の気持ちでいっぱいです。

国体の決勝レース直後に「おめでとう」と一番にかけてくれた妹は自分のことのように喜んでくれました。また、監督・コーチ、両親、仲間、学校の先生などたくさんの人が喜ぶ姿を見て、頑張ってきたよかったですと思いました。

大学生になっても群馬でスケートを続けていきます。来年は姉妹で国体入賞を目標に日々のトレーニングを頑張っていきたいと思います。

スケート競技とわたし

吾妻中央高校
大川 夏美



私がスケートを始めたのは、小学校2年の時です。ショートトラックを中心にスピードにも取り組んでいます。ショートトラックの練習は、前橋や高崎、伊香保で行っていますが、夏場はリンクがありません。そこで長野県の野辺山で氷上合宿を行っています。チームのメンバーは、小学生から高校生まで幅広い年代の人たちがいてそれぞれ役割があります。年の小さい選手は、食事の準備や後片付け、大きい選手は生活の面倒やスケーティングのアドバイスなどをしてくれます。「チームで力を高め合おう」を合い言葉にみんなで協力して頑張ってきました。家から前橋アリーナに通うのは大変ですが、毎回父に連れて行ってもらいました。中学時代は目標だった全中入賞を3年の時に達成することができました。ショートトラックでは小中学生の時にノービスで入賞することができました。これまで頑張ってきた甲斐があったと思っています。高校生になり、国体のリレーで連続入賞することができました。練習時間は少なかったですが、チームが一丸にな



る大切さを学んだ気がします。でもずっと順調にスケートをしたわけではありません。夏に膝の手術をしてしばらく練習のできない日が続きました。練習を再開できてからも上手くないことが多々ありました。それでもチームメイトからの励ましやコーチからのアドバイスそして家族の支えによって乗り切ることができました。この経験を通し私がこうしてスケートができているのは色々な人からの支えがあってこそだと改めて感じました。本当に感謝しています。これからは感謝の気持ちを結果で返せるように今まで以上に練習に励んでいきたいと思っています。

スケート競技と私

利根実業高校
内田 奈々美



私が、スケートに出会ったのは小学校一年生の時です。最初の頃は大会に出てもなかなか活躍できませんでした。でも、だんだん入賞したり、メダルをもらえるようになりました。高校一年生では国体のリレーメンバーに選ばれ、五位に入賞することができました。

「ここまでこれたのは、たくさんの人の支えや応援があったからです。特に指導してくださっている小松先生にはとても感謝しています。「やめたい」、「もうやだ。」と思ったことは何回もありました。でも、そんな時に一緒に頑張ってきた仲間や先生がいたから今で



も続けられています。

スケートをやっていて、あきらめてはいけないこと、絶対に自分を支えてくれている人がいるということなど、たくさんのことを学ぶことができました。数秒を争うスケートだからこそ最後まであきらめてはいけないということの大切さを知ることができました。

スケートに出会っていなかったら今の自分はいないと思います。

これからも頑張ります。国体やインターハイでの入賞を目標に体力や筋力をつけ、挑戦し続けていきます。

スケートと僕

桐生スケートクラブ
青木 龍之介



僕は小学校四年生からスケートを始めました。そして、小学校六年生の頃からショートトラックを始めました。

ショートでは、夏の陸トレから氷上練習にかけてとてもがんばりました。ですが、中学校一年生のときに氷上練習で転倒してしまい筋肉をエッジで切って三十針もぬうケガをしてしまいました。氷の上が血だらけで血だまりになっているところもありました。その時コーチは「切り口がざくろのようだった」と言っていました。そして、

周りの人はもうスケートをやめるだろうと思っていました。ですが、僕はスケートが好きなので、リハビリをがんばり、二ヶ月後に本格的に練習を始めました。陸トレで体力が落ちていると感じたので、ランニングやエルゴの練習をがんばり、元の体力に戻しました。そして、今年のノービスで六位入賞をすることができました。

アウトでは、練習するリンクが伊香保のため、自分が住んでいる場所が桐生なので、毎回練習へ行くのに時間がかかったり、家に帰る時間がおそくなり、寝不足になったり大変でした。ですが、この練習を乗り越え、今年の全中では、1000mで決勝進出、新人戦の500mで優勝することができました。優勝できたのも、親が練習へ送り迎えをしてくれたからだと思います。



これからは、一回の練習を大事にし、さらに上に行けるように努力を続けていきます。

また、いままでの親への感謝の気持ちを結果で返していきたいです。

スケート競技と私

渋川スケート
藤原 明咲



私がスケートを始めたのは、小学校2年生の時です。その頃すぐに、スケートの魅力に気づきました。なぜ

ならスケート靴で滑ることによって普通に歩くのとは違う感覚があってすごいと思ったからです。

そして続けていくうちに記録が伸び、私にとってス



ケートは「なくてはならない存在」になりました。

私は5年生のころショートトラックスピードスケートに出会いました。初めは同級生について行くことが出来ず辛かった時期もありました。しかし、6年生のころ全国大会で5位入賞できたときスピードスケートも楽しいけど、ショートトラックもすごく楽しいと思うようになりました。

ですが、うまくいくときはそう長くは続きません。私が中学1年の冬、右足首を骨折し手術をしなければならぬ大怪我をしました。当然ですがスケートが出来る訳もなく怪我が治るのを待つだけのツライ時間を過ごしていました。

その時に声を掛けてくれたのが私の親です。スケートが続けられるか不安な時に「まずは怪我を治して1からスタートすればいい」という言葉を聞いて前向きになることができ頑張ろうと思いました。

リハビリを続け、その1年後全日本の強化選手になることができました。

私が今、スケートを続けられているのも、頑張っているのも、大好きなもの、あの時優しく声を掛けてくれた親やコーチ、友人がいたからだと思っています。そのために私が出来る事は、今、私を応援して下さっている方々の為に私が良い記録を残し大会で上位になる事だと思っています。

これからも日々の努力を忘れず、七転び八起きという言葉があるようにどんな辛い事があっても努力を重ねていきたいと思っています。

スケート競技と私



伊勢崎市立境南中学校

田野 晴風

私が初めてスケートに出会ったのは小学一年生の時です。それは市の広報で偶然見つけて参加した市主催のスケート体験教室でした。最初は氷の上に立つことが精一杯で、滑ることもままなりません。私は体験教室に通い続ける中で少しずつ滑ることができるようになり、スケートの楽しさや面白さを感じるようになりました。そして、二年生になった時にも体験教室に参加しました。滑れるようになっていた私はスピードスケート用の靴を履いて滑ってみました。その靴を初めて見た時、私の知っている靴よりも刃が長くどのような感じに滑れるのだろうと思いました。いざ滑ってみると、思ったよりもスピードが出て、最初は止まれませんでしたが、そのスピード感が気持ちよく、小学三年生からスケートを習い始めました。

私は習い始めた時からショートトラックとスピードスケートの両方に取り組みました。一周 110mの円を何度も回るショートトラックでは、フォームが高かった私はコーナーをうまく回れないだけでなく、スピードが出れば出るほどコーナーを回ることが困難になり、そのコーナーを回る時の速さに恐怖心さえ感じるようになっていました。一方の一周 400mのスピードスケートでは、ショートトラックよりも円が大きく回りやすいため、恐怖心も薄れ、スピードが出るようになりました。私にはスピードスケートの方が合っている



て、得意とを感じるまでになりました。

私はスケートを通して多くのことを学びました。一つ目は、上下関係やあいさつの大切さです。スピードスケートを始めた頃は上下関係や練習に慣れないことも多く、大変な思いもたくさんしましたが、慣れてくるとスピードスケートが楽しいと感じるまでになりました。練習を重ねると徐々にタイムも縮み始めました。それもスケートの楽しさを増長させてくれました。

しかし、練習しているのになかなかタイムが伸びないスランプに入ってしまった。タイムが縮まない時は、スケートの楽しさを感じられず、辞めたいという思いも抱くようになりました。このスランプから抜け出すために練習を重ねた結果、少しタイムが縮みました。この時、諦めずにスケートを続けてきてよかったと思いました。

二つ目は、体の使い方や体づくりの大切さです。私は中学一年生の時にショートトラックを辞め、本格的にスピードスケートを始めました。変えた直後は、今までの練習と違う内容が増え、ショートトラックのフォームとも変わって大変でした。私はスピードスケートのフォームを習得するため、この二年間努力を重ねてきました。その中で体の使い方やフォームの基礎となる体づくりの大切さを感じました。上記で述べたスケートから学んだことは、日常生活にも活かすことができると思っています。私はこれからもスケートを続け、努力を重ねていきたいと思っています。

スケート競技と私

渋川 SIKSC スケート
小野里 佳悟



私がスケートを始めたのは、当時スケートをしていた1つ上の兄の影響で始めました。小学校低学年のはコマツスポーツクラブに行くと友達に会えるという理由で通っていました。高学年になるとタイム、滑り方のフォームに意識をし始めるようになり、少しでも

速く滑れると嬉しい気持ちになり、スケートをしている時は、嫌な事や出来事が忘れられるくらい夢中になりました。



中学1年生のとき、全国中学校スケート大会に出場しました。結果、予選通過とはなりませんでしたが、その時、2年生になったら決勝に絶対に行くことに決め1年間頑張ろうと決意しました。

毎日の練習を重ねるごとに、タイムが速くなる為にはどんなことをすればよいのか考えるようになり、そしてフォーム、筋肉トレーニングの仕方も見直すようになりました。

2年生になって全国中学校スケート大会に出場しました。500mを滑り予選通過者の名前がボードに表示されると最後の24番目に自分の名前があるのを見たときは、すごく嬉しくて、スケートをしていてよかったと感じました。決勝戦では予選以上の成績が出せるように競技にとにかく集中しました。結果、16位という結果を残せました。

私がいつも滑れるように指導してくれた小松先生、支えてくれた仲間、家族に感謝しています。

私は今中学2年生なので、これからの大会に向けて毎日の練習を頑張りたいです。

いつまでもスケートをしている時は楽しい、夢中になれるという気持ちを心にもって滑り続けていきたいです。

スケート競技と私

大間々中学校
山口 楠生





私がスケートを始めたのは小学2年生の時に友達と一緒にいったスケート教室がきっかけでした。

私が今練習している場所は主に前橋のリンクと

伊香保のリンクです。私は大間々というところに住んでいますがリンクから遠く、前橋のリンクでは片道45分。伊香保のリンクでは片道1時間15分ほどかかり、遅い時間の練習の時は帰宅する時間が22時半をまわることがあり就寝するのが24時近くになってしまいます。正直、翌日の朝はとても大変です。しかし、私は速くなるためになるべく毎回行けるように頑張っています。

また、移動はすべて車で主に母が送迎してくれています。母は仕事から帰ってきて急いでお弁当を作り、練習が終わったらすぐに食事をとれるようにしてくれています。また練習の時間が早い時は母が帰宅しすぐに出ないといけけないので夕飯が作れません。その時は、母にかわって父が夕飯を作って帰宅するのを待っていてくれます。私はそんな両親にとっても感謝しています。

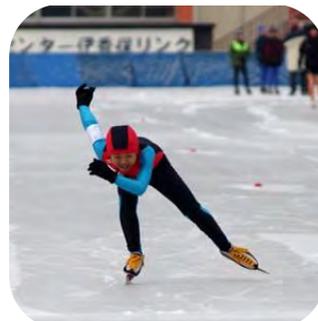
私は来年中学3年生になり受験生になります。勉強とスケートを両立し、スケートでは自己新記録を大幅に更新し全中で決勝進出できるような選手になりたいです。また日々の努力を結果として残し、両親に喜んでもらいたいです。

大好きなスケート

孺恋村立西部小学校
6年 黒岩 秀宇



僕がスケートを始めたのは幼稚園頃で、今までずっと続けてきました。幼稚園の頃は、立つことがようやくできるくらいで、1周か2周、多くても3周しかできず、いつも家で「スケートが速くなりたいな。」と思



っていました。1年生になっても部活に入ることができず、2年生になって初めて大会やバッジテストに出場できるようになりました。でも、いつも他の学校の

子に負けて悔しい思いをしていたので、たくさん練習して、夏には他のサッカーなどのスポーツにも取り組みました。とても辛かったけど、そのお陰で2年生ではE級を取り、3年生になって一人、また一人と抜かせるようになって、だんだん自分に自信が持てるようになりました。それから根気強く練習を続け、5年生ではD級を取ったり、入賞回数もだんだん増えてきました。6年生では、今までの努力が積み重なり、やっとの思いでC級を取ることができました。あの時は、今までのスケート人生で一番思い出として残っています。更にそれをバネに1000mでは2位に、リレーでは3位を取ることができました。初の銀メダルと銅メダルをもらうことができ、「今まで頑張ってきた自分をほめたい。」と思いました。リレーは一人ではできません。4人の力を合わせることで、よりよい滑りにつながります。また、一人一人の意識も高まります。改めてチームプレーの大切さに気付きました。

僕は、仲間や先生、家族のみんなに感謝したいです。それは、いつも辛い時期や苦しい時に「頑張れ」や「大丈夫」などの言葉で僕を支えてくれたからです。また、分からないことがあればアドバイスをしてくれたり、それを教えてくれたりしました。それにスケートのために、大切なお金や時間を使ってくれました。仲間からは、チームの大切さや喜びを教わりました。だから僕はスケートを支えてくれたみんなに感謝して、中学校に行っても続けるスケートにしっかりと生かしていきたいです。そして、小学校よりもいい結果を出し、せめてもの恩返しをして、B級や金メダルを目指して頑張ります。

僕はスケートという好きなものを見つけることができ、それに打ち込めることに喜びを感じます。

スケートと僕

東吾妻クラブ
高橋 亮汰



僕がスケートを始めたのは一年生の時です。僕に通っている坂上小学は、冬の授業でスケートを行うので、もっと上手になりたいと二年生の時に東吾妻スケートクラブに入りました。小学校のリンクはお父さん達が作ってくれた1周125mのリンクなので初めて伊香保のリンクに行ったときは大きくて驚きました。氷もつるつるしていて、うまく滑ることができませんでした。でも、練習を続けるうちに、スピードが出せるようになり、コーナーもクロスができるようになりました。

四年生からは他の地区の人達と練習をするようになり、友達が増えてうれしかったけど、ライバル心も出てきました。タイムや順位も気にするようになり、五年生最後にC級を取ることができました。小学校の記録会でもリンクレコードが出せました。

僕は野球をやっているのでも、スケートと両方をやるのはすごく大変だけど、六年生の1000mで三位になった時は、すごくうれしかったです。スケートをやっていて本当によかったと思いました。

スケートを通して学んだ事は、あいさつをしっかりとる事や、氷を作ってくれた人、整備してくれた人達に感謝をすることです。僕がよい記録を出して、周りの人達まで喜んでもらえるように、頑張りたいです。

もしできるなら、中学校でもスケートを続けて、中学校総体や、全国中学校スケート大会に出場して、よい記録を出す事が、僕の今後の目標です。



スケート競技と私

桐生クラブ
山口 柚奈



私がスケートを初めたのは、二年生の時です。姉がスポ少でトロフィーを貰っているのを見て、「私もトロフィーが欲しい」と思ったのがきっかけです。スケートを初めて一年と半年目のスポ少の大会で準優勝という結果を残しました。その時はとても嬉しかったです。



(赤)山口 柚奈

それからスケートが楽しくなりました。しかし、五年生の時のスポ少では、惜しくも4位でした。最初は悔しくて、たくさん練習しました。しかし私は身長が低く、大会で私が負けてしまった友達は、身長が高く私より後にスケートを初めたにも関わらず毎回負けてしまっていました。負けてばかりだった私は、スケートが嫌になってしまいました。しかし、六年生の時のスポ少で自己ベストが出て、とても嬉しかったです。いつも負けていた友達にも勝利することができ、私は自信を持つことが出来ました。

500mでは48秒、1000mでは1分37秒ができました。500m第2位1000m第1位でした。この大会を通してスケートの楽しさを改めて感じました。

今まで何回もスケートが嫌いになった事があつたけれど、スケートはメンタルが強くなる競技だなと思いました。

これからも、スケートを通してメンタルが強くなるように、練習を頑張り、大会で良い成績が残せるようにしたいです。

スケート選手として

東吾妻クラブ
山口 撞親



僕がスケートを始めたのは6歳の時からです。きっかけは、お姉ちゃんが滑っているのを見て楽しそうで、僕も滑ってみたいと思ったからです。スケートを始めたときは、スケート靴を履いて氷の上でうまく立つことが出来ませんでした。練習でコーチから横に押すことを教えてもらい、前へ進むことが出来るようになりました。また、壁につかまりクロススの練習をしてコーナーが滑れるようになりました。

思い出に残っている大会は、千葉の幕張で開催されたノービスの大会です。ノービスCで1000mが3位、500mが2位、1500mが3位になり総合2位になった事です。第2戦は群馬で開催されたのですが風邪をひいてしまいすごく悔しい思いをしました。その時、もっとしっかり練習して1位になりたいと思いました。僕は、野球もやっていて、スケートのシーズンオフは殆どスケートの練習に行かなかったのですが、もっと速くなりたいと思いオフシーズンの陸トレも頑張るようになりました。

練習は、10月から3月までは氷の上を滑り、4月から9月までは陸トレを行います。夏休みなどの長い休みには合宿にいて滑ります。遠くまで行って滑るので群馬にも1年中滑れるリンクがあるといいなと、いつも考えています。



(黒) 高橋 (白) 山口 (青) 山崎 (赤) 丸山

今シーズンの目標は、アウトでB級、ショートでA級を取る事を目標にしました。でも、アウトで1000mはタイムを切ったのですが、もう一種目をクリアできませんでした。とても悔しかったです。去年までは先輩達が引いてくれたのですが、6年生になったので自分の力でタイムを出すしかありませんでした。スポ少大会の1000mで群馬県の記録を出した時はタイムを狙っていき最初から全開で行ったのが良かったと思いました。でも、周りがついて来てみんないいタイムが出ました。周りがついてこられないようにもっともっと速くなりたいと思いました。来シーズンは中学生になるので全中で決勝に残りたいです。それと早くB級を取りたいです。

それと、ショートはノービスの第1戦で総合5位になりました。1000mでは前に出られなくて決勝まで行くことが出来ませんでした。500mは2位になりました。1500mのスーパーファイナルでも前に出られず4位でした。レース展開が下手なので早めに前に出られるようになりたいです。3月末に第2戦があるので第1戦より良い成績がとれるようにしっかり練習してレース展開を考えたいと思います。

中学に行ってもアウトとショートを両方続けていきたいと思っています。スケートは滑れない時期は大変ですが陸トレをしっかり頑張っって速くなりたいです。

スケート選手として

高崎クラブ
丸山 左右吾



僕は4歳からショートトラックをしています。姉と兄が滑っている姿を見て、かっこいいと思ったからです。

小学生になると、たくさんの仲間に恵まれました。そしてライバルもできました。その子とはとても仲が良く、今までスケートで同級生のいなかった僕にと

って、とても嬉しいことでした。

しかし、小学4年生の全国大会で、僕は彼との「力」の差を思い知らされました。もっと頑張ろうと決心した矢先、5年生の9月に左腕を骨折し、半年ほど練習をすることができませんでした。そのため、目標にしていた全国大会には出場できず、ストレスまみれの1年間でした。

そして6年生になり、練習量を増やしました。だんだん友だちとの差も縮んでいき、ついに全国大会で総合3位、500mでは優勝することができました。

僕の短所は、ものごとをあまり深く考えず、すぐに忘れてしまうことです。そして長所は、一度強いストレスや悔しさを感じると、それが強いバネとなり自分の思っている以上の力を引き出せることです。しかしストレスや悔しさは、毎回丁度よいタイミングで訪れるとは限らないので、そのバネにはもう頼らず、中学ではそのままの足でもっと飛躍したいです。

スケート競技と私

大桑小学校6年
橋爪 春花



私がスケートを始めたのは、3才くらいの時です。スケートをしていた母の影響で兄と一緒に始めました。最初は、寒くて、足が痛くて、泣きながら滑っていたと覚えています。妹が滑れるようになってからは、いつも2人で競争しながら滑っていました。

小学校1年生の冬になると兄が練習していた青葉湖で練習を始めました。最初は、寒くて、練習も辛くて、足も痛かったので、スケートの練習に行くのがとても嫌でした。でも、スケートでできた友だちと一緒に滑っているうちに、楽しくなって、「明日もいきたいな」と思うようになりました。練習は何をすればいいか解らなかつたけど、上級生が優しく教えてくれたことを今でもよく覚えています。私は、上級生になったら、



下級生に優しく教えることができるようになりたいなと思いました。

大会の時は朝が早く起きるのがとても嫌でした。でも、頑張るとお母さんがご褒美をくれるので頑張れました。レースでは、いつも一緒に滑っている友だちに抜かれてすごく悔しい思いをしました。それから、負けたくないという想いで一生懸命練習をするようになりました。そして、4年生の時に目標のC級を取ることができました。自分でもとれるとは思っていませんでしたので、とてもビックリしました。5年生の時は、初めて全日本ノービスに出場しました。1000mで何とか入賞することはできましたが、北海道の人達はとても速くてついていけず、すごく悔しい思いをしました。私は、「いつか、この人達に勝ちたい」と思いました。6年生の時は、体調不良や足の故障等で思うような練習ができませんでした。目標のB級を取ることができましたが、小学生総体では、ライバルに負けてしまいました。また、6年生の時も全日本ノービスに出場しましたが、去年負けた人達に勝つどころか、入賞すらできませんでした。私は、「ただの努力では足りない、相当頑張らないとこの人達に勝つことはできない」ということが良くわかりました。

私は、中学校に行ってもスケートを続けます。現在、足の故障等で思うような練習ができない状態です。速い先輩達に付いていけるか心配です。はやく故障を治し、全力で練習し、全国で戦える選手になりたいです。

最初の目標は、全中で入賞することです。最終的な目標は、日本一になることです。最終の目標を達成できるように、一つ一つの小さな目標を達成できるように頑張りたいです。

スケートと私

孺恋高校

本間 新之助



私にとってのスケートとは生活の中心にあるものだと思っています。練習はもちろん人のこと、食事や睡眠などもスケートのためにしていると考えています。

まず練習については、スケートの基本だと考えています。スケート技術の上達のために一番大切なことだと思います。昨シーズンの結果が比較的よかったのも練習の質が良くなったからだと思います。

次に、食事や睡眠などについては、練習の質を上げていくために必要だと考えました。食生活が乱れ続けたり寝付けない日があると体重の変化が大きかったり、体の調子が悪かったです。練習の質を上げるためには生活のリズムを整えることも大切だと感じました。

最後に、これからのスケートに対する考え方として、今までの考え方をさらにシビアにしていき、昨シーズン以上に良い結果を残せるように頑張ります。

スケートと私

孺恋高校

本多 優



私がスケートをやり始めたきっかけは、小学校5年生の時に入っていたバレーボール部が、人数不足で廃部になってしまい、そんな時に、母がスケートを勧めてくれて、始めることにしました。元々、家がリンクの近くなので、幼いころからスケートに関わっていた為、始めるのに迷いはありませんでした。それから小中高とスケートを続けていて、ここまで続けられたの

は自分がスケートを好きな気持ちが少しでもあったからだと思います。夏のトレーニングは辛いし、冬は寒く休みがほとんどないので嫌になることもありました。

でもスケートを続けて良かったと思ったことは、いろいろな場所に行けてたくさんの人に出会えたことです。合宿や大会でいろんな人と仲良くなれて、他の高校生だとできないようなことができるいい時にスケートに出会えて良かったと思います。

これからの人生も、出会いを大切に生きていこうと思います。



スケートと私

孺恋高校

篠原 梨乃



スケートを始めて十年。私は、スケートを通して様々なことを学んできた。

継続することの大切さ。スケートは一日休むと感覚を取り戻すのに、三日かかるという。継続するには覚悟が必要であり、そして休まない為には体調管理が重要だ。継続することは、簡単に思えるが、意外と難しいことなのだと感じた。

次に、目標の重要さだ。トレーニングが辛いときの心の支えは目標である。自分がどうなりたいのか、どう変わりたいのかという様に、明確な目標があることが大切なのだと学んだ。また、小さな目標の繰り返し

が大きな目標を達成することに繋がるのだということも学ぶことができた。

他にも、礼儀や忍耐力などたくさんのことを学んできた。これまでに得た経験や知識は、さまざまな場面で生かしていきたいと思う。私にとってスケートは、「自分を大きく成長させてくれたスポーツ」だと思う。



スケートと私

孺恋高校
土屋 慶介



僕はスケートを続けて今年で十年を迎える。十年前はスケートが辛くて練習がきつく感じていただけであったが、十年目になった今はきつくても楽しめばスケートは楽しいスポーツだったなと感じた。

僕はスケートを続けて良かったと思う。記録がかなり上がってスケートが楽しくなってきたので、ずっとスケートを続けている。でも冬のシーズンは短いので集中して毎日の練習に励んでいないと記録は上がらず、速くも成れないので一日一日の練習を大切にしている。

しかし、大会の終わった後の練習になると、いつも自信をなくしてしまう。特に昨年度の全日本ジュニアで記録が全然上がらず、1000mのスタートでは転倒してしまうなど、多くの問題が起こってしまった大会に

なってしまった。しかし、このままではダメだと思った僕は必死で練習をした。そしてインターハイではコンディションの悪い中、1000mで見事8位に入賞した。恐怖から目覚めたような気がした。

スケートと私

孺恋高校
干川 脩太



私にとってのスケートは生きがいです。私は11年間スケートをやってきて、うれしいことや、苦しいことなどを経験してきました。又、努力することの大切さも教えてもらいました。又、普段の生活でも、スケートにつながるものがたくさんあります。食生活だったり、睡眠など心がけることによってパフォーマンスに影響します。

私はスケートが大好きです。努力して記録が伸びると嬉しいし、人間としても成長させてくれます。スケートの練習はとても苦しいです。しかし、苦しい練習をやった分だけ、結果が出るのでとても楽しいです。

私はスケートを通してたくさんのことを学びました。あいさつや、礼儀などの人間として当たり前のことを学びました。

私はこれからもスケートを頑張っていきたいと思っています。スケートが好きなので苦しいことがあっても乗り越えて、成長できるように頑張っていきたいです。



【前橋支部のあゆみ】

1. 20年間の主な活動

平成元年から平成13年まで、前橋スケートクラブの第5代会長としてクラブの発展にご尽力いただいた齋田穎繁氏に代わり、平成14年から鶴田智之氏が第6代会長に就任し、新たに理事長に就任した関口定彦氏を中心として役員各位の協力のもと、クラブの運営が順調に推移することができました。

伊香保国体を契機に、昭和62年末に完成した「群馬県総合スポーツセンターアイスアリーナ」は当クラブにとっても重要な施設であり、ここを拠点にクラブの運営・活動が行われております。

特に、昭和63年から実施している「初心者スケート教室」は毎年欠かすことなく平成30年まで31回開催し、延べ受講者は3千人を超えております。

さらにこの施設を会場に平成11年以降3回の国民体育大会冬季大会「フィギュアスケート競技、スピードスケートショートトラック競技」が開催されており、前橋クラブからも多くの役員が運営に携わりました。

2. 市民スケート大会

スケート人口の底辺拡大と普及・振興を図るべく、昭和26年から榛名湖、赤城大沼、伊香保ハイランドで開催していた前橋市民スケート大会も、前橋のリンク開設に伴い平成3年からアイスアリーナで実施し、平成30年の大会で68回が終了しました。

この間、多くの選手がこの大会を踏み台に全国大会へと羽ばたいていきました。

3. 初心者スケート教室

小学生を対象に、11月から3月まではほぼ毎週の約10回、火曜日午後7時30分から8時30分までの1時間にわたり、クラブの指導者（関口（定）、町田（隆）、山田、後藤、大河原、黛、町田（喜）、蛭田、篠原、松本、関口（光）、野中、小川（俊）、小川（輝）、小林、木暮（昭）、木暮（賛）、田部井、今井、金沢）が生徒を技能別に4つの班に分け、基本技術を中心に滑走を指導し、毎回100人ほどの受講者が参加しています。

また、3月の教室最終日には教室の参加者とスピード・フィギュアのスポーツ少年団員全員で「さよならゲーム大会」と称して氷上で各種の楽しいゲームを満喫し、シーズンの締めくくりにしています。

さらに、スケートリンクが前橋市内にあるため、群馬県スポーツ協会や各地域の子ども会などからスケート教室講師の依頼を受け、当クラブから数名の指導者を派遣してスケート技術の向上と普及発展に尽力しております。

4. ジュニアの強化

上記初心者教室の参加者や卒業者を中心に、スピード・フィギュアのスポーツ少年団を組織し、選手強化を図っております。

スピードは田中・小林・小川（賛）・宮崎・木暮・佐藤、フィギュアは吉川・横手・田部井・宮下・大河原・今井らの指導者が、春から夏にかけての陸上トレーニングと冬季の氷上での滑走技術の習得や競技会を通じての記録の向上を目指し、限られた時間のなかで工夫と効率の良いトレーニングを実施し、冬季国体や全国大会で活躍する選手を数多く輩出することができました。

近年はジュニア選手が大人になり、指導者としてクラブに携わるなどの好循環が生まれ、「スケートを通じて人として成長する」ことを運営方針として礼儀やあいさつ、思いやりの心などの指導に心がけています。

この20年間でスピード・フィギュアのジュニア強化に参加した選手は、合わせて約370名であり多大な成果を収めることができました。

5. 県民体育大会兼都市対抗スケート競技大会

県民体育大会のスケート競技は、県内11市が運営当番持ち回りで都市対抗を兼ね、毎年2月第一土曜日に群馬県総合スポーツセンター伊香保リンクで開催されておりますが、前橋クラブは昭和38年榛名湖大会の第1回大会から選手を派遣し総合優勝を目指し頑張ってまいりましたが、平成11年から30年までの20年間の成績は準優勝10回、3位7回、4位3回で残念ながら総合優勝は果たせておりません。

これからも選手の強化に万全を尽くし、平成7年
以来の総合優勝を勝ち取りたいと思っています。

6. 国民体育大会冬季大会

平成11年以降群馬県では国民体育大会冬季大
会スケート競技会が、平成15年の「群馬国体」、
平成19年の「ファイト！群馬国体」、平成27年
の「ぐんま冬国体」として開催されました。

前橋のアイスアリーナでは「フィギュアスケート
競技とスピードスケートショートトラック競技」が
実施され、前橋クラブからも多くの役員が運営に携
わり競技会の成功に協力しました。

7. 国際大会や国民体育大会等で活躍した選手

スピードスケートでは、オリンピックやワールド
カップで活躍した香川真由美（佐田建設）、冬季ア
ジア大会で優勝した米倉大介（佐田建設）など、ま
た冬季国体や全国大会では小川賛菜（前橋商業高）、
小林武広（群馬県スポーツ振興事業団）、黒岩聖矢（前
橋育英高）、千葉捺美（前橋商業高）、ショートトラ
ックでは、柵瀬あかり・ななみの姉妹（市立前橋高）
など多くの選手が上位入賞の活躍を見せており、優
秀選手に贈られる「群馬県スポーツ協会長賞」に前
橋クラブの関係では平成11年度からの20年間で
最優秀賞も含めて延べ40人以上の選手が受賞
しております。

フィギュアスケートでは宮下留美、神保早恵、酒
井理香、山口朋久、遠藤真理子、伊藤裕子、進邦カ
ナ子などが国民体育大会冬季大会で活躍しました。

なお、群馬県スケート連盟で初めて全日本フィギ
ュアスケートジュニア選手権大会に神保早恵選手
が出場しました。

8. 表彰関係（H11～）

○鶴田 智之

群馬県体育功労者表彰	平成15年	9月
群馬県総合表彰	平成20年	5月
文部科学大臣表彰	平成23年	10月
群馬県功労者表彰	平成24年	10月
旭日雙光章受章	平成26年	4月
群馬県スポーツ協会特別功労者賞	平成28年	2月

○関口 定彦

群馬県体育功労者表彰 平成17年9月

（文責：町田喜比古）

【高崎支部あゆみ】

高崎支部長

平田 俊夫



この度、群馬県スケート連盟70年の記念誌発刊に
あたり、支部のあゆみの原稿依頼に、かつての50年
記念誌を久しぶりに手に取ってみました。懐かしい役
員の方々のお名前を目にし、時の流れの速さに改めて
驚いております。私の知る限りの方々、四十山、勅使
河原、佐々木、木戸、南雲といった諸先輩のご活躍が
大切にこの組織を育て、我々にバトンを引き継いでく
れましたことを心より尊敬し、また感謝せずにはいら
れません。現在は会員全てをまとめ上げて安心してお
任せできる事務局長の北嶋さんと共にご多分にもれず、
高齢化した数名の役員と灯りを消す事のないよう、協
力しながら頑張っているところです。事業のひとつと
して、遠く昔に行われていたカップピアでのスケート
教室は残念ながら閉園により終了となりました。数年
後、高崎の東部に位置するサンピアという多目的事業
が行われる施設の中に、冬のみリンクが設けられ、市
内の小学3年生以上を対象としてスケート教室が再開
されました。現在も30名近い子供たちが嬉々として
参加しております。期間は12月から1月の毎週日曜
日午前9時から10時とほんの短い時間ではありますが、
我々役員も万障繰り合わせの上で、その指導にあ
たらせてもらっております。ここ数年、小平選手をは
じめ、高木姉妹、高崎健康福祉大学の佐藤選手の活躍
もあり、スケート熱が上がっているものの、まだまだ、
興味の対象が他にある人の方が多く、少々、寂し
い気もしております。しかし、会員一同はスケートに

対する情熱を失うことなく開催される行事には、喜んで参加をしております。先日行われた都市対抗に於いて、健大の学生4名の参加を得て、競技の演目には50代を除いて全てにエントリー出来、総合4位という素晴らしい結果を出すことが出来ました。これに関わってくださったお一人お一人の努力、苦勞に敬意を申し上げるとともに、感謝しております。支部としては微力であるかもしれませんが、スケートを愛し、まじめに取り組んでいる方々が居てくださる以上、先人の作ってくださった歴史をとどめること無く、益々、勝ち進んでいけるようにと願いながら、ご報告とさせていただきます。今後ともよろしくお願い致します。

【沼田支部のあゆみ】



沼田スケートクラブ
会長 霜垣 正志

群馬県スケート連盟が創立70周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

我が沼田スケートクラブ（群馬県スケート連盟沼田支部）は、昭和39年2月に結成され、翌年の第3回群馬県都市対抗スケート大会（主管：前橋市）に初めて参加し、今日まで弱小なクラブでありながら参加を続けて参りました。

スキーのメッカである北毛地域では、市民に対しマイナーなスケートを普及させるためにかなりの時間と労力を要しましたが、先輩諸兄のご尽力と群馬県スケート連盟のご支援により、今日まで活動を継続することができました。

特に、昭和63年度の都市対抗スケート大会は6位（294点）と好成績を上げ、県下に存在感を示すことができました。当時は選手層も厚く、20歳未満から60歳代、さらにリレーにも出場が叶い、クラブ員は勿論、沼田市内（特に利根町根利・多那）や川場村の小中学生をはじめ、指導する先生方の活躍がひとき

わ光る大会でした。

近年は、地球温暖化や少子化、スポーツの多様化、指導者の高齢化等により、スケート人口が減少し、残念ながら都市対抗スケート大会の成績は（表1）のように低迷しています。

ただ、当クラブでは底辺の拡大を目指して、昭和39年度から市民スケート大会、昭和46年度から市民スケート教室（講習会）、昭和58年度からは大会と教室を併設開催するなど地道な活動が実り、市民にウィンタースポーツとしてのスケートを位置づける事が出来ました（表2）。

今後も諸先輩の努力や輝かしい伝統を汚さぬようクラブ員一丸となってスケートの普及を図り、地域のスケーター育成に努めて参りますので、県スケート連盟をはじめ関係各位のご支援・ご指導をお願い申し上げます。

表1 沼田市都市対抗スケート大会における過去10年間の成績

年	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
点	83	71	85	28	116	47	75	51	68	75
順	10	11	9	11	9	11	10	10	9	9

表2 市民スケート教室・大会の参加状況（於）伊香保リンク

年	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
人数	36	43	68	64	中止	71	76	77	45	65

【榛名支部のあゆみ】

『榛名支部の廃部』

平成29年6月29日、総会に根本・清水が出席し、長年の支援を感謝し廃部を承認して頂いた。

『高度成長期の冬の榛名湖』

氷の面が人で埋め尽くされるほどスケーターで賑わった。榛名に登る夜行バスで沿道の家が揺れるほどだった。

『低迷期』

世の中が次第に落ち着き、冬はスキーなど他のレジ

ヤーに人々の興味が移行し、地元のスケート人口も減り、榛名高校も昭和40年頃は約10年間も部員ゼロという状態が続いた。

『榛名のスケート復活』

昭和48年頃、町職員の小板橋辰男さんが小学生の指導をするようになって、小学生総体に出場させようとしたところ「榛名支部は負担金を3年間も出していないから出場できない」と言われ、時の石井国雄町長が急遽ポケットマネーで拠出してきて出場できた。

「根本談」、そのお陰で、昭和49年に根本誠・山崎利香・横山千春など小学生10名～15名がスケートをやるようになった。

『その後の発展』

昭和57年1月、全国中学校大会（八戸長根リンク）に出場。根本誠（3年）・山崎利香・横山千春（1年）・松井由文先生・小板橋コーチ・根本、山崎（父兄）で参加した。

『榛名高校スケート部復活』

昭和58年、約10年間のブランクを経て、根本誠入学、同好会として顧問清水正言・コーチ小板橋辰男で復活した。その後、次々と選手が入学し、全国に名を知られるようになった。誠に続き、根本剛・山崎利香・清水祥之・荒木徳彦（伊香保中より）が入学し、少しずつ選手の層が厚くなった。主な成績を列挙しておく、昭和60年の全日本選抜（盛岡）で根本誠が500m、1000m優勝、清水祥之が世界ジュニア大会（2年）・カルガリーオリンピック（3年）、荒木徳彦が世界ジュニア出場（3年）などの好成績を上げた。

3選手（根本剛・清水祥之・荒木徳彦）だけでインターハイ6位入賞という珍しい記録もあり、もう1人いればリレーを組めたのにと残念な思いをした時もあった。

『深井先生、榛名でスケート指導』

平成の初期頃、早大の選手だった深井先生が体育教師として赴任し、県下の他の地域、桐生・太田・伊勢崎・伊香保などから広く選手が入学するようになり、一時代を築いた。

『榛名地域のスケート衰退』

やがて、指導者も不在となり、地域でスケートをや

る若い人がいなくなった。しかし、なんとか復活を願い、地域の梅マラソン・ハルヒル（自転車）などの体育行事に根本・清水・横山の3名で長い間協力してきたが、遂に力尽きて頭書の如く廃部することとなった。淋しいことではあるが全力を尽くしたという充実感もある終末である。（文責 清水 正言）

【長野原スケートクラブのあゆみ】

長野原スケートクラブの20年として、前身は北軽井沢スケートクラブで、平成9年より子供達のスケートに始まり、平成10年スケート審判員、平成11年長野原町スケートクラブとして群馬県スケート連盟に再登録していただき今日に至っています。

平成10年軽井沢スケートセンター400mリンク閉鎖。平成11年屋内リンク閉鎖と、スケートを滑る場所がなくなり、近くの池を借りてリンクを作ろうと町長に相談していたところ、青葉湖に孀恋高校のリンクができると学校の先生より聞き、長野原町にお願いし、孀恋高校と相談していただき、青葉湖を利用させていただけることが確定し、現在に至っています。その中から、数多くのスケーターが巣立っています。

（文責 青木 博文）

【伊勢崎支部のあゆみ】

伊勢崎支部は1960年代に三共電器（現 サンデンホールディングス）のスケートクラブを発端に作られました。70年代に高井孝雄、松岡正義、谷田有司などが中心となり市のスケート教室を開催し、そのころ国体に出場していた清水利雄、村越秀雄をコーチとして教室から子供たち（筆者）らがスピードスケートクラブを発足しました（島田択志、松村雅通、星野哲也、山田琢也）。また、松岡を中心として新藤稔、杉原美和子がフィギュアクラブとして活動も始まりました。

その頃の教室や練習拠点は中西工業のリンク、20×30mのリンクで行いました。エッジのロックを高めにセッティングして滑っていました。また、太田クラブとも交流があり富士スバルランドでの合宿や本庄のリンクでの練習に参加させて頂いたこともあります。

80年代には総勢30名を超える団体として県の競技会・全国中体連大会・インターハイに選手を輩出するようになります。90年代には島田がアウトのインカレやショートトラックの全日本選抜に出場したのは、アウト・ショートにこだわらず「スピードスケート」を指導していた清水コーチのおかげだと思います。

2000年度より国体にショートトラックが正式種目になるに伴い、大川コーチと「県ショート」として練習を共にするようになりました。その頃よりインラインローラー教室を開催し、木村享平、川島佑平、佐藤渚らが参加しクラブに加入しました。アイスの教室からは、田口一代、蒔田凌平、蒔田陸らも加わり小中学生が充実していました。

最近ではクラブ登録のスピードの小学生は1名のみとなってしまい、今後の支部運営が危ぶまれています。幸い中西工業でのスケート教室や三室公園でのローラー教室は好評を博しているため、スケートの楽しさを伝えながら競技への興味を持たせられるよう指導育成を行って行ければ良いと思います。なお、平成から令和の節目に会長が松岡氏からフィギュアの黒崎さんになりました。(文責 山田 琢也)

【太田支部のあゆみ】

◇組織・活動の変遷

クラブは昭和32年発足し初代会長は岡田喜四郎で今は10代目西村清人が会長を務める。クラブ員は小学生からシニア迄幅広く約30名のクラブ員が所属している。冬のスポーツを普及する為、スケート教室を主催すると共にジュニアの育成、クラブ目標としては県民体育大会(兼都市対抗)に上位入賞すべく各自切磋琢磨練習に励んでいる。スケートも長野オリンピ

ック頃からスラップスケートがスケート靴の主流になり記録が大きく伸びるようになった。

平成13年国体からショートトラック競技が採用されてから、クラブの活動も変わり、今までアウトトラック中心で不利だった環境がインドアリンクでの大会が増え特にジュニアの活動範囲が広がりソチ、ピョンチャンオリンピック代表となった坂爪をはじめ全日本、国体で活躍する選手が多く出るようになった。クラブではシニアの活動も活発で川島、西村、山田の3名は毎年全日本マスターズに出場している。川島は23年から世界マスターズにも出場している。又スケート経験を生かし競技の審判員として現在4名(木村、北爪、山田、清水)が活動している。中でも清水はナショナルレフェリーの資格を取得して全日本大会でレフェリーとして活躍している。

◇主な事業

年	主な内容
17	スケート教室開催(以降毎年)
19	群馬国体競技役員4名派遣 県民体育大会優勝
20	県民体育大会2位
21	全日本選抜競技会役員4名派遣
22	県民体育大会2位 東日本ショートトラック選手権役員4名派遣
24	全日本ノビス&ジュニア競技会役員4名派遣
25	ローラースケート教室開催 坂爪選手応援ツアー 東京国体役員1名派遣
26	坂爪選手壮行会・パブリックビューイング 日光国体役員4名派遣
30	坂爪選手壮行会・パブリックビューイング

◇スケート教室

スケートを楽しんでもらえると共に冬のスポーツとしての普及、体力向上、健康の保持、増進を図るため市民小学生以上を対象に11月、2月の2回スケート教室を実施している。各回共好評で30名～40名の参加者があり、更に開催回数を増やしてもらいたい要望も多い。小、中学生は1回の教室で滑れようになる子が多い。スケート教室には毎回6～7名のクラブ員

が講師として参加してくれている。



◇市民総体

毎年1月に実施される市民大会をクラブが主管となり運営も行うが、大会は歴史もあり小学生低学年から70歳以上の長年クラス迄巾広く選手が参加している。この大会を登竜門に全国大会、国体で活躍する選手、又オリンピック選手となった坂爪等多くの選手が育っていている。更に2月に行われる県民体育大会はこの大会の選手を中心になって強化を図り成果を上げている。



◇県民体育大会

スケートリンクない太田の選手は桐生リンク、伊香保、日光と又遠くは長野のMウエーブ迄練習に出かけ大会へ向け各自が練習を積み、この10年間で優勝1回、2位1回、3位4回、4位3回、5位1回といずれの年も上位入賞の成績を残してきた。中でも川島栄喜は毎年出場種目で優勝をしている。他の選手もリンクないハンディを乗り越えて上位入賞を果たし太田市の上位入賞に貢献している。



◇ジュニア選手の強化・育成

ジュニア選手の育成強化はオフシーズン陸トレ、ローラースケート練習に県強化部での合同練習を加えて行っている。氷上練習は夏の野辺山合宿9月から陸トレと並行してリンクを求めて氷上練習を開始する。ショートトラック競技が国体に導入されてからジュニア選手は強化目的がショートトラック中心になりソチオリンピック代表の坂爪亮介をはじめ毎年全日本、国体他活躍する選手をクラブから多く輩出してきた。坂爪はオリンピック前の種目別競技会で2種目制するほど絶好調であったがワールドカップで足首を骨折してしまいオリンピックには間に合ったもののメダルには届かなかった。坂爪の応援にはパブリックビューイングを市で開催してもらい多くの市民の皆様に応援していただいた。ピョンチャンオリンピックでは全種目入賞した。

◇結び～今後の展開について

ここ10年クラブで育成したジュニアが全国、世界で活躍していることには目を見張るものがある。又ジュニアに負けずと川島を筆頭にシニアも各種大会で頑張っている。特に坂爪というオリンピック選手が出たことはクラブの歴史に大きく残るものとなった。少子化とスポーツの多様化によりジュニアのクラブ員を確保することが難しくなってきたが、スケート教室等を継続的に実施し、スケートの魅力をつかんでもらいクラブ員を増やし全国、世界へ羽ばたけるような選手を育成すると共に、幾つになってもスケートの魅力を追い求めるよう全員で取り組んでいき、県スケート連盟とも連携を図りクラブを更に発展させていきたい。又

その為には東毛地区にも公式室内リンク設置の働きかけを行っていききたい。(文責 清水久男)

【渋川支部のあゆみ】

年	出場選手・大会名・成績
17	清水勇斗・穂高 国体 5000m リレ 3位 坂爪亮介 国体 1000m 6位 東城有香 国体 1000m 6位 北詰幸紀 全日本ジュニア 1000m 3位
18	清水勇斗・穂高 国体 5000m リレ 7位 東城有香 国体 500m 7位 1000m 6位 坂爪亮介 ジュニアオリンピック 500m 7位
19	清水穂高 国体 5000m リレ 5位 東城有香 国体 1000m 6位 坂爪亮介 国体 500m 4位 1000m 6位 小島理沙 国体 500m 4位 2000m R2 位
20	坂爪亮介 国体 500m 優勝 浜野翔平 国体 500m 6位 1000m 8位
21	坂爪亮介 全日本学生 500m 優勝 浜野翔平 国体 5000m リレ 5位 東城有輝 国体 500m, 1000m 出場
22	清水勇斗 国体 5000m リレ 3位 浜野翔平 国体 5000m リレ 3位
23	坂爪亮介 国体 500m 2位 1000m 4位 清水勇斗 国体 5000m リレ 4位 東城有輝 国体 5000m リレ 4位 川島栄喜 世界マスターズ出場
24	東城有輝 国体 5000m リレ 5位 川島栄喜 世界マスターズ出場
25	東城有輝 国体 5000m リレ 6位 川島栄喜 世界マスターズ出場 高橋七星、細谷知世 インターハイ 出場
26	坂爪亮介 オリンピック 出場 東城有輝 国体 3000m リレ 出場 川島栄喜 世界マスターズ 出場
27	東城有輝 国体 3000m リレ 出場 川島栄喜 世界マスターズ 出場
28	川島栄喜 世界マスターズ 出場
29	川島栄喜 世界マスターズ 出場
30	川島栄喜 世界マスターズ 出場

歴代支部長・事務局長

支部長	事務局長
田中 博 ~H19	関 聡 H11~
清水 次雄 H20~	井口 博之 H13~
寺島 惟孝 H27~	白石 正明 H17~
井口 博之 H28~	

支部組織

支部は県スケート連盟と渋川市スポーツ協会の傘下にあり、両方の行事に参加しています。役員は副会長5名、理事17名、会計監査2名、事務局3名、強化コーチ3名、顧問3名、参与1名です。審判部は公認審判員で構成され、強化部は、少年団と高校で構成されます。そのほかに大会担当と、ゴルフ担当を置き、それぞれの行事に対応しています。

年間事業

- ・市民スポーツ祭開会式参加 4月中旬
- ・市民スケート教室 11月中旬
- ・チャリティゴルフ大会 10月中旬
- ・市民スケート大会 1月初旬
- ・都市対抗参加 2月上旬
- ・強化練習会 体育館毎週練習ほか
- ・都市対抗慰労会 3月下旬

主な事業

・市民スケート大会は、平成31年1月大会で第66回を数える支部の伝統行事です。伊香保リンクで行い、バッチテストを兼ねる公式大会です。シングルトラックで行い2種目総合優勝者には市長杯を授与しています。又小学生以下はジュニア市長杯を授与し、各種目3位まで賞状とメダルを出しています。アトラクションとして競技の最後に宝拾いを行い、好評です。参加者は延べ百名程度で推移しています。

・スケート教室は市主催事業で伊香保や前橋のリンクを使い、10~11月頃にスポーツ少年団の指導者を中心に5日間程度行っています。毎年80名以上の参加がありますが、この中から毎年少年団入部者が育っています。伊香保リンクでは1月に支部主催でスケート教室を行っています。

・チャリティゴルフ大会は平成30年10月に第27回目を迎え、伊香保国際カントリーで盛大に行われました。参加者は86名。チャリティを通してスポーツ少年団の強化を後押ししています。

・都市対抗は平成31年2月の第57回大会で平成19年度からの12連勝を達成できました。毎年3月に市長、教育長、体協会長を招き、参加選手の慰労会兼ねて祝勝会を行い、親睦を深めています。鈴木一啓総監督、寺島義人監督のもと、全種目エントリーを目指して、綿密に各選手と連絡をとり当日欠場がないようにしています。各年代とも、選手層が厚く盤石の態勢をとっていますが、国体や、関東大会、全中などの各種大会と重なり、参加選手が不足しそうなこともあります。日頃の交流を生かし、渋川支部の団結力で12年間乗り越え勝利してきました。

・この20年間に活躍した国体選手と主な成績

貞包紘子 バンクーバーオリンピック出場
白石貴明 56 国体 5000m⑤
高野正樹 56 国体 5000mR⑥58 国体④
石井奈緒 59 国体 1000m②リレー③
菅井美穂 60 国体 1500m⑥61 国体⑦3000m⑦
今井まどか 60 国体 1500m⑦65 国体リレー②
小池由佳子 61 国体 1000m⑦リレー③62 国体②
横手裕二 64 国体リレー②
小林和朗 68 国体リレー③
久佐拓巳 71 国体リレー⑥
伊藤琢真 73 国体リレー④
大崎有紗 73 国体 500m⑦リレー④74 国体⑥⑤
外丸 匠、飯島 彩、遠藤裕美、新井佳晃、小松広和、菅井麻由、並木崇人、大川愛弓、伊藤隼人、

・今後期待される選手 藤原明咲、小野里佳悟、
・公認審判員平成30年度登録者
高野純一、深井朗正、深井靖士、善養寺悟、白石正明、寺島義人、山崎優、新井佳晃
・支部の強化体制

スポーツ少年団の指導者は善養寺悟先生が長く続けてきましたが、定年退職を機に寺島義人に代わりました。ちょうどスーパーキッズが始まる時でもあり、支部のスポーツ少年団とスーパーキッズの指導者も兼ね

て担当するようになりました。中学生の指導者は新井佳晃、小学生は寺島義人が主担当を務め、若い指導者が連携して、きめ細かな指導を行っています。週に一度、夜間体育館を使用して強化練習を行っています。又毎週土曜日はローラースケートの練習や、レクリエーション活動を取り入れ、楽しみながら、年間飽きないよう活動しています。高校生は深井靖士先生が数少ない高校生をまとめて指導しています。

近年少子化とともに選手人口が減少していく中、渋川支部は毎年同人数程度の選手を確保しています。これからもスケート教室等各種行事への積極的な勧誘を行い、一人でも多くの選手の発掘と、未来へつなげる優秀な選手の育成に、力を注いで参ります。

(文責 高野 純一)



伊香保で行われたスケート教室

【孀恋支部のあゆみ】

孀恋支部として、平成20年に情熱的で、よりどころとなっていた初代孀恋支部長（孀恋スケートクラブ会長）を務められた宮崎 守氏が亡くなられたことは、大変残念なことありました。

さて、孀恋支部のあゆみについては、選手や子供たちの資料を持ち合わせてないため、平成14年以降に宮崎守支部長から引き継いだ群馬県スケート連盟登録資料から振り返ってみたい。

平成10年以前、選手は練習リンクである青葉湖が、暖冬のため結氷の遅れや、結氷しない年もあり、軽井沢や長野市、伊香保へと練習場所をもとめて出かけていたのですが、多くの関係者のご努力により、平成10年11月に孀恋高校の施設としてリンクが整備され、

オープンしたことで、練習用リンクを確保することができるとともに、一般にも開放されたことで、小学生登録者が増加へと変わり、平成 18 年から 20 年の 3 年間は 80 人台の登録へとつながったが、平成 21 年以降は徐々に減少へと変わってきた。

中学については、ほぼ一定の登録を確保することができます。高校においては、10~20 人の中での登録で推移しており、極端に登録選手が少ない年もみうけられました。

孺恋村では、東西中学校が平成 22 年 4 月孺恋中学校に統合。小学校は平成 25 年 4 月に鎌原小と東小が東部小学校に、平成 27 年 4 月には田代小・干俣小・西小が西部小学校へと統合されるという学校再編制が行われました。

小学校では、冬季体育授業にスケートを取り入れた学校もありましたが、学校統合によりスケートに触れたことない子供たちが、興味をもちスケートを続けてくれる子供が増えることを願っています。

子供たちが遊びの中でスケートに触れるという機会は、少ないのが現状であります。

そんな中、孺恋高校は、村と県との協議を重ね、寮を村が建設し、県立高校が全国から選手を募集するという画期的な取り組みを平成 30 年度から始めていますので、支部としても多少なりとも応援できればと思います。

最後に、トリノオリンピックに宮崎 今佐人選手、平昌オリンピックに土屋 良輔選手を輩出できたことは大変喜ばしい出来事でした。

孺恋支部としても、彼らに続く選手が現れることを期待しています。 (文責 黒岩 菊男)

【桐生支部】

<スピード部>

私は平成 20 年度に桐生クラブに入会し、初めてスピード靴を履きました。入部して 3 年間の練習が実り、C 級を取ることができました。平成 25 年からスピード部長を務めております。その関係でここ 10 年間の

支部の様子を紹介します。平成 31 年度から会長は中里昌明氏より三ツ橋隆史氏に変わりました。

平成 25 年度から平成 29 年度までは登録選手数は 20 名前後と賑わっていましたが、平成 30 年度の新入部員は 2 名、平成 31 年度は今のところゼロです。選手数は 10 名と半減しました。

内訳は高校生 3 名、中学生 2 名、小学生 3 名です。中学生以上は群馬県ショートに所属して、活動しています。実質桐生支部で活動しているのは小学生 3 名です。そのうちの小此木悠貴 (6 年) はスーパーキッズに所属しています。

活動内容は 4 月~10 月は太田クラブと合同で太田市の河川敷で毎週土日にインラインスケートでローラー練習をしています。11 月~3 月のシーズン中は毎週木曜日桐生リンクで 2 時間貸切練習、伊香保の練習は自主練習という名目で土日を使って練習しています。

国体で活躍している選手を一覧で紹介します。そのほかにも阿部凌大、恵大兄弟は全中で決勝進出しています。小中学生では山口姉妹、青木兄妹はアウトでも活躍しています。清水兄妹も頑張っています。今後の期待の新人は関口愛と天田有紀です。

桐生で活躍した国体選手一覧表

年	桐生支部	国体での成績
13	石関祐樹	500m 3 位
	三ツ橋皓平	5000mR 6 位
14	石関祐樹	500m 5 位 1000m 1 位
	田上真一	500m 6 位 1000m 2 位
	三ツ橋皓平	5000mR 4 位
15	清水穂高	500m 5 位
	石関祐樹	1000m 1 位 5000mR 3 位
	田上真一	5000mR 3 位
	三ツ橋皓平	5000mR 3 位
16	清水穂高	1000m 4 位
	鈴木宏美	1000m 5 位
	石関祐樹	500m 7 位 5000mR 3 位
	田上真一	5000mR 3 位
17	石関祐樹	1000m 2 位 5000mR 3 位
	田上真一	5000mR 3 位

18	石関祐樹 500m 8位 5000mR 7位 高野守弘 5000mR 7位
19	石関祐樹 500m 5位 1000m 3位 5000mR 5位 高野守弘 5000mR 5位 磯村 翼 5000mR 5位
20	浜野翔平 500m 8位 石関祐樹 500m 6位 5000mR 4位 磯村 翼 5000mR 4位
21	浜野翔平 5000mR 5位 磯村 翼 5000mR 5位
22	石関祐樹 5000mR 3位 浜野翔平 5000mR 3位
23	石関祐樹 5000mR 4位
24	石関祐樹 5000mR 5位 磯村 翼 5000mR 5位
25	石関祐樹 5000mR 6位
28	阿部凌大 500m 7位
29	小山剛史 1500m 7位 (アウト) 藤生智也 500m 7位
30	清水悠太 準々決勝敗退

(文責 高橋 徹)

<フィギュア部>

桐生支部のフィギュア部については長きにわたり、鈴木隆吉氏の指導のもと選手の養成が行われてきて、その後、金沢正恵氏、押見仁氏と受け継がれ、現在、鏑木咲千好氏を中心として活動がなされています。

部員数は20名前後を推移している状況で平成18年以降はそれまで県内大会出場のみだった選手も全国大会に出場する選手が出てくるまでに競技力がアップしてきています。強化の取り組みとして東京から講師を招いて技術指導を行っています。通年リンクのない状況下ではありますが、このような活動の中、フィギュア部に入部したことをきっかけに全日本選手権に出場するまでに成長した選手も出てきました。残念ながら、国体出場となると予選会突破の壁は厚く果たせていないのが現実ですが、近年小学生の成長も著しく今後は期待できると思います。

日本スケート連盟主催公式大会出場歴

植竹恭平

2011 関東フィギュアスケート選手権大会 Jr.
第31回全国中学校スケート大会

中村美憂

2014 関東フィギュアスケート選手権大会 Jr.
第64回全国高等学校スケート競技選手権大会
第72回国体冬季大会フィギュア競技予選会成年

藤生侑里華

第10回東日本学生フィギュアスケート大会 C
第89回日本学生氷上競技選手権大会 C
第90回日本学生氷上競技選手権大会 C

星野彩音

2017 関東フィギュアスケート選手権大会 Jr.
第73回国体季大会フィギュア競技予選会少年

星野真璃

2017 関東フィギュアスケート選手権大会 NvB
2018 関東フィギュアスケート選手権大会 NvA

(文責 中村 眞規子)

【伊香保支部のあゆみ】

当支部は、昭和24年の群馬県スケート連盟の設立に合わせ結成され、同じく70周年を迎えました。

歴代会長として(敬称略)

- 初代 千明三右衛門 (二代県連会長)
- 二代 斎藤 直道 (伊香保郵便局長)
- 三代 小暮金太夫 (四代県連会長)
- 四代 福田 實 (県連副会長)
- 五代 半田 博 (県連副会長)
- 六代 菅谷 宏
- 七代 半田正博

結成当時の物間リンクからハイランドスケートセンター、そして現在の群馬県総合スポーツセンター伊香保リンクに至るまで、地元支部としての地理的好条件を生かし、伊香保小中学校の冬期体育授業の一貫としてのスケート教室へ講師を派遣してきました。また、

昭和49年に発足した伊香保スピードスケート少年団へは、有識者の中からコーチを選任し、低学年からの基礎スケータリングを指導、底辺の拡大に多大な貢献を果たしました。その後、成長した子供たちは、スピードスケートのみならず、アイスホッケー部門においても、県代表の選手として、国体を始めとする全国大会で、数多くの活躍をしてきました。

ただし、当時のハイランドスケートセンターが町営だったこともあり、伊香保町役場の方々が、審判員資格を取得し、数多くの大会運営に貢献してきましたが、10数年前の渋川市との合併と高齢化により、登録者も最盛期の半分以下に減少しております。また、現役選手に至っては少子化により、現在ゼロの状況が続いています。

しかしながら、どのような形であれ、伊香保のスケートリンクが存続する限り、地元支部として、群馬県スケート連盟の発展のために尽力していく決意であります。(文責 半田正博)

【東吾妻支部のあゆみ】

東吾妻町には、現在2つの天然リンクが存在する。坂上温川リンク(温川キャンプ場内)と、太田リンク(吾妻川河川敷親水公園内)である。伝統ある原町スケート場(吾妻川河川)は橋の工事により6年間の休止後、昨年復活されたが、1シーズンのみの復活となり、今後復活される見通しは立たない状況になってしまった。また、一時期使用された岩島リンク(吾妻川河川)も復活される見通しはない。

諸般の状況により、たくさんのスケーターを育ててきたスケートリンクの消滅は、スケート関係者としては言葉では言い尽くすことのできない寂しさを痛感している。詳細は触れないが、「群馬県スケート連盟50年誌」に旧吾妻町出身のたくさんの選手たちの活躍が掲載されているが、その礎になったのは、これらの天然リンクでの貴重な体験だったのである。冬場の体育授業での使用、放課後の自主的な練習、降雪時大人た

ちと一緒に雪掻きや整氷、かじかんだ手をこすり合わせながらやっと滑れる状況になったものの時間切れで滑れないことも…。時には、自動車のヘッドランプの灯りで早朝練習も。そんな体験を通して、たくさんの子が青葉湖での郡民祭スケート大会・伊香保での小学生総体や数々の大会に挑戦してきた。中には中学生でもさらに磨きをかけ、高校生・大学生でもスケートを続けた選手が現れた。後にスケート指導者となった大川好和さん・朝比奈幾哉さんもここから育っていったのだ。

今回、「群馬県スケート連盟70年誌」への寄稿に際し、過去20年を振り返ってみた。(それ以前に関しては、たくさんの聞き取りや資料整理が必要なため今回は省略する)

2000年(平成12年)前後、東吾妻町のスケート界は、一時期低迷の時期をむかえた。昭和60年代の活躍選手排出から10数年が経過していた。詳細は触れないが、当時の世話役だった方々の高齢化や活躍した選手たちの巣立ちによる低迷期だったのかもしれない。1月に温川リンク・原町リンクでのスケート講習会を2回実施。青葉湖での郡民祭スケート大会や伊香保リンクでの小学生総体に数名が参加する状況だった。

20数年スケート界から遠ざかっていた小山が吾妻に戻ってきた時期とこの時期が一致した(もっとも高校大学で少しかじったことがある程度のスケート経験しか無かったが、地元に戻り関わることになった)。数年間は、原町小・坂上小・太田小の子どもたちが郡民祭・小学生総体に数名参加する状況のままであった。そんな折、原田智之さん・小代昊さんという原町リンクの世話役指導役の中心メンバーが他界された。

全盛期のような復活は無理としても、「目の前の子どもたちに冬のスポーツ・地域に根ざしたスポーツとして、もっともっとスケートを広めていきたい」そのような思いで、「東吾妻町スケートクラブ」発足へと進んだのである。

2005年(平成17年)太田小の子どもたちのために「太田地区スケートクラブ」を発足させ、学校の駐車場でローラースケート練習するなどして、数年後には郡民祭や小学生総体へ10数名参加するまでになった。

独自に活動していた坂上小・原町小の子どもたちとの交流場面も設定しながら、2009年の郡民祭には、東吾妻町選手団は35名となった。同じく小学生総体には約20名が参加するという大きな選手団になった。この盛り上がりで、小学生総体・スポーツ少年団大会の参加条件作りのため、東吾妻町を一つのスケートクラブ・一つのスポーツ少年団として、まとめていく必要に迫られた。

町の体育協会スケート部長の橋爪一典さんを団長に、田中智一さんを事務局、指導は大川好和さん・田中智一さん・小林芳一さん・小山和久の体制で「東吾妻町スケートクラブ」としてスポーツ少年団活動が始まった。6月の発足当時36名が登録した。(原町小5名・太田小19名・坂上小10名・東小2名)(学年別では6年9名・5年7名・4年2名・3年7名・2年8名・1年3名)

実際にスケートシーズンが始まり、伊香保練習が増えていくと練習参加者がだんだん減ってしまう傾向はあったが、20名弱が伊香保のリンクで練習する集団になった。発足当初は、使われなくなった他のクラブのワンピースを借りたり、地元のリンクのノーマルスケート靴をシーズン通して借用したりしての参加であった。そんな中でも、郡民祭や小学生総体等の大会で入賞する子が数名出て、集団の意気を高揚させてくれた。中には、スラップスケート靴を購入する子・シーズン借用する子も現れ、記録の向上を喜び合う姿がたくさん見られるようになってきた。バジジテストにも積極的に参加し、発足10年間でC級以上取得者が男子5名女子10名となった。

ここ数年の課題の一つとして、小学生でC級取得した子やもう一歩だった子が中学生になると他のスポーツに転向し、スケートを続けてくれないという課題が挙げられる。ショートトラックの中心指導者大川好和さんのもとで練習している原町の子どもは中学生・高校生でもスケートを続ける子もいるが、他の子はなかなか続けられない状況であった。

二つ目の課題が、子どもたちの上達に合わせた指導体制の難しさである。指導者が十分な競技スケートの経験が少ないことで、子どもたちの競技力向上のため

の指導力不足を感じていたことである。東小に宮崎伸介さんが赴任してからはだいぶ改善されたが、全くの初心者とC級以上の選手との一斉指導に難しさを感じていた。クラブ発足当時の事務局兼指導者を担ってくれた田中智一さんの急死、小林芳一さんの転勤による練習参加減少も指導体制を難しくしてきていた。

三つ目の課題が、新たなスケート人口の発掘である。幸い小山が教員生活を定年退職し、坂上小のスケート授業の手伝い、太田小のスケート授業の手伝いに参加できるようになった。大会のない休日には太田リンクで整氷作業をしながら、新たなスケート人口を増やすべく一般開放参加者に簡単なアドバイスをしている。しかし、なかなか伊香保リンクまで親が連れて行くところまで親の気持ちや子どもたちの気持ちを持って行くのが難しいのが現状である。

2016年度から県連盟で積極的にスケート選手育成に取り組み、「スーパーキッズ」制度がスタートした。それにもない、伊香保リンクで練習しているクラブは合同練習体制になった。渋川クラブや前橋クラブ・スーパーキッズなどと一緒に活動することとなったのである。大人数合同で準備運動・陸上アップ・整理運動・振り返りを行う。氷上練習は技術上のクラス分けで初級・中級・上級に分け、クラス別練習を基本とすることになった。中学生は中学生グループとして、大きく分けて4グループでの練習体制になった。このおかげで、課題であった中学生での継続問題・技能技術に合わせた指導体制も大きく改善された。また、リンク使用料を一部連盟で補助してくれるようになったのも保護者にとっては負担軽減でうれしい配慮であった。おかげで子どもたちの競技力はめきめきと伸び、大会で入賞する子が続出するようになった。全中大会でもう一歩で予選突破しそうな子が出るなど、頼もしい結果が出始めている。2019年度東吾妻中は男子4名体制(2年生1名・1年生3名)になりそうである。なんと、中学生総体でリレーに参加できるところまで来たのである。また、吾妻特支学校に黒岩聖矢さんが赴任し、東吾妻クラブ所属になってくれたのも心強く感じる。

3つめの課題はまだまだ解決の糸口は難しそう

あるが、地元の天然リンクでの活動もおろそかにはできない。太田リンクに滑りに来る岩島小の子どもたち・東小の子どもたち・地元太田小の子どもたち（現在登録空白）・近くの中之条町の子どもたちにも積極的に働きかけを続けたい。坂上リンクで練習する坂上小の子どもたちにももう一步働きかけないと（今の太田小のようにならないためにも）。そして、地元リンクを失ってしまった原町の子どもたちにも今後働きかけていく必要がある。大活躍している子どもたちが増えてきているときこそ、今後のことを長い目で展望し、スケート競技人口を広められるよう努力していきたいものだ。（文責 小山和久）

岡崎朋美と滑ろう。初心者スケート教室



講師 岡崎 朋美先生



準備体操



岡崎朋美先生の模範滑走



グループ毎にリンクに入り、壁伝いに歩く



膝を曲げて、つま先を広げる



個別指導



強化の歩み

スピード強化部
本間 章



私が嬭恋高校に赴任したのが、確か長野オリンピックの行われた翌年の平成11年である。教師として母校に戻ったこの年、日光で行われたインターハイにおいて、宮崎今佐人や土屋清貴等の活躍により男子総合優勝争いを演じていた。白樺、帝京第三、嬭恋の3チームで最後のリレー勝負までもつれ込み、転倒した嬭恋と帝京が勝手に脱落し、無難に滑りきった白樺が自動的に優勝となってしまったことを記憶している。夜に行われた日体大OB会の席上で、当時白樺学園の監督である坂井先生が「ほとんど諦めていたんだけど、勝手に優勝してしまった」と言っていたのを思い出す。全くその通りである。この年赴任して、コーチとして特に何か役に立ったという実感は無かったが、この時の悔しさだけは20年経った今でも忘れられない。このような年から私の指導者人生がスタートした訳であるが、以下に20年間の主な取り組みや推移について紹介したい。

選手強化の主体は高校生であった。春（5月）に県総合スポーツセンターで行われる体力測定、メディカルチェックは恒例の行事となっていた。そして、夏（7月）には国際交流事業の一環としてカルガリー氷上合宿を実施していた。主たる目的は氷上での中間評価であったが、年月と共に現地の物価上昇や指導体制維持の困難、そして何より国内での夏季氷上練習が可能となる等の理由により平成18年度を最後に海外合宿を強化計画から削除した。実際の氷上シーズンは10月から始まり、11月まではMウェーブでの氷上練習が中心となっていた。12月になるとようやく野外リンクでの滑走が可能となり、暮れに実施される伊香保合宿は本番前の追い込み合宿として定着していた。宿舎は榛名の高原旅館にお世話になったのだが、数えれば何十年という付き合いとなっていた。色々な出来事が思い出されるが、

朝早い時間から現場の要望に細かく対応していただき、本当に助かった。感謝したい。

年が明けて1月に入るとメインの大会が続く日程は今も昔もほとんど変わっていない。上旬に全日本ジュニア選手権、中旬～下旬にかけてインターハイ、下旬～2月にかけて国体である。

競技力を測る指標として最も適用されるのが国体である。あかぎ国体以来、群馬の得点源として期待され続けてきたスピードスケート競技であるが、平成20年度国体あたりから100点を超えるのが厳しい状況となっており、近年では50点を割り込む年も珍しくなくなってきている。原因は明らかに選手不足である。スキーやスケートは自然相手で、とにかく「寒い」「痛い」「きつい」というイメージが長らくあったが、現代では設備の整った室内競技のイメージが強い。これから競技を始めようとする保護者や子どもにとって、この事はとても重要な要素となり、実際に室内競技場を有する地域（Mウェーブ、十勝オーバル、予定地として八戸）に選手数が偏っていることから分かりやすい図式となっている。現代における環境とはスケート場の有無ではなく、室内スケート場の有無となっているのである。よく言われる「人、物、金、情報」の原則で、「人、情報、最低限の金」だけで今後どこまで強化ができるかは未知数である。

平成28年度より強化（底辺拡大）の一環として、スーパーキッズの募集、活動にも取り組み始めた。スポーツ協会からのサポートを受けながら、小学4年生～6年生を各年10人程度を選抜し強化する事業である。この事業を契機に長らく続いていた各地域やクラブ単位での活動を一つにまとめ、連盟直轄クラブを立ち上げたことが大きな変化である。要点は、都市部の指導体制を整備し、強化の効率化を図ることにある。現状では10人の選抜に対して、10人以上の応募があった年はなく、理想通りには行かない。いくら効率化を進めても結局は伊香保リンクの立地条件が必ず抵抗理由となり、保護者の理解が得られない現状である。「時代」と言えばそれまでであるが、何とか群馬スケートの火を消さないように「人」の

力で頑張りたい。

中体連20年の歩み

前中体連委員長
干川 幸宏



平成11年から平成30年の20年間、群馬県スケート連盟をはじめとする関係諸団体のご支援ご協力により、中体連のスケート部も継続して活躍することができました。この20年間、学校統合による学校数の減少や、生徒数減少に伴う競技人口の減少など、大きな変化がありました。その中でも全国大会で入賞をするなど、活躍は今でも続いています。

平成10年に嬭恋の青葉湖に嬭恋高校のスケートリンクが完成しました。軽井沢スケートリンクが閉鎖してから、思うように練習ができなかった中学生も、このリンクができたことで充実した練習ができるようになりました。

平成16年2月に、地元伊香保で第24回全国中学校スケート大会が開催されました。この大会では、山越竜輔（嬭恋西3年）が500m 2位、1000m 3位と表彰台に上る頑張りを見せました。女子では、今井まどか（北橘3年）が1000m 3位、市場菜々世（嬭恋西1年）が3000m 7位、小池由佳子（小野上3年）が500m 8位入賞を果たしました。嬭恋西の男子総合では4位となり、一人一人が活躍した大会となりました。地元での開催で男女ともに活躍が見られ、成功に終わった大会となりました。

これからの2年間、女子の活躍が目立ち、第25回大会の青森県八戸市での開催で、黒岩美生（嬭恋西3年）が3000m 6位、第26回大会の北海道釧路市での開催では、市場菜々世（嬭恋西3年）が1500m 3位、女子総合も8位でした。女子は少人数ながら一人一人が頑張った時期でした。

第27回大会の北海道苫小牧市の大会を区切りに、次年度から長野県のエムウェーブで、10年間の開催が決定していました。

エムウェーブでの開催1回目の第28回大会では、奥村雄樹（嬭恋西3年）が1500m 3位、古市博人（嬭恋西2年）が500m 7位、男子総合で8位入賞を果たすことができました。

その2年後、第30回大会では、千葉捺美（赤堀3年）が500mで群馬県として久々の優勝、1000mで3位入賞を果たしました。また男子では、土屋良輔（嬭恋西3年）が、3000m 6位、5000m 5位と2種目入賞を果たしました。その他、女子500mで土屋萌（長西3年）が8位、樋沙織（嬭恋東3年）が1000m 8位となり、この年はたくさんの入賞者を出すことができました。

平成23年度、全国大会第32回大会から500mが2本となりました。その500mで、小林裕司（嬭恋西3年）が3位、1000mで7位と入賞を果たし、男子総合6位に入り、予選通過者を含め、みんなが活躍した大会でした。

平成24年度、この年に嬭恋の西中と東中が統合し、嬭恋中学校となりました。

この後、第33回大会では、土屋育（長野原西3年）が5000m 7位、第35回大会では、土屋実（長野原西3年）が3000m 4位、横沢公希（嬭恋3年）が1000m 7位と入賞を果たしました。

平成28年度、東吾妻の5校の中学校が一つになり東吾妻中となりました。この年の第36回大会では、大崎有紗（伊香保3年）が500m 7位、翌年37回大会では、大川夏美（東吾妻3年）が500m 4位、1000m 6位入賞を果たしました。エムウェーブでの開催が10年経ち、更に5年の延期が決定していました。この年から伊香保中に選手がいなくなるという寂しい現状もありました。

群馬県スケート連盟70年を迎える年の全国大会第39回大会、市場翔太（嬭恋3年）が1000m 4位、1500m 7位となり、久々に嬭恋の入賞者として奮起しました。

様々なことがあった20年間ですが、これから先も競技人口の減少が予想される中、群馬県のスケートを担っていく中学生が、今後も活躍していけることを期待しています。

高体連の歩み

スケート専門部委員長
深井 靖士



初任校の榛名高校から渋川西（現渋川青翠）高校への異動と同時に、前高野純一委員長から高体連スケート競技専門部委員長のバトンを引き継いだのは平成9年で、平成30年度末で22年が経過した。

この間、本県では3度の関東大会と2度の全国高校総体を開催している。

関東大会は埼玉県スケート専門部が事務局となり埼玉県秩父市にあるミュージックパークの森スケートリンクを固定会場にして毎年開催するという事で平成6年度に始まり、平成13年度の第8回大会までは埼玉県での開催となった。しかし、平成13年度末でのミュージックパークの森スケートリンクの閉鎖により、第9回と第10回大会は埼玉県スケート専門部が事務局で、日光霧降スケートリンクでの開催となった。その後は、埼玉県内高校生選手と大会運営に携われる埼玉県競技役員との減少に伴い、関東高体連スケート専門部の会議を経て、平成16年度より関東地区で公認リンクを持つ群馬、栃木、山梨の3県が輪番で開催するようになった。群馬県では平成21年度第16回大会を初めて開催し、東京・埼玉・栃木・山梨・群馬の17校から男子36名・女子17名の参加があった。県勢の主な成績は、男子では500mで黒岩聖矢（育英）、2000mR・学校対抗で孺恋高校が優勝、女子では井上瑞穂（孺恋）が500mと1000mで2冠、2000mR、学校対抗で孺恋高校が優勝した。2回目の平成26年度第21回大会では、茨城・埼玉・山梨・群馬の16校から男子25名、女子16名が参加した。残念ながら、優勝は男子孺恋の2000mR・学校対抗のみで、個人種目では男子500mの一場伸一（孺恋）と1000mの黒岩育（前橋）の2位が最高だった。続いての平成28年度第23回大会は全日本ジュニア選手権の日程とのからみで1月の開催となった。埼玉・栃木・山梨・群馬の17

校から男子20名、女子14名が参加した。

この大会の個人では、男子500mで横沢公希（孺恋）、5000mで黒岩岳史（孺恋）が優勝、学校対抗で孺恋が男女とも優勝した。関東大会が始まった当時は、参加者も多く2000mR以外は予選会を行っていたが、選手数の減少やカルテットスタートの導入に伴い、平成11年度第6回大会からは一発決勝レースとなった。

平成14年度には本県で5回目となる第52回全国高校総体スケート競技会を開催した。当年度大会開催事務局員として委員長の深井靖士（渋川青翠）と小池清之（前商）が県高体連事務局にて準備を進めた。開会式は群馬県武道館にて行った。競技役員には青森県から東隆テクニカルコミティと船田和栄スターター、山梨県から高村忠久アシスタントレフェリー、神奈川県から小川裕康トラック監察主任の4氏を迎え、中里昌明レフェリー以下県内競技役員72名、総勢76名の体制で競技運営を行った。この大会で残念だったのは、地元選手の入賞が孺恋高校男子2000mRの第5位のみで1つだけだったこと。県勢では500mで土屋智弘（孺恋）が15位、1000mで土屋賢祐（孺恋）が18位、1500mで土屋賢祐が20位、黒岩裕昭（孺恋）が22位、5000m・10000mで倉田哲也（孺恋）がそれぞれ14位・17位であり決勝へは進出したものの入賞には至らなかった。女子では、小池雅子（前商）、干川浩未（孺恋）、川田希（孺恋）の3名が1000mと1500mの両種目で決勝に進出した。小池は1000mで16位と1500mで17位、干川は19位と21位、川田は22位と23位だった。また、飯島彩（渋女）が3000mで24位だった。この大会で注目を浴びたのが、加藤条治（山形中央）と当時スーパー中学生と呼ばれ帯広白樺学園に進学し二年生になった辻麻希と石野枝里子だ。加藤は500mで35"46と見事に大会記録とリンクレコードを更新するとともにこの種目3連覇を果たし、1000mの優勝とともに2冠を達成した。また、石野は1500mと3000mの2種目で2冠2連覇を達成した。辻も石野と同じく短距離2冠2連覇がかかっていたが、500mで吉井小百合（東海大三）優勝、小

平奈緒（伊那西）2位に続き第3位となり、2冠2連覇はならなかった。しかし1000mでは大会新記録で優勝し2連覇となった。ここに挙げた加藤、辻、石野、吉井、小平らはすべてオリンピック代表選手（メダリスト含む）となって現在においても世界のトップで活躍している選手もいる。

フィギュア競技では、競技レベルの向上と競技時間の短縮を目的とし、この大会より出場参加資格が日本スケート連盟バッジテスト級5級以上の取得者となった。本県からはバッジテスト6級の遠藤真理子（前橋育英）同5級の黒澤美樹（藤岡女子）の2名が出場、それぞれ130人中69位、110位であった。

平成23年度には本県開催9年ぶり6回目となる第61回全国高校総体スケート競技会を開催した。県高体連事務局にて前回に引き続き委員長の深井（渋川工業）と石山雅一（高崎工業）の2名が準備を進めた。開会式は渋川市民会館大ホールにて行った。

この大会では、岩手県から吉田勝、青森県から河原木浩の2名のアシスタントレフェリーと全国高体連スケート専門部から井出敏彦コミティを迎え、高野純一レフェリー以下県内競技役員51名、総勢55名の競技役員に協力頂いた。第55回苫小牧大会以降、全種目予選がなくなったため、前回大会よりも20名減の体制で競技運営を行うことができた。

開会式の日から降り始めた雪は断続的に降り続き、第1日目の男女500mと男子5000mは伊香保では稀な雪の中でのレースとなった。本県選手には慣れていない降雪の中のレースではあったが男子500mでは古市博人（嬭恋）が7位、女子500mでは千葉捺美（前商）が4位に入賞し、幸先の良いスタートを切ることができた。その後、降雪はさらに強くなり整氷作業回数も増えることになり、当初の競技終了予定時間を3時間半オーバーし全レースが終了したのは20時20分であった。そんな中、本県期待の土屋良輔（嬭恋）が5000mで見事優勝してくれたことは、運営する側にとっても嬉しく大きな励みとなった。競技2日目は男子1000mで古市が8位に

入賞、また土屋と同様期待されていた樋沙織（嬭恋）が女子3000mで2位に入賞し表彰台に上がった。競技3日目は、5000mと合わせて2冠が期待された土屋の10000mであったが、百分の17秒差で中村奨太（駒大苫小牧）に敗れ2位となった。

最終日は、女子1500mで樋が3000mの雪辱を果たし見事優勝、2000mRで嬭恋高校男子が2位、女子が7位に入賞した。

さらに学校対抗でも男子が2年連続で3位に、女子が5位に入賞。競技4日間とも表彰台に絡む活躍であり、本県選手団は前回の第52回大会に比べると大きな成果を挙げることができた。入賞には届かなかったが従前の決勝進出に当たる24位以内の選手について見ると男子では500mで田中正晃が18位、1500mで黒岩紀之（嬭恋）が20位、田中博基（嬭恋）が21位、女子では500mの蜂須賀玲菜（嬭恋）が23位、1000mで千葉が12位、黒岩亜沙美（嬭恋）が21位、田中真理（嬭恋）が22位、1500mで菅井麻由（渋女）が16位、山崎実紀（嬭恋）が24位、3000mで菅井が19位、山崎が24位であった。

フィギュア競技女子には本県からいずれもバッジテスト6級の関はるか（沼田女子）、木村遥香（中央中等）、菊池亜美（伊勢崎清明）が出場したが、出場117人中、関が60位、木村が72位、菊池が76位と予選通過はできなかった。

群馬県高校総体兼スケート競技選手権では、嬭恋高校が男子学校対抗で、昭和48年第8回大会から平成30年度の第68回大会まで46回と連勝記録を伸ばしている。また女子についても嬭恋高校が平成6年第29回大会以来25連勝を達成した。スピードスケート人口が減少する中、全国からスケート経験者を募集する嬭恋高校は他道県のスピードスケート有力校にも劣らず部員数が確保できている高校である。しばらく連勝記録は続いていくのであろう。今後は常に全国上位レベルで勝負できるかつての嬭恋高校の復活を願う。

歴代専門部長

H9~12 信澤 明（渋川青翠）

- H13~14 横堀 剛毅 (渋川青翠)
- H15~16 堀口 義雄 (渋川工業)
- H17~18 児島 修 (渋川工業)
- H19~22 峯川 一郎 (渋川工業)
- H23~25 宮崎 伸弘 (渋川工業)
- H26~27 茂木 幸雄 (渋川工業)
- H28 谷 勝彦 (渋川工業)
- H29~30 原澤 弘子 (渋川女子)

歴代専門委員長

- H9~14 深井 靖士 (渋川青翠)
- H15~28 " (渋川工業)
- H29~ " (渋川女子)



高体連婦恋夏季合宿

フィギュア強化の歩み



フィギュア部長
鏑木 咲千好

私は平成24年にフィギュア部長に就任しました。それまでの強化のあり方というのは定かではないのですが、私が部長になってからは2つの強化に取り組んで来ました。

まずは選手の強化ということで、それまで各クラブ単位での合宿や練習だったのを県連盟主催に変えて、選手の士気を高め、技術の向上を図ってきました。それから連盟役員強化という点では、県内大会の参加でとどめている役員について県外の選手、技術がどのようになっているのか実際観て勉強してほしいという願いから毎年ブロック大会、全国レベルの大会を招致してきました。このようにおこなってきて感じたことはスケートスキル、いわゆる基本的な滑りについて県内選手は最も劣ると思い、近年より東京のインストラクターの先生にスケートの基礎となるフットワーク練習をお願いしています。その成果はわずかなものかもしれませんが確実に形になって来ていると思います。全国レベルの大会に出場している選手も増えてきています。若手の連盟役員も育ってきました。今後もさらなるプランを考えてより一層の強化を行っていきたいと思います。

フィギュアスケート競技は年間を通して氷にのる事により上達が叶うのです。全国大会へ選手を送り込む為には、通年リンクがなければ更なる進化は無いと考えます。スケート王国ぐんまと称された群馬県ですが、通年リンクが無い県だという現実があります。上達し続けている選手の多くは練習拠点を県外におきます。選手強化が他県に頼っている今、強化のあり方を常に考え、進化し続けるフィギュア部を支えていくことが私の使命だと考えます。

高崎健康福祉大学スケート部の創部

高崎健康福祉大学理学療法学科教授

スケート部監督 入澤 孝一

平成の後半、群馬県の競技力の課題は、高校を卒業した選手の育成という問題でした。

南波スケート連盟会長に相談したところ、高崎健康福祉大学の須藤理事長にスケート部創部を打診していただき、スケート部を創部していただけることになりました。

有望な高校生の顧問に創部の挨拶をしながら、旧交を温めるという多忙な中、充実した勧誘活動を始めました。そのような中で、偶然出会ったのが釧路インターハイにコーチとして来ていた「小原悠里」選手でした。彼女は同年のバンクーバーオリンピック選考会で敗れ、これからの進路を模索しながら帯広北高校の臨時コーチとして釧路に来ていました。勧誘資料を渡した翌日、「先生、私が大学に新入生として入学することはできますか」という思いを聞きました。この出来ごとが高崎健康福祉大学スケート部のこれからの運命を決定する瞬間であったと思います。そしてもう一人、釧路北陽高校の榊先生が「中田」選手を送ってくれました。

2010年4月（平成22年）、選手2人（小原、中田）で活動を始めました。

創部2年目には小原選手を頼って、インターハイの表彰台に上った「阿部友香」を含め、地元孺恋高



一期生 小原悠里 選手

校から3名、北海道、長野、岐阜から合計7名の選手が入部して、部としての形が整い順調なスタートを切ることができました。

その後、毎年選手が自己記録を更新したことが認知されインターハイで上位入賞した選手が毎年入部するようになりました。

レベルの高い選手が揃ったことで日常のトレーニングレベルが格段に向上し、高崎健康福祉大学スケート部もスケート界から一定の評価を得られるまで成長しました。2015年（平成27年度）から2018年（平成30年度）までインカレ女子4連覇、2018年には男子も総合2位という過去最高の成績を残すことができました。

平昌オリンピックでは、佐藤綾乃がチームパシュート金メダルを獲得しました。また、ワールドカップでは連戦連勝の快進撃の活躍を続けています。

男子の新濱立也も、2018/2019年シーズンでワールドカップに初参戦し、個人種目でのワールドカップ3勝、日本記録樹立、500m33秒台突入（世界記録）まで到達しました。

【国際大会での活躍】

平成25年度

イタリア・トレンティーノで開催された冬季ユニバーシアードに、坂本永吉、阿部友香・関口莉菜・長屋夏の4名が出場しました。



坂本永吉 選手

平成 26 年度

11 月カルガリで開催されたジュニアワールドカップ第 1 戦で酒井寧子が 1500m、3000m とともに優勝しました。2 月にはジュニアワールドカップ第 2 戦、世界ジュニア選手権に出場し、チームパシュートで 3 位入賞を果たすことができました。



酒井寧子 選手

平成 27 年度

佐藤綾乃、浅野実久、新濱立也の 3 名が世界ジュニア代表として出場し、佐藤綾乃がマススタートで優勝。チームパシュートでも 3 位入賞を果たしました。

平成 28 年度

坂本、佐藤がワールドカップ選考会で代表に選考されました。坂本は、ワールドカップの第 1 戦、2 戦に出場しました。佐藤はワールドカップ全戦、世界選手権に出場し、チームパシュートで優勝、マススタートで 3 位に入賞することができました。

酒井寧子は、ワールドカップ代表は逃したものの、冬季ユニバーシアードに出場し 1500、3000m で 4 位、5000m で 2 位に入賞しました。

飯島可奈子は、世界ジュニア選手権に出場し、チームパシュートで 2 位に入賞しました。

平成 29 年度

佐藤綾乃が平昌オリンピック代表の座を獲得することができました。

佐藤は、オリンピックチームパシュートで金メダルを獲得しました。また、ワールドカップマススタートでも 2 勝を挙げ個人種目でも活躍しました。

堀 あかりも、世界ジュニア選手権に出場しました。

新濱立也・浅野実久は世界大学選手権に出場し、共に 500m で優勝した。浅野と新濱は、1 年生で世界ジュニア、2 年でユニバーシアード、3 年で世界大学選手権と毎年世界を経験しています。

平成 30 年度

10 月に実施された全日本距離別選手権大会（ワールドカップ選考会）の結果、佐藤、新濱、小野寺の 3 名がワールドカップ日本代表に選考されました。

佐藤は、チームパシュートメンバーとしてワールドカップで 3 勝（すべて優勝）、マススタートにもすべて出場し、他の個人種目でも 1500m、3000m を中心にディビジョン A に出場し日本の中心的な選手として存在感を高めています。

新濱はワールドカップ初参戦でしたが、初戦の帯広大会で 3 位入賞し、勢いにのり、第 2 戦で初優勝、最終戦では日本記録（世界記録 33 秒 79）で優勝。世界で一番ポテンシャルの高い短距離選手としての地位を確立しました。

小野寺は、主にディビジョン B で 1500m、3000m のレースを戦ってきました。

戸水謙一郎はイタリアで行われたジュニアワールドカップ、世界ジュニア選手権に出場し、ジュニアワールドカップチームパシュートで 2 位入賞しました。



小野寺優奈 選手

ショートトラックのあゆみ

<強化部>

県単位でのショートトラックの強化は、大川がコーチを始めてから10年ほど経過し、選手数が増したりレベルが向上したりと大分軌道に乗ってきた。全国大会も小学生は全日本ホープスに出場し、入賞する者も出てきた。中高生は、全日本ジュニアや東日本選手権、全日本選抜、全日本選手権といった全国大会に挑戦し、上位に食い込む選手も増えてきた。また、日本スケート連盟の全日本ジュニア強化選手に数名がほぼ毎年選ばれるようになってきた。そんな中でショートトラック部(県ショート)としては、国体で得点することと世界を目指す選手の育成を目標として掲げ、強化を進めてきた。はじめは、年に数回群馬県として合宿をしていたが、自分たちよりレベルの高い選手とトレーニングする必要性を感じ、強豪県である神奈川県、山梨県そして東京都と合同合宿、合同練習を行い、切磋琢磨して競技力を向上させてきた。さらに中里昌明氏に仲介していただき、韓国合宿を行うに至った。現在では日本中の様々なチームが韓国に遠征し、練習を積むようになったが、当時は県合宿を韓国で行う所はなく、国内初めての試みであった。現地で2つのチームに交渉し、朝夕の氷上練習と陸トレに参加させてもらうことになった。1つのチームは韓国体育大学チームで、それを率いるチョン・ジェスコーチ(後にカナダ、アメリカのコーチになり、アポロ選手を育てた。現ハンガリーのコーチ)と親交を深め、数年後に再び合同練習を受け入れてくれることとなった。もう1つのチームも強豪チームで後にロシアに移籍し金メダリストとなるアン選手も在籍していた。この2回の合宿を経験した田上、貞包選手は後に日本代表選手となり、石関選手は現在、県の強化さらには日本の強化を担うコーチになっている。

<2人のオリンピック>

渋川中学時代から全日本ジュニアで上位に入り、世界ジュニアにあと一步という所まで成長した貞包紘子にとって、世界ジュニア出場は大きな目標であ

った。健大高崎高に進んでからは、さらにスピードを磨き、抜群のラストスパートで各試合を勝ち上がるようになったが、選考試合の全日本ジュニアではもう一步で及ばない年が続いた。そして最後の挑戦となる高校3年生の大会で、見事総合優勝を果たし、世界ジュニア代表権を獲得した。ところがその3日後、前橋の練習中に転倒し、脊椎骨折という重傷を負うこととなる。まさに天国から地獄に突き落とされるような形となった貞包選手であるが、周囲の懸念をよそに懸命にリハビリに努め、順天堂大学に進学、秋の全日本選手権で上位に入り、世界選手権代表に選ばれる。順天堂大学に進んだ貞包は、ワールドカップ等の世界大会を数多く経験し、日本のトップ選手に仲間入りした。さらに卒業後に臨んだ全日本選手権で上位に入り、長年の夢であったオリンピック出場を果たすのである。バンクーバーオリンピックでは、1500mで落ち着いたレースを展開し、日本勢最高の12位という成績を残し、長年のスケート生活に有終の美を飾ることができた。県ショートの選手は、関係者とともにパブリックビューイングを行い、先輩のレースを見守った。

小学生のうちに県ショートに入部し、太田工業高に入ってから急速にレベルアップした坂爪亮介は、2年時に国体に入賞、3年時には世界ジュニアも狙えるほどに成長した。しかし秋に転倒、大腿骨折という大怪我に見舞われる。強い心を持つ坂爪は、日本体育大学に進学し、東京チームの強豪とトレーニングを繰り返し、ワールドカップに選ばれるまでに成長した。ワールドカップでの最高位は、500mで3位というものだった。その他、アジア大会や世界選手権等の世界大会に数々参加、入賞もあり、社会人チームに所属してからは、日本のトップ選手として君臨するまでに至った。坂爪の長年の夢であったオリンピック、ソチ大会の第1次選考試合でトップに立ち、楽勝かと思われた。ところが秋のワールドカップで転倒、足首の複雑骨折という大怪我を負う。ここでも坂爪は、強い心を発揮して骨にボルトを入れた状態で懸命にリハビリ、最終選考試合に間に合わせ、ソチオリンピック出場を決めた。大会終了後、

引退も考えた坂爪であったが、4年後のピョンチャンオリンピックに向けて再挑戦を決意、以前本県が世話になったジェスコーチの弟、チョン・ジェモクコーチに師事、単身韓国で修行を積む。「命がけて臨む。」という言葉通りの血の滲むような鍛錬の末、再びオリンピック代表権を勝ち取る。大会では500m 7位入賞、1000m 5位入賞、5000mリレーでは7位入賞という輝かしい足跡を残してリンクを去った。貞包の時とメンバーは代わったが、チームみんなで応援し、尊敬する先輩の勇姿を目に焼き付けた。

＜日の丸を背負った選手達＞

○田上真一（桐生高、慶應義塾大）

オリンピックこそわずかな差で逃したが、世界選手権、ワールドカップ、アジア大会等に数多く出場。カナダのワールドカップで打ち立てた1500mの日本記録は、長年破られなかった。寺尾選手と並ぶ当時の日本のエースだった。

○石関佑樹（桐生高、早稲田大）

高校3年の群馬国体1000mで田上とワンツーフイニッシュを飾る。大学時、アジア選手権、日中交流試合出場。

○清水勇斗（桐生高、山梨学院大）

中国で行われた日中交流試合に出場。

○佐藤渚（健大高崎高、神奈川大）

トルコで行われたユニバーシアードに出場。

○中野楓（元総社中、健大高崎高、高崎健大）

中学時、中国で行われたアジアントロフィーに出場。

○中野あやめ（元総社中、山梨学院高・大）

カザフスタンで行われたユニバーシアード出場、1000mで銅メダル獲得。

○阿部恵大（健大高崎高）

中学時インドネシアで行われたアジアントロフィーに出場、総合3位に入賞。

＜ショートトラック国体種目に採用＞

平成12年1月の青森国体でスピードの成年BCが最後となり、ショートトラックが正式種目となったのは、平成13年1月の山梨国体からである。この時須藤良輔（前橋商業高）が初入賞。

それから後輩が続いていき、今年は18年目を迎えた。その中でも特筆すべきは平成15年前橋アーナで行われた群馬国体であろう。

前年にオリンピックに複数回出場した篠原祐剛と勅使河原郁恵が本県に移籍、一緒に練習することになった。日本のトップ選手と毎日トレーニングをすることで、トレーニングの質や選手の意識が高まり、高校生の競技力が飛躍的に向上した。コーチもワールドカップやアジア大会に帯同し、経験を積んだ。

そして国体当日、多くの地元の観客の前で見せた石関佑樹、田上真一の桐生高コンビの1000mに於けるワンツーフイニッシュは、まさに劇的といえるものだった。

続いて貞包紘子の1000m3位、リレーの男女入賞などで最高得点を記録した。その後、名古屋国体で坂爪亮介が500mで優勝したが、なかなか上位入賞をする選手は表れなかった。

しかし近年、丸山凜太郎（高崎高）が平成29年長野国体500mで2位に入賞、櫛瀬ななみ（市立前橋高）が平成最後の釧路国体500mで3位に入賞するなど高校生の台頭が感じられるようになった。長年連続入賞していた成年男女のリレーは、釧路国体ではエントリーなしという寂しい結果となったが、次回国体では男女ともエントリーできる状況になった。またそのメンバーも年々強力な布陣になりそうである。

今後は、このところ低迷している国体の得点をさらに多く得られるよう、強化を進めていきたい。

また、50周年記念誌に「夢のまた夢」と記した世界に羽ばたく選手を今後も育成できるよう、尽力していきたい。

（文責 大川好和）

ショートトラック審判部

◇審判の現状

ショートの審判は前橋、伊勢崎、桐生、太田の東毛の審判員で運営している。編成はナショナル審判員の清水、高野、日ス連でビデオ担当の山田、スタ

ーターは都連で太田在住の三本木氏の応援を貰い総勢で12、3名の少数精鋭で各自が専門技能を持ち運営している。しかし全ての役職を現審判員だけでは、足りず選手の父兄にヒートボックス、招集等に対応して頂いている。

◇大会の運営

大会は111.12mのリンクでショート特有のエリミネーション方式で（各レースの上位2名が予選から決勝へとラウンド勝ち抜いていく、着順で順位が決まる）大会が行われる為、次のラウンドの組合せを短時間で作って、競技を進める運営力が必要。

各審判の役職は、基本的にはアウトと同じだが、組合せを作るコンペチターズスチュワード、接触、転倒などの常におこる為、レフェリー、アシスタントレフェリー、スターターは知識と経験力が必要のため専門職となる。

県内の大会は東毛地区の県内役員に選手の父兄に応援を貰い必要最小限の人数で年4回の大会の運営を行っている。

日ス連主催の大会は専門職であるレフェリー、アシスタントレフェリー、コンペチターズスチュワード、スターターが日ス連から派遣される為、残りの役職は県内役員に一部他県から応援を貰い2年に一度ほど行われる大会を運営している。

毎回大変なのが、トラックスチュワードの確保である。選手と同レベルのスケータリングが必要で交代要員を含めると8名は必要となる為、OB含め人選に毎回苦労している。

又ショートの大会には父母会の存在がなくてはならないものになっている。総務、記録の裏方を担当して貰い、経験者、未経験者が毎回活躍してくれている。

◇県主催大会運営

月	大会名
10	距離別競技会
11	ショート競技会
12	国体予選&記録会
03	ショート選手権

◇日ス連主催大会運営実績

年	大会名
2006	国民体育大会 東日本選手権
2009	全日本選抜選手権
2010	東日本選手権
2011	全日本ノービス選手権
2012	東日本選手権
2014	国民体育大会
2016	全日本ノービス&ジュニア選手権

◇これからの課題

ショートの審判員に限らず、審判員の高齢化が進んでおり、60歳以上の審判員が半数以上を占めており、若手の育成と人数の確保が急務の課題である。連盟とも連携を取り対応する必要がある。

又ショートの大会では記録を1000分の1秒まで出す必要があり、又着順で順位が決まるゴールの微妙な差の判定にはスリットビデオ機器の導入が必要不可欠であり、連盟と調整を図っていきたい。

（文責 清水 久男）



資料編

国際競技会：群馬県出身選手・役員の出場および成績

1999年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績
11/27-28	W杯第1戦	ベルリン		黒岩 敏幸	500m⑬36"37 1000m⑧1'12"34 500m⑩36"20 1000m⑭1'12"89
12/4-5	W杯第2戦	ワルシャワ		黒岩 敏幸	500m⑬38"16 1000m⑦1'14"65 500m⑫37"35 1000m⑭1'15"16
1/14-15	アジア選手権	ウランバートル		黒岩 敏幸	500m①74.62 500m①37"04 500m③37"58 1000m②1'13"76
				香川真由美	500m⑥96.06 500m①41"13 500m⑦54"93 1000m①1'24"15
2/12-13	W杯第3戦	ハゼルガテ・ピネ		宮崎今佐人	B5000m⑧6'55"87
2/19-20	W杯第4戦	ヘレンベーン		宮崎今佐人	B5000m⑧6'45"53 日本高校新
2/12-13	ジュニアカントリー マッチ	コラルボ		小林 和朗	500m②37"77 1500m⑥1'55"58 3000m③4'05"67 総合②117.241
2/18-20	世界ジュニア	セイナヨキ		小林 和朗	500m⑥39"10 1500m⑧2'01"22 3000m③4'09"62 5000m⑤7'18"66 総合⑤164.975

2000年度

11/19-20	W杯第1戦	ベルリン		宮崎今佐人	B5000m⑥6'42"49	
11/25-26	W杯第2戦	ヘレンベーン		宮崎今佐人	B1500m⑪1'53"41 B10000m⑪13'55"54	
12/2-3	アジア予選	ハルピン	スターター 女子	高野純一	宮崎今佐人	500m⑩39"26 5000m③6'52"28 1500m⑨1'56"26 1000m③14'21"45 総合⑦ 162.313
3/15-18	ファイナル	カルガリー			小林 和朗	500m 36"30 3000m 3'52"20 1500m 1'47"04 5000m 6'45"12 総合151.192 中総合日本新
					宮崎今佐人	500m①37"73 5000m④6'33"40 1500m④1'48"92 1000m②13'31"24 総合 153.939
					黒岩 敏幸	500m 35"71 500m 35"53 1000m 1'10"16

2002年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績	
11/16-17	W杯第1戦	エルフルト		宮崎今佐人	B1500m 28位 1'54"02 B5000m⑫6'44"54	
11/23-24	W杯第2戦	ヘレンベーン		宮崎今佐人	B1500m⑩1'53"34 B10000m⑫14'04"38	
1/10-11	W杯第3戦	ソルトレーク		今井 裕介	1000m⑧1'09"79 1000m⑤1'08"74	
1/18-19	世界スプリント	カルガリー	スターター 男子	高野純一	今井 裕介	500m⑩35"77 1000m⑬1'09"77 500m⑭35"57 1000m⑪1'09"22 総合⑭140.835
2/2-5	アジア大会	八戸		宮崎今佐人	5000m③7'12"45 1000m②14'47"16	
2/8-9	世界選手権	イエテボリ			今井 裕介	1000m⑤1'14"15 1500m⑤1'56"53
					小林 和朗	500m⑬37"84 5000m 23位 7'12"58 1500m⑨1'58"28 総合 ⑳ 119.856
2/14-15	W杯第4戦	ハゼルガテ・ピネ		小林 和朗	B5000m③6'59"76	
2/21-23	世界ジュニア	釧路			今井 裕介	B1500m③1'52"58
					山崎めぐみ	500m④3"11⑫ 1500m⑨②"13"62 1000m 21位 1'26"32 3000m⑥4'42"45 総合⑬177.885
2/19-21	ファイナル	カルガリー		小林 和朗	500m②36"48 3000m⑥3'53"74 1500m⑥1'50"29 5000m⑥6'46"26 OP1500m 1'49"79	
3/1	W杯第4戦	インツェル		今井 裕介	1000m⑬1'12"31	
3/7-8	W杯第5戦	ヘレンベーン		今井 裕介	B1500m⑦1'51"45 1000m⑫1'11"52	
3/16	世界距離別	ベルリン		今井 裕介	1000m⑪1'11"59	

2003年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績	
1/9-11	S世界ジュニア	中国		田上 真一	1500m⑨2.23.842 500m 27位 44.264 1000m 32位 1.32.533	
11/8-9	W杯第1戦	ハーマル		宮崎今佐人		
11/15-16	W杯第2戦	エルフルト			今井 裕介	1500m⑨1'51"04
					宮崎今佐人	B1500m⑨1'53"47 B10000m⑦13'59"01 1500m⑨1'51"39
11/22-23	W杯第3戦	ヘレンベーン		宮崎今佐人	B1500m⑮1'53"17 B5000m⑦6'46"88	
12/6-7	W杯第4戦	カルガリー		今井 裕介	B1000m 23位 1'54"30	
12/13-14	W杯第5戦	ソルトレーク		今井 裕介	1000m⑫1'09"61 1000m⑨1'10"28 1000m⑫1'08"95	
1/3-4	アジア予選 アジア選手権	韓国	スターター 男子	高野純一	宮崎今佐人	500m⑧39"54 5000m③7'07"12 1500m⑤1'58"39 1000m②14'54"03 総合5位
					小林 和朗	1000m④①1'15"70 1500m②①57"59 5000m⑥7'13"08
1/17-18	世界スプリント	長野		今井 裕介	500m⑨36"31 1000m⑪1'11"09 500m⑩36"31 1000m⑬①1'11"19 総合⑯143.760	
1/24-25	W杯第6戦	ハルピン		今井 裕介	1000m⑫1'11"89 1000m⑬1'11"29	
2/6-8	世界選手権	ハーマル		宮崎今佐人	500m⑫37"72 5000m 22位 6'44"28 1500m 21位 1'51"63 総合22位 115.358	
2/14-15	W杯第7戦	コラルボ		今井 裕介	1000m⑩1'12"08	
2/20-22	W杯第8戦	インツェル			宮崎今佐人	B1500m⑫ 1'56"98 B5000m④6'48"78
					今井 裕介	1000m⑨1'12"07 B1500m⑥1'52"48
2/28-29	W杯第9戦	ヘレンベーン			宮崎今佐人	B1500m 22位 1'54"07 B5000m⑮6'47"62 B10000m⑩13'57"71
					今井 裕介	1000m⑪1'11"13 B1500m⑨1'53"62
3/12-14	世界距離別	ソウル		宮崎今佐人	5000m 23位 7'00"00	
3/11-12	ファイナル	カルガリー		小林 和朗	500m②36"85 3000m⑦3'50"39 1500m③1'48"45 5000m⑨6'48"45	

2004年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績	
11/13-14	W杯第1戦	ハーマル		宮崎今佐人	B5000m⑤6'32"81	
11/21-22	W杯第2戦	ベルリン		宮崎今佐人	B5000m④6'34"43	
11/27-28	W杯第3戦	ヘレンベーン		宮崎今佐人	B10000m⑤13'54"46	
12/4-5	W杯第4戦	長野		今井 裕介	1000m②1'09"79 1000m⑦1'09"86	
12/12-13	W杯第5戦	ハルビン		今井 裕介	1000m⑨1'11"23 1000m⑭1'11"72	
1/8-9	アジア予選	伊香保	スターター	高野純一	宮崎今佐人	500m⑦39"05 5000m②6'53"60 1500m②1'52"04 10000m②14'02"97 総合③159.904
	アジア選手権			黒岩菊男	小林 和朗	1000m④1'13"73 1500m①1'54"84
1/12-22	ユニバーシアード	インスブルック		宮崎今佐人	5000m②6'51"53 10000m①14'06"89	
				田上 真一	1000m 27位 1500m 15位 3000m⑩ 5000mR③6.58.439	
1/14-15	W杯第6戦	カルガリー		今井 裕介	1000m⑩1'09"61 1000m⑩1'09"22	
1/29-30	W杯第7戦	ハゼルガデーヒネ		宮崎今佐人	B5000m⑦6'49"94 B1500m⑨1'54"62	
2/5-6	世界選手権	モスクワ	スターター 男子	高野純一	宮崎今佐人	500m⑦38"31 5000m⑨6'46"23 1500m⑩1'52"79 総合⑨116.529
2/12-13	W杯第8戦	エルフルト		今井 裕介	1000m⑩1'10"08 1000m④1'09"87	
2/18-20	W杯第9戦	ヘレンベーン		今井 裕介	B1500m⑧1'50"53 1000m⑪1'10"15	
				宮崎今佐人	B5000m⑧6'38"29 B10000m⑥13'38"37	
3/3-6	距離別選手権	インツェル		今井 裕介	1000m⑨1'11"10	
				宮崎今佐人	5000m 22位 6'54"07 10000m⑭14'02"72	

2005年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績	
11/11-13	W杯第3戦	イタリア		田上 真一	1500m 33位 2.21.467 5000mR⑧7.07.318	
11/18-21	W杯第4戦	オランダ		田上 真一	1500mDQ	
3/25-27	Sチーム選手権	カナダ		貞包 智子	500m 46.639 500m 45.664 3000mR 4.23.757 B2③25P	
11/13-14	W杯第1戦	カルガリー		今井 裕介	1500m⑭1'46"85	
				宮崎今佐人	B5000m⑬6'26"35	
11/18-20	W杯第2戦	ソルトレーク		今井 裕介	B1500m⑤1'46"63 1000m⑫1'08"58 1000m⑦1'08"47	
				宮崎今佐人	B5000m⑬6'30"37	
12/3-4	W杯第3戦	ヘレンベーン		今井 裕介	1500m⑯1'49"21	
				宮崎今佐人	B10000m④13'40"89	
12/9-11	W杯第4戦	トリノ		今井 裕介	1000m②1'10"08	
				宮崎今佐人	B5000m⑪6'38"38	
1/21-22	世界スプリント	ヘレンベーン		今井 裕介	500m25位36"05 1000m⑬1'10"60 500m⑰35"88 1000m④1'09"90 総合⑫142.180	
1/28-29	W杯第5戦	コラルボ		今井 裕介	1000m③1'10"22 1000m⑨1'10"09	
2/10-26	オリンピック	トリノ	スターター 女子	高野純一	今井 裕介	1000m⑫1'10"48 1500m34位1'50"56
				宮崎今佐人	5000m21位6'40"03 TP ⑧3'50"37	

2006年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績
11/10-11	W杯第1戦	ヘレンベーン		宮崎今佐人	B5000m⑩6'45"53
11/17-18	W杯第2戦	ベルリン		宮崎今佐人	B5000m⑨6'33"39 B1500m21位1'51"69
11/25-26	W杯第3戦	モスクワ		宮崎今佐人	B10000m⑫13'48"22 B1500m⑩1'53"70
1/6-7	アジア予選	長春		宮崎今佐人	500m⑪38"82 5000m⑤6'55"56
1/29	アジア大会	長春		宮崎今佐人	5000m⑦6'47"90
1/19	ユニバーシアード	トリノ		鈴木 暢	500m⑩72.62 36"28 36"34
2/2-3	W杯第4戦	トリノ		宮崎今佐人	B5000m⑤6'35"14
2/17-18	W杯第5戦	エルフルト		宮崎今佐人	B10000m⑦13'44"38

2007年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績
2/16-17	ジュニアカントリー	瑞浪		黒岩 美生	500m④41"901500m⑥2'14"06 1000m③1'24"68 総合3位
2/22-24	世界ジュニア	長春		黒岩 美生	500m⑤40"88 1500m25位2'09"85 1000m⑩1'23"11 3000m⑳4"38"86 172.194 総合⑨

2008年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績
2/18-28	ユニバーシアード	ハルビン		黒岩 信允	5000m⑩6'45"73 10000m④13'49"51
2/6-8	SW杯第5戦	ソフィア		貞包 智子	500m⑫45.573 1000m⑬1.32.201 3000mR④4.16.819 DQ
2/13-15	SW杯第6戦	ドレスデン		貞包 智子	500m 24位 45.379 500m⑨44.618 3000mR DQ
3/14-16	Sチーム選手権	オランダ		貞包 智子	B2④15P 3000m⑦3000mR③ Aファイナル④25P

2009年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績	
9/17-20	SW杯第1戦	北京	スタッフ	石関祐樹	貞包 智子	1500m35位2.35.233 3000mR⑥4'19"497
9/24-27	SW杯第2戦	ソウル	スタッフ	石関祐樹	貞包 智子	1500m⑬2.26.569 3000mR②4'19"614
11/5-8	SW杯第3戦	モンテリオール	スタッフ	石関祐樹	貞包 智子	1500m③2.26.315 3000mR⑥4.21.698
11/12-15	SW杯第4戦	マルケット	スタッフ	石関祐樹	貞包 智子	1500m19位 2.25.526 3000mR④4.11.189 NR
2/13-26	オリンピック	バンクーバー		貞包 智子	1500mB決④2'43"135最終⑫ 3000mRB決④最終⑦	
3/19-21	S世界選手権	ソフィア		貞包 智子	3000mR⑥4.15.608	
3/27-28	Sチーム選手権	ボルミオ		貞包 智子	B1②29P 敗者復活①39P Aファイナル④19P	



佐藤綾乃



阿部友香



坂爪亮介



樋 沙織

2010年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績
2/1	アジア大会	アルマータ		坂爪 亮介	500m③ 5000mR②
12/3	SW杯第3戦	長春		坂爪 亮介	500m⑥41.913 500m③42.566 5000mR ⑨6.57.992
12/10	SW杯第4戦	上海		坂爪 亮介	500m②043.579 5000mR⑦7.05.874
2/11	SW杯第5戦	モスクワ		坂爪 亮介	1000m⑪1.29.370 5000mR⑤6.49.737
2/18	SW杯第6戦	ドレスデン		坂爪 亮介	500m 25位 42.519 5000mR⑨6.41.991
3/19	Sチーム選手権	ワルシャワ		坂爪 亮介	B1③17P B2③23P Aファイナル④18P
1/28-30	W杯	モスクワ		藤村 祥子	B3000m⑩4'22"47 TP⑦3'10"12

2011年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績
11/11-12	ジュニアW杯	エルフルト		小林 裕司	500m1回目24位38"58 500m2回目②038.34
11/18-19	ジュニアW杯	ビュゲン		小林 裕司	500mDQ
3/2-4	世界ジュニア	帯広	支援コーチ 本間 章	樋 沙織	500m⑨80.81⑩40"37⑪40"44 1000m⑫1'21"06 1500m⑬2'07"80 TP②3'13"67RR
3/9-10	ジュニアW杯	帯広	支援コーチ 本間 章	樋 沙織	500m⑤40"93 1000m⑤1'20"66 1500m⑩2'08"50

2012年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績
8/10-11	デザートクラシック	ソルトレーク	コーチ 本間 章	土屋 良輔 樋 沙織	1500m③1'53"38 5000m②6'42"37 1500m①2'01"80 3000m①4'23"27
11/15-16	ジュニアW杯	カルガリー		樋 沙織	1000m②1'17"99 3000m②4'17"75 500m④40"16 1500m②2'00"70
12/8-9	ジュニアW杯	インツェル		樋 沙織	500m⑩40"50 1000m⑬1'21"67 3000m⑱4'36"63 TP③3'16"82
11/16-18	W杯	ヘレンベーン		土屋 良輔	B5000m⑬6'40"29
11/24-25	W杯	コロムナ		土屋 良輔	B5000m⑫6'37"22
12/1-3	W杯	アスタナ		土屋 良輔	B10000m⑮13'39"89
2/16-17	ジュニアW杯 ファイナル	コラルボ	コーチ 本間 章	樋 沙織	1500m③2'08"56 3000m④4'39"80
2/22-24	世界ジュニア	コラルボ	コーチ 本間 章	樋 沙織	500m⑤41"43 1500m⑬2'09"17 1000m⑤1'20"61 3000mWDR 総合21位124.791 TP①3'12"97
3/7-11	オーバル ファイナル	カルガリー	監督 入澤孝一	小原 悠里	500m⑫39"70 500m⑪39"64 1000m⑪1'18"77
				関口 莉菜	500m⑬40"00 500m⑮39"90 1000m27位1'20"45 1000m⑳1'19"99
				宮澤 里沙	500m⑱40"12 500m⑮39"90 1000m⑱1'19"58 1000m⑱1'19"94
				阿部 有香	500m25位40"36 500m⑱40"18 1000m⑨1'18"11 1000m⑨1'18"90 1500m⑦2'00"52 3000m⑧4'15"93
				新田 萌	500m60位43"31 1000m46位1'24"52 1500m30位2'06"66 3000m⑯4'25"43
10/19-21	SW杯第1戦	カルガリー		坂爪 亮介	1000m⑪ 1000m⑩1'26"367 5000mR⑤ SF6.40.452 NR
10/26-28	SW杯第2戦	モントリオール		坂爪 亮介	1000m27位1.31.640 5000mR⑥6.56.129
11/30-12/2	SW杯第3戦	名古屋		坂爪 亮介	1000m22位1.29.396 5000mR⑦6.54.349
12/7-9	SW杯第4戦	上海		坂爪 亮介	1000m⑪127.785 500mDQ
2/1-3	SW杯第5戦	ソチ		坂爪 亮介	1000m⑦1.26.358 5000mR⑥6.50.446
2/8-10	SW杯第6戦	ドレスデン		坂爪 亮介	1000m⑫1.28.675 500m25位 42.301
3/8-10	S世界選手権	デブレッシェン		坂爪 亮介	1500m④2.27.437 500m⑩①10"044 1000m⑬1'28"064 3000m⑧5.12.480 総合⑨

2013年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績
9/26-29	SW杯第1戦	上海		坂爪 亮介	1500m⑧2.22.523 500m⑬41.714 転倒骨折 1000m⑬DNS
12/11-21	ユニバーシアード	トレンティーノ	コーチ 入澤孝一	坂本 永吉	500m⑫72.98 36.33 36.65
				土屋 良輔	5000m⑩6'47"03 10000m⑨14'15"68
				黒岩 美生	500m⑧81.01 40.65 40.35 1000m⑨1'21"92
				宮崎 麻衣	500m⑨81.10 40.78 40.31
				関口 莉菜	500m⑬81.73 40.97 40.76
				阿部 友香	1000m⑥1'20"64 1500m⑧2'06"46 TP②3'11"39
				長屋 千夏	1500m⑭4'09"44 TP②3'11"39
1/11-12	アジア選手権	苫小牧		永田 希絵	500m③82.21 41.34③ 40.87④ 1000m②1'24"31
1/11-12	ジュニアW杯	苫小牧		樋 沙織	500m⑤82.92 42.11⑤ 40.81③ 1000m④1'24"58
				長屋 千夏	1500m③2'09"99 3000m⑦4'40"62 MS2 5'28"23
				坂本 永吉	500m③37"66
2/7-23	オリンピック	ソチ		土屋 良輔	1500m⑤1'59"04 3000m④4'11"28 MS②7'32"13
				坂爪 亮介	1000m22位1'26"468 1500m24位2'17"985
3/13-16	オリンピック オーバル	カルガリー	監督 入澤孝一	永田 希絵	500m⑧39.86 500m⑤39.51 1000m⑤1'17"96 1000m⑥1'18"88 1500m⑫2'03"85
				樋 沙織	500m③39"34 1500m①1'59"62 3000m②4'12"90
				土屋 良輔	1500m33位1'51"51 5000m②6'28"06 10000m②13'24"59
				宮崎 麻衣	500m⑩39.94 500m⑭40.42 1000m⑮1'20"79 1000m⑩1'20"89 1500m⑱2'05"52
				阿部 友香	500m⑫40.09 500m⑫40.35 1000m②1'17"50 1000m②1'18"54 1500m③2'00"49 3000m⑤4'16"19
				小林 真実	500m30位41.89 500m23位41.48 1000m23位1'22"37 1000m②1'21"51 1500m24位2'06"02
				新田 萌	500m42位43.33 1000m36位1'24"90 1500m33位2'09"54 3000m⑯4'28"95
				坂本 永吉	500m⑬36.19 500m⑭36.24 1000m42位1'14"17 1000m 46位 1'14"25 1500m 73位 1'57"55
				黒岩宗一郎	500m65位38.43 5000m⑮6'44"56 10000m⑧13'57"40 1500m50位1'53"80

2014年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績
11/7-9	SW杯第1戦	ソルトレーク		坂爪 亮介	1500m(13)2.22.635 500m(11)42.108 5000mR(9)6.41.402
11/14-16	SW杯第2戦	モントリオール		坂爪 亮介	1500m(11)2.28.643 1000m(15)1.26.772 5000mR(12)7.08.951
12/12-14	SW杯第3戦	上海		坂爪 亮介	1500m(12)2.21.048 1000m(17)1.26.341 5000mR(5)タイムなし
	SW杯第5戦	ドレスデン		坂爪 亮介	1000m(11)1'27"346 5000mR(12)6'51"208
2/13-15	SW杯第6戦	エルズルム		坂爪 亮介	1000m(19)1.29.829 500m(15)1.05.879
11/14-16	W杯第1戦	帯広		土屋 良輔	MS(19)8'24"23
				黒岩 美生	B500m(9)39"79 B500m(9)39"94 *TSP(1)1'29"39
				樋 沙織	B1500m(1)2'05"88 *TSP(1)1'29"39 *非公式競技
11/21-23	W杯第2戦	ソウル		土屋 良輔	MS(6)8'27"17
				黒岩 美生	B500m(12)40"30 B500m(12)40"51
				樋 沙織	B1500m(8)2'05"449
11/22-23	ジュニアW杯	カルガリー		酒井 寧子	3000m(1)4'07"64 1500m(1)1'59"82 MS(3)
12/5-7	W杯第3戦	ベルリン		土屋 良輔	MS(15)
				黒岩 美生	B500m(17)40"25 B500m(15)40"13
				樋 沙織	B1500m(2)3位2'16"36転倒
12/12-14	W杯第4戦	ヘレンベーン		土屋 良輔	MS 21位 7'41"24
				黒岩 美生	B500m(16)40"18 B500m(15)40"87
				樋 沙織	B1500m(7)2'03"87
2/14-15	ジュニアW杯	ワルシャワ		酒井 寧子	1500m(7)2'10"17 3000m(5)4'33"34 MS(7)6'21"65 TP(3)3'21"95
2/13-15	世界距離別	ヘレンベーン		土屋 良輔	MS(18)7'38"89
2/20-22	世界ジュニア	ワルシャワ		酒井 寧子	500m40位43"58 1000m27位1'26"00 1500m(19)2'13"03 3000m(11)4'35"69 総合(16)177.806 MS(11)6'03"88 TP(3)3'18"85
3/21-22	W杯最終第7戦	エルフルト		土屋 良輔	MS(8)8'19"92

2015年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績
11/13-15	W杯第1戦	カルガリー		土屋 良輔	B5000m(14)6'28"302
				樋 沙織	B1500m(10)1'59"740
11/20-22	W杯第2戦	ソルトレーク		樋 沙織	B1500m(3)1'57"93
12/4-6	W杯第3戦	インツェル		土屋 良輔	B5000m(2)6'24"38 TP(9)3'52"76
				樋 沙織	B1500m(12)2'01"95
12/11-13	W杯第4戦	ヘレンベーン		樋 沙織	B1500m(15)2'04"47
1/29-31	W杯第5戦	スタバングル		土屋 良輔	5000m(16)6'34"04 TP(7)3'48"21 MS(18)7'38"89
2/11-14	世界距離別	コロムナ		土屋 良輔	5000m(14)6'37"09
3/2-6	大学選手権	ハセルガテ・ヒネ		土屋 良輔	5000m(10)6'38"11 TP(7)3'45"07
3/5-6	ジュニアW杯	長春		浅野 実久	1500m(6)1'52"63 5000m(2)6'44"17 10000m(2)14'09"98
				佐藤 綾乃	500m(5)40"20
				新濱 立也	1500m(3)2'04"49 3000m(2)4'18"478 MS(1) TP(3)3'13"78
3/11-13	世界ジュニア	長春		浅野 実久	500m(9)36"17 1000m(15)1'13"69
				新濱 立也	500m(12)40"29 1000m(20)1'21"86 TSP(2)1'31"45
				佐藤 綾乃	500m(19)40"79 1000m(10)1'20"35 1500m(9)2'04"18 3000m(4)4'17"28 総合6位165.238 MS(1) TP(3)3'13"29 TSP(2)1'31"45
				新濱 立也	500m(4)36"10 1000m(14)1'12"54
2/5-7	SW杯第5戦	ドレスデン		坂爪 亮介	1500m(26)2.15.337 500m 24位41.163 5000mR(10)6.42.907
2/12-14	SW杯第6戦	ドルドレヒト		坂爪 亮介	1500m(13)2.22.898 1000m(10)1.27.622 5000mR(10)7.06.602
3/11-13	S世界選手権	ソウル		坂爪 亮介	1500mPen 500m(20)42.652 1000m27位1.27.134 総合34位

2016年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績
11/11-14	W杯第1戦	ハルビン		土屋 良輔	TP(4)3'49"68 B5000m(6)6'36"09
				坂本 永吉	B500m(7)35"62
				佐藤 綾乃	B3000m(6)4'15"90
11/18-20	W杯第2戦	長野		土屋 良輔	B5000m(1)6'23"99 TP(5)3'45"44
				坂本 永吉	B500m(5)35"45
				佐藤 綾乃	MS(13)8'18"62
12/2-4	W杯第3戦	アスタナ		土屋 良輔	5000m(9)6'29"22 TP(1)3'44"10 MS(8)7'39"30
				佐藤 綾乃	B3000m(8)4'11"12
				樋 沙織	1500m(14)2'01"49
12/9-11	W杯第4戦	ヘレンベーン		土屋 良輔	TP(4)3'43"76 MS(4)8'12"49
				佐藤 綾乃	TP(1)2'59"51
				土屋 良輔	5000m(12)6'28"97 B1500m(8)1'49"94
1/27-29	W杯第5戦	ベルリン		佐藤 綾乃	B3000m(7)4'12"87 1500m(14)1'59"993
2/19-26	アジア大会	札幌 (帯広)		土屋 良輔	5000m(2)6'29"67 10000m(2)13'23"74 MS(5)8'24"62
				佐藤 綾乃	TP(2)3'45"93CR.AR 1500m(4)1'59"77 3000m(3)4'10"07 MS(2)8'21"88 TP(1)3'00"08 RR.CR.AR
				土屋 良輔	5000m(15)6'25"95 10000m(7)13"11"94 NR TP(5)3'42"77 MS(15)7'54"51
2/9-12	世界距離別	ガンニュン		佐藤 綾乃	1500m(20)2'00"58 3000m(15)4'08"23
2/11-12	ジュニアW杯F	エルフルト		飯島可奈子	3000m(11)4'31"83 MS(11)6'06"22 TP(4)3'15"21
2/17-19	世界ジュニア	ヘルシンキ		飯島可奈子	1500m21位2'16"29 20'4'56"88 MS(13)6'58"23 TP(2)3'26"04
3/4-5	世界選手権	ハーマル		土屋 良輔	500m(19)37"60 5000m(9)6'25"24 1500m(18)1'48"97 総合18位112.447
				佐藤 綾乃	500m(6)39"44 3000m(11)4'09"82 1500m(10)1'58"25 総合10位120.492
3/11-12	W杯最終第6戦	スタバングル		土屋 良輔	5000m(9)6'26"94 MS(8)8'09"92 TP(3)3'44"09
3-10-12	S世界選手権	ロッテルダム		坂爪 亮介	1500m(14)2.26.686 500m(20)41.548 1000m(16)1.26.408 総合(20)

2017年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績
9/28-10/1	SW杯第1戦	ブタペスト		坂爪 亮介	500m⑬41.395 1000m⑩1.27.042 5000mR③6.47.825
10/5-8	SW杯第2戦	ドルドレヒト		坂爪 亮介	500m予選41.844 1000m31位1.26.687 5000mR④6'43"008
11/9-12	SW杯第3戦	上海		坂爪 亮介	1000m24位1.26.775 5000mR DQ
11/16-19	SW杯第4戦	ソウル		坂爪 亮介	500m⑬41.324 1000m28位1.26.201 5000mR⑥6.59.259
3/16-18	S世界選手権	モンテリオール		坂爪 亮介	500m⑧45"043 1500m準決⑦2'15"367 1000m⑦1'30"391 総合⑫ 5000mR③6'44"587
11/10-12	W杯第1戦	ヘレンベーン		土屋 良輔 佐藤 綾乃	5000m⑭6'24"89 MS⑪7'38"53 TP⑦3'45"56 1500m⑨2'00"20 MS①8'31"12 TP①2'55"77WR,NR
11/17-19	W杯第2戦	スタヴァンゲル		土屋 良輔 佐藤 綾乃	B1000m⑥13'11"88 NR B1000m⑮1'18"42 B1500m⑫2'00"21
12/1-3	W杯第3戦	カルガリー		佐藤 綾乃 土屋 良輔	B1500mDQ MS⑩8'39"75 TP①2'53"88 WR 怪我欠場
12/8-10	W杯第4戦	ソルトレーク		土屋 良輔 佐藤 綾乃	B5000m④6'14"78 MS⑮8'00"47 TP①2'50"87WR MS⑩転倒怪我棄権
2/8-25	オリンピック	ピョンチャン		土屋 良輔 佐藤 綾乃 坂爪 亮介	5000m⑬6'22"45 10000m⑩13'10"31(NR)TP5位3'41"62 MS 3000m⑧4'04"35 TP①2'53"89 MS1回戦敗退(転倒) 500m⑧40"985 1000m⑤1'27"522 5000mR⑦7'02"554
3/4-5	JW3戦	ソルトレーク		堀 あかり	1000m⑫1.19.80 1500m⑫2.05.85
3/10-12	世界ジュニア	ソルトレーク		堀 あかり	1000m⑫1.19.08 1500m⑩1.03.04
3/18-19	W杯最終戦	ミンスク		佐藤 綾乃 土屋 良輔	MS①9.23.870 TP③3.51.840
3/22-25	世界大学選手権	ベラルーシ	コーチ 小林佳乃子	新濱 立也 浅野 実久	500m①34.93 1000m①1.10.81 500m①39.48 1000m②1.19.25

2018年度

年 月	大会名	会場地	本県関係役員	本県選手	競 技 成 績
11/16-18	W杯第1戦	帯広		新濱 立也 土屋 良輔 佐藤 綾乃 阿部 友香 小野寺優奈	500m③34"871 500m⑦35"078 B1000m②1'09"516 B5000m④6'24"581 MS⑨7'46"250 TP④3'43"180 B1500m①1'57"341 MS⑭9'00"160 TP①2'57"800 B1000m④1'18"083 B1500m①2'00"607 B1500m⑫2'00"632 B3000m⑨4'17"973
11/23-25	W杯第2戦	苫小牧		新濱 立也 土屋 良輔 佐藤 綾乃 阿部 友香 小野寺優奈	500m①35"451 500m①35"203 A1000m⑥1'11"471 B5000m③6'33"927 TP③3'47"170 MS④8'52"630 TP①3'02"370 B1500m③2'04"620 TSP⑤1'34"420 B1500m⑩2'07"668 B3000m⑭4'24"471
12/7-9	W杯第3戦	ポーランド トマショフマゾ ウェツキ		新濱 立也 土屋 良輔 佐藤 綾乃 阿部 友香 小野寺優奈	500m⑥35"243 500m②34"876 1000m⑮1'11"578 TSP⑦1'22"820 B1000m⑦13'32"764 TP①3'47"500 1500m⑬2'01"887 TP①3'02"490 TSP①1'27"820 B500m⑬40"635 B500m22位40"526 B1000m⑩1'19"207 B1000m⑬1'20"303
12/14-16	W杯第4戦	ヘレンベーン		新濱 立也 土屋 良輔 佐藤 綾乃 阿部 友香 小野寺優奈	500m④34"649 1000m⑦1'08"719 B1500m⑫1'48"946 B5000m④6'17"647 MS⑬8'14"300 1500m⑩1'57"371 B3000m②4'04"364 MS③8'50"440 B1000m⑨1'17"732 B1500m⑦1'59"415
2/1-3	W杯第5戦	ハーマー		新濱 立也 土屋 良輔 阿部 友香 小野寺優奈	500m⑭35"226 5000m⑭6'31"159 B1000m⑬1'18"723 B1500m⑩2'02"148 1000m⑩2'00"963 B3000m⑤4'12"761
2/7-10	世界距離別	インツェル		新濱 立也 土屋 良輔 佐藤 綾乃	500m⑬34"846 1000m⑩1'08"993 5000m⑨6'29"283 10000m⑪13'22"970 TP④3'41"966 1500m⑬1'57"155 3000m⑬4'07"408 TP①2'55"785 MS⑤8'29"660
2/23-25	世界スプリント	ヘレンベーン		新濱 立也	500m①34"66 1000m⑤1'08"57 500m②34"45 1000m⑤1'08"82 総合②137.805
3/2-3	世界選手権	カルガリ		土屋 良輔 佐藤 綾乃	500m⑮36"93 5000m⑩6'19"76 1500m⑮1'46"68 総合⑬110.466 500m⑨38"99 1500m⑫1'55"56 3000m⑮4'08"13 総合⑬118.865
3/9-11	W杯最終第6戦	ソルトレーク		新濱 立也 土屋 良輔 佐藤 綾乃	500m②33"835WRNR 500m①33"790NR WC② MS①7'38"390 WC⑤ MS⑬8'02"210 WC⑥
2/9-10	JrW杯	ハゼルカテ・ヒネ		戸水謙一郎	1500m⑥1'54"535 3000m⑮4'13"333 TP②4'01"314
2/15-17	世界ジュニア	ハゼルカテ・ヒネ		戸水謙一郎	5000m⑫7'04"298 TP⑤4'00"392



チームパシュート金メダル佐藤綾乃(黄)



土屋良輔(赤)



世界スプリント銀メダル新濱立也

群馬県スピードスケート選手権大会

●日本新 ☆日本高校新 ◎県新 ○大会新 ※県高校新 △県中学新

回数	男女	1位	2位	3位	4位	5位	6位
第34回 2000.2.19・20	男	小林 武広 県スポ振興事業団 165.480	黒岩 雅昭 日本大学 168.123	黒岩 慎也 孺恋高校 169.109	木部 充一 東洋大学 169.555	佐藤 大輔 孺恋高校 170.616	小林 陽介 東洋大学 170.711
	女	沢田 こずえ 佐田建設 181.069	藤井 有加 日本体育大学 182.43	小川 賛菜 前橋商業高 183.881	木原 さとみ 山梨学院大学 187.045	川田 歩 孺恋高校 188.312	橋爪 佳子 東女体大 189.471
第35回 2種目で中止 2001.2.19・20	男						
	女						
第36回 2種目で中止 2002.2.23・24	男						
	女						
第37回 2003.2.14・15	男	宮崎 今佐人 明治大学 ○161.615	黒岩 雅昭 日本大学 163.523	倉田 哲也 孺恋高校 170.349	白石 貴明 関東学院大学 172.120	土屋 直人 孺恋高校 174.367	干川 盛二 孺恋高校 178.233
	女	木原 さとみ 前橋クラブ 185.484	篠原 美希 孺恋西中学校 △186.026	今井 まどか 北橋中学校 187.296	小池 雅子 前橋商業高校 187.887	土屋 直美 長野原西中 194.431	黒岩 遙香 長野原西中 194.835
第38回 2004.2.13・14	男	小林 和朗 明治大学 164.656	土屋 直人 孺恋高校 171.813	干川 盛二 孺恋高校 173.897	黒岩 信允 孺恋高校 175.244	土屋 一馬 孺恋高校 176.88	白石 貴明 関東学院大 176.924
	女	今井 まどか 北橋中学校 △182.363	篠原 美希 孺恋高校 184.044	土屋 直美 孺恋西中学 186.926	市場 菜々世 孺恋西中学校 187.863	小池 雅子 大東文化大 190.174	黒岩 美生 孺恋西中学校 194.147
第39回 2005.2.11・12	男	土屋 直人 孺恋高校 164.640	黒岩 慎也 日本体育大学 166.444	黒岩 信允 孺恋高校 167.981	黒岩 泰成 孺恋高校 170.256	白石 貴明 関東学院大 170.319	黒岩 徳幸 孺恋高校 173.192
	女	小川 賛菜 信州大学 182.729	市場 菜々世 孺恋西中学校 184.208	今井 まどか 創世中等教育 184.889	菅井 美穂 渋川女子高校 185.167	黒岩 美生 孺恋西中学校 185.260	宮崎 麻衣 孺恋西中学校 188.473
第40回 2006.2.10・11	男	土屋 直人 山梨学院大学 164.989	黒岩 泰成 孺恋高校 165.595	菅藤 智 東洋大学 166.222	黒岩 信允 孺恋高校 171.901	尾崎 将太 孺恋高校 179.549	黒岩 大樹 孺恋高校 180.387
	女	黒岩 美生 孺恋高校 ※178.359	市場 菜々世 孺恋西中学校 △180.556	今井 まどか 創世中等教育 181.888	菅井 美穂 渋川女子高校 184.934	久保 佳乃子 孺恋高校 188.380	篠原 美希 孺恋高校 191.231
第41回 男子3000m中止 2007.2.10・11	男	黒岩 信允 明治大学 124.890	土屋 直人 山梨学院大学 125.174	黒岩 泰成 孺恋高校 125.192	土屋 駿弥 孺恋高校 130.371	黒岩 紘岳 孺恋西中学校 133.333	黒岩 大樹 孺恋高校 134.059
	女	黒岩 美生 孺恋高校 189.643	市場 菜々世 孺恋高校 192.103	菅井 美穂 渋川女子高 195.186	小林 佳乃子 孺恋高校 202.498	久保 和乃子 孺恋高校 203.146	黒岩 美貴 孺恋西中学 203.471
第42回 2008.2.10・11	男	黒岩 信允 明治大学 162.091	土屋 直人 山梨学院大学 163.488	黒岩 泰成 明治大学 170.185	黒岩 紘岳 孺恋高校 170.797	奥村 雄樹 孺恋西中学 171.589	新井 佳晃 東農大二校 176.152
	女	市場 菜々世 孺恋高校 ※176.172	久保 和乃子 孺恋高校 183.304	樋 沙織 孺恋東中学 183.410	黒岩 美貴 孺恋西中学校 186.044	千葉 捺美 赤堀中学校 187.142	斎藤 慧巳 長野原西中 189.063
第43回 3種目で終了 2009.2.13・14	男	黒岩 泰成 明治大学 121.234	土屋 直人 山梨学院大学 123.019	宮崎 今佐人 県スケート連盟 123.550	黒岩 紘岳 孺恋高校 126.881	小川 輝之 前橋商業高校 128.738	下田 琢也 孺恋高校 129.491
	女	市場 菜々世 孺恋高校 132.698	樋 沙織 孺恋東中学 134.681	黒岩 美貴 孺恋高校 138.801	久保 和乃子 孺恋高校 139.365	斎藤 慧巳 孺恋高校 142.106	菅井 麻由 伊香保中学校 142.660

回数	男女	1位	2位	3位	4位	5位	6位
第44回 2010.2.13・14	男	土屋 良輔 孺恋西中学校 172.119	横沢 右京 孺恋東中学校 181.021	本間 源大 孺恋西中学校 188.340	加部 貴裕 孺恋西中学校 189.652	飯塚 智樹 孺恋西中学校 190.527	並木 崇人 渋川工業高校 190.539
	女	樋 沙織 孺恋高校 182.628	菅井 麻由 渋川女子高校 189.097	川田 恵 早稲田大学 191.621	黒岩亜沙美 孺恋高校 192.344	山崎 実紀 孺恋東中学校 192.916	横手 杏奈 渋川中学校 194.694
第45回 3種目で終了 2011.2.10・11	男	黒岩 泰成 明治大学 117.766	土屋 良輔 孺恋高校 119.54	下田 琢也 孺恋高校 121.828	黒岩 紀之 孺恋高校 122.296	黒岩宗一郎 孺恋高校 124.094	土屋 勝弥 孺恋高校 125.695
	女	樋 沙織 孺恋高校 127.35	黒岩 美貴 孺恋高校 184.974	菅井 麻由 渋川女子高校 134.993	黒岩亜沙美 孺恋高校 138.056	井上 明香莉 孺恋高校 139.121	山崎 実紀 孺恋高校 141.138
第46回 2012.2.10・11	男	土屋 良輔 孺恋高校 ORR 160.329	黒岩 泰成 孺恋クラブ 161.232	宮崎 今佐人 県スケート連盟 162.393	黒岩 信允 JAつまごい村 163.794	黒岩宗一郎 東洋大学 165.746	黒岩 紀之 孺恋高校 168.800
	女	樋 沙織 孺恋高校 ORR 170.775	阿部 友香 高崎健大 ORR 171.381	千葉 捺美 前橋商業高 178.761	斎藤 慧巳 高崎健大 183.207	山崎 実紀 孺恋高校 185.996	山崎 萌香 孺恋高校 187.319
第47回 2013.2.8・9	男	黒岩宗一郎 県スケート連盟 167.406	黒岩 紘岳 明治大学 172.690	加部 貴裕 孺恋高校 173.458	土屋 育 長野原西中学 176.184	土屋 絹弥 孺恋高校 176.435	杉本 侑司 高崎健大 179.685
	女	阿部 友香 高崎健大 175.111	小林 真実 高崎健大 184.292	新田 萌 高崎健大 185.329	斎藤 慧巳 高崎健大 188.322	土屋 実 長野原西中 194.539	山崎真里菜 孺恋中学校 197.378
第48回 2014.2.7・8	男	黒岩宗一郎 県スケート連盟 164.422	黒岩 紘岳 明治大学 168.180	武藤 久和 法政大学 173.966	石塚 雅大 孺恋中学校 180.553	蜂須賀 大翔 孺恋中学校 188.334	伊藤 琢真 渋川中学校 171.432
	女	阿部 友香 高崎健大 171.646	小林 真実 高崎健大 181.558	斎藤 慧巳 高崎健大 186.870	土屋 実 長野原西中 187.276	干川 いずみ 孺恋中学校 200.476	井上 紗江加 孺恋中学校 204.186
第49回 2015.2.10・11	男	黒岩宗一郎 県スケート連盟 164.283	飯塚 智樹 孺恋高校 166.512	加部 貴裕 孺恋高校 170.974	羽生田 康貴 孺恋高校 174.550	土屋 絹弥 孺恋高校 175.997	萩原 拓巳 孺恋高校 176.836
	女	土屋 実 長野原西中学 184.850	山崎 真里菜 孺恋高校 189.633	干川 いずみ 孺恋中学校 193.938	黒岩 史聖 孺恋高校 194.415	篠原 梨乃 孺恋中学校 196.414	本多 優 孺恋中学校 202.178
第50回 2016.2.19・20	男	黒岩宗一郎 県スケート連盟 164.551	蜂須賀 大翔 孺恋高校 173.031	小山 剛史 桐生第一高校 173.490	伊藤 琢真 渋川工業高校 174.140	黒岩 岳史 孺恋高校 176.032	黒岩 太陽 孺恋中学校 181.444
	女	干川 いずみ 孺恋高校 184.099	大崎 有紗 伊香保中学校 184.974	黒岩 千聖 高崎健大 185.491	山崎真里菜 孺恋高校 188.381	篠原 梨乃 孺恋中学校 188.534	本多 優 孺恋中学校 192.793
第51回 2017.2.25・26	男	黒岩宗一郎 県スケート連盟 ORR 158.596	磯 卓磨 高崎健大 163.109	飯塚 智樹 高崎健大 165.707	蜂須賀 大翔 孺恋高校 168.244	小山 剛史 桐生第一高校 170.914	干川 脩太 孺恋中学校 171.832
	女	酒井 寧子 高崎健大 ORR 169.794	干川 いずみ 孺恋高校 180.029	桑原 彩奈 高崎健大 183.051	篠原 梨乃 孺恋中学校 187.567	干川 あゆみ 孺恋高校 193.476	新井 萌香 四ツ葉学園 193.856
第52回 2018.2.10・11	男	小原 優雅 高崎健大 158.757	黒岩宗一郎 県スケート連盟 159.184	磯 卓磨 高崎健大 162.410	橋本 萌生 高崎健大 164.957	飯塚 智樹 高崎健大 167.096	伊藤 琢真 渋川工業高校 171.432
	女	阿部 友香 JAつまごい村 ORR 164.350	小野寺優奈 高崎健大 170.570	原 和穂 高崎健大 173.669	瀧上 つくし 高崎健大 173.782	桑原 彩奈 高崎健大 180.909	新井 萌香 四ツ葉学園 189.864
第53回 2019.2.9・10	男	市場 翔太 孺恋中学校 175.029	橋爪 大智 長野原西中学 183.209	黒岩 修成 孺恋中学校 183.885	黒岩 心 孺恋中学校 184.57	横沢 大希 孺恋中学校 184.719	矢嶋 大悟 東吾妻中学校 186.503
	女	田野 晴風 伊勢崎境南中 200.605	市場 柚 孺恋中学校 207.141				

群馬県スプリントスピードスケート選手権大会

●日本新☆日本高校新◎県新○大会新※県高校新△県中学新

回数	男女	1位	2位	3位	4位	5位	6位
第19回 2000.2.12・13	男	土屋 直司 山梨学院大学 153.175	柳沢 弘 山梨学院大学 153.860	土屋 清貴 孺恋高校 153.925	菅藤 剛 東洋大学 154.305	山崎 裕哉 専修大学 154.335	篠原 大輔 孺恋高校 154.985
	女	藤井 有加 日本体育大学 170.690	小川 賛菜 前橋商業高校 175.185	沢田 こずえ 佐田建設 176.755	川田 歩 孺恋高校 178.185	木原 さとみ 山梨学院大学 180.835	柳澤 恵美 孺恋高校 181.290
第20回 2001.2.11・12	男	黒岩 敏幸 黒岩水道設備 ◎147.760	山崎 裕哉 専修大学 151.905	橋爪 亮 孺恋高校 ※152.495	土屋 清貴 関東学院大学 153.495	篠原 大輔 日本大学 153.780	木部 充一 東洋大学 154.830
	女	香川 真由美 佐田建設 164.725	小川 賛菜 前橋商業高校 171.000	石井 奈緒 佐田建設 174.010	川田 歩 孺恋高校 176.230	木原 さとみ 山梨学院大学 177.685	千川 浩未 孺恋高校 177.985
第21回 2002.2.15・16	男	篠原 大輔 日本大学 152.285	小林 和朗 明治大学 152.550	宮崎 今佐人 明治大学 153.885	木部 充一 東洋大学 155.115	土屋 直司 山梨学院大学 155.415	篠原 一紀 孺恋高校 156.23
	女	川田 希 孺恋高校 175.840	千川 浩未 孺恋高校 175.940	今井 まどか 北橋中学校 △177.62	小池 由佳子 小野上中学校 △178.495	小池 雅子 前橋商業高校 178.575	篠原 美希 孺恋西中学校 178.995
第22回 2003.2.14・15	男	橋爪 亮 東洋大学 152.550	菅藤 剛 東洋大学 153.280	土屋 賢祐 孺恋高校 154.635	篠原 一紀 東洋大学 155.720	黒岩 慶成 孺恋高校 155.965	山越 竜輔 孺恋西中学校 △156.660
	女	小川 賛菜 信州大学 171.660	小池 由佳子 小野上中学校 △175.820	千川 浩未 孺恋高校 176.215	黒岩 由紀乃 孺恋西中学校 178.035	川田 恵 創世中等学校 180.705	萩原 希 長野原西中 184.605
第23回 2004.2.13・14	男	篠原 大輔 日本大学 153.010	篠原 一紀 東洋大学 153.895	土屋 賢祐 孺恋高校 154.000	菅藤 智 東洋大学 154.655	宮崎 伸介 日本体育大学 155.180	山越 竜輔 孺恋西中学校 △156.000
	女	小池 由佳子 小野上中学校 177.950	川田 恵 創世中等教育 181.880	黒岩 由紀乃 孺恋高校 182.650	市場 真奈美 孺恋西中学校 185.99	今井 美樹 前橋女子高校 192.390	遠藤 裕美 渋川青翠高校 194.485
第24回 2005.2.11・12	男	菅藤 智 東洋大学 150.435	山越 竜輔 孺恋高校 △151.775	篠原 一紀 東洋大学 151.820	土屋 恭兵 孺恋高校 155.300	奥村一樹 孺恋高校 156.565	千川 芳紀 孺恋中学校 157.95
	女	川田 恵 創世中等教育 175.030	小池 由佳子 前橋育英高校 178.100	市場 真奈美 孺恋高校 184.770	今井 美樹 前橋女子高校 186.845	遠藤 裕美 渋川青翠高校 192.15	佐藤 渚 伊勢崎三中 193.175
第25回 2006.2.10・11	男	山越 竜輔 孺恋高校 △150.695	篠原 一紀 東洋大学 151.345	奥村一樹 孺恋高校 153.355	宮崎 伸介 日本体育大学 156.100	千川 芳紀 孺恋高校 156.295	木暮 昭仁 前橋商業高校 157.145
	女	小池 由佳子 前橋育英高校 170.565	川田 恵 創世中等教育 175.930	土屋 直美 孺恋高校 177.020	宮崎 麻衣 孺恋西中学校 177.890	黒岩 由紀乃 孺恋高校 179.960	市場 真奈美 孺恋高校 182.075
第26回 2007.2.・10.11	男	田中 慎吾 孺恋高校 160.340	小川 輝之 前橋商業高校 160.935	千川 芳紀 孺恋高校 163.005	木暮 昭仁 山梨学院大学 163.970	奥村 雄樹 孺恋西中学校 172.195	下田 琢也 長野原西中 176.600
	女	宮崎 麻衣 孺恋高校 175.405	小池 由佳子 前橋育英高校 176.575	今井 まどか 創生中等 177.020	百崎 いろり 孺恋西中学校 180.220	川田 恵 早稲田大 180.410	市場 真奈美 孺恋高校 180.810
第27回 2008.2.10・11	男	山越 竜輔 専修大学 150.745	小川 輝之 前橋商業高校 156.280	黒岩 聖矢 前橋育英高校 156.755	田中 慎吾 群馬大学 158.170	木暮 昭仁 山梨学院大学 158.590	佐藤 潤一 孺恋高校 162.855
	女	宮崎 麻衣 孺恋高校 170.090	今井 まどか 山梨学院大学 175.145	井上 瑞穂 長野原西中 179.435	小島 理沙 共愛学園高校 181.310	土屋 萌 長野原西中 183.295	百崎 いろり 孺恋西中学校 186.230
第28回 3種目で終了 2009.2.13・14	男	山越 竜輔 専修大学 112.365	黒岩 聖矢 前橋育英高校 114.67	奥村 雄樹 孺恋高校 114.820	木暮 昭仁 山梨学院大学 116.635	古市 博人 孺恋西中学校 117.390	千川 岳洋 孺恋高校 120.300
	女	宮崎 麻衣 孺恋高校 125.465	千葉 捺美 赤堀中学校 127.600	今井 まどか 山梨学院大学 127.77	井上 瑞穂 孺恋高校 130.110	百崎 いろり 孺恋西中学校 130.135	土屋 萌 長野原西中 134.060

回数	男女	1位	2位	3位	4位	5位	6位
第29回 2010.2.13・14	男	山越 竜輔 専修大学 150.340	千川 岳洋 孺恋高校 162.370	黒岩 紀之 孺恋西中学校 166.785	佐藤 潤一 群馬大学 168.040	小林 裕司 孺恋西中学校 168.315	小松 広和 ネーブル 169.120
	女	千葉 捺美 赤堀中学校 173.755	土屋 萌 長野原西中 180.800	岡部 葉 共愛学園中 182.910	田中 真理 長野原西中 183.755	黒岩 由紀乃 大東文化大学 184.070	小島 理沙 共愛学園高 185.1900
第30回 3種目で終了 2011.2.10・11	男	奥村 雄樹 孺恋高校 112.905	古市 博人 孺恋高校 114.050	田中 正晃 孺恋高校 117.015	田中 博基 孺恋高校 117.385	小林 裕司 孺恋西中学校 118.655	黒岩 一聖 孺恋西中学校 122.555
	女	小原 悠里 高崎健大 125.88	宮崎 麻衣 信州大学 127.255	千葉 捺美 前橋商業高校 127.360	今井 まどか 山梨学院大学 129.025	田中 真理 長野原西中 132.150	蜂須賀 玲菜 孺恋高校 134.820
第31回 2012.2.10・11	男	古市 博人 孺恋高校 151.845	奥村 雄樹 明治大学 152.155	田中 博基 孺恋高校 155.845	小林 裕司 孺恋西中学校 157.075	田中 正晃 孺恋高校 157.35	武藤 久和 法政大学 161.200
	女	小原 悠里 高崎健大 167.030	宮澤 里沙 高崎健大 167.365	関口 莉菜 高崎健大 169.270	黒岩 美貴 高崎健大 176.315	田中 真理 孺恋高校 181.350	大川 愛弓 原町中学校 187.480
第32回 2013.2.8・9	男	奥村 雄樹 孺恋高校 152.800	古市 博人 孺恋高校 160.870	田中 正晃 孺恋高校 160.935	萩原 拓己 孺恋中学 166.380	倉持 慶 孺恋高校 167.490	百崎心太郎 孺恋西中学校 174.945
	女	小原 悠里 高崎健大 169.865	宮澤 里沙 高崎健大 173.725	黒岩 美貴 高崎健大 178.345	岡部 葉 健大高崎高校 179.860	黒岩 亜沙美 山梨学院大学 185.615	斎藤 朋音 伊香保中学校 195.670
第33回 2014.2.7・8	男	奥村 雄樹 明治大学 149.945	黒岩 聖矢 早稲田大学 152.820	下田 琢也 山梨学院大学 154.240	古市 博人 明治大学 157.220	田中 正晃 高崎健大 157.350	百崎 心太郎 孺恋中学校 166.165
	女	永田 希絵 高崎健大 166.800	宮崎 麻衣 県スケート連盟 168.910	関口 莉菜 高崎健大 169.580	宮澤 里沙 高崎健大 181.985	黒岩 亜沙美 山梨学院大学 181.985	大崎 有紗 伊香保中学校 185.445
第34回 2015.2.10・11	男	奥村 雄樹 明治大学 151.530	下田 琢也 山梨学院大学 154.040	小林 裕司 孺恋高校 154.320	一場 伸一 孺恋高校 157.085	横沢 公希 孺恋中学校 164.315	関口 智哉 孺恋中学校 170.920
	女	大崎 有紗 伊香保中学校 179.65	黒岩 亜沙美 山梨学院大学 180.210	大川 夏美 原町中学校 183.880	篠原 未来 孺恋中学校 190.270	千川 あゆみ 孺恋中学校 196.115	井上 紗江加 前橋育英高校 200.770
第35回 2016.2.19・20	男	田中 博基 日本体育大学 155.335	横沢 公希 孺恋高校 156.815	萩原 拓己 孺恋高校 160.215	久佐 拓己 渋川工業高校 163.670	飯塚 陸矢 孺恋高校 164.365	関口 智哉 孺恋中学校 168.185
	女	黒岩 美生 日本体育大学 163.550	大川 夏美 東吾妻中学校 174.600	千川 あゆみ 孺恋高校 180.565	山口 友菜 東吾妻中学校 197.705	内田 奈々美 渋川北中学校 199.435	千川 花慧 孺恋中学校 204.450
第36回 2017.2.25・26	男	上原 悠馬 高崎健大 ○146.180	本間 新之助 孺恋中学校 159.455	橋爪 大智 大桑小学校 174.350	小野里佳吾 渋川クラブ 180.440	矢嶋 克槻 東吾妻中学校 185.735	青木 龍之介 桐生クラブ 187.055
	女	佐藤 真由 高崎健大 166.010	大川 夏美 東吾妻中学校 174.36	滝澤 さくら 孺恋クラブ 192.725	本間 美帆 孺恋中学校 200.905	山崎 心乃 孺恋クラブ 207.600	山口 楠生 桐生クラブ 209.980
第37回 2018.2.10・11	男	新濱 立也 高崎健大 ORR 142.635	上原 悠馬 高崎健大 ○144.805	土屋 慶介 孺恋中学校 162.370	矢嶋 克槻 東吾妻中学校 175.995	青木 龍之介 桐生クラブ 176.115	市場 椋也 孺恋クラブ 186.815
	女	佐藤 真由 高崎健大 167.305	梶瀬 あかり 市立前橋高校 183.320	内田 奈々美 渋川北中学校 186.285	藤原 明咲 渋川中学校 188.070	本間 美帆 孺恋中学校 191.200	山口 友菜 市立前橋高校 196.620
第38回 2019.2.9・10	男	新井 壘 高崎健大 162.635	青木龍之介 桐生相生中学 170.720	猿田 悠斗 前橋第六中 172.705	千川 夏輝 孺恋中学校 185.810	今泉 蒼生 渋川北中学校 187.445	山崎 凌駕 渋川クラブ 195.255
	女	千葉 捺美 県スポーツ協会 166.475	大川 夏美 吾妻中央高校 176.745	黒岩 千聖 高崎健大 178.945	滝澤さくら 孺恋中学校 180.990	藤原 明咲 渋川中学校 185.310	本間 美帆 孺恋中学校 189.950

ショートトラック群馬県選手権優勝者

年度	男 子		女 子	
	氏 名	所 属	氏 名	所 属
2000	須藤 良輔	前橋商業高	貞包 紘子	渋川中
2001	北詰 幸紀	太田西中	貞包 紘子	渋川中
2002	田上 真一	桐生高	貞包 紘子	健大高崎高
2003	清水 勇斗	太田商業高	鈴木 理絵	桐生高
2004	北詰 幸紀	桐生高	東城 有香	太田西中
2005	北詰 幸紀	桐生高	東城 有香	健大高崎高
2006	磯村 翼	桐生工業高	佐藤 渚	健大高崎高
2007	石関 祐樹	群馬大大学院	佐藤 渚	健大高崎高
2008	磯村 翼	埼玉工業大	佐藤 渚	健大高崎高
2009	磯村 翼	埼玉工業大	小島 理紗	共愛学園高
2010	浜野 翔平	健大高崎高	松崎 智子	新高尾中
2011	田口 一代	健大高崎高	中野 あやめ	元総社中
2012	田口 一代	健大高崎高	中野 あやめ	元総社中
2013	丸山凜太郎	高松中	大川 愛弓	渋川女子高
2014	丸山凜太郎	高松中	大川 夏美	原町中
2015	丸山凜太郎	高崎高	櫛瀬 あかり	前橋6中
2016	丸山凜太郎	高崎高	櫛瀬 あかり	前橋6中
2017	丸山凜太郎	高崎高	櫛瀬 あかり	市立前橋高
2018	藤生 智也	桐生工業高	藤原 明咲	渋川中

提供:上毛新聞社



清水 勇斗

提供:上毛新聞社



田口 一代

平成12年から現在までの国体（予選会）結果

西暦	平成	回	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子			
2000	12	55	出場なし	出場なし	出場なし	出場なし			
2001	13	56	出場なし	出場なし	出場なし	出場なし			
2002	14	57	出場なし	出場なし	20位	山口 朋久	出場なし		
					21位	村田 泰信			
2003	15	58	出場なし	26位	神保 早恵	出場なし	出場なし		
				27位	石井 亜樹				
国民体育大会のフィギュア競技は、全国予選会が開始されるようになる。予選通過は7（自県開催県時）～8県予選会の7位に群馬県の2人の合計成績で本大会への切符が与えられる厳しい制度が開始された。									
2004	16	59	6位	井手段幸樹	10位	神保 早恵	出場なし	21位	友政 蘭
			18位	山口 朋久	14位	遠藤真理子		24位	進邦佳那子
			予選会で敗退		予選会で敗退			予選会で敗退	
2005	17	60	6位	井手段幸樹	10位	永塚 愛	出場なし	18位	田部井宏実
			15位	山口 朋久	17位	遠藤真理子		24位	進邦佳那子
			予選会で敗退		予選会で敗退			予選会で敗退	
選会の7位に群馬県の2人の合計成績で本大会への切符が与えられる厳しい制度で県別成績が残されるようになる									
2006	18	61	出場なし	出場なし	出場なし	出場なし	14位	平野 夏帆	
							24位	田部井宏実	
							予選会10位で敗退		
2007	19	62	出場なし	出場なし	出場なし	出場なし	24位	伊藤 絵美	
							27位	遠藤真理子	
							本大会14／16位		本大会13／16位
※本大会が群馬県開催									
2008	20	63	出場なし	出場なし	出場なし	出場なし	出場なし		
2009	21	64	出場なし	出場なし	出場なし	出場なし	23位	平野 夏帆	
							31位	進邦佳那子	
							本大会15／16位		本大会16／16位

西暦	平成	回	成年男子	成年女子		少年男子	少年女子	
2010	22	65	出場なし	11位	田部井宏実	出場なし	24位	柳原 瑠偉
				22位	友政 蘭		26位	平野 夏帆
				予選会9位で敗退			本大会14/16位	
2011	23	66	出場なし	22位	田部井宏実	出場なし	15位	平野 夏帆
				29位	友政 蘭		30位	三世川恭子
				本大会14/15位			予選会12位で敗退	
2012	24	67	出場なし	17位	田部井宏実	出場なし	30位	菊池 亜美
				28位	菊池 梨子		31位	関 はるか
				本大会13/16位			予選会17位で敗退	
2013	25	68	出場なし	25位	平野 夏帆	出場なし	18位	石田明日香
				32位	菊池 梨子		32位	車崎 芽生
				本大会15/16位			予選会13位で敗退	
2014	26	69	出場なし	15位	平野 夏帆	出場なし	22位	高柳瑠々菜
				21位	柳原 瑠璃		30位	石田明日香
				予選会11位で敗退			予選会16位で敗退	
2015	27	70	出場なし	24位	平野 夏帆	出場なし	28位	高柳瑠々菜
				28位	木村 遥香		32位	武田 祐佳
				本大会13/16位			本大会15/16位	
※本大会が群馬県開催								
2016	28	71	出場なし	出場なし		出場なし	4位	小林 聖依
							31位	車崎 芽生
							予選会9位で敗退	
2017	29	72	出場なし	19位	車崎 芽生	出場なし	11位	小林 聖依
				23位	中村 美憂		36位	高柳瑠々菜
				予選会12位で敗退			予選会13位で敗退	
2018	30	73	出場なし	18位	車崎 芽生	出場なし	24位	山崎 愛莉
				27位	高柳瑠々菜		29位	星野 彩音
				予選会12位で敗退			予選会14位で敗退	
2019	31	74	出場なし	23位	高柳瑠々菜	出場なし	位	山崎 愛莉
				24位	車崎 芽生		位	星野 彩音
				予選会13位で敗退			予選会17位で敗退	

国民体育大会群馬県選手団役員一覧表

スピード

ショート

フィギュア

回	開催地 会期	団長 総監督	総務 ドクター	成年男子	少年男子	成年男子	少年男子	成年男子	少年男子
				成年女子	少年女子	成年女子	少年女子	成年女子	少年女子
55	八戸 1/29-2/2	久保田富一郎 安田 勝彦	荒木 和夫 入澤 孝一	千川多賀幸 深井 靖士	熊川 輝男 本間 章			押見 仁	押見 仁 横手 美穂
56	富士吉田 1/27-1/31	久保田富一郎 小林 明久	荒木 和夫 入澤 孝一	千川多賀幸 深井 靖士	熊川 輝男 本間 章	清水 利雄 山田 琢也	清水 利雄 山田 琢也		
57	帯広 1/26-1/30	久保田富一郎 小林 明久	荒木 和夫 入澤 孝一	熊川 輝男 千川多賀幸	本間 章 千川 幸宏	大川 好和 山田 琢也	大川 好和 清水 利雄		提箸みゆき
58	伊香保 1/25-1/29	佐田 武夫 鈴木 正彦	荒木 和夫 小片 克宣	千川多賀幸 土屋 一子	本間 章 田中 恵美	大川 好和 清水 利雄	大川 好和 山田 琢也	提箸みゆき	提箸みゆき
59	八戸 1/28-2/1	岩井賢太郎 鈴木 正彦	熊川 輝男 長島 克弘	土屋 一子 深井 靖士	本間 章 千川 幸宏	大川 好和 島田 拓志	清水 利雄 山田 琢也	松岡 正義 堀沢美和子	
60	富士吉田 1/30-2/3	岩井賢太郎 斎藤 三郎	熊川 輝男 小片 克宣	土屋 一子 深井 靖士	本間 章 土屋 壮一	大川 好和	清水 利雄 山田 琢也	松岡 正義 倉林 実咲	
61	苫小牧 1/28-2/1	岩井賢太郎 斎藤 三郎	熊川 輝男 矢端 信義	黒岩 敏幸 土屋 一子	本間 章 土屋 壮一	清水 利雄 大川 好和	大川 好和 山田 琢也	押見 仁 松岡 正義	
62	伊香保 1/27-1/31	横田 英一 清水 邦夫	熊川 輝男 小片 克宣	黒岩 敏幸 土屋 一子	本間 章 土屋 壮一	清水 利雄 大川 好和	大川 好和 山田 琢也	提箸みゆき	大河原峰子
63	長野 1/26-1/30	岩井賢太郎 木村 雅治	熊川 輝男 金古 琢哉	黒岩 敏幸 深井 靖士	本間 章 土屋 壮一	清水 利雄 大川 好和	大川 好和 山田 琢也		
64	八戸 1/28-2/1	岩井賢太郎 木村 雅治	熊川 輝男 石北 敏一	柳澤 弘 深井 靖士	本間 章 朝比奈幾哉	山田 琢也 山田 琢也	大川 好和 大川 好和	大河原峰子	松岡 正義
65	釧路 1/27-1/31	南波 和憲 木村 雅治	熊川 輝男 石北 敏一	入澤 孝一 深井 靖士	本間 章 柳沢 弘	山田 琢也 山田 琢也	大川 好和 大川 好和		松岡 正義
66	八戸 1/26-1/30	南波 和憲 金子 博	熊川 輝男 金古 琢哉	入澤 孝一 深井 靖士	本間 章 柳沢 弘	大川 好和 大川 好和	山田 琢也	鎬木咲千好	
67	恵那 1/27-2/1	南波 和憲 金子 博	高野 純一 金古 琢哉	入澤 孝一 川崎みなみ	本間 章 柳沢 弘	大川 好和	大川 好和 山田 琢也	藤生 和美	
68	郡山・東京 1/26-2/1	南波 和憲 林 康宏	高野 純一 金古 琢哉	入澤 孝一 小林佳乃子	本間 章 深井 靖士	大川 好和	大川 好和 山田 琢也	鈴木みゆき	
69	日光 1/28-2/2	南波 和憲 荒井 進	荒木 和夫 金古 琢哉	柳沢 弘 入澤 孝一	本間 章 深井 靖士	大川 好和 大川 好和	大川 好和 大川 好和		
70	渋川・前橋 1/28-2/1	南波 和憲 荒井 進	荒木 和夫 石北 敏一	加部 雅美 柳沢 弘	本間 章 深井 靖士	大川 好和 大川 好和	大川 好和 大川 好和	鈴木みゆき	藤生 和美
71	盛岡 1/27-2/1	野本 彰一 藪原 博	富沢 宏之 石北 敏一	加部 雅美 深井 靖士	本間 章 土屋 賢祐	大川 好和 大川 好和	大川 好和 大川 好和		
72	長野 1/27-1/31	渡辺 幸男 藪原 博	富沢 宏之 片山 雅義	加部 雅美 小林佳乃子	土屋 賢祐 深井 靖士	大川 好和	石関 祐樹 石関 祐樹		
73	富士吉田 1/28-2/1	野本 彰一 新井 徹	富沢 宏之 片山 雅義	加部 雅美 小林佳乃子	土屋 賢祐 深井 靖士	大川 好和 大川 好和	石関 祐樹 石関 祐樹		
74	釧路 1/30-2/3	渡辺 幸男 新井 徹	富沢 宏之 片山 雅義	加部 雅美 小林佳乃子	土屋 賢祐 深井 靖士	大川 好和	石関 祐樹 石関 祐樹		

国民体育大会出場選手一覧表

スピード

番号	氏名	所属	出場回							番号	氏名	所属	出場回						
186	関 聡	小野上中	55							414	干川 盛二	孀恋高校	57	58	59				
189	清水 利雄	ダイニック	55							415	土屋 賢祐	孀恋高校	57	58	59	60			
213	土屋 一子	孀恋西小	55							416	川田 希	孀恋高校	57	58					
235	大川 好和	金島中教	55							417	今井 裕介	スケート連盟	58	59	60				
263	黒岩 敏幸	K.P.T	55	56						418	小佐野俊之	孀恋クラブ	58	59					
287	川島 栄喜	富士重工	55							419	山崎めぐみ	佐田建設	58	59					
330	小林 武広	スポーツ事	55							420	黒岩 裕昭	孀恋高校	58						
352	香川真由美	佐田建設	55	56						421	土屋 恭兵	孀恋高校	58	59	60	61			
358	澤田こずえ	佐田建設	55							422	土屋 直人	孀恋高校	58	59	60	61	62	63	
359	山崎 裕哉	専修大学	55	56							64								
360	菅藤 剛	東洋大	55							423	黒岩 慶成	孀恋高校	58	59					
366	本間 達也	東洋大	55							424	飯島 彩	渋川女子	58	59					
367	柳澤 弘	山梨学院	55							428	遠藤 裕美	渋川青翠	58	59					
369	宮崎美代子	大東文化	55							429	須藤 美泉	共愛学園	58	59					
371	小林 陽介	東洋大	55							430	田上 由希	前橋女子	58						
373	黒岩 史倫	関東学院	55							431	黒岩 信允	孀恋高校	59	60	61	62	63	64	
374	宮崎 佳奈	大東文化	55	56	57	61					65		66	67					
375	木原さとみ	山梨学院	55	56	57	58				432	奥村 一樹	孀恋高校	59	60	61				
379	土屋 直司	山梨学院	55	56	57	58				433	土屋 一馬	孀恋高校	59	62					
381	木部 充一	東洋大	55	57						435	川田 恵	創世中等	59	60	61	62	63	64	
382	黒岩 雅昭	日本大学	55	56	57	58				436	黒岩由紀乃	孀恋高校	59	60	61	62	63	64	
383	藤井 有加	日本体育	55	57	58	59	60	61			65								
385	橋爪 佳子	東京女体	55	62						438	篠原 美希	孀恋高校	59						
388	土屋 清貴	孀恋高校	55	56	57					439	土屋 直美	孀恋高校	59	60	61	62			
389	篠原 大輔	孀恋高校	55	57	58	59				440	今井 美樹	前橋女子	59						
390	小林 和朗	孀恋高校	55	56	57	58	59	65		441	黒岩 徳幸	孀恋高校	60						
			68	70						442	黒岩 泰成	孀恋高校	60	61	62	63	64	65	
391	宮崎今佐人	孀恋高校	55	56	57	58	59	63			66		67						
			64	65	66	67				443	干川 芳紀	孀恋高校	60	61	62				
394	小川 俊之	前橋商業	55							444	小池由佳子	前橋育英	60	61	62				
395	柳沢 恵美	孀恋高校	55							445	今井まどか	創世中等	60	61	62	63	64	65	
397	橋爪 亮	孀恋高校	55	56	57	58	59	60			66								
398	川田 歩	孀恋高校	55	56	57	58				446	菅井 美穂	渋川女子	60	61	62				
399	干川 明美	孀恋高校	55	56						447	小林佳乃子	孀恋高校	60	61	62	63	64	65	
400	菅藤 智	孀恋高校	55	56	57	60	61	62			66								
401	黒岩 慎也	孀恋高校	55	56	59	60	61	62		448	市場真奈美	孀恋高校	60	62					
402	宮崎 伸介	孀恋高校	55	56	57	60	61			449	野中 恵太	東洋大	61						
403	佐藤 大輔	孀恋高校	55	56						450	木暮 昭仁	前橋商業	61	62	63	64			
404	外丸 匠	渋川工業	55							451	山越 竜輔	孀恋高校	61	62	63	64	65	66	
405	白石 貴明	渋川工業	55	56	57	59	60	61		452	田中 慎吾	孀恋高校	61	62	63				
406	小川 賛菜	前橋商業	55	56	57	58	59	60		453	尾崎 将太	孀恋高校	61	62					
			61	62	63	73				454	黒岩 美生	孀恋高校	61	62	63	68	69	70	
407	米倉 大介	佐田建設	56								71								
408	石井 奈緒	佐田建設	56	57	58	59	60			455	鈴木 暢	具体協	62	63	64				
409	土屋 智広	孀恋高校	56	57	58					456	黒岩 大樹	孀恋高校	62						
410	篠原 一紀	孀恋高校	56	57	59	60	61			457	小川 輝之	前橋商業	62	63	64				
411	干川 浩未	孀恋高校	56	57	58					458	土屋 駿弥	孀恋高校	62						
412	小池 雅子	前橋商業	56	57	58	59	60	61		459	宮崎 麻衣	孀恋高校	62	63	64	65	66	67	
			62								68		69	70					
413	倉田 哲也	孀恋高校	57	58						460	市場菜々世	孀恋高校	62	63	64				
										461	佐藤 潤一	孀恋高校	63	65					

番号	氏名	所属	出場回							番号	氏名	所属	出場回						
462	横手 祐二	渋川青翠	63	64					502	飯塚 智樹	孀恋高校	68	69	70	71	72	73		
463	黒岩 紘岳	孀恋高校	63	64	65	67	68		503	田子 隆太	孀恋高校	68	70						
464	干川 岳洋	孀恋高校	63						504	山崎 萌香	孀恋高校	68	69						
465	新井 佳晃	農大二高	63						505	岡部 栞	健大高崎	68	69	70					
466	黒岩 聖矢	前橋育英	63	64	65	66	67	68	506	長屋 千夏	高崎健大	69							
			69						507	一場 伸一	孀恋高校	69	70						
467	武藤 久和	孀恋高校	63	65	66				508	倉持 慶	孀恋高校	69	70						
468	久保和乃子	孀恋高校	63	64	65	66			509	羽生田康貴	孀恋高校	69	71						
469	小島 理沙	共愛学園	63	65					510	土屋 絹弥	孀恋高校	69	70						
470	奥村 雄樹	孀恋高校	64	65	66	67	68	69	511	山崎真里菜	孀恋高校	69	70	71					
			70						512	黒岩 史聖	孀恋高校	69	70	71					
471	土屋 勝弥	孀恋高校	64	65	66				513	黒岩 千聖	孀恋中学	69	70	71	72	73	74		
472	下田 琢也	孀恋高校	64	65	66	67	68	69	514	永田 希絵	高崎健大	70	71	72					
			70						515	嶋宮菜祐子	高崎健大	70	71	72					
473	干川 広貴	孀恋高校	64	66					516	土屋 育	前橋高	70							
474	井上 瑞穂	孀恋高校	64	65	66	67			517	長岡 芽以	高崎商科	70							
475	黒岩 美貴	孀恋高校	64	65	66	67	68		518	井上紗江加	前橋育英	70	71						
476	斎藤 慧巳	孀恋高校	64	65	66	67	68	69	519	萩原 拓巳	孀恋高校	71							
477	小松 広和	中央情報	65						520	干川 龍也	孀恋高校	71	72						
478	川崎みなみ	県体協	65	66					521	久佐 拓己	渋川工業	71	73	74					
479	古市 博人	孀恋高校	65	66	67	68	69	70	522	横沢 公希	孀恋高校	71	72	73	74				
			71						523	飯塚 陸矢	孀恋高校	71	72						
480	田中 博基	孀恋高校	65	67	68	70	71		524	黒岩 岳史	孀恋高校	71	72	73	74				
481	菅井 麻由	渋川女子	65	66	67				525	小山 剛史	桐生第一	71	73						
482	井上明香莉	孀恋高校	65	67					526	干川あゆみ	孀恋高校	71	72	73	74				
483	黒岩亜沙美	孀恋高校	65	66	67				527	橋本 萌生	高崎健大	72	73	74					
484	土屋 良輔	孀恋高校	66	67	68	69			528	桑原 彩奈	高崎健大	72	73						
485	黒岩宗一郎	孀恋高校	66	67	68	69	70	71	529	黒岩 太陽	孀恋高校	72	73	74					
			72	73					530	蜂須賀大翔	孀恋高校	72	73	74					
486	田中 正晃	孀恋高校	66	67	69	70			531	本間新之助	孀恋高校	72	73	74					
487	千葉 捺美	前橋商業	66	67	68	69	70	71	532	大崎 有紗	渋川女子	72	73	74					
			73	74					533	干川いづみ	孀恋高校	72	73	74					
488	樋 沙織	孀恋高校	66	67	68	74			534	本多 優	孀恋中学	72	73	74					
489	蜂須賀玲菜	孀恋高校	66	67	68				535	大川 夏美	東吾妻中	72	73	74					
490	関口 莉菜	高崎健大	67	68	69				536	篠原 梨乃	孀恋中学	72	73	74					
491	阿部 友香	高崎健大	67	68	69	70	71	72	537	水野 達喜	高崎健大	73	74						
			73						538	河島ほのか	高崎健大	73	74						
492	黒岩 紀之	孀恋高校	67	68					539	伊藤 琢真	渋川工業	73	74						
493	小林 創	孀恋高校	67	68	69				540	干川 脩太	孀恋高校	73	74						
494	並木 崇人	渋川工業	67						541	新井 萌佳	四ツ葉学園	73	74						
495	田中 真理	孀恋高校	67	68	69				542	伊藤 隼人	孀恋高校	74							
496	山崎 実紀	孀恋高校	67	68					543	狩野 亜聞	孀恋高校	74							
497	小原 悠里	高崎健大	68						544	土屋 慶介	孀恋高校	74							
498	新田 萌	高崎健大	68	69	70	71			545	黒岩 花子	孀恋高校	74							
499	本間 源大	孀恋高校	68						546	内田奈々美	利根実業	74							
500	小林 裕司	孀恋高校	68	69	70	71	72	73	547	土屋 実	信州大	74							
			74						548	上原 悠馬	高崎健大	74							
501	加部 貴裕	孀恋高校	68	69	70	71	72	73											
			74																

フィギュア

番号	氏名	所属	出場回				番号	氏名	所属	出場回				
42	酒井 理香	共愛女短	55	58			56	永塚 愛	法政大学	61				
45	宮下 留美	群馬大学	55				57	伊藤 絵美	法政大学	62				
46	神保 早恵	慶応大学	55	59	60		58	田部井宏実	前橋商業	62	64	66	67	
47	伊藤 裕子	渋川女子	55				59	進邦佳那子	共愛学園	62	64			
48	山口 朋久	前橋南高	55	57	59	60	61	60	平野 夏帆	前橋女子	64	65	68	70
49	羽鳥 光亮	前橋四中	55					61	菊池 梨子	伊勢崎高	64	67	68	
50	遠藤真理子	東洋大学	55	58	60	61	62	62	柳原 瑠偉	伊勢崎一中	65			
51	村田 泰信	前橋高	57					63	友政 蘭	群馬大学	66			
52	石井 亜樹	聖徳大学	58	59				64	木村 遥香	早稲田大学	70			
53	黒沢 美樹	藤岡女子	58					65	高柳瑠々菜	前橋西高	70			
54	福田 恭平	法政大学	59					66	武田 祐佳	前橋東中	70			
55	井出段幸樹	群馬大学	60	61										

ショートトラック

番号	氏名	所属	出場回				番号	氏名	所属	出場回						
235	大川 好和	金島中教	56				19	東城 有香	健大高崎	61	62	63				
327	小池 好美	館林女教	56	57	58		20	高野 守弘	阪南大学	62	63	64				
380	高野 正樹	早稲田大	56	57	58		21	木村 亮平	伊勢崎商	62	64	65	70			
385	橋爪 佳子	東京女体	56	57	58		22	佐藤 渚	健大高崎	62	63	64				
395	柳沢 恵美	東京女体	56				23	川島 佑平	伊勢崎工	63	64	65	66	67	68	
396	星野 聡	医療短大	56	57						69	70					
1	島田 択志	島田製作所	56	57	58	60	61	24	浜野 翔平	桐生高	64	65	66			
2	清水麻衣子	共立女短	56	57				469	小島 理沙	共愛学園	64					
3	須藤 良輔	前橋商業	56	57	58	59	60	25	東城 有輝	太田商業	65	67	68	69	70	71
4	石関 祐樹	桐生高	56	57	58	59	60	61	26	磯村 結珠	桐生高	65	66			
			62	63	64	65	66	67	27	田口 一代	健大高崎	66	67	68	69	71
			68	69	70	71			28	松崎 雄也	中央中等	66	67			
5	清水 夢美	伊勢崎女	56	57	58			29	中野 楓	健大高崎	67					
6	三ツ橋皓平	中京大	57	58	59			30	松崎 智子	健大高崎	67	68	69	70	73	
7	北詰 香織	國學院栃	57	58				31	中野あやめ	元総社中	68					
8	田上 真一	桐生高	57	58	59	60	61	32	南里 雅綺	高崎健大	69					
9	篠原 祐剛	前橋クラブ	58	59				33	蒔田 陸	伊勢崎工	69	71				
10	勅使河原都恵	赤塚	58	59				34	大川 愛弓	渋川女子	69	70	72	73		
11	貞包 紘子	健大高崎	58	59	61	62	63	495	田中 真理	上部大学	70	71	72	73		
12	鈴木 理絵	桐生高	58	59	63	64		35	阿部 凌大	健大高崎	70	71	72	73	74	
13	清水 勇斗	太田商業	59	60	61	62	66	67	36	丸山凜太郎	高松中学	70	71	72	73	
14	清水 穂高	桐生高	59	60	61	62	63		37	丸山 朱理	健大高崎	70	71	72	73	
15	北詰 幸紀	桐生高	60					505	岡部 栞	医療福祉	71	72				
16	鈴木 宏美	桐生南高	60					38	柵瀬ななみ	前橋六中	71	72	73	74		
430	田上 由希	前橋女子	60	63				39	柵瀬あかり	前橋六中	72	73	74			
17	磯村 翼	桐生工業	61	62	63	64	65	66	40	藤生 智也	桐生工業	73	74			
			68	69					41	清水 悠太	樹徳高	74				
18	坂爪 亮介	太田工業	61	63	64	65	67									



須藤 良輔



藤生 智也



柵瀬 ななみ

国体冬季大会スケート競技会入賞者一覧表

群馬県スケート連盟

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位			
24	5	苫小牧		国体スケート競技会に初参加					スピード 5名 フィギュア 1名 入賞なし
25回 ~ 31回				入賞なし					
32	13	盛岡	一般女子	和田真利子	渋川女高	500m	6位	1600mR	4位
				門倉文子	渋川女高	1600mR	4位		
				半田全代	渋川女高	1600mR	4位		
				山田瑞穂	渋川女高	1600mR	4位		
33	14	帯広	教員	鶴田智之	元総社小	500m	3位	3000m	4位
			一般女子	和田真利子	渋川女高	1000m	5位	1600mR	4位
				門倉文子	渋川女高	1600mR	4位		
				山田瑞穂	渋川女高	1600mR	4位		
				大森伸子	榛名高校	1600mR	4位		
34	15	美鈴湖	一女	和田真利子	日体大学	500m	4位		
				門倉文子	専修大学	500m	5位	1000m	2位
			高校男子	高橋清	渋川高校	500m	6位	2000mR	2位
				門倉博	榛名高校	2000mR	2位		
				関口好昭	前橋商業	2000mR	2位		
				箱田昭宏	渋川高校	2000mR	2位		
			教員	鶴田智之	南橘中	3000m	2位		
スピード総得点 21点 第4位									
35	16	軽井沢	一般女子	門倉文子	専修大学	500m	4位	1000m	4位
				和田真利子	日体大学	1600mR	5位	1600mR	5位
				清水洋子	榛名高校	1600mR	5位		
				池川登代子	佐藤学園	1600mR	5位		
			教員	鶴田智之	南橘中	500m	4位	3000m	3位
			高校男子	園田清美	榛名高校	2000mR	4位		
				門倉博	榛名高校	2000mR	4位		
				唐沢静夫	榛名高校	2000mR	4位		
山田真人	渋川高校	2000mR		4位					
スピード総得点 21点 第5位									
36	17	八戸	教員	鶴田智之	南橘中	500m	3位	3000m	4位
			一般女子	門倉文子	専修大学	1600mR	6位		
				門倉とし子	渋川女高	1600mR	6位		
				和田真利子	日体大学	1600mR	6位		
				池川登代子	佐藤学園	1600mR	6位		
スピード総得点 8点 第8位									
37	18	帯広	教員	鶴田智之	南橘中	500m	3位		
			一男	関口好昭	専修大学	500m	5位		
			一般女子	和田真利子	日体大学	1600mR	4位		
				斎藤敏子	渋川女高	1600mR	4位		
				門倉文子	榛名クラブ	1600mR	4位		
				門倉とし子	渋川女高	1600mR	4位		
スピード総得点 9点 第7位									

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位			
38	19	駒ヶ岳	一般男子	関口 好昭	専修大学	500m	2位	2000mR 4位	
				箱田 昭宏	専修大学	2000mR	4位		
				園田 清美	警察学校	2000mR	4位		
				関口 定彦	専修大学	2000mR	4位		
			教員	松井 完二	榛名一中	500m	6位	3000m	6位
			一般女子	栃原 幸子	渋川女高	2000mR	5位		
門倉とし子	渋川女高	2000mR		5位					
小柴やよい	農大二高	2000mR		5位					
和田真利子	渋中教員	2000mR		5位					
スปีト総得点 12点 第7位									
39	20	蓼科	教員	鶴田 智之	南橋中学	500m	4位	3000m 5位	
				松井 完二	榛名一中	500m	5位		
			高校男子	今西 敏之	前橋商業	500m	3位	2000mR 4位	
				野口 正博	農大二高	2000mR	4位		
				長谷川哲夫	新島学園	2000mR	4位		
				佐久間 孝	榛名高校	2000mR	4位		
スปีト総得点 14点 第7位									
40	21	盛岡	教員	鶴田 智之	南橋中学	500m	5位	3000m 7位	
				松井 完二	榛名一中	500m	7位		3000m 4位
			一男	関口 好昭	前橋クラブ	500m	6位		
			高校男子	飯島 由夫	榛名高校	500m	7位		
				野口 正博	農大二高	2000mR	3位		
				堀口 哲男	前橋商業	2000mR	3位		
				佐藤 憲一	高崎商業	2000mR	3位		
			一般女子	木村 正二	前橋商業	2000mR	3位		
				栃原 幸子	渋川女高	2000mR	5位		
				小芝やよい	農大二高	2000mR	5位		
	佐藤 裕子	松井田高	2000mR	5位					
	和田真利子	伊香保ク	2000mR	5位					
スปีト総得点 28点 第5位									
41	22	日光	高校男子	加勢 裕二	新島学園	2000mR	2位		
				木村 正二	前橋商業	2000mR	2位		
				堀口 哲男	前橋商業	2000mR	2位		
				野口 正博	農大二高	2000mR	2位		
			一般女子	岩立 明子	渋川女高	500m	6位	2000mR 5位	
				栃原 幸子	日体大学	2000mR	5位		
				佐藤 裕子	松井田高	2000mR	5位		
				小芝やよい	専修大学	2000mR	5位		
			教員	鶴田 智之	南橋中学	教員 500m	8位		
			スปีト総得点 15点						
42	23	帯広	高校男子	松村 操	高崎商業	500m	3位	2000mR 3位	
				木村 正二	前橋商業	500m	8位		
				湯本 秀雄	高崎商業	2000mR	3位		
				門倉千真喜	榛名高校	2000mR	3位		
			一般女子	丸山 幸子	高崎商業	2000mR	5位		
				岩立 明子	渋川女高	2000mR	5位		
				佐藤予糸子	渋川女高	2000mR	5位		
				石原かほる	渋川女高	2000mR	5位		
スปีト総得点 17点									

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位			
43	24	富士吉田	高校男子	門倉千真喜	榛名高校	500m	5位	2000mR	4位
				松村 操	高崎商業	2000mR	4位		
				湯本 秀雄	高崎商業	2000mR	4位		
				松下 潤一	高崎商業	2000mR	4位		
				根岸 次郎	高崎工業	10000m	7位		
			一般男子	中里 守	桐生クラブ	2000mR	7位		
			寺島 惟孝	前橋クラブ	2000mR	7位			
			高野 純一	群馬大学	2000mR	7位			
			關口 好昭	前橋クラブ	2000mR	7位			
			一女	岩立 明子	専修大学	1000m	7位		
			教員	鶴田 智之		500m	5位		
スピート総得点 19点 第6位									
44	25	美鈴湖	高校男子	松下 潤一	高崎商業	2000mR	4位		
				川田 正	前橋商業	2000mR	4位		
				田中 豊	前橋工業	2000mR	4位		
				黒岩 富一	前橋商業	2000mR	4位		
			一般男子	松村 操	桐生クラブ	2000mR	7位		
				根岸 次郎	東洋大学	2000mR	7位		
				湯本 秀雄	大東文化	2000mR	7位		
				門倉千真喜	東洋大学	2000mR	7位		
			一般女子	岩立 明子	専修大学	1000m	6位	2000mR	6位
				佐藤予糸子	渋川女高	2000mR	6位		
石原かほる	渋川女高	2000mR		6位					
黒岩のり子	前東商高	2000mR		6位					
スピート総得点 13点 第11位									
45	26	八戸	高校男子	川田 正	前橋商業	500m	6位	2000mR	4位
				松下 潤一	高崎商業	2000mR	4位		
				黒岩 正友	孺恋高校	2000mR	4位		
				福島 秀人	渋川工高	2000mR	4位		
			一男	湯本 秀雄	大東文化	1500m	5位		
			一般女子	岩立 明子	専修大学	2000mR	6位		
				黒岩のり子	前東商高	2000mR	6位		
				石原ひとみ	渋川女高	2000mR	6位		
石井とく江	勢多農高	2000mR		6位					
スピート総得点 15点 第10位									
46	27	日光	高校男子	川田 正	前橋商業	500m	7位	2000mR	2位
				須田 次雄	前橋商業	1500m	7位	2000mR	2位
				松村 英	前橋商業	2000mR	2位		
				真下 広章	勢多農高	2000mR	2位		
			一般男子	湯本 秀雄	大東文化	1500m	2位	2000mR	2位
				松村 操	桐生クラブ	2000mR	2位		
				松下 潤一	大東文化	2000mR	2位		
				根岸 次郎	東洋大学	5000m	5位	10000m	6位
			門倉千真喜	東洋大学	2000mR	2位			
スピート総得点 32点 第7位									

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位					
47	28	盛岡	高校男子	鷺谷 俊一	前橋商業	500m	7位	2000mR	4位		
				須田 次雄	前橋商業	2000mR	4位				
				松村 英	前橋商業	2000mR	4位				
				土屋 久	農大二高	2000mR	4位				
			教員	入沢 孝一	孺恋西中	3000m	優勝				
スプリント総得点 19点 第8位											
48	29	真駒内	教員	入沢 孝一	孺恋西中	500m	6位	3000m	4位		
				高校男子	熊川 賢二	孺恋高校	2000mR	3位			
					鷺谷 俊一	前橋商業	2000mR	3位			
					黒岩 菊男	孺恋高校	2000mR	3位			
			青木 一夫		長野原高	2000mR	3位				
			女子	湯本 玲子	渋川女高	女子2000mR	2位				
				佐藤まゆみ	孺恋高校	女子2000mR	2位				
				小林 洋子	農大二高	女子2000mR	2位				
				深町 桂子	桐ヶ岡高	女子2000mR	2位				
スプリント総得点 21点 第7位											
49	30	富士吉田	少年男子	鷺谷 俊一	前橋商業	500m	5位	1500m	7位	2000mR	3位
				篠原 弘	孺恋高校	5000m	5位				
				小林 和弘	孺恋高校	5000m	7位				
				熊川 賢二	孺恋高校	2000mR	3位				
				加部 雅美	長野原高	2000mR	3位				
				佐藤 博義	孺恋高校	2000mR	3位				
			少年女子	黒岩美智子	孺恋高校	500m	6位	1000m	4位	2000mR	2位
				黒岩 恵子	孺恋高校	1500m	優勝	3000m	優勝	2000mR	3位
				湯本 玲子	渋川女高	500m	3位	1000m	7位	2000mR	2位
				佐藤まゆみ	孺恋高校	2000mR	2位				
教員	入沢 孝一	孺恋西中	500m	3位	3000m	優勝					
スプリント総得点 71点 第4位											
50	31	日光	少年男子	斉藤 剛弘	前橋商業	500m	4位	2000mR	3位		
				黒岩 菊男	孺恋高校	1500m	優勝	5000m	4位		
				佐藤 博義	孺恋高校	1500m	5位	2000mR	3位		
				大塚 隆平	渋川高校	5000m	6位				
				宮崎 奉文	孺恋高校	5000m	8位				
				熊川 賢二	孺恋高校	2000mR	3位				
				加部 雅美	長野原高	2000mR	3位				
			少年女子	黒岩美智子	孺恋高校	500m	優勝	1000m	優勝	2000mR	6位
				黒岩 恵子	孺恋高校	1500m	3位	3000m	優勝	2000mR	6位
				木村美栄子	渋川女高	2000mR	6位				
				黒岩 桂子	孺恋高校	2000mR	6位				
教員	入沢 孝一	孺恋西中	3000m	優勝							
成男	湯本 秀雄	渋川ク	500m	7位							
	篠原 弘	明治大学	5000m	5位	10000m	5位					
スプリント総得点 80点 第3位											

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位		
51	32	八戸	少年男子	佐藤 博義	孺恋高校	500m 優勝	1500m 優勝	2000mR 優勝
				深井 靖士	渋川高校	500m 3位	1500m 4位	2000mR 優勝
				大塚 隆平	渋川高校	1500m 5位	2000mR 優勝	
				宮崎 奉文	孺恋高校	5000m 4位	10000m 7位	
				齊藤 剛弘	前橋商業	500m 8位	2000mR 優勝	
			少年女子	黒岩美智子	孺恋高校	500m 優勝	1000m 優勝	2000mR 優勝
				黒岩 恵子	孺恋高校	1500m 2位	3000m 6位	2000mR 優勝
				丸山美代子	孺恋高校	3000m 8位	2000mR 優勝	
				佐藤利恵子	孺恋高校	2000mR 優勝		
			教員	熊川 輝男	孺恋西小	500m 2位	3000m 2位	
			成年男子	黒岩 菊男	明治大学	5000m 6位	2000mR 6位	
				青木 英二	大東文化	2000mR 6位		
				篠原 弘	明治大学	2000mR 6位		
				加部 雅美	東洋大学	2000mR 6位		
			スปีト総得点 102点 第3位					
52	33	美鈴湖	少年男子	深井 靖士	渋川高校	500m 2位	1500m 4位	
				黒岩 彰	孺恋高校	500m 3位	1500m 3位	
				干川 和重	孺恋高校	500m 5位		
				宮崎 奉文	孺恋高校	5000m 2位	10000m 3位	
			少年女子	佐藤利恵子	孺恋高校	500m 6位	1000m 3位	2000mR 4位
				中島 芳子	孺恋高校	1500m 7位	3000m 7位	2000mR 4位
				篠原なみ子	孺恋高校	2000mR 4位		
				丸山美代子	孺恋高校	2000mR 4位		
			成年女子	黒岩美智子	国土計画	500m 優勝	1000m 3位	2000mR 3位
				黒岩 恵子	専修大学	1500m 6位	3000m 4位	2000mR 3位
				児島 雅子	伊勢崎夕	2000mR 3位		
				木村美栄子	大東文化	2000mR 3位		
			成年男子	篠原 弘	明治大学	5000m 2位		
				熊川 賢二	東洋大学	2000mR 2位		
				加部 雅美	東洋大学	2000mR 2位		
				佐藤 博義	明治大学	2000mR 2位		
				齊藤 剛弘	専修大学	2000mR 2位		
			教員	熊川 輝男	孺恋西中	教員 500m 3位	3000m 3位	
スปีト総得点 119点 第3位								



第69回飯塚智也、加部貴裕



第69回下田琢也



第69回黒岩美生

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位				
53	34	盛岡	少年男子	黒岩 彰	孺恋高校	500m 優勝	1500m 2位			
				遠藤 庄宏	渋川高校	500m 3位				
				佐藤 義昭	孺恋高校	500m 8位	1500m 7位			
				黒岩 栄治	孺恋高校	1000m 5位				
				土屋 誠	孺恋高校	1000m 7位				
			少年女子	佐藤利恵子	孺恋高校	1000m 2位	1500m 3位	2000mR 4位		
				篠原なみ子	孺恋高校	2000mR 4位				
				中島 芳子	孺恋高校	2000mR 4位				
				土屋 一子	孺恋高校	2000mR 4位				
			教員	熊川 輝男	孺恋西中	500m 3位	3000m 4位			
			成年男子	佐藤 博義	明治大学	500m 2位	2000mR 4位			
				菱田 泰志	国土計画	500m 4位	1500m 3位	2000mR 4位		
				加部 善基	明治大学	1000m 5位				
				黒岩 菊男	明治大学	1500m 6位				
				宮崎 奉文	明治大学	5000m 6位				
				篠原 弘	明治大学	1000m 7位				
				加部 雅美	東洋大学	2000mR 4位				
熊川 賢二	東洋大学	2000mR 4位								
成年女子	黒岩美智子	国土計画		500m 優勝	1000m 優勝	2000mR 2位				
	黒岩 恵子	専修大学	1500m 7位	3000m 8位	2000mR 2位					
	丸山美代子	中京短大	2000mR 2位							
	木村美栄子	大東文化	2000mR 2位							
ｽﾋﾟｰﾄﾞ総得点 120点 第3位										
54	35	苫小牧	少年男子	黒岩 彰	孺恋高校	500m 優勝	1500m 優勝			
				遠藤 庄宏	渋川高校	500m 3位				
				佐藤 進	孺恋高校	500m 4位				
				土屋 和弘	孺恋高校	1500m 2位	5000m 3位			
				黒岩 栄治	孺恋高校	5000m 7位	10000m 7位			
				土屋 誠	孺恋高校	5000m 8位	10000m 6位			
				土屋 一子	孺恋高校	1500m 6位	3000m 3位	2000mR 5位		
			少年女子	中島 芳子	孺恋高校	3000m 6位	2000mR 5位			
				篠原なみ子	孺恋高校	2000mR 5位				
				黒岩 初子	孺恋高校	2000mR 5位				
			成年女子	黒岩美智子	西武	500m 優勝	1000m 優勝	2000mR 4位		
				佐藤利恵子	西武	1000m 3位	1500m 3位	2000mR 4位		
			成年男子	深井 靖士	早稲田大	500m 優勝	2000mR 2位			
				佐藤 博義	明治大学	500m 4位	1500m 4位	2000mR 2位		
				菱田 泰志	西武	1500m 2位	2000mR 2位			
				宮崎 奉文	明治大学	5000m 5位				
				加部 雅美	東洋大学	2000mR 2位				
ｽﾋﾟｰﾄﾞ総得点 133点 第3位										

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位		
55	36	富士吉田	少年男子	丸山 一夫	孺恋高校	500m 2位	2000mR 4位	
				遠藤 庄宏	渋川高校	500m 6位	1500m 2位	2000mR 4位
				黒岩 栄治	孺恋高校	5000m 優勝	2000mR 4位	
				加部 裕昭	孺恋高校	5000m 4位		
				菅井栄一郎	渋川工高	10000m 4位		
				干川 英男	孺恋高校	10000m 7位		
				黒岩 芳和	孺恋高校	2000mR 4位		
			少年女子	土屋 一子	孺恋高校	1000m 優勝	1500m 2位	2000mR 4位
				黒岩 初子	孺恋高校	500m 7位	1000m 5位	2000mR 4位
				宮崎由紀子	孺恋高校	2000mR 4位		
				黒岩 玲子	孺恋高校	2000mR 4位		
			成年女子	黒岩美智子	西 武	500m 優勝	1000m 優勝	2000mR 2位
				佐藤利恵子	西 武	1000m 8位	1500m 4位	2000mR 2位
				中島 芳子	中京短大	2000mR 2位		
				木村美栄子	大東文化	2000mR 2位		
			成年男子	深井 靖士	早稲田大	500m 4位	1500m 5位	2000mR 3位
				小金沢秀雄	明治大学	500m 7位	2000mR 3位	
				宮崎 奉文	明治大学	10000m 7位		
				加部 善基	明治大学	10000m 8位		
				加部 雅美	明治大学	2000mR 3位		
佐藤 博義	明治大学	2000mR 3位						
ｽﾋﾟｰﾄﾞ総得点 117点 第3位								
56	37	日 光	少年男子	黒岩 康志	孺恋高校	500m 2位	2000mR 2位	
				加部 裕昭	孺恋高校	500m 4位	1500m 4位	2000mR 2位
				根本 誠	榛名高校	1500m 5位		
				池田 光雄	渋川工高	10000m 4位		
				黒岩 寿彦	孺恋高校	2000mR 2位		
				青木 操	孺恋高校	2000mR 2位		
			少年女子	黒岩 初子	孺恋高校	500m 3位	1000m 5位	2000mR 3位
				大岡 鈴子	孺恋高校	500m 4位	2000mR 3位	
				荒木 美和	渋川西高	3000m 7位		
				黒岩 良子	孺恋高校	2000mR 3位		
				宮崎由紀子	孺恋高校	2000mR 3位		
			成年女子	黒岩美智子	西 武	500m 3位	1000m 優勝	2000mR 3位
				佐藤利恵子	西 武	1000m 2位	1500m 6位	2000mR 3位
				土屋 一子	専修大学	1500m 2位	3000m 2位	2000mR 3位
				長嶋 千恵	群馬大学	2000mR 3位		
			成年男子	丸山 一夫	専修大学	500m 3位	1500m 2位	2000mR 優勝
				深井 靖士	早稲田大	1500m 5位	2000mR 優勝	
				宮崎 奉文	明治大学	5000m 2位		
				黒岩 栄治	専修大学	10000m 4位		
				佐藤 博義	明治大学	2000mR 優勝		
小金沢秀雄	明治大学	2000mR 優勝						
菅井栄一郎	大東文化	10000m 7位						
ｽﾋﾟｰﾄﾞ総得点 139点 第3位								

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位		
57	38	伊香保	少年男子	黒岩 康志	孺恋高校	500m 優勝	1500m 優勝	2000mR 優勝
				根本 誠	榛名高校	500m 3位	1500m 5位	2000mR 優勝
				小金沢 栄	孺恋高校	1500m 2位	2000mR 優勝	
				黒岩 宗久	孺恋高校	5000m 2位	10000m 2位	
				角田 秀穂	前橋商業	5000m 5位		
				干川 英男	孺恋高校	10000m 5位		
				羽生田秀利	孺恋高校	10000m 7位		
				青木 操	孺恋高校	2000mR 優勝		
			少年女子	大岡 鈴子	孺恋高校	500m 3位	2000mR 優勝	
				星野 淳子	洪川女高	500m 8位	1000m 7位	2000mR 優勝
				黒岩 良子	孺恋高校	1500m 2位	3000m 優勝	2000mR 優勝
				荒木 美和	洪川西高	1500m 8位	3000m 3位	2000mR 優勝
				藤岡 雅子	洪川女高	3000m 6位		
			成年女子	黒岩美智子	西 武	500m 6位	2000mR 優勝	
				土屋 一子	専修大学	1500m 3位	3000m 6位	2000mR 優勝
				鷹野 貴子	孺恋西中	1500m 4位	3000m 5位	2001mR 優勝
				佐藤利恵子	西 武	2000mR 優勝		
			成年男子	丸山 一夫	専修大学	500m 優勝	1500m 8位	2000mR 2位
				佐藤 博義	佐田建設	500m 8位	2000mR 2位	
				加部 裕昭	専修大学	1500m 3位		
土屋 誠	専修大学	1500m 4位						
黒岩 栄治	専修大学	5000m 優勝						
深井 靖士	早稲田大	2000mR 2位						
スプリント総得点 172点 第1位								
58	39	釧路	少年男子	根本 誠	榛名高校	500m 2位	1500m 4位	2000mR 4位
				黒岩 悟	孺恋高校	500m 6位	2000mR 4位	
				黒岩 康志	孺恋高校	1500m 2位	2000mR 4位	
				小金沢 栄	孺恋高校	1500m 5位	5000m 4位	
				黒岩 宗久	孺恋高校	5000m 8位		
				中野 泰久	前橋商業	10000m 5位		
				干川多賀幸	孺恋高校	2000mR 4位		
				少年女子	大岡 鈴子	孺恋高校	500m 4位	1000m 5位
			星野 淳子		洪川女高	500m 7位		
			土屋恵美子		孺恋高校	1000m 8位		
			黒岩 良子		孺恋高校	1500m 5位	3000m 7位	
			成年女子	山木 恵子	西 武	1500m 3位	2000mR 優勝	
				鷹野 貴子	孺恋西中	1500m 8位	3000m 3位	2000mR 優勝
				土屋 一子	専修大学	3000m 5位	2000mR 優勝	
				黒岩 初子	専修大学	2000mR 優勝		
			成年男子	加部 裕昭	専修大学	500m 4位	1500m 6位	2000mR 優勝
				丸山 一夫	専修大学	500m 8位	1500m 優勝	2000mR 優勝
				土屋 誠	専修大学	1500m 5位		
				黒岩 芳和	大東文化	2000mR 優勝		
				遠藤 庄宏	明治大学	500m 5位	2000mR 優勝	
菅井栄一郎	大東文化	10000m 8位						
スプリント総得点 118点 第3位								

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位					
59	40	八戸	少年男子	黒岩 悟	孺恋高校	500m	2位	1500m	5位	2000mR	3位
				干川多賀幸	孺恋高校	500m	3位	2000mR	3位		
				黒岩 宗久	孺恋高校	5000m	7位	10000m	7位	2000mR	3位
				小金沢 栄	孺恋高校	2000mR	3位				
			少年女子	青木 由美	前橋商業	1500m	8位	2000mR	6位		
				山崎 利香	榛名高校	2000mR	6位				
				池川富美江	前橋商業	2000mR	6位				
				金子寿美子	前橋商業	2000mR	6位				
			成女	鷹野 貴子	孺恋西中	1500m	7位	3000m	8位		
			成年男子	加部 裕昭	専修大学	500m	4位	2000mR	2位		
				黒岩 康志	専修大学	1500m	2位	2000mR	2位		
				黒岩 栄治	専修大学	10000m	8位				
				小松 秀司	金島小教	B1000m	3位				
				丸山 一夫	専修大学	2000mR	2位				
根本 誠	専修大学	2000mR		2位							
スリット総得点 60点											
60	41	富士吉田	少年男子	黒岩 悟	孺恋高校	500m	優勝	1500m	2位	2000mR	優勝
				黒岩 育生	孺恋高校	500m	2位	2000mR	優勝		
				中野 泰久	前橋商業	10000m	5位				
				土屋 学	孺恋高校	2000mR	優勝				
				黒岩 敏幸	孺恋高校	2000mR	優勝				
			少年女子	高橋 昭子	渋川西高	500m	5位	1000m	8位	2000mR	3位
				黒岩 京子	孺恋高校	2000mR	3位				
				篠原恵美子	孺恋高校	2000mR	3位				
				青木 由美	前橋商業	2000mR	3位				
			成年男子	黒岩 康志	専修大学	500m	7位	2000mR	5位		
				加部 裕昭	専修大学	500m	2位	1500m	3位	2000mR	5位
				黒岩 宗久	専修大学	5000m	8位	10000m	優勝		
				小金沢 栄	法政大学	5000m	6位	10000m	7位		
				干川多賀幸	日体大学	2000mR	5位				
				根本 誠	専修大学	2000mR	5位				
			成年女子	黒岩 良子	専修大学	1000m	4位	1500m	8位	2000mR	2位
				土屋 一子	専修大学	1500m	3位	2000mR	2位		
				鷹野 貴子	孺恋西中	1500m	7位	2000mR	2位		
大岡 鈴子	日体大学	2000mR									
スリット総得点 99点 第4位											



第71回阿部友香(赤)



第69回土屋良輔



第69回黒岩聖矢

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位		
61	42	軽井沢	少年男子	黒岩 敏幸	孺恋高校	500m 5位	1500m 7位	2000mR 3位
				土屋 学	孺恋高校	1500m 6位	2000mR 3位	
				荒木 徳彦	榛名高校	1500m 2位		
				清水 祥之	榛名高校	5000m 2位	10000m 5位	
				黒岩 正行	孺恋高校	10000m 優勝		
				干川 秀二	孺恋高校	10000m 8位		
				根本 剛	榛名高校	2000mR 3位		
				本間 章	孺恋高校	2000mR 3位		
			少年女子	土屋 清枝	孺恋高校	500m 7位	2000mR 2位	
				黒岩 京子	孺恋高校	500m 8位	1000m 8位	2000mR 2位
				土屋 雪枝	孺恋高校	1500m 7位	2000mR 2位	
				大岡 孝江	孺恋高校	2000mR 2位		
			成年男子	黒岩 育生	日本大学	500m 2位		
				黒岩 悟	専修大学	500m 3位	1500m 7位	
				黒岩 康志	専修大学	1500m 優勝		
				黒岩 宗久	専修大学	5000m 優勝	10000m 2位	
			成年女子	大岡 鈴子	日体大学	500m 8位	1000m 3位	2000mR 5位
				土屋 一子	干俣小教	1500m 5位	3000m 5位	2000mR 5位
				井口てる代	渋川ク	B 500m 8位		
高橋 昭子	日体大学	2000mR 5位						
星野 淳子	群馬大学	2000mR 5位						
スプリント総得点 113点 第3位								
62	43	伊香保	少年男子	本間 章	孺恋高校	500m 優勝	1000m 優勝	2000mR 2位
				土屋 和彦	孺恋高校	500m 5位	2000mR 2位	
				干川 幸宏	孺恋高校	1000m 5位	2000mR 2位	
				荒木 徳彦	榛名高校	1500m 優勝	3000m 7位	
				石井 雅人	渋川高校	1500m 4位		
				黒岩 正行	孺恋高校	5000m 2位	10000m 優勝	
				桜井 正樹	渋川工高	5000m 3位	10000m 5位	
				川崎 初男	孺恋高校	2000mR 2位		
				少年女子	黒岩 京子	孺恋高校	1000m 4位	2000mR 2位
			土屋 雪枝		孺恋高校	1500m 5位	3000m 8位	2000mR 2位
			大岡 孝江		孺恋高校	1500m 7位	2000mR 2位	
			土屋 陽子		孺恋高校	3000m 6位	5000m 5位	2000mR 2位
			篠原恵美子		孺恋高校	5000m 6位		
			成年男子	黒岩 悟	専修大学	500m 優勝	1000m 4位	2000mR 2位
				黒岩 育生	日本大学	500m 3位	1000m 3位	2000mR 2位
				黒岩 敏幸	日本大学	1500m 4位	3000m 7位	2000mR 2位
				土屋 学	日体大学	1500m 5位		
				小金沢 栄	法政大学	5000m 3位	10000m 2位	
				干川 秀二	法政大学	10000m 8位		
				松村 操	桐生ク	B 500m 5位	B1000m 2位	
				小松 秀司	渋川ク	B 500m 8位	B1000m 6位	
				川島 栄喜	太田ク	B1500m 7位		
				平井 恒夫	高崎ク	C 500m 5位		
				坂口 英二	桐生ク	C1500m 7位		
			根本 誠	専修大学	2000mR 2位			
			成年女子	大岡 鈴子	日体大学	1000m 4位	2000mR 2位	
				土屋 一子	干俣小教	1500m 5位	3000m 8位	2000mR 2位
				高橋 昭子	日体大学	1000m 7位	1500m 8位	2000mR 2位
				井口てる代	渋川ク	B500m 6位	B1000m 6位	
星野 淳子	群馬大学	2000mR 2位						
スプリント総得点 206点 第3位								

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位		
63	44	帯 広	少年男子	青山 貴人	渋川西高	1500m	4位	
				黒岩 正行	孺恋高校	5000m	4位	10000m 6位
				黒岩 道也	孺恋高校	10000m	7位	
				新保 堅進	榛名高校	2000mR	3位	
				川崎 初男	孺恋高校	2000mR	3位	
				干川 幸宏	孺恋高校	2000mR	3位	
				本間 良次	孺恋高校	2000mR	3位	
			少年女子	大岡 孝江	孺恋高校	1000m	7位	2000mR 2位
				大河原浩江	孺恋高校	1000m	8位	2000mR 2位
				土屋 雪枝	孺恋高校	1500m	4位	3000m 4位 2000mR 2位
				土屋 清枝	孺恋高校	2000mR	2位	
			成年男子	黒岩 悟	専修大学	500m	2位	2000mR 2位
				黒岩 育生	日本大学	500m	5位	2000mR 2位
				黒岩 敏幸	日本大学	1000m	2位	
				黒岩 宗久	専修大学	1500m	6位	5000m 5位
				清水 祥之	日本大学	10000m	4位	
				土屋 学	日体大学	2000mR	2位	
				本間 章	日体大学	2000mR	2位	
				平井 恒夫	高崎夕	C 500m	5位	
				坂口 英二	桐生夕	C 500m	8位	1000m 5位
成年女子	高橋 昭子	日体大学	1000m	8位	2000mR 7位			
	黒岩 京子	日体大学	2000mR	7位				
	星野 淳子	群馬大学	2000mR	7位				
	足立 恭子	群馬大学	2000mR	7位				
スปีト総得点 90点 第4位								
元	45	盛 岡	少年男子	藤井 康弘	孺恋高校	500m	6位	2000mR 5位
				黒岩 哲	孺恋高校	5000m	3位	10000m 5位
				青山 貴人	渋川西高	1000m	6位	1500m 2位
				新保 堅進	榛名高校	2000mR	5位	
				川崎 初男	孺恋高校	2000mR	5位	
				本間 良次	孺恋高校	2000mR	5位	
			少年女子	小林 和代	孺恋高校	500m	3位	2000mR 3位
				土屋 陽子	孺恋高校	3000m	7位	2000mR 3位
				大河原浩江	孺恋高校	2000mR	3位	
				黒岩 友美	孺恋高校	2000mR	3位	
			成年男子	黒岩 悟	専修大学	500m	優勝	
				黒岩 敏幸	日本大学	1000m	優勝	1500m 2位
				荒木 徳彦	専修大学	1500m	7位	
				黒岩 正行	日本大学	5000m	3位	10000m 2位
				清水 祥之	日本大学	5000m	4位	10000m 8位
				村越 秀雄	伊勢崎夕	B500m	5位	
			成年女子	佐藤 敏恵	佐田建設	1000m	2位	2000mR 5位
				高橋 昭子	日体大学	2000mR	5位	
				星野 淳子	群馬大学	2000mR	5位	
				土屋 雪枝	日体大学	2000mR	5位	
スปีト総得点 100点 第5位								

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位		
2	46	軽井沢	少年男子	新保 堅進	榛名高校	500m 2位	1000m 2位	2000mR 2位
				藤井 康弘	孺恋高校	500m 5位	2000mR 2位	
				吉井 龍平	榛名高校	1000m 3位	2000mR 2位	
				土屋 壮一	孺恋高校	1500m 8位		
				石川 岳夫	榛名高校	1500m 5位	5000m 6位	
				黒岩 哲	孺恋高校	5000m 7位	10000m 6位	
				本間 良次	孺恋高校	2000mR 2位		
			少年女子	小池 好美	渋川女高	500m 5位	2000mR 5位	
				小林 和代	孺恋高校	500m 6位	1000m 4位	2000mR 5位
				大河原浩江	孺恋高校	1500m 7位	3000m 8位	2000mR 5位
				干川恵理子	孺恋高校	2000mR 5位		
			成年男子	本間 章	日体大学	500m 優勝	2000mR 2位	
				黒岩 育生	日本大学	500m 6位	1000m 優勝	2000mR 2位
				黒岩 正行	日本大学	5000m 2位	10000m 3位	
				小嶋 剛	日本大学	10000m 優勝		
				清水 祥之	日本大学	1500m 優勝	5000m 5位	
				荒木 徳彦	専修大学	2000mR 2位		
				土屋 学	日体大学	2000mR 2位		
			成年女子	土屋 陽子	佐田建設	1500m 6位	3000m 7位	2000mR 5位
				土屋 雪枝	日体大学	3000m 8位	2000mR 5位	
八木沼静香	佐田建設	2000mR 5位						
大岡 孝江	中京短大	2000mR 5位						
ｽﾋﾟｰﾄﾞ総得点 132点 第3位								
3	47	山形	少年男子	吉井 龍平	榛名高校	500m 2位	1000m 3位	2000mR 2位
				飯野 浩樹	榛名高校	1000m 5位	2000mR 2位	
				干川 清彦	孺恋高校	1500m 4位		
				石川 岳夫	榛名高校	5000m 7位		
				初見 祐介	孺恋高校	2000mR 2位		
				一場 秀康	孺恋高校	2000mR 2位		
				少年女子	小林 和代	孺恋高校	1000m 3位	2000mR 8位
			干川恵理子		孺恋高校	1000m 6位	2000mR 8位	
			鈴木 正美		渋川女高	2000mR 8位		
			高野 菜穂		渋川女高	2000mR 8位		
			成年男子	新保 堅進	佐田建設	500m 7位	2000mR 4位	
				本間 章	日体大学	500m 6位	2000mR 4位	
				荒木 徳彦	専修大学	1000m 7位	1500m 4位	
				黒岩 育生	佐田建設	1000m 6位		
				清水 祥之	日本大学	1500m 8位	5000m 優勝	2000mR 4位
				川崎 初男	東洋大学	2000mR 4位		
				川島 栄喜	太田夕	B 500m 6位		
			成年女子	土屋 陽子	佐田建設	3000m 6位		
				八木沼静香	佐田建設	500m 6位	2000mR 3位	
				田中 恵美	佐田建設	1500m 3位	3000m 優勝	2000mR 3位
小池 好美	東女体大	2000mR 3位						
大河原浩江	日体大学	2000mR 3位						
ｽﾋﾟｰﾄﾞ総得点 99点 第3位								

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位					
4	48	八戸	少年男子	白石 正明	渋川工高	1500m	8位				
				一之瀬竜也	孺恋高校	5000m	5位				
				初見 祐介	孺恋高校	2000mR	5位				
				一場 秀康	孺恋高校	2000mR	5位				
				池田 一博	榛名高校	2000mR	5位				
				青木 雅行	渋川西高	2000mR	5位				
			少年女子	干川恵理子	孺恋高校	500m	6位	2000mR	3位		
				土屋 深雪	孺恋高校	3000m	4位	2000mR	3位		
				吉井 有紀	榛名高校	2000mR	3位				
				提箸 和恵	桐生商業	2000mR	3位				
			成年男子	新保 堅進	佐田建設	500m	優勝	2000mR	2位		
				黒岩 育生	佐田建設	1000m	6位	2000mR	2位		
				荒木 徳彦	佐田建設	1500m	優勝	2000mR	2位		
				石川 岳夫	日体大学	1500m	7位				
				清水 祥之	榛名ク	5000m	5位	10000m	3位		
				黒岩 菊男	孺恋ク	B1500m	5位				
				藤井 康弘	日本大学	2000mR	2位				
				成年女子	田中 恵美	佐田建設	1500m	優勝	3000m	優勝	2000mR
			土屋 陽子		佐田建設	1500m	8位	3000m	6位	2000mR	2位
			土屋 一子		孺恋西中	B 500m	優勝	B1000m	優勝		
小林 和代	大東文化	2000mR	2位								
小池 好美	東女体大	2000mR	2位								
ｽﾋﾟｰﾄﾞ総得点 108点 第4位											
5	49	伊香保	少年男子	池田 一博	榛名高校	500m	3位	1000m	6位	2000mR	4位
				青木 雅行	渋川西高	500m	5位	2000mR	4位		
				山崎 忠昭	孺恋高校	1000m	8位	2000mR	4位		
				白石 正明	渋川工高	1500m	2位				
				小林 武広	孺恋高校	1500m	7位	10000m	7位		
				高橋 雅也	榛名高校	2000mR	4位				
			少年女子	土屋 深雪	孺恋高校	1500m	3位	3000m	4位	2000mR	7位
				吉井 有紀	榛名高校	1500m	6位	3000m	7位	2000mR	7位
				小林 弓枝	孺恋高校	2000mR	7位				
				提箸 和恵	桐生商業	2000mR	7位				
			成年男子	新保 堅進	佐田建設	500m	優勝	1000m	6位	2000mR	優勝
				結城 匡啓	佐田建設	500m	6位	2000mR	優勝		
				荒木 徳彦	佐田建設	1500m	5位				
				石川 岳夫	日体大学	1500m	4位	10000m	5位		
				日部 敏夫	安中ク	B 500m	2位	B1000m	2位		
				加部 善基	孺恋ク	B 500m	4位	B1500m	3位		
				黒岩 菊男	孺恋ク	B1000m	6位				
				藤井 康弘	日本大学	2000mR	優勝				
				吉井 龍平	専修大学	2000mR	優勝				
				小松 秀司	渋川ク	C 500m	7位	C1000m	6位		
成年女子	増地 美穂	佐田建設	500m	3位	1000m	優勝	2000mR	2位			
	香川真由美	佐田建設	500m	6位	1000m	4位	2000mR	2位			
	田中 恵美	佐田建設	1500m	優勝	3000m	2位	2000mR	2位			
	土屋 一子	孺恋西中	B 500m	優勝	B1000m	優勝					
	小池 好美	東女体大	2000mR	2位							
ｽﾋﾟｰﾄﾞ総得点 181点 第3位											

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位		
6	50	郡山	少年男子	山崎 裕哉	孺恋高校	500m 7位	2000mR 6位	
				池田 一博	榛名高校	500m 8位	1000m 3位	2000mR 6位
				菅藤 剛	孺恋高校	1000m 4位		
				横内 涉	榛名高校	1500m 6位		
				一之瀬竜也	孺恋高校	1500m 8位	5000m 3位	
				永田 浩	孺恋高校	5000m 7位		
				安蔵 真幸	中央高校	10000m 8位		
				青木 雅行	渋川西高	2000mR 6位		
				高橋 雅也	榛名高校	2000mR 6位		
			少年女子	土屋 深雪	孺恋高校	500m 優勝	1000m 3位	2000mR 4位
				宮崎美代子	孺恋高校	3000m 7位	2000mR 4位	
				吉井 有紀	榛名高校	2000mR 4位		
				橋爪 美鈴	孺恋高校	2000mR 4位		
			成年男子	新保 堅進	佐田建設	500m 2位	1000m 4位	2000mR 5位
				飯野 浩樹	日本大学	1000m 7位	2000mR 5位	
				石川 岳夫	日体大学	1500m 6位		
				白石 正明	関東学大	5000m 8位		
				日部 敏夫	安中ク	B 500m 5位	B1000m 3位	
				川島 栄喜	富士重工	C1000m 5位		
				清水 利雄	ダイニツク	C1000m 8位		
				吉井 龍平	専修大学	2000mR 5位		
				一場 秀康	東洋大学	2000mR 5位		
			成年女子	香川真由美	佐田建設	500m 3位	1000m 2位	2000mR 4位
				増地 美穂	佐田建設	500m 4位	1000m 3位	2000mR 4位
				沢田こずえ	佐田建設	1500m 優勝	3000m 優勝	2000mR 4位
				小林 和代	大東文化	1500m 3位	2000mR 4位	
				土屋 陽子	佐田建設	3000m 7位		
スプリント総得点 141点 第3位								
7	51	日光	少年男子	本間 達也	孺恋高校	500m 7位	2000mR 3位	
				山崎 裕哉	孺恋高校	1000m 3位	2000mR 3位	
				丸山 宗生	渋川工高	2000mR 3位		
				菅藤 剛	孺恋高校	2000mR 3位		
			少年女子	黒岩 千恵	孺恋高校	500m 4位	2000mR 3位	
				宮崎 佳奈	孺恋高校	500m 7位	2000mR 3位	
				木原さとみ	孺恋高校	1500m 5位	3000m 4位	
				橋爪 美鈴	孺恋高校	3000m 6位	2000mR 3位	
				宮崎美代子	孺恋高校	2000mR 3位		
			成年男子	吉井 龍平	専修大学	500m 5位		
				池田 一博	専修大学	1000m 3位		
				一之瀬竜也	専修大学	1500m 6位		
				白石 正明	関東学大	5000m 7位		
				小林 武広	山梨学大	10000m 8位		
				日部 敏夫	安中ク	B 500m 2位	B1000m 8位	
			成年女子	香川真由美	佐田建設	500m 2位	1000m 優勝	2000mR 優勝
				土屋 深雪	佐田建設	500m 6位	3000m 4位	2000mR 優勝
				沢田こずえ	佐田建設	1500m 2位	2000mR 優勝	
				小林 和代	大東文化	2000mR 優勝		
			スプリント総得点 101点 第4位					

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位					
8	52	釧路	少年男子	山崎 裕哉	孺恋高校	500m 2位	1000m 8位	2000mR 2位			
				本間 達也	孺恋高校	500m 8位	2000mR 2位				
				菅藤 剛	孺恋高校	1000m 5位	1500m 7位	2000mR 2位			
				小林 陽介	孺恋高校	1500m 4位	5000m 7位				
				黒岩 史倫	孺恋高校	10000m 6位					
				土屋 直司	孺恋高校	2000mR 2位					
				宮崎 佳奈	孺恋高校	500m 4位	2000mR 2位				
			少年女子	藤井 有加	孺恋高校	500m 5位	1000m 5位	2000mR 2位			
				橋爪 美鈴	孺恋高校	1500m 6位					
				宮崎美代子	孺恋高校	1500m 8位					
				黒岩 千恵	孺恋高校	2000mR 2位					
				橋爪 佳子	孺恋高校	2000mR 2位					
				池田 一博	専修大学	500m 5位	2000mR 7位				
			成年男子	吉井 龍平	専修大学	500m 7位	2000mR 7位				
				白石 正明	関東学大	5000m 7位					
				小林 武広	山梨学大	10000m 8位					
				日部 敏夫	安中ク	B 500m 3位					
				関 聡	渋川北小	B1000m 6位					
				永田 浩	東洋大学	2000mR 7位					
				丸山 宗生	関東学大	2000mR 7位					
成年女子	香川真由美	佐田建設	500m 2位	1000m 優勝	2000mR 3位						
	沢田こずえ	佐田建設	1500m 6位	3000m 優勝	2000mR 3位						
	土屋 深雪	佐田建設	2000mR 3位								
	石川 雅美	佐田建設	2000mR 3位								
スプリント総得点 108点 第3位											
9	53	盛岡	少年男子	土屋 直司	孺恋高校	500m 優勝	1000m 8位				
				土屋 清貴	孺恋高校	500m 7位					
				小林 陽介	孺恋高校	1000m 4位	1500m 2位				
				宮崎今佐人	孺恋高校	5000m 2位	10000m 7位				
				藤井 有加	孺恋高校	500m 4位	1000m 5位	2000mR 2位			
			少年女子	宮崎 佳奈	孺恋高校	500m 7位	1000m 3位	2000mR 2位			
				木原さとみ	孺恋高校	1500m 2位	3000m 4位				
				宮崎 聡子	孺恋高校	1500m 5位	3000m 優勝				
				黒岩 千恵	孺恋高校	2000mR 2位					
				橋爪 佳子	孺恋高校	2000mR 2位					
				安蔵 真幸	明治大学	1500m 4位					
			成年男子	小林 武広	山梨学大	10000m 7位					
				日部 敏夫	安中ク	B 500m 3位	1000m 4位				
				関 聡	渋川北小	B 500m 4位					
				伊藤けい子	佐田建設	500m 3位	2000mR 3位				
			成年女子	石川 雅美	佐田建設	500m 6位	1000m 8位	2000mR 3位			
				土屋 深雪	佐田建設	1000m 6位	3000m 6位	2000mR 3位			
				沢田こずえ	佐田建設	2000mR 3位					
			スプリント総得点 124点 第3位								

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位		
10	54	長野	少年男子	土屋 直司	孺恋高校	500m 2位	1000m 3位	2000mR 2位
				篠原 大輔	孺恋高校	1000m 6位	2000mR 2位	
				黒岩 雅昭	孺恋高校	1500m 4位	10000m 7位	
				小林 和朗	孺恋高校	1500m 5位		
				宮崎今佐人	孺恋高校	5000m 5位	10000m 優勝	
				土屋 清貴	孺恋高校	2000mR 2位		
				安斎 秀昭	前橋商業	2000mR 2位		
			少年女子	藤井 有加	孺恋高校	500m 2位	1000m 5位	2000mR 3位
				川田 歩	孺恋高校	500m 6位	2000mR 3位	
				橋爪 佳子	孺恋高校	1000m 6位	1500m 4位	2000mR 3位
				柳澤 恵美	孺恋高校	2000mR 3位		
			成年男子	山崎 裕哉	専修大学	1000m 4位		
				安蔵 真幸	明治大学	1500m 6位		
				小林 武広	県スポ事	10000m 8位		
				大川 好和	津久田小	B1000m 2位	B1500m 2位	
				川島 栄喜	富士重工	C 500m 3位	C1000m 7位	
			成年女子	宮崎 佳奈	大東文化	500m 3位	2000mR 2位	
				土屋 深雪	佐田建設	1000m 優勝	1500m 3位	2000mR 2位
				木原さとみ	山梨学大	3000m 8位		
				石川 雅美	佐田建設	2000mR 2位		
黒岩 千恵	東女体大	2000mR 2位						
土屋 一子	孺恋西小	B 500m 優勝		B1000m 優勝				
スピード総得点 144点 第3位								
11	55	八戸	少年男子	土屋 清貴	孺恋高校	500 4位	1000m 7位	2000mR 3位
				橋爪 亮	孺恋高校	1500m 6位	2000mR 3位	
				小林 和朗	孺恋高校	1500m 7位	5000m 優勝	2000mR 3位
				宮崎今佐人	孺恋高校	5000m 6位	10000m 5位	
				篠原 大輔	孺恋高校	2000mR 3位		
			少年女子	小川 賛菜	前橋商業	500m 2位	1000m 4位	2000mR 3位
				川田 歩	孺恋高校	500m 4位	2000mR 3位	
				柳澤 恵美	孺恋高校	1000m 7位	2000mR 3位	
				干川 明美	孺恋高校	2000mR 3位		
			成年男子	黒岩 敏幸	K P T	500m 2位	2000mR 優勝	
				山崎 裕哉	専修大学	500m 8位	2000mR 優勝	
				小林 武広	県スポ事	5000m 5位	10000m 3位	
				黒岩 雅昭	日本大学	5000m 6位		
				大川 好和	金島中教	B1000m 4位	B1500m 4位	
				柳沢 弘	山梨学大	2000mR 優勝		
			成年女子	土屋 直司	山梨学大	2000mR 優勝		
				藤井 有加	日体大学	500m 3位	1000m 7位	2000mR 2位
				香川真由美	佐田建設	1000m 4位	2000mR 2位	
				沢田こずえ	佐田建設	1500m 3位	3000m 5位	2000mR 2位
				木原さとみ	山梨学大	3000m 7位		
橋爪 佳子	東女体大	2000mR 2位						
土屋 一子	孺恋西小	B 500m 2位	B1000m 優勝					
スピード総得点 144点 第3位 ※ B・C種目がなくなり次回よりショートが導入								

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位			
12	56	富士吉田	少年男子	宮崎 伸介	孺恋高校	500m 5位	2000mR 3位		
				白石 貴明	洪川工高	5000m 5位			
				黒岩 慎也	孺恋高校	5000m 6位	10000m 3位		
				佐藤 大輔	孺恋高校	10000m 7位			
				篠原 一紀	孺恋高校	2000mR 3位			
				土屋 智広	孺恋高校	2000mR 3位			
				橋爪 亮	孺恋高校	2000mR 3位			
			少年女子	小川 賛菜	前橋商業	500m 3位	1000m 8位	2000mR 3位	
				川田 歩	孺恋高校	500m 5位	2000mR 3位		
				干川 浩未	孺恋高校	1500m 6位	3000m 8位	2000mR 3位	
				干川 明美	孺恋高校	2000mR 3位			
			成年男子	黒岩 敏幸	黒岩水道	500m 優勝	2000mR 優勝		
				小林 和朗	明治大学	1500m 4位			
				米倉 大介	佐田建設	1500m 6位	5000m 2位		
宮崎今佐人	明治大学	5000m 8位							
山崎 裕哉	専修大学	2000mR 優勝							
土屋 清貴	関東学大	2000mR 優勝							
土屋 直司	山梨学大	2000mR 優勝							
成年女子	香川真由美	佐田建設	500m 2位	1000m 3位	2000mR 2位				
	宮崎 佳奈	大東文化	500m 7位	1000m 8位	2000mR 2位				
	石井 奈緒	佐田建設	1500m 優勝	2000mR 2位					
	木原さとみ	山梨学大	2000mR 2位						
少男	須藤 良輔	前橋商業	1000m 5位						
スピード得点109点 第4位 ショート得点4点 参加得点10点 スケート競技得点123点 8位									
13	57	帯 広	少男	菅藤 智	孺恋高校	1500m 2位			
			少年女子	小川 賛菜	前橋商業	500m 4位	1000m 8位	2000mR 4位	
				小池 雅子	前橋商業	500m 7位	1000m 5位	2000mR 4位	
				川田 希	孺恋高校	1500m 2位	3000m 6位	2000mR 4位	
				干川 浩未	孺恋高校	2000mR 4位			
			成年男子	橋爪 亮	東洋大学	1000m 6位	2000mR 5位		
				小林 和朗	明治大学	5000m 4位			
				宮崎今佐人	明治大学	5000m 6位			
				土屋 直司	山梨学大	2000mR 5位			
				土屋 清貴	関東学大	2000mR 5位			
				篠原 大輔	日本大学	2000mR 5位			
				成年女子	藤井 有加	日体大学	500m 5位	2000mR 4位	
			石井 奈緒		佐田建設	1500m 8位	2000mR 4位		
			木原さとみ		山梨学大	3000m 8位			
			宮崎 佳奈		大東文化	2000mR 4位			
			川田 歩		東女体大	2000mR 4位			
			少男	石関 祐樹	桐生高校	500m 3位			
			成年男子	須藤 良輔	国土館大	1000m 6位	5000mR 6位		
				三ツ橋皓平	中京大学	5000mR 6位			
				島田 択志	島田製作所	5000mR 6位			
高野 正樹	早稲田大学	5000mR 6位							
成年女子	橋爪 佳子	東女体大	3000mR 7位						
	小池 好美	館林女子高	3000mR 7位						
	清水麻衣子	共立女短大	3000mR 7位						
	北詰 香織	國學院短大	3000mR 7位						
スピード得点60点 第4位 ショート14点 参加得点10点 スケート競技得点84点 第10位									

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位					
14	58	伊香保	少年男子	土屋 智広	孺恋高校	1000m	5位	2000mR	優勝		
				倉田 哲也	孺恋高校	5000m	7位	10000m	7位		
				黒岩 裕昭	孺恋高校	2000mR	優勝				
				黒岩 慶成	孺恋高校	2000mR	優勝				
				土屋 賢祐	孺恋高校	2000mR	優勝				
			少年女子	小池 雅子	前橋商業	500m	6位	1000m	6位	2000mR	3位
				千川 浩未	孺恋高校	1000m	4位	2000mR	3位		
				川田 希	孺恋高校	1500m	6位	3000m	6位	2000mR	3位
				須藤 美泉	共愛学園	2000mR	3位				
			成年男子	土屋 直司	山梨学大	500m	優勝	2000mR	2位		
				今井 裕介	県又連	1000m	優勝	1500m	優勝	2000mR	2位
				小佐野俊之	県又連	1000m	5位				
				小林 和朗	明治大学	1500m	3位	5000m	3位	2000mR	2位
				宮崎今佐人	明治大学	5000m	2位				
				篠原 大輔	日本大学	2000mR	2位				
			成年女子	藤井 有加	日体大学	500m	6位	1000m	6位	2000mR	3位
				小川 賛菜	信州大学	500m	7位	1000m	7位	2000mR	3位
				山崎めぐみ	佐田建設	1500m	5位	3000m	5位	2000mR	3位
				石井 奈緒	佐田建設	1500m	7位	2000mR	3位		
			少年	石関祐樹	桐生高校	500m	5位	1000m	優勝		
				田上真一	桐生高校	500m	6位	1000m	2位		
			少女	貞包紘子	健大高崎	500m	3位				
			成年男子	篠原祐剛	前橋クラブ	1000m	4位	5000mR	4位		
				須藤良輔	国士館大	5000mR	4位				
				三ツ橋皓平	中京大学	5000mR	4位				
				高野正樹	早稲田大学	5000mR	4位				
成年女子	橋爪佳子	東京女体	3000mR	6位	1000m	7位					
	小池好美	館林女子高	3000mR	6位							
	北詰香織	國學院短大	3000mR	6位							
	清水夢美	ものづくり大	3000mR	6位							
スピード得点119点 ショート得点43点 参加点10点 スケート競技得点172点 第3位											



第61回黒岩信允



第67回土屋良輔



第56回黒岩敏幸



第68回樋沙織



第56回石井奈緒

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位					
15	59	八戸	少年男子	黒岩 慶成	孺恋高校	500m	6位				
				土屋 賢祐	孺恋高校	1000m	7位				
				干川 盛二	孺恋高校	1500m	4位				
				黒岩 信允	孺恋高校	10000m	優勝				
			少年女子	川田 恵	創世中等	500m	4位	1000m	6位	2000mR	3位
				黒岩由紀乃	孺恋高校	500m	6位	1000m	5位	2000mR	3位
				篠原 美希	孺恋高校	1500m	8位	3000m	8位	2000mR	3位
				土屋 直美	孺恋高校	2000mR	3位				
			成年男子	小佐野俊之	金三建設	1000m	4位				
				今井 裕介	県ス連	1500m	2位				
			成年女子	石井 奈緒	白石商店	1000m	2位	1500m	8位	2000mR	3位
				小川 賛菜	信州大学	1000m	6位	2000mR	3位		
				山崎めぐみ	佐田建設	1500m	5位	3000m	5位	2000mR	3位
				藤井 有加	伊香保小	2000mR	3位				
			少年男	清水 勇斗	大田商業	1000m	4位				
				清水 穂高	桐生高校	500m	5位				
			少女	貞包 紘子	健大高崎	500m	5位				
			成年男子	篠原 祐剛	南波建設	5000mR	3位				
				石関 祐樹	早稲田大学	1000m	5位	5000mR	3位		
三ツ橋皓平	中京大学	5000mR		3位							
田上 真一	慶応大学	5000mR		3位							
成年女子	勅使河原郁恵	赤塚	500m	4位	1000m	2位					
スピード得点 77点 ショート得点 35点 参加点10点 スケート競技得点122点 第4位											
16	60	富士吉田	少年男子	山越 竜輔	孺恋高校	500m	4位	1000m	7位		
				土屋 恭兵	孺恋高校	500m	5位				
				土屋 直人	孺恋高校	1500m	3位	5000m	7位		
				黒岩 信允	孺恋高校	5000m	3位	10000m	5位		
			少年女子	川田 恵	創世中等	500m	4位	1000m	7位	2000mR	3位
				土屋 直美	孺恋高校	500m	8位	1000m	5位	2000mR	3位
				菅井 美穂	渋川女高	1500m	6位	3000m	8位	2000mR	3位
				今井まどか	創世中等	1500m	7位	3000m	6位	2000mR	3位
			成年男子	今井 裕介	県ス連	1500m	2位				
			成年女子	小川 賛菜	信州大学	500m	6位	1000m	7位	2000mR	2位
				藤井 有加	伊香保小	500m	8位			2000mR	2位
				石井 奈緒	日本精密	1500m	2位	2000mR	2位		
				小池 雅子	大東文化	2000mR	2位				
			少年男	清水 穂高	桐生高校	1000m	4位				
			少女	鈴木 宏美	桐生南高	1000m	5位				
			成年男子	石関 祐樹	早稲田大	500m	7位	5000mR	3位		
				田上 真一	慶応義塾	5000mR	3位				
				須藤 良輔	国土館大	5000mR	3位				
				清水 勇斗	山梨学院	5000mR	3位				
スピード得点 83点 ショート得点 17点 参加点10点 スケート競技得点 110点 第5位											

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位					
17	61	苫小牧	少年男子	千川 芳紀	孺恋高校	500m	7位	2000mR	4位		
				山越 竜輔	孺恋高校	1000m	優勝	1500m	3位	2000mR	4位
				奥村 一樹	孺恋高校	1000m	7位	1500m	8位	2000mR	4位
				黒岩 信允	孺恋高校	5000m	2位	10000m	優勝		
				黒岩 泰成	孺恋高校	5000m	4位	10000m	7位		
				木暮 昭仁	前橋商業	2000mR	4位				
				土屋 直美	孺恋高校	500m	4位	1000m	6位	2000mR	3位
			少年女子	川田 恵	創世中等	500m	5位	2000mR	3位		
				小池由佳子	前橋育英	1000m	7位	2000mR	3位		
				菅井 美穂	渋川女高	1500m	7位	3000m	7位		
				黒岩 美生	孺恋高校	3000m	4位	2000mR	3位		
				成男	土屋 直人	山梨学大	1500m	6位	5000m	4位	
			成年女子	小川 賛菜	信州大学	2000mR	6位				
				藤井 有加	伊香保小教	2000mR	6位				
				小池 雅子	大東文化	2000mR	6位				
				橋爪 佳子	千俣小教	2000mR	6位				
			少年	坂爪 亮介	太田工業	1000m	6位				
			少女	東城 有香	健大高崎	1000m	6位				
			成年男子	石関 祐樹	早稲田大	5000mR	3位	1000m	2位		
				田上 真一	慶応義塾	5000mR	3位				
				清水 穂高	山梨学院	5000mR	3位				
				清水 勇斗	山梨学院	5000mR	3位				
				成女	貞包 紘子	順天堂大	500m	7位			
			スピード得点 86点 ショート得点 21点 参加点10点 スピード競技得点 117点 第3位								



第73回本間新之助



第73回小林裕司



第73回水野達喜



第73回大川夏美



第73回本多優



第73回阿部友香



第73回河島ほのか



第73回千川脩太



第73回篠原梨乃

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位					
18	62	伊香保	少年男子	干川 芳紀	孺恋高校	500m	6位	2000mR	2位		
				山越 竜輔	孺恋高校	1000m	3位	1500m	4位	2000mR	2位
				黒岩 泰成	孺恋高校	5000m	優勝	10000m	優勝		
				田中 慎吾	孺恋高校	2000mR	2位				
				小川 輝之	前橋商業	2000mR	2位				
			少年女子	小池由佳子	前橋育英	500m	6位	2000mR	2位		
				宮崎 麻衣	孺恋高校	500m	8位	1000m	3位	2000mR	2位
				黒岩 美生	孺恋高校	1000m	6位	1500m	3位	2000mR	2位
				市場菜々世	孺恋高校	1500m	優勝	3000m	4位	2000mR	2位
			成年男子	鈴木 暢	県体協	500m	6位	1000m	5位	2000mR	4位
				菅藤 智	菅藤工務店	1000m	6位	1500m	7位	2000mR	4位
				黒岩 信允	明治大学	5000m	2位				
				土屋 直人	山梨学大	5000m	7位	2000mR	4位		
				木暮 昭仁	山梨学大	2000mR	4位				
			成年女子	小川 賛菜	群付中教	500m	8位	1000m	8位	2000mR	6位
				川田 恵	早稲田大	2000mR	6位				
				土屋 直美	新潟大学	2000mR	6位				
				小池 雅子	大東文化	2000mR	6位				
			少男	木村 享平	伊勢崎商業	1000m	5位				
少女	東城 有香	健大高崎	500m	7位	1000m	6位					
成年男子	石関 祐樹	早稲田大	500m	8位	5000mR	7位					
	清水 勇斗	山梨学大	5000mR	7位							
	清水 穂高	山梨学大	5000mR	7位							
	高野 守弘	阪南大	5000mR	7位							
成女	貞包 紘子	順天堂大	500m	5位	1000m	5位					
スピード得点107点 ショート得点20点 参加点10点 スピード競技得点137点 第3位											
19	63	長野市	少年男子	黒岩 聖矢	前橋育英	500m	7位	2000mR	3位		
				干川 岳洋	孺恋高校	1500m	6位	2000mR	3位		
				小川 輝之	前橋商業	2000mR	3位				
				佐藤 潤一	孺恋高校	2000mR	3位				
			少年女子	小島 理沙	共愛学園	500m	4位	2000mR	2位		
				宮崎 麻衣	孺恋高校	500m	6位	2000mR	2位		
				黒岩 美生	孺恋高校	1000m	3位	2000mR	2位		
				市場菜々世	孺恋高校	1500m	4位	3000m	5位	2000mR	2位
				久保和乃子	孺恋高校	3000m	8位				
			成年女子	小川 賛菜	古巻中教	500m	7位	2000mR	5位		
				川田 恵	早稲田大	2000mR	5位				
				小林佳乃子	日体大学	2000mR	5位				
				今井まどか	山梨学大	2000mR	5位				
			少男	坂爪 亮介	太田工業	500m	4位	1000m	6位		
				川島 佑平	伊勢崎工業	500m	6位	1000m	5位		
			少女	東城 有香	健大高崎	1000m	6位				
			成年男子	石関 祐樹	群大学院	500m	4位	1000m	3位	5000mR	5位
				清水 穂高	山梨学院	5000mR	5位				
				高野 守弘	阪南大	5000mR	5位				
磯村 翼	埼玉工大	5000mR		5位							
スピード得点47.5点 ショート得点33点 参加点10点 スケート競技得点90.5点 第5位											

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位					
20	64	八戸市	少年男子	奥村 雄樹	孺恋高校	1000m	6位	2000mR	2位		
				黒岩 紘岳	孺恋高校	5000m	6位	10000m	5位		
				小川 輝之	前橋商業	2000mR	2位				
				横手 祐二	渋川青翠	2000mR	2位				
				黒岩 聖矢	前橋育英	2000mR	2位				
			少年女子	井上 瑞穂	孺恋高校	500m	5位	1000m	6位	2000mR	3位
				宮崎 麻衣	孺恋高校	1000m	優勝	2000mR	3位		
				市場菜々世	孺恋高校	1500m	5位	3000m	7位	2000mR	3位
				黒岩 美貴	孺恋高校	2000mR	3位				
			成年男子	鈴木 暢	県体協	500m	3位				
				黒岩 信允	明治大学	5000m	6位				
			成年女子	小林佳乃子	日体大	1500m	7位	2000mR	7位		
				川田 恵	早稲田大	2000mR	7位				
				黒岩由紀乃	大東文化大	2000mR	7位				
				今井まどか	山梨学大	2000mR	7位				
			少年男子	川島 佑平	伊勢崎工業	500m	4位				
				浜野 翔平	桐生高校	500m	6位	1000m	8位		
成年男子	石関 祐樹	群大学院	500m	6位	5000mR	4位					
	坂爪 亮介	日本体育大	500m	優勝	1000m	4位	5000mR	4位			
	木村 享平	國學院大學	5000mR	4位							
	磯村 翼	埼玉工大	5000mR	4位							
スピード得点 57点 ショート得点 30点 参加点 10点 スケート競技得点 97点 第6位											
21	65	釧路市	少年男子	黒岩 聖矢	前橋育英	500m	2位	2000mR	4位		
				奥村 雄樹	孺恋高校	500m	7位	1000m	8位	2000mR	4位
				黒岩 紘岳	孺恋高校	5000m	2位	10000m	2位		
				古市 博人	孺恋高校	2000mR	4位				
				下田 琢也	孺恋高校	2000mR	4位				
			少年女子	井上 瑞穂	孺恋高校	500m	5位	1000m	6位	2000mR	3位
				黒岩 美貴	孺恋高校	500m	7位	1000m	5位	2000mR	3位
				斉藤 慧巳	孺恋高校	1500m	5位	2000mR	3位		
				小島 里沙	共愛学園	2000mR	3位				
			成年男子	小林 和朗	SYIJAPAN	1000m	4位				
				山越 竜輔	専修大学	1000m	8位				
			成年女子	宮崎 麻衣	信州大学	500m	5位	2000mR	2位		
				川崎みなみ	県体協	1500m	8位	3000m	6位	2000mR	2位
				久保和乃子	東洋大学	3000m	8位				
				黒岩由紀乃	大東文化大	2000mR	2位				
				今井まどか	山梨学大	2000mR	2位				
			成年男子	木村 享平	國學院大	5000mR	5位				
坂爪 亮介	日本体育大	5000mR		5位							
浜野 翔平	高崎健大	5000mR		5位							
磯村 翼	埼玉工大	5000mR		5位							
スピード得点 74点 ショート得点 4点 参加点 10点 スピード競技得点 88点 第6位											

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位		
22	66	八戸市	少年男子	奥村 雄樹	孺恋高校	500m 優勝	1000m 5位	2000mR 2位
				古市 博人	孺恋高校	500m 2位	2000mR 2位	
				土屋 良輔	孺恋高校	5000m 優勝	10000m 優勝	
				黒岩宗一郎	孺恋高校	5000m 7位	10000m 7位	
				土屋 勝弥	孺恋高校	2000mR 2位		
				千川 広貴	孺恋高校	2000mR 2位		
			少年女子	千葉 捺美	前橋商業	500m 5位	1000m 5位	2000mR 優勝
				井上 瑞穂	孺恋高校	500m 6位	2000mR 優勝	
				黒岩 美貴	孺恋高校	1000m 6位	1500m 6位	2000mR 優勝
				樋 沙織	孺恋高校	3000m 4位	2000mR 優勝	
				斉藤 慧巳	孺恋高校	3000m 8位		
			成年男子	山越 竜輔	専修大学	500m 3位	2000mR 4位	
				黒岩 聖矢	早稲田大	500m 4位	1000m 3位	2000mR 4位
				黒岩 泰成	明治大学	1500m 5位	2000mR 4位	
				黒岩 信允	JAつまごい	5000m 5位		
				宮崎今佐人	県又連	5000m 8位		
				黒岩 紘岳	明治大学	2000mR 4位		
			成年女子	宮崎 麻衣	信州大学	1000m 6位	2000mR 3位	
				川崎みなみ	県体協	3000m 6位	2000mR 3位	
				久保和乃子	東洋大学	2000mR 3位		
				今井まどか	山梨学大	2000mR 3位		
			少男	田口 一代	健大高崎	500m 7位	1000m 7位	
成年男子	石関 祐樹	聾学校	5000mR 3位					
	川島 佑平	日本体育大	5000mR 3位					
	清水 勇斗	セガワツール	5000mR 3位					
	浜野 翔平	高崎健大	5000mR 3位					
スピード得点120点 ショート得点10点 参加点10点 スケート競技得点140点 第3位								
23	67	恵那市	少年男子	古市 博人	孺恋高校	500m 5位		
				土屋 良輔	孺恋高校	5000m 優勝	10000m 3位	
				小林 創	孺恋高校	5000m 7位		
			少年女子	千葉 捺美	前橋商業	1000m 5位	2000mR 2位	
				田中 真理	孺恋高校	500m 8位	2000mR 2位	
				樋 沙織	孺恋高校	1500m 3位	3000m 3位	2000mR 2位
				蜂須賀 玲菜	孺恋高校	2000mR 2位		
			成年男子	黒岩 信允	JAつまごい	5000m 4位		
				宮崎今佐人	県又連	5000m 7位		
			成年女子	宮崎 麻衣	信州大学	500m 7位	2000mR 2位	
				関口 莉菜	高崎健大	500m 8位	2000mR 2位	
				黒岩 美貴	高崎健大	2000mR 2位		
				阿部 友香	高崎健大	2000mR 2位		
			少女	松崎 智子	健大高崎	500m 7位	1000m 5位	
			成年男子	坂爪 亮介	日本体育大	500m 2位	1000m 4位	5000mR 4位
				川島 佑平	日本体育大	1000m 6位	5000mR 4位	
東城 有輝	立命館大	5000mR 4位						
石関 祐樹	榛名養護	5000mR 4位						
スピード得点 61点 ショート得点 26点 参加点10点 スケート競技得点 97点 第8位								

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位					
24	68	郡山市	少年男子	小林 裕司	孺恋高校	500m	8位	2000mR	4位		
				土屋 良輔	孺恋高校	5000m	優勝	10000m	3位	2000mR	4位
				飯塚 智樹	孺恋高校	10000m	6位				
				小林 創	孺恋高校	2000mR	4位				
				田子 隆太	孺恋高校	2000mR	4位				
			少年女子	千葉 捺美	前橋商業	500m	3位	1000m	6位	2000mR	3位
				岡部 栞	健大高崎	500m	8位	1000m	8位	2000mR	3位
				樋 沙織	孺恋高校	1500m	2位	3000m	2位	2000mR	3位
				蜂須賀玲菜	孺恋高校	2000mR	3位				
			成年男子	黒岩 聖矢	早稲田大	500m	5位	2000mR	3位		
				古市 博人	明治大	2000mR	3位				
				小林 和朗	ネーブル	2000mR	3位				
				奥村 雄樹	明治大	2000mR	3位				
			成年女子	関口 莉菜	高崎健大	500m	5位				
				小原 悠里	高崎健大	1000m	7位	2000mR	3位		
				黒岩 美生	日本体育大	2000mR	3位				
				宮崎 麻衣	信州大学	2000mR	3位				
				阿部 友香	高崎健大	2000mR	3位				
			少男	田口 一代	健大高崎	1000m	8位				
少女	松崎 智子	健大高崎	500m	7位							
成年男子	磯村 翼	ミツバ	5000mR	5位							
	川島 佑平	日本体育大	5000mR	5位							
	東城 有輝	立命館大	5000mR	5位							
	石関 祐樹	桐生商業	5000mR	5位							
スピード得点 76点 ショート得点 7点 参加点 10点 スピード競技得点 93点 第7位											
25	69	日光市	少年男子	小林 裕司	孺恋高校	500m	優勝				
				一場 伸一	孺恋高校	500m	7位				
				飯塚 智樹	孺恋高校	10000m	7位				
				加部 貴裕	孺恋高校	5000m	8位				
			少年女子	田中 真理	孺恋高校	500m	7位	1000m	5位	2000mR	4位
				岡部 栞	健大高崎	500m	6位	2000mR	4位		
				黒岩 千聖	孺恋高校	2000mR	4位				
				黒岩 史聖	孺恋高校	2000mR	4位				
			成年男子	黒岩 聖矢	早稲田大	500m	3位	2000mR	5位		
				下田 琢也	山梨学院	1000m	8位	2000mR	5位		
				土屋 良輔	専修大学	5000m	優勝	2000mR	5位		
				奥村 雄樹	明治大	2000mR	5位				
			成年女子	阿部 友香	高崎健大	1000m	3位	2000mR	3位		
				黒岩 美生	日本体育大	500m	3位	1000m	7位	2000mR	3位
				宮崎 麻衣	県連盟	2000mR	3位				
				関口 莉菜	高崎健大	2000mR	3位				
			成年男子	川島 佑平	日本体育大	5000mR	6位				
				東城 有輝	立命館大	5000mR	6位				
				田口 一代	神奈川大	5000mR	6位				
石関 祐樹	榛名養護	5000mR		6位							
スピード得点 66点 ショート得点 3点 参加点 10点 スケート競技得点 79点 第13位											

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位					
26	70	渋川市	少年男子	小林 裕司	孺恋高校	500m	3位	1000m	4位	2000mR	2位
				一場 伸一	孺恋高校	500m	8位			2000mR	2位
				倉持 慶	孺恋高校	1000m	7位	1500m	7位	2000mR	2位
				土屋 育	前橋育英	1500m	5位				
				飯塚 智樹	孺恋高校	5000m	7位				
				田子 隆太	孺恋高校	2000mR	2位				
			少年女子	黒岩 千聖	孺恋高校	500m	6位	1000m	6位	2000mR	6位
				岡部 葉	健大高崎	1000m	3位	2000mR	6位		
				黒岩 史聖	孺恋高校	1500m	8位	2000mR	6位		
				山崎真里菜	孺恋高校	2000mR	6位				
			成年男子	奥村 雄樹	明治大	500m	7位	2000mR	5位		
				下田 琢也	山梨学院	1000m	7位	2000mR	5位		
				黒岩宗一郎	東洋大	1500m	7位				
				田中 正晃	高崎健大	2000mR	5位				
				古市 博人	明治大	2000mR	5位				
			成年女子	宮崎 麻衣	県連盟	500m	5位	2000mR	4位		
				永田 希絵	高崎健大	500m	7位	2000mR	4位		
				阿部 友香	高崎健大	1000m	2位	2000mR	4位		
				黒岩 美生	日本体育大	1000m	3位	1500m	5位	2000mR	4位
			少男	丸山凜太郎	高松中学	500m	7位				
スピード得点83点 ショート得点2点 参加点10点 スケート競技得点95点 第8位											
27	71	盛岡市	少年男子	萩原 拓巳	孺恋高校	2000mR	6位				
				千川 龍也	孺恋高校	2000mR	6位				
				久佐 拓巳	渋川工業	2000mR	6位				
				横沢 公希	孺恋高校	2000mR	6位				
			少年女子	黒岩 千聖	孺恋高校	2000mR	6位				
				千川あけみ	孺恋高校	2000mR	6位				
				山崎真里菜	孺恋高校	2000mR	6位				
			成年女子	黒岩 史聖	孺恋高校	2000mR	6位				
				千葉 捺美	高崎健大	500m	5位	2000mR	2位		
				永田 希絵	高崎健大	2000mR	2位				
阿部 友香	高崎健大	1000m		6位	2000mR	2位					
黒岩 美生	日本体育大	2000mR	2位								
スピード得点 20点 ショート得点 0点 参加点10点 スケート競技得点 30点 第17位											
28	72	長野市	少男	横沢 公希	孺恋高校	500m	5位				
				黒岩 岳史	孺恋高校	5000m	8位	10000m	5位		
			成年女子	嶋宮茉佑子	高崎健大	2000mR	4位				
				永田 希絵	高崎健大	1000m	5位	2000mR	4位		
				阿部 友香	JA孺恋村	1500m	優勝	2000mR	4位		
				桑原 彩奈	高崎健大	2000mR	4位				
			少男	丸山凜太郎	高崎高校	500m	2位	1000m	4位		
				阿部 凌大	健大高崎	500m	7位				
			成年女子	丸山 朱理	同志社大	3000mR	4位				
				田中 真理	上武大学	3000mR	4位				
岡部 葉	医療福祉	3000mR		4位							
大川 愛弓	独協大学	3000mR		4位							
スピード得点 26点 ショート得点 21点 参加点10点 スケート競技得点 57点 第12位											

年度	回	開催地	種別	氏名	所属	種目・順位					
29	73	富士吉田市	少年男子	横沢 公希	孺恋高校	500m	8位	2000mR	4位		
				小山 剛史	桐生第一	1500m	7位				
				干川 脩太	孺恋高校	5000m	7位				
				本間新之助	孺恋高校	2000mR	4位				
				伊藤 琢真	渋川工業	2000mR	4位				
				蜂須賀大翔	孺恋高校	2000mR	4位				
			少女	大崎 有紗	渋川女子	500m	7位	2000mR	4位		
				篠原 梨乃	孺恋高校	1500m	8位	3000m	7位	2000mR	4位
				大川 夏美	吾妻中央	2000mR	4位				
				本多 優	孺恋高校	2000mR	4位				
			成年男子	小林 裕司	日本大学	500m	8位				
			成年女子	河島ほのか	高崎健大	500m	8位	1000m	6位	2000mR	3位
				阿部 友香	高崎健大	1000m	4位	2000mR	3位		
				千葉 捺美	スポーツ協	2000mR	3位				
木暮 賛菜	渋川特支	2000mR		3位							
成年女子	丸山 朱理	同志社大	3000mR	7位							
	田中 真理	上武大学	3000mR	7位							
	松崎 智子	グローブフォーエス	3000mR	7位							
	大川 愛弓	独協大学	3000mR	7位							
少年男子	藤生 智也	桐生工業	500m	7位							
少女	梶瀬あかり	市立前橋	500m	8位							
スピード得点36点 ショート得点 5点 参加点10点 スケート競技得点51点 第15位											
30	74	釧路市	少年男子	本間新之助	孺恋高校	500m	7位				
				土屋 慶介	孺恋高校	500m	8位				
				狩野 亜聞	孺恋高校	1000m	8位				
				干川 脩太	孺恋高校	5000m	5位	10000m	6位		
				蜂須賀大翔	孺恋高校	5000m	7位				
			少年女子	大崎 有紗	渋川女子	500m	6位	2000mR	5位		
				大川 夏美	吾妻中央	2000mR	5位				
				本多 優	孺恋高校	1500m	8位	2000mR	5位		
				内田奈々美	利根実業	2000mR	5位				
			成年男子	小林 裕司	日本大学	2000mR	4位				
				上原 悠馬	高崎健大	500m	6位	2000mR	4位		
				横沢 公希	東洋大	2000mR	4位				
				水野 達喜	高崎健大	2000mR	4位				
			成年女子	河島ほのか	高崎健大	2000mR	2位				
樋 沙織	高崎健大	1500m		2位	2000mR	2位					
千葉 捺美	スポーツ協	2000mR		2位							
黒岩 千聖	高崎健大	2000mR		2位							
小女	梶瀬ななみ	市立前橋	500m	3位							
スピード得点 43点 ショート得点 6点 参加点10点 スケート競技得点 59点 第15位											



第73回干川いずみ



第73回黒岩宗一郎



第73回飯塚智樹



第73回横沢公希

国体スケート個人別得点表(昭和33年～平成31年1月)

No.	氏名	得点	No.	氏名	得点	No.	氏名	得点
1	土屋 一子	146.50	48	根本 誠	33.75	95	湯本 秀雄	15.75
2	黒岩美智子	134.25	49	小林 和代	33.75	96	黒岩 哲	15.00
3	香川真由美	78.50	50	吉井 龍平	32.25	97	小松 秀司	15.00
4	黒岩 悟	73.25	51	黒岩 良子	32.25	98	青山 貴人	15.00
5	土屋 深雪	68.00	52	今井 裕介	32.00	99	土屋 誠	15.00
6	藤井 有加	62.75	53	黒岩 栄治	31.50	100	高橋 昭子	14.75
7	鶴田 智之	62.00	54	山崎 裕哉	30.75	101	干川 浩未	14.50
8	佐藤利恵子	61.50	55	土屋 雪枝	30.75	102	鈴木 暢	14.25
9	石関 祐樹	60.75	56	土屋 陽子	30.25	103	菅藤 剛	14.25
10	黒岩 恵子	59.75	57	宮崎 佳奈	30.00	104	東城 有香	14.00
11	黒岩 敏幸	59.25	58	池田 一博	29.50	105	丸山凜太郎	14.00
12	小川 賛菜	57.50	59	奥村 雄樹	28.25	106	一之瀬竜也	14.00
13	新保 堅進	57.25	60	黒岩 泰成	28.25	107	土屋 学	14.00
14	黒岩 正行	57.00	61	黒岩 菊男	28.25	108	藤井 康弘	13.50
15	黒岩 育生	56.00	62	増地 美穂	28.00	109	菅藤 智	13.25
16	黒岩 康志	54.75	63	木原さとみ	27.75	110	清水 穂高	13.00
17	土屋 良輔	54.25	64	和田真利子	26.50	111	須藤 良輔	13.00
18	清水 祥之	54.25	65	川田 恵	26.00	112	勅使河原郁恵	13.00
19	深井 靖士	54.00	66	小林 裕司	25.25	113	川島 栄喜	13.00
20	加部 裕昭	53.50	67	大川 好和	25.00	114	土屋 和弘	13.00
21	佐藤 博義	53.25	68	黒岩 紘岳	23.25	115	白石 正明	13.00
22	黒岩 信允	52.00	69	遠藤 庄宏	23.25	116	黒岩 京子	12.50
23	黒岩 宗久	51.50	70	石川 岳夫	23.00	117	鷺谷 俊一	12.50
24	沢田こずえ	51.50	71	鷹野 貴子	22.75	118	中島 芳子	12.25
25	宮崎 麻衣	50.75	72	井上 瑞穂	22.00	119	宮崎 聡子	12.00
26	黒岩 美生	50.00	73	貞包 紘子	22.00	120	荒木 美和	12.00
27	田中 恵美	50.00	74	黒岩 初子	21.75	121	小池 好美	11.75
28	日部 敏夫	50.00	75	川島 佑平	21.50	122	黒岩 千恵	11.75
29	小林 和朗	48.00	76	川田 希	21.00	123	今井まどか	11.50
30	丸山 一夫	46.75	77	山崎めぐみ	21.00	124	岩立 明子	11.50
31	樋 沙織	45.00	78	菱田 泰志	21.00	125	湯本 玲子	11.50
32	山越 竜輔	43.25	79	松村 操	20.50	126	星野 淳子	11.25
33	宮崎今佐人	43.00	80	門倉 文子	20.50	127	清水 勇斗	11.00
34	土屋 直司	40.50	81	小池 雅子	20.25	128	米倉 大介	11.00
35	坂爪 亮介	39.50	82	橋爪 佳子	20.25	129	平井 恒夫	11.00
36	阿部 友香	39.50	83	土屋 直人	19.25	130	黒岩由紀乃	10.75
37	黒岩 聖矢	38.25	84	小林 武広	19.00	131	黒岩 千聖	10.50
38	入沢 孝一	38.00	85	小林 陽介	19.00	132	川崎みなみ	10.25
39	小金沢 栄	37.50	86	黒岩 美貴	18.75	133	加部 雅美	10.25
40	宮崎 奉文	37.00	87	篠原 弘	18.75	134	斉藤 剛弘	10.25
41	熊川 輝男	37.00	88	土屋 直美	18.25	135	大岡 孝江	10.25
42	黒岩 彰	37.00	89	松井 完二	18.00	136	土屋 清貴	10.25
43	荒木 徳彦	36.50	90	川田 歩	17.75	137	小佐野俊之	10.00
44	市場菜々世	35.25	91	関口 好昭	17.50	138	橋爪 亮	10.00
45	千葉 捺美	35.25	92	古市 博人	16.50	139	黒岩 雅昭	10.00
46	石井 奈緒	35.00	93	加部 善基	16.00	140	桜井 正樹	10.00
47	本間 章	35.00	94	岡部 栞	15.75			

国民体育大会スケート競技会歴代成績

(天皇杯得点は参加得点10点を含む)

回	開催年	開催地		天皇杯		皇后杯		スピード		ショート		スケート競技	
				順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
55	平成12年	青森県	八戸市	3位	154点	3位	72点	3位	144点	/	/	3位	144点
56	平成13年	山梨県	富士吉田市	8位	123点	7位	62点	4位	109点	14位	4点	8位	113点
57	平成14年	北海道	帯広市	10位	84点	9位	50点	4位	60点	10位	14点	10位	74点
58	平成15年	群馬県	伊香保	3位	172点	3位	70点	3位	119点	3位	43点	3位	162点
59	平成16年	青森県	八戸市	4位	122点	4位	73点	4位	77点	4位	35点	4位	112点
60	平成17年	山梨県	富士吉田市	5位	110点	5位	61点	4位	83点	7位	17点	5位	100点
61	平成18年	北海道	苫小牧	3位	117点	6位	47点	3位	86点	7位	21点	3位	107点
62	平成19年	群馬県	伊香保	6位	137点	5位	67点	3位	107点	6位	20点	6位	127点
			前橋市										
63	平成20年	長野県	長野市	5位	90.5点	7位	50点	4位	47.5点	4位	33点	5位	80.5点
64	平成21年	青森県	八戸市	6位	97点	7位	41点	4位	57点	6位	30点	6位	87点
65	平成22年	北海道	釧路市	6位	88点	8位	49点	4位	74点	12位	4点	6位	78点
66	平成23年	青森県	八戸市	3位	140点	7位	53点	3位	120点	10位	10点	3位	130点
67	平成24年	岐阜県	恵那市	8位	97点	7位	50点	5位	61点	6位	26点	8位	97点
68	平成25年	福島県	郡山市	7位	93点	6位	55点	4位	76点	14位	7点	7位	93点
69	平成26年	栃木県	日光市	11位	79点	10位	44点	5位	66点	13位	3点	11位	79点
70	平成27年	群馬県	伊香保	8位	95点	6位	54点	4位	83点	15位	2点	8位	95点
			前橋市										
71	平成28年	岩手県	盛岡市	17位	30点	14位	27点	9位	20点	17位	0点	17位	30点
72	平成29年	長野県	長野市	12位	57点	13位	34点	8位	26点	7位	21点	12位	57点
73	平成30年	山梨県	富士吉田市	15位	51点	12位	38点	7位	36点	12位	5点	15位	51点
74	平成31年	北海道	釧路市	15位	59点	10位	38点	6位	43点	12位	6点	15位	59点



第71回いわて国体結団式

群馬県スケート連盟公認審判員取得状況

(スピード)

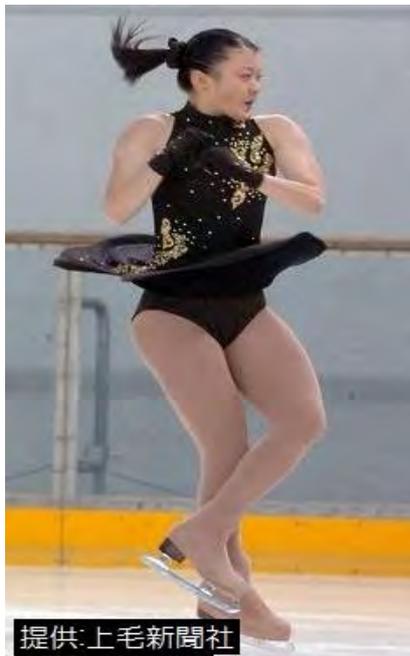
所属支部	番号	氏名	登録番号	審判員取得年度		所属支部	番号	氏名	登録番号	審判員取得年度	
				F級	S級					F級	S級
伊香保	1	荒木 和夫	19842194	S52	S59	前橋	1	鶴田 智之	19842298	S40	S43
	2	安部 信志	19912020	H 3	H13		2	村田 繁	19842301	S55	
	3	半田 正博	19960092	H 8	H22		3	黛 秀雄	19941906	H 6	H10
	4	大崎 善基	20090428	H21	H25		4	小林 武広	19880153	H13	
	5	千川多賀幸	20150664	H27			5	蛭田 聡	20130553	H25	
伊勢崎	1	谷田 有司	19842267	S59			6	関口 定彦	20130554	H25	
	2	島田 拓志	19842370	H5	H23		7	木暮 昭仁	20000810	H26	
	3	山田 琢也	20010401	H13	H18		8	山田 順一	20161002	H28	
	4	中村 知史	20100747	H22			9	町田喜比古	20161005	H28	
太田	1	北詰 大春	19842274	S57	H2		10	篠原 弘	19842297	H29	
	2	木村 恒夫	19842274	S60			11	木暮 賛菜	19942103	H30	
	3	清水 久男	19901130	H 2	H 9		12	本間 章	20041117	H30	
	4	山田 堅史	19870103	H13	H18		13	半田 好則	20181079	H30	
桐生	1	中里 昌明	19842233	S40	S46	嬭恋	1	黒岩 菊男	19842253	S59	H4
	2	靱山 隆司	19842234	S56	S61		2	熊川 輝男	19842252	H4	H8
	3	金丸 泰雄	19842474	H6	H10		3	黒岩 孝義	19842415	H4	
	4	中里 克己	19941199	H6	H10		4	千川 幸宏	19842391	H5	
	5	酒巻音次郎	19842325	H9	H13		5	黒岩 正行	19842394	H5	
	6	岩脇 秀治	19980331	H10	H23		6	土屋 和彦	19931742	H5	
	7	三ツ橋隆史	19931042	H5	H10		7	本間 良次	19842403	H7	
渋川	1	高野 純一	19842185	S49	S55		8	小林 孝弘	19980309	H10	H13
	2	深井 靖士	19911489	H 3	H 9		9	本間 達也	20020748	H14	
	3	深井 朗正	20010387	H13	H25		10	宮崎 伸介	19960637	H18	
	4	白石 正明	20010392	H13			11	篠原 一紀	20111345	H23	
	5	山崎 優	20061163	H18			12	奥村 一樹	20111346	H23	
	6	寺島 義人	20111347	H23			13	宮崎今佐人	19941313	H26	
	7	新井 佳晃	20170830	H29			14	黒岩 信允	20000819	H26	
長野原	1	青木 博文	19980319	H10	H25		15	黒岩 泰成	20001436	H26	
	2	徳間 信一	19990305	H11	H16		16	黒岩 紘岳	20020831	H26	
	3	井上 信夫	20061167	H18	H23		17	山越 竜輔	20001426	H27	H29
	4	倉田 幸子	20130504	H26			18	千川 清彦	20150806	H27	
	5	櫻井いずみ	20150695	H28			19	黒岩 敏幸	20100530	H30	
	6	飯島 大祐	20160985	H28		高崎	1	入澤 孝一	19842251	S56	
	7	橋爪 顕矢	20160986	H28			2	平田 俊夫	19842288	S56	S62
	8	今井 清志	20160987	H28			3	神宮 元	19842227	S59	S62
	9	佐々木綾子	20181112	H30			4	富沢 宏之	19860858	S61	H13
	10	山崎麻衣子	20181114	H30			5	清水 宏和	19860859	S61	H13
	11	関口 顕	20181116	H30			6	横山 孝夫	20061164	H18	H23
7	丸山 里枝	20140924	H26								
沼田	1	霜垣 正志	19842294	S55							

(フィギュア)

所属支部	番号	氏名	登録番号	資格取得年度		所属支部	番号	氏名	登録番号	資格取得年度	
				B	P S					P	P S
前橋	1	田部井宏美	19980372	2014	2018	桐生	3	小林 実紀	20180775	2018	
	2	黒沢 幸代	19970791	2005			4	多胡 絹江	20160965	2016	
桐生	1	藤生 和美	19842461	1993	2018		4	鏑木咲千好	20061168	2006	
	2	中村真規子	19921498	1995	2018	高崎	5	周東 康子	20130463	2013	
	1	津久井志乃	20030618	2011	2018						
高崎	3	鈴木みゆき	19990309	2001		伊勢崎	3	黒崎嘉代子	20170816	2017	2018
	2	平野 夏帆	20020903	2018	2018						



高柳 瑠々菜



進邦佳那子



遠藤 真理子

特 別 表 彰

平成 15 年	群馬県体育功労者表彰	鶴田 智之	
平成 19 年	群馬県スポーツ栄誉賞	宮崎今佐人	
平成 19 年	群馬県スポーツ特別賞	高野 純一	
平成 20 年	群馬県総合表彰	鶴田 智之	
平成 23 年	文部科学大臣表彰	鶴田 智之	
平成 24 年	群馬県功労者表彰	鶴田 智之	
平成 25 年	日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰	高野 純一	
平成 26 年	旭日雙光章叙勲	鶴田 智之	
平成 28 年	群馬県スポーツ協会特別功労者賞	鶴田 智之	
平成 28 年	文部科学大臣スポーツ功労者顕彰 (国際競技大会優秀者等表彰)	佐藤 綾乃 入澤 孝一	
平成 30 年	群馬県スポーツ特別栄誉賞	佐藤 綾乃	
平成 30 年	群馬県スポーツ栄誉賞	土屋 良輔	坂爪 亮介
平成 30 年	群馬県スポーツ功労賞	入澤 孝一	
平成 30 年	日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰	入澤 孝一	
平成 31 年	日本スケート連盟 90 周年記念功労者表彰	荒木 和夫	入澤 孝一
		鏑木咲千好	熊川 輝男
		清水 久男	神宮 元
		高野 純一	中里 昌明

群馬県スケート連盟功労者表彰 歴代受賞者

平成 23 年度	平井恒夫(高) 富沢宏之(高) 清水正言(榛) 熱海人秋(高) 根本伊勢雄(榛) 坂口英二(桐) 清水宏和(高) 神宮 元(高) 内山和夫(前) 清水久男(太)
平成 24 年度	平田俊夫(高) 島田英一(勢) 清水利雄(勢) 黛 秀雄(前) 横山孝夫(榛) 鈴木勝彦(吾) 川島栄喜(太) 星野憲真(渋)
平成 25 年度	菅谷 宏(伊) 宮本金男(伊) 谷田有司(勢) 寺島惟孝(渋) 黒岩菊男(嬢) 青木 清(長) 関口好昭(前) 村田 繁(前)
平成 26 年度	松岡正義(勢) 大河原峰子(前) 石関幸雄(渋) 青木国昭(吾) 熊川輝男(嬢) 金丸泰雄(桐) 戸塚正男(前) 木村恒夫(太) 青木博文(長)
平成 27 年度	中里昌明(桐) 榎山隆司(桐) 深井朗正(渋) 半田正博(伊) 宮崎奉文(嬢) 徳間信一(長) 山田琢也(勢) 北詰大春(太) 霜垣正志(沼)
平成 28 年度	関口定彦(前) 蛭田 聡(前) 篠原 弘(前) 酒巻音次郎(桐) 松崎 透(高) 鈴木みゆき(高) 島田拓志(勢) 小林武司(太)
平成 29 年度	山田順一(前) 町田喜比古(前) 町田隆行(前) 中村知史(勢) 中村眞規子(桐) 西村清人(太) 山田堅史(太) 遠藤成宏(伊)
平成 30 年度	深井靖士(渋) 小坂橋辰男(高) 藤生和美(桐) 安部信志(伊) 鹿山 繁(太) 井上信夫(長)
令和 元 年度	土屋和彦(嬢) 黒崎嘉代子(勢) 鶴田智之(前) 荒木和夫(伊) 入澤孝一(高) 高野純一(渋)

社会体育表彰及び群馬県スポーツ協会長賞

年度	県（教育長表彰H24まで）		スポーツ功労賞		最優秀指導者賞		最優秀選手賞		最優秀選手賞	
11			半田 博	伊香保	熊川 輝男 (故)佐藤博義	孺恋高 佐田建設	土屋 一子 土屋 深雪 小林 和朗 土屋 清貴	孺恋西小 佐田建設 孺恋高 孺恋高	宮崎今佐人 土屋 直司 篠原 大輔	孺恋高 孺恋高 孺恋高
12					熊川 輝男	孺恋高	米倉 大介 黒岩 敏幸 土屋 一子 小林 和朗 土屋 清貴	佐田建設 黒岩水道 孺恋西小 明治大学 関東学院	香川真由美 宮崎今佐人 土屋 直司 柳沢 弘 山崎 裕哉	佐田建設 明治大学 山梨学院 山梨学院 専修大学
13			深井 正昭	県体協			黒岩 敏幸 土屋 清貴 小林 和朗 土屋 直司	黒岩水道 関東学院 明治大学 山梨学院	石井 奈緒 山崎 裕哉 宮崎今佐人	佐田建設 フリーター 明治大学
14			尾崎 完二	榛名	大川 好和	伊香保小	小林 和朗 石関 祐樹 勅使河原郁恵	明治大学 桐生高 赤塚	宮崎今佐人 篠原 祐剛	明治大学 前橋ク
15	鶴田 智之	スケート連盟	木戸昭次郎 (故)久保田富一郎	高崎 県体協	本間 章 大川 好和	孺恋高 伊香保小	土屋 智広 黒岩 裕昭 黒岩 慶成 土屋 賢祐 今井 裕介 小林 和朗	孺恋高 孺恋高 孺恋高 孺恋高 県入連 明治大学	石関 祐樹 勅使河原郁恵 貞包 紘子 土屋 直司 宮崎今佐人	桐生高 赤塚 健大高崎 孺恋ク 明治大学
16			入澤 孝一	前橋	本間 章 大川 好和	孺恋高 伊香保小	今井 裕介 石関 祐樹 黒岩 信允 須藤 良輔	県入連 早稲田大 孺恋高 国土館大	宮崎今佐人 貞包 紘子 田上 真一	県入連 健大高崎 慶応大学
17	関口 定彦	前橋市	都丸 昌計	伊香保	大川 好和	伊香保小	今井 裕介 黒岩 慎也 石関 祐樹	県入連 孺恋ク 早稲田大	宮崎今佐人 田上 真一	緑陽会 慶応大学
18			神宮 元	榛名	本間 章 大川 好和	孺恋高 伊香保小	宮崎今佐人 山越 竜輔 貞包 紘子	県入連 孺恋高 順天堂大	黒岩 信允 田上 真一	孺恋高 慶応大学
19			茂木 和雄 寺島 惟孝	伊香保 渋川	本間 章 大川 好和	孺恋高 伊香保小	鈴木 暢 市場奈々世 田上 真一 貞包 紘子	県体協 孺恋高 慶応大学 順天堂大	黒岩 泰成 黒岩 美生 宮崎 麻衣 市場真奈美	明治大学 孺恋高 孺恋高 孺恋高
20			根本 伊勢雄	榛名	本間 章 大川 好和	孺恋高 伊香保小	坂爪 亮介 山越 竜輔 貞包 紘子	日体大 専修大学 順天堂大	黒岩 美生 田上 真一	孺恋高 慶応大学
21			荒木 和夫	伊香保	本間 章 大川 好和	孺恋高 小野上小	黒岩 信允 宮崎 麻衣 木村 亨平 磯村 翼	明治大学 孺恋高 國學院大 埼玉工大	川崎みなみ 坂爪 亮介 川島 佑平	県体協 日体大 伊勢崎工
22			平井 恒夫	高崎	小川 賛菜 大川 好和	古巻中 小野上小	坂爪 亮介 今井まどか	日体大 山梨学院	藤村 祥子 千葉 捺美	県入連 前橋商業
23	中里 昌明	桐生市	清水 正言	榛名	本間 章	孺恋高	奥村 雄樹 土屋 良輔 井上 瑞穂 樋 沙織	孺恋高 孺恋高 孺恋高 孺恋高	黒岩 美貴 千葉 捺美 坂爪 亮介	孺恋高 前橋商業 日体大
24	入澤 孝一 高野 純一	スケート連盟 渋川市	高野 純一	渋川	入澤 孝一 本間 章	高崎健大 孺恋高	小原 悠里 関口 莉菜 宮澤 里沙	高崎健大 高崎健大 高崎健大	阿部 友香 土屋 良輔 樋 沙織	高崎健大 孺恋高 孺恋高

年度	県（生涯スポーツ功労者）	スポーツ功労賞	最優秀指導者賞	最優秀選手賞	最優秀選手賞	最優秀選手賞		
25	寺島 惟孝 渋川市 ※25年度からは知事部局生活文化部；県生涯スポーツ功労者	菅谷 宏 伊香保	入澤 孝一 本間 章	高崎健大 高崎健大 高崎健大	土屋 良輔 樋 沙織 黒岩 美生 宮澤 里沙 長屋 千夏	専修大学 高崎健大 日体大 高崎健大 高崎健大	小原 悠里 阿部 友香 関口 莉菜 永田 希絵	高崎健大 高崎健大 高崎健大 高崎健大
26		鏑木咲千好 村田 繁	桐生 ポーリン 入澤 孝一 大川 好和 本間 章	高崎健大 小野上小 高崎健大	土屋 良輔 黒岩 美生 小林 裕司	専修大学 日体大 高崎健大	阿部 友香 永田 希絵 酒井 寧子	高崎健大 高崎健大 高崎健大
27		平田 俊夫 高崎	入澤 孝一	高崎健大	土屋 良輔 佐藤 綾乃 千葉 捺美 坂本 永吉	専修大学 高崎健大 高崎健大 高崎健大	阿部 友香 永田 希絵 酒井 寧子	高崎健大 高崎健大 高崎健大
28		清水 次雄 渋川	入澤 孝一	高崎健大	佐藤 綾乃 坂本 永吉 浅野 実久 新濱 立也 小原 憂雅	高崎健大 高崎健大 高崎健大 高崎健大 高崎健大	土屋 良輔 阿部 友香 黒岩 美生 飯島可奈子 小野寺優奈	専修大学 JAつまごい 帯広養護 高崎健大 高崎健大
29		富澤 宏之 高崎	入澤 孝一	高崎健大	佐藤 綾乃 浅野 実久 新濱 立也 佐藤 真由 酒井 寧子	高崎健大 高崎健大 高崎健大 高崎健大 高崎健大	土屋 良輔 阿部 友香 磯 卓磨 飯島可奈子 永田 希絵	メモリード JAつまごい 高崎健大 高崎健大 高崎健大
30		清水 久男 太田	入澤 孝一	高崎健大	佐藤 綾乃 浅野 実久 新濱 立也 水野 達喜 上原 悠馬 小原 憂雅 磯 卓磨 戸水謙一郎	特別賞 高崎健大 高崎健大 高崎健大 高崎健大 高崎健大 高崎健大 高崎健大 高崎健大	土屋 良輔 酒井 寧子 堀 あかり 飯島可奈子 吉村 優那 小野寺優奈 佐藤 真由	メモリード 高崎健大 高崎健大 高崎健大 高崎健大 高崎健大 高崎健大



佐藤 綾乃



土屋 良輔



新濱 立也



阿部 友香

群馬県スケート連盟歴代役員

年度	会長	副会長	理事長	事務局長	事務局次長	顧問	名誉会長		
平成	11 12	久保田富一郎	石坂 稔 信沢 明 深井 正昭 齋田 穎繁	鶴田 智之 南波 和憲 福田 実 宮崎 守	入澤 孝一	荒木 和夫	田中 真一		
	13 14	南波 和憲	石坂 稔 横堀 剛毅 齋田 穎繁 深井 正昭	鶴田 智之 入澤 孝一 福田 実 宮崎 守	熊川 輝男	荒木 和夫	小林 武広	久保田富一郎	
	15 16	南波 和憲	関口 俊二 堀口 義雄 深井 正昭 半田 博	鶴田 智之 入澤 孝一 宮崎 守	熊川 輝男	荒木 和夫	小林 武広	久保田順一郎 福田 実	
	17 18	南波 和憲	深井 正昭 児島 修 半田 博	鶴田 智之 入澤 孝一 宮崎 守	熊川 輝男	荒木 和夫	小林 武広	久保田順一郎 福田 実	
	19 20	南波 和憲	深井 正昭 峯川 一郎 半田 博	鶴田 智之 入澤 孝一 宮崎 守	熊川 輝男	荒木 和夫	小林 武広	久保田順一郎 福田 実	
	21 22	南波 和憲	深井 正昭 峯川 一郎 半田 博	鶴田 智之 入澤 孝一	熊川 輝男	荒木 和夫	小林 武広	久保田順一郎 福田 実	
	23 24	南波 和憲	鶴田 智之 宮崎 伸弘 熊川 輝男	入澤 孝一 中里 昌明	高野 純一	荒木 和夫	小林 武広	久保田順一郎 福田 実 半田 博	
	25 26	南波 和憲	狩野 浩志 茂木 幸雄 鶴田 智之 熊川 輝男	入澤 孝一 中里 昌明 神宮 元	高野 純一	荒木 和夫	小林 武広	久保田順一郎 半田 博	
	27 28	狩野 浩志	中里 昌明 谷 勝彦 入澤 孝一	熊川 輝男 神宮 元 高野 純一	富沢 宏之	荒木 和夫	小林 武広	久保田順一郎 鶴田 智之	南波 和憲
	29 30	狩野 浩志	中里 昌明 原澤 弘子 入澤 孝一 熊川 輝男	神宮 元 高野 純一 荒木 和夫	富沢 宏之		千川多賀幸	久保田順一郎 鶴田 智之	南波 和憲

平成30年度 群馬県スケート連盟役員

H30.6.26

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
顧問	久保田 順一郎		理事	長野原 井上 信夫	
顧問	鶴田 智之		"	孀恋 黒岩 菊男	
名誉会長	南波 和憲		"	" 土屋 和彦	
会長	狩野 浩志		"	高体連 土屋 賢祐	
副会長	原澤 弘子		"	中体連 黒岩 慎也	
"	入澤 孝一		"	" 山越 竜輔	
"	中里 昌明		"	学識 寺島 惟孝	
"	熊川 輝男	総務部長	"	" 本間 章	
"	神宮 元		"	" 大川 好和	
"	高野 純一		"	" 小松 秀司	
"	荒木 和夫		"	" 小坂橋辰男	
理事長	富澤 宏之		"	" 千川 幸宏	
副理事長	鏑木咲千好	フィギュア部長	"	" 石関 祐樹	
"	深井 靖士	スピード部長	"	" 鈴木みゆき	
"	清水 久男	ショート部長	"	" 柳澤 弘	
理事	前橋 関口 定彦		"	" 本間 達也	
"	" 篠原 弘		"	" 小川 賛菜	
"	高崎 平田 俊夫		監事	徳間 信一	
"	" 松崎 透		監事	半田 正博	
"	桐生 靱山 隆司		事務局長		
"	" 中村眞規子		事務局次長	千川多賀幸	
"	伊勢崎 松岡 正義		日本スケート連盟関係 評議員 熊川 輝男 スピード委員 深井 靖士 フィギュア委員 鏑木咲千好 普及部委員 神宮 元 事務局 〒370-0041 高崎市東貝沢町3-2-10 富澤宏之方		
"	" 山田 琢也				
"	太田 西村 清人				
"	" 木村 恒夫				
"	渋川 白石 正明				
"	" 井口 博之				
"	沼田 霜垣 正志				
"	伊香保 半田 正博				
"	" 遠藤 成宏				
"	吾妻 朝比奈幾哉				

県スポ協関係

マネジメントコーチ	本間 章
県スポーツ協会評議員	富澤 宏之
スポーツ指導者協議会理事	深井 靖士
スポーツ少年団常任委員	木暮 賛菜

群馬県スケート連盟 規 約

第1章 総則

(名称)

第1条 この連盟は、群馬県スケート連盟と称する。
(以下「群ス連」という。)

(事務所)

第2条 事務所を事務局長宅に置く。

(目的)

第3条 群ス連は、群馬県内におけるスケート界を統轄し、かつこれを代表する唯一のアマチュア競技団体であって、加盟団体相互の融和並びにスケートの普及振興を図り、スポーツ文化の高揚と明るく豊かな社会の形成に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 スケートの普及並びに調査研究
- 2 スケートに関する講習会の開催及び指導者、審判員などの養成
- 3 スケートに関し、県の諮問に対する応答及びその他公私的機関に対する意見の提出
- 4 公益財団法人日本スケート連盟（以下「日ス連」という。）及び公益財団法人群馬県スポーツ協会（以下「県スポ協」という。）の事業への協力
- 5 スケート競技者の競技力の向上
- 6 県内のスケート競技会及びスケート教室の開催
- 7 県内スケート競技会の記録の認定並びに日本記録及び国際記録の申請
- 8 日ス連並びに県スポ協の決定に基づく各種競技会、または会議等に県を代表する競技者、役員を選考及び派遣

9 県内スケート競技者並びに役員登録申請及び公認審判員の審査申請

10 スケート競技者並びに個人、団体等スケート界に功労のあった者の表彰。

11 スケートの競技施設及び用器具等の研究指導並びに公認申請

12 スケートに関する資料の収集保存および各種刊行物の発行

13 その他群ス連の目的達成に必要な事業

第2章 加盟団体

(加盟団体)

第5条 各市町村におけるスケート競技を統轄する団体で、この連盟の目的に賛同するものは、理事会の同意を得て加盟団体となることができる。

2 加盟団体は一市町村一団体とする。

(資格の喪失)

第6条 加盟団体は、次の事由によってその資格を喪失する。

- 1 脱退
- 2 解散
- 3 除名

2 加盟団体が前項の規定に基づき、資格を喪失したときは当該団体所属の役員はその資格を失う。

(脱退)

第7条 加盟団体が脱退しようとするときは、その事由を付して脱退届を会長に提出しなければならない。

(解散)

第8条 加盟団体が解散したときは、直ちに会長に報告しなければならない。

(除名)

第9条 加盟団体が次の号の一つに該当するとき
は、理事会の議決を得て、会長がこれを除名する
ことができる。

- 1 群ス連の加盟団体としての義務に違反したとき。
- 2 群ス連の名誉を傷つけ、または群ス連の目的に違反する行為のあったとき。

(分担金)

第10条 加盟団体は、理事会において可決決定した加盟団体分担金を毎年指定された期日までに納入しなければならない。

- 2 既納の分担金は、いかなる理由があってもこれを返還しない。

(会員の登録)

第11条 加盟団体は、その所属会員を別に定める登録規定に基づき毎年指定された期日までに群ス連に登録しなければならない。

- 2 群ス連に登録するものは、毎年度登録と同時に別に定める登録規定に基づく登録料を納入しなければならない。

第3章 役員

(役員)

第12条 群ス連に次の役員を置く。

会 長	1 名
副 会 長	若干名
理 事 長	1 名
副理事長	若干名
理 事	若干名
監 事	2 名
各委員長	各1名

(役員を選任)

第13条 役員を選任は、次のとおり行う。

- 1 会長は、総会で推挙し決定する。
- 2 副会長は、会長が推薦し決定する。
- 3 理事長及び副理事長は、理事の互選により総会の承認を得て、会長が委嘱する。
- 4 理事は、加盟団体より2名、県高体連より3名及び中体連より2名選出し、会長が委嘱する。また、学識経験者若干名を会長が委嘱することができる。
- 5 監事は、総会において推挙し決定する。
- 6 各委員長は、所属専門部で推薦し理事会の承認を得て、会長が委嘱する。

(役員職務)

第14条 役員職務は次のとおりとする。

- 1 会長は、群ス連を代表し業務を総理する。
- 2 副会長は、会長を補佐し会長事故あるとき、または欠けたときは、会長があらかじめ指名した順序によりその職務を代理し、またはその職務を行う。及びそれぞれ委員会を分担し相談役となる。
- 3 理事長は、会長及び副会長を補佐し理事会の議決に基づき、群ス連の業務を掌理する。
- 4 副理事長は、理事長を補佐し理事長事故あるとき、または欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によりその職務を代理し、またはその職務を行う。
- 5 理事は、理事会を組織して群ス連の業務を議決し執行する。
- 6 監事は、群ス連の会計を監査する。
- 7 各委員長は、各委員会を代表し所属部門に属する一切の業務を統轄する。

(役員任期)

第15条 役員任期は2年とし、再任は妨げない。

- 2 補欠又は増員により選任された役員任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 役員はその任務終了後でも後任者が就任する

までは、その職務を行う。

(役員解任)

第16条 役員は次の各号の一に該当するときは、理事の3分の2以上の議決により、役員を解任することができる。

- 1 心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。
- 2 職務の業務違反、その他役員になるにふさわしくない行為があると認められるとき。

第4章 名誉会長、顧問、参与

(名誉会長、顧問、参与)

第17条 群ス連に名誉会長、顧問、参与を若干名置くことができる。

- 1 名誉会長は、理事会の推薦に基づき、会長が委嘱する。名誉会長は、会議に出席し意見を述べることができる。
- 2 顧問は、群ス連の会長又は副会長であった者及びスケートに関する功労者並びに学識経験者の中から理事会で推薦し、会長が委嘱する。顧問は会長及び理事会の諮問に応ずる。
- 3 参与は、群ス連の理事又は事務局長を3期以上務めた者及びスケート界に功労のあった者の中から理事会で推薦し、会長が委嘱する。参与は理事会の諮問に応ずる。

第5章 機関

(機関)

第18条 群ス連に次の機関を置く。

- 総会
- 理事会
- 各委員会
- 事務局

(総会)

第19条 総会は、群ス連の最高機関で、群ス連の運営に関する重要な事項を審議決定する。

- 2 総会は、群ス連に登録された会員(競技者は

除く)をもって構成する。

- 3 総会は、会長が招集し議長となる。
- 4 定期総会は年1回年度当初に開催する。ただし、会長並びに理事会が必要と認めた場合、または総会を構成する者の半数以上の要請があった場合は臨時総会を開催することができる。
- 5 総会の議事は、出席者の過半数を持って決し、可否同数のときは、議長が決する。
- 6 総会に付議する事項は、次のとおりとする。
 - 1 第1章第4条に基づく各種報告並びに計画事項。
 - 2 決算の承認並びに予算の審議に関する事項。
 - 3 役員決定、承認。
 - 4 規約改正に関する事項。
 - 5 その他主要事項。

(理事会)

第20条 理事会は、会長、副会長、理事長、副理事長、理事をもって構成し、会長の承認を得て、理事長が招集する。ただし、理事長が必要と認めた場合、または理事の3分の1以上から会議に付議すべき事項を示して理事会の招集を請求されたときは、臨時理事会を開催しなければならない。

- 2 理事長は、理事会の議長となる。
- 3 理事会は、理事の3分の2以上の者が出席しなければ、その議事を開き議決することができない。ただし、理事が理事会に出席できないときは、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示した者は出席者とみなす。
- 4 理事会の議事は、出席理事の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。
- 5 監事は、理事会に出席し意見を述べることができる。
- 6 理事会は、総会の権限に属するものを除くほか、群ス連の全般を総覧し、業務を議決執行する。
- 7 理事長は、緊急の必要ある事項に限り会長の

承認を得て、これを専決処理することができる。
ただし、この場合次の理事会に報告し承認を得なければならない。

(各委員会)

第21条 群ス連に次の委員会を置く。

総務委員会(総務・広報普及)

スピード委員会(強化・事業・審判)

シヨート委員会(強化・事業・審判)

フィギュア委員会(事業審判・強化・FD)

- 2 委員会は必要に応じ委員長が招集する。
- 3 会長、副会長、理事長、副理事長は、委員会に出席し意見を述べることができる。
- 4 委員会は副会長及び各部の部長、副部長並びに理事長、委員長の推薦する学識経験者で構成する。

(専門部)

第22条 各委員会に専門部を置く。

- 2 専門部は、理事がそれぞれ分担すると共に委員長が推薦する学識経験者若干名をもって構成する。
- 3 専門部に部員互選により、部長、副部長を置く。
- 4 各専門部の運営に関する事項は別に定める。

(総務委員会)

第23条 総務委員会に次の専門部を置き、その分担業務は次のとおりとする。

総務部

- 1 日ス連、群スポ協並びに群馬県アイスホッケー連盟等関係諸機関との連絡調整、折衝に関する事。
- 2 群ス連規約の研究、立案に関する事。
- 3 群ス連の組織、人事及び会員登録に関する事。
- 4 式典、行事、会議等の企画、準備及び実施に関する事。

- 5 表彰、慶弔に関する事。
- 6 物品の調達、管理に関する事。
- 7 役員の出張及び選手の派遣に関する事。
- 8 その他総務に関する事。
- 9 予算、決算案の作成に関する事。
- 10 会計実務の執行に関する事。
- 11 財政の確立方策及び募金計画等、資金の調達に関する事。
- 12 その他財務会計に関する事。

広報普及部

- 1 群ス連会報の編集発行に関する事。
- 2 広報宣伝に関する企画、実施に関する事。
- 3 刊行物の発行に関する事。
- 4 新聞、雑誌、放送等、報道機関との連絡、調整に関する事。
- 5 体育及びスケートに関する各種情報の収集、整理及び保管に関する事。
- 6 その他広報に関する事。
- 7 スケートの一般大衆への普及に関する事。
- 8 普及指導員の養成及び資格認定に関する事。
- 9 指導書等の編集発行に関する事。
- 10 その他スケートの普及に関する事。

(スピード委員会)

第24条 スピード委員会に次の専門部を置き、その分担業務は次のとおりとする。

強化部

- 1 競技力向上及び各種大会派遣選手等の推薦に関する事。
- 2 各種選手強化事業の企画、立案及び実施に関する事。
- 3 強化費の経理に関する事。
- 4 コーチ等指導者の養成及び組織化に関する事。
- 5 強化に関する情報の収集、研究及び指導書の作成に関する事。
- 6 その他選手強化に関する事。

事業部

- 1 年間行事日程の作成に関する事。
- 2 群ス連主催または主管する各種競技会の企画、立案及び実施に関する事。
- 3 競技会規定、要項等の立案、審議及び作成に関する事。
- 4 競技会実施のため、関係諸団体との連絡調整に関する事。
- 5 各種競技会の記録の収集、整理及び保管並びに認定に関する事。
- 6 競技関係施設及び用器具に関する事。
- 7 その他事業に関する事。

審判部

- 1 ルールの研究に関する事。
- 2 審判組織の確立に関する事。
- 3 審判員の指導、養成及び技術向上に関する事。
- 4 各種競技会における審判員、同補助員の掌握及び招集に関する事。
- 5 公認審判員の認定事務に関する事。
- 6 バッジテストに関する事。
- 7 その他審判に関する事。

(ショート委員会)

第25条 ショート委員会に強化部・事業部・審判部の専門部を置き、その分担業務はスピード委員会に準ずる。

(フィギュア委員会)

第26条 フィギュア委員会に次の専門部を置き、その分担業務は次のとおりとする。

事業審判部

- 1 年間事業日程の作成に関する事。
- 2 群ス連主催、または主管する各種競技会演技会の企画、立案及び実施に関する事。

- 3 競技会規定、要項等の立案、審議及び作成に関する事。
- 4 競技会実施のため、関係諸団体との連絡調整に関する事。
- 5 各種競技会の記録の収集、整理及び保管並びに認定に関する事。
- 6 競技関係施設及び用器具に関する事。
- 7 その他事業に関する事。
- 8 競技関係規約研究に関する事。
- 9 競技役員の養成及び資格の認定事務に関する事。
- 10 各種競技会及び演技会における競技役員、同補助員の掌握及び招集に関する事。
- 11 その他競技役員に関する事。

強化部

- 1 競技力向上及び各種大会派遣選手等の推薦に関する事。
- 2 各種選手強化事業の企画、立案及び実施に関する事。
- 3 強化費の経理に関する事。
- 4 コーチ等指導者の養成及び組織化に関する事。
- 5 強化に関する情報の収集、研究及び指導書の作成に関する事。
- 6 その他選手強化に関する事。

FD部

- 1 FDテスト（バッチテスト）に関する事。

(事務局)

第27条 群ス連に事務局を置き、次の業務を行う。

- 1 事務局は、各機関の決定に基づく事務事項を処理する。
- 2 事務局員は、各種会議に出席し意見を述べることができるが、議決に参加することは出来ない。

(議事録)

第28条 すべての会議には、議事録を作成し、議長及び出席者の代表2名が署名のうえ、これを事務局に保管する。

第6章 会計

(経費)

第29条 群ス連の経費は、加盟団体の分担金、登録料、日ス連運営交付金、地方公共団体及びその他の団体、個人の補助金、寄付金、賛助金、事業収入並びにその他の収入をもってこれに充てる。

(事業計画及び収支予算)

第30条 群ス連の事業計画及びこれに伴う収支予算は理事長が作成し理事会の承認を経て、総会の議決を得なければならない。事業計画及び収支予算を変更する場合もまた同じ。

(収支決算)

第31条 群ス連の収支決算は、理事長が作成し、事業報告と共に監事の意見を付け理事会の承認を得て、定期総会の議決を得なければならない。群ス連の収支決算に余剰金があるときは、総会の議決を得て翌年度に繰越し、使用するものとする。

(会計年度)

第32条 群ス連の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

附則

この規約は、公布の日から施行する。

附則

- 1 この規約は、昭和56年4月1日から施行する。
- 2 従前の規約により、承認決定された事項はこの規約の規定に基づき、それぞれ承認または決

定されたものとする。

附則

この規約は、昭和61年4月1日から施行する。

附則

この規約は、平成6年4月1日から施行する。

附則

この規約は、平成9年4月1日から施行する。

附則

この規約は、平成14年4月1日から施行する。

附則

この規約は、平成25年4月1日から施行する。

附則

この規約は、平成29年4月1日から施行する。

群馬県スケート連盟登録規程

(目的)

第1条 この規程は、群馬県スケート連盟規約第2章第11条の規定に基づき、この連盟の役員及び競技者（以下「会員」という。）の登録に関し、必要な事項を定めるものとする。

第1種 小学生以下
第2種 中学生
第3種 高校生
第4種 第1種~第3種以外の者

(登録の資格)

第2条 この連盟に登録しようとする者は、本県内に居住または勤務あるいは学籍（大学生にあつては所属学部。以下「居住地等」という。）を有するアマチュアでなければならない。

(登録料)

第7条 会員の登録料は次のとおりとする。

第1種 500円
第2種 700円
第3種 1,000円
第4種 1,500円

(登録)

第3条 会員は居住地等所在の加盟団体により登録するものとする。

2 既納の会員登録料は、以下なる理由があつても返還しない。

2 居住地等に加盟団体のないときは、自己の意志により、最寄りの加盟団体より登録することができる。

(会員証)

第8条 登録を終えた会員には、この連盟より会員証を交付する。

3 第1項の規定にかかわらず、特別な事情があるときは、自己の意思に基づき、居住地等の加盟団体の承認を得て、他の加盟団体より登録することができる。

附則

この規程は、公布の日から施行する。

附則

この規程は、昭和43年4月1日から施行する。

附則

この規程は、昭和45年4月1日から施行する。

附則

この規程は、昭和46年4月1日から施行する。

附則

この規程は、昭和48年4月1日から施行する。

附則

この規程は、昭和50年4月1日から施行する。

附則

この規程は、昭和57年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成3年4月1日から施行する。

(会員の所属加盟団体)

第4条 会員が所属する加盟団体は、いかなる場所も一に限る。

(登録の手続き)

第5条 登録は毎年更新するものとし、加盟団体は所属する会員の氏名、住所、生年月日種別等を所定の登録用紙に記入のうえ、4月20日までに会費を添えて、この連盟へ申請しなければならない。

2 加盟団体は、会員登録の際、併せて役員名簿（役職名、氏名、住所）を提出しなければならない。

(会費の種別)

第6条 会員の種別は次のとおりとする。

群馬県スケート連盟表彰規程

第1条 連盟は、この規定に定めるところにより、スケート振興に功績のあった、次に該当する個人又は団体を表彰する。

1. 功労者表彰（表彰状と額）

- (1) 連盟主催の競技役員として10年以上尽力し功績のあったもの。
- (2) 加盟支部役員として20年以上尽力し、功績のあったもの。
- (3) その他スケート振興に関し、特に表彰に値すると認められるもの。

2. 優秀選手（花束）

- (1) 世界大会、アジア大会、ワールドカップへ出場したもの。
- (2) 全国規模の日本スケート連盟公式大会で入賞したもの。
- (3) その他特に表彰に値すると認められるもの。

(国体で入賞したもの等)

第2条 支部長は指定された期日までに連盟会長あてに推薦書（様式1）を提出する。理事長、副理事長は特に推薦に値するものを会長あてに推薦する。

第3条 表彰は会長より指名された表彰委員会の議決を得て、総会、理事会、又は表彰祝賀会の席上会長がこれを行う。

2 表彰委員会は正副会長会議がこれを兼ねる。

附則

この規定は、平成21年11月4日より施行する。

この規定の変更は、平成24年10月13日より施行する。

この規定の変更は、平成30年6月30日より施行する。

70周年記念誌実行委員会

顧問	鶴田 智之								
委員長	高野 純一								
副委員長	入澤 孝一	熊川 輝男	中里 昌明	神宮 元	荒木 和夫				
委員	富沢 宏之	深井 靖士	清水 久男	鏑木咲千好	寺島 惟孝				
	千川多賀幸	本間 章	土屋 賢祐	大崎 善基	大川 好和				
	宮崎 伸介	小川 賛菜							

写真提供のお礼

本誌の制作に当たり上毛新聞社、(公財)日本スケート連盟、及び本連盟理事 寺島惟孝氏より写真を提供していただきました。ありがとうございました。

70年のあゆみ

発行日 令和元年8月末日
編集 群馬県スケート連盟
発行住所 群馬県高崎市東貝沢町 3-2-10
富沢 宏之 方
TEL 0279-72-5150
E-MAIL tomihiro3046@outlook.jp
制作 70周年記念誌実行委員会

関東高等学校スケート競技会選手権大会入賞者一覧

CR:大会新記録

平成11年度第8回関東高等学校スケート競技大会

第6回スピード競技【平成12年2月4(土)～5(日)】

埼玉県小鹿野町 秩父ミュージズパークの森スケートリンク

男子500m	3位	土屋 清貴	嬢恋3	38秒17
	5位	篠原 大輔	嬢恋3	38秒88
1000m	2位	小川 俊之	前商 3	1分17秒55 CR
	5位	橋爪 亮	嬢恋2	1分18秒81
1500m	3位	小川 俊之	前商 3	2分02秒21
5000m	4位	黒岩 慎也	嬢恋2	7分16秒21 CR
2000mR	2位	嬢 恋		2分34秒34
		土屋 清貴(3) 宮崎 伸介(1)		
		篠原 一紀(3) 橋爪 亮(2)		
	3位	渋 工		2分40秒70
		中島 崇洋(3) 市川 俊介(3)		
		白石 貴明(1) 外丸 匠(3)		

学校対抗 3位 嬢 恋 16点

4位 前 商 9点

6位 渋 工 4点

女子500m 1位 小川 賛菜 前商1 43秒76

2位 川田 歩 嬢恋2 44秒91

4位 柳澤 恵美 嬢恋3 45秒67

1000m 1位 小川 賛菜 前商1 1分29秒62

3位 柳澤 恵美 嬢恋3 1分31秒49

4位 川田 歩 嬢恋2 1分34秒10

1500m 2位 千川 明美 嬢恋2 2分24秒66

3000m 2位 千川 明美 嬢恋2 4分57秒59

学校対抗 1位 嬢 恋 25点

2位 前 商 12点

平成12年度第9回関東高等学校スケート選手権大会

第7回スピード競技【平成13年2月3(土)～4(日)】

埼玉県小鹿野町 秩父ミュージズパークの森スケートリンク

男子500m	3位	宮崎 伸介	嬢恋2	38秒59
	6位	土屋 智広	嬢恋1	39秒05
1000m	3位	宮崎 伸介	嬢恋2	1分18秒75
	5位	橋爪 亮	嬢恋3	1分18秒89
1500m	3位	橋爪 亮	嬢恋3	2分03秒12
5000m	1位	黒岩 慎也	嬢恋3	7分16秒55
	2位	佐藤 大輔	嬢恋3	7分28秒56
	4位	白石 貴明	渋工2	7分31秒24

2000mR 1位 嬢 恋 2分35秒70

土屋 智広(1) 宮崎 伸介(2)

山崎 優(3) 橋爪 亮(3)

学校対抗 1位 嬢 恋 32点

女子500m 1位 小川 賛菜 前商2 42秒93 CR

2位 川田 歩 嬢恋3 43秒61

1000m 1位 小川 賛菜 前商2 1分27秒34 CR

2位 川田 歩 嬢恋3 1分29秒37

6位 小池 雅子 前商1 1分34秒52

1500m 2位 千川 浩未 嬢恋1 2分19秒32

5位 小池 雅子 前商1 2分27秒63

3000m 2位 千川 浩未 嬢恋1 4分54秒41

4位 千川 明美 嬢恋3 5分01秒73

学校対抗 2位 嬢 恋 23点

3位 前 商 15点

平成13年度第10回関東高等学校スケート選手権大会

第8回スピード競技【平成14年2月2日(土)～3(日)】

埼玉県小鹿野町 秩父ミュージズパークの森スケートリンク

男子500m 1位 宮崎 伸介 嬢恋3 41秒09

3位 土屋 智広 嬢恋2 42秒04

6位 篠原 一紀 嬢恋3 43秒35

1000m 1位 菅藤 智 嬢恋3 1分17秒60

2位 宮崎 伸介 嬢恋3 1分19秒63

5位 篠原 一紀 嬢恋3 1分20秒43

1500m 6位 黒岩 裕昭 嬢恋2 2分26秒80

2000mR 1位 嬢 恋

土屋 智広(2) 宮崎 伸介 2分32秒13 CR

篠原 一紀(3) 菅藤 智(3)

学校対抗 1位 嬢 恋 31点

女子500m 1位 小川 賛菜 前商3 47秒22

1000m 1位 小川 賛菜 前商3 1分27秒17 CR

2位 千川 浩未 嬢恋2 1分28秒60

5位 小池 雅子 前商2 1分30秒78

1500m 3位 千川 浩未 嬢恋2 2分59秒82

5位 川田 希 嬢恋1 3分01秒00

3000m 2位 川田 希 嬢恋1 5分00秒20

学校対抗 2位 嬢 恋 16点

3位 前 商 14点

平成14年度第11回関東高等学校スケート競技大会

第9回スピード競技【平成15年2月1日(土)～2日(日)】

栃木県日光市 日光霧降スケートセンター

男子500m	2位	黒岩慶成	嬢恋2	38秒98	6位	須藤美泉	共愛2	1分35秒62	
	4位	土屋智広	嬢恋3	39秒46	1500m	4位	篠原美希	嬢恋1	2分22秒62
	6位	野中恵太	前商1	40秒50		6位	飯島彩	渋女2	2分27秒60
1000m	4位	黒岩裕昭	嬢恋3	1分19秒01	3000m	4位	篠原美希	嬢恋1	4分58秒29
	6位	黒岩慶成	嬢恋2	1分20秒06		6位	飯島彩	渋女2	5分10秒01
5000m	6位	倉田哲也	嬢恋3	7分32秒52	学校対抗	1位	嬢恋		18点
2000mR	1位	嬢恋		2分36秒15					

平成16年度第13回関東高等学校スケート競技大会

第11回スピード競技【平成17年2月5日(土)～6日(日)】

山梨県富士吉田市 富士急ハイランド セイコーオーバル

学校対抗	3位	嬢恋		19点
女子500m	5位	遠藤裕美	青翠1	46秒99
1000m	3位	千川浩未	嬢恋3	1分31秒80
	4位	小池雅子	前商3	1分32秒21
1500m	2位	小池雅子	前商3	2分20秒94
	3位	千川浩未	嬢恋3	2分21秒77
3000m	6位	飯島彩	渋女1	5分33秒45
学校対抗	5位	前商		8点
			(上位入賞数による)	
	6位	嬢恋		8点

男子500m	1位	山越竜輔	嬢恋1	37秒40	CR
	3位	野中恵太	前商3	39秒13	
	4位	奥村一樹	嬢恋2	39秒14	
	5位	千川芳紀	嬢恋1	39秒54	
	6位	木暮昭仁	前商2	39秒67	
1000m	2位	山越竜輔	嬢恋1	1分15秒82	
	5位	奥村一樹	嬢恋2	1分18秒65	
	6位	千川芳紀	嬢恋1	1分19秒67	
1500m	4位	土屋直人	嬢恋3	2分00秒76	
5000m	4位	黒岩信允	嬢恋2	7分16秒61	
	5位	黒岩泰成	嬢恋1	7分21秒85	
2000mR	1位	嬢恋		2分32秒00	CR

山越竜輔(1) 奥村一樹(2)
千川芳紀(1) 土屋恭兵(2)

平成15年度第12回関東高等学校スケート競技大会

第10回スピード競技【平成16年2月7日(土)～8日(日)】

栃木県日光市 日光霧降スケートセンター

男子500m	1位	黒岩慶成	嬢恋3	38秒91
	4位	安齋潤	前商3	39秒96
1000m	4位	黒岩慶成	嬢恋3	1分19秒15
1500m	4位	土屋直人	嬢恋2	2分02秒24
	5位	千川盛二	嬢恋3	2分03秒04
5000m	3位	黒岩信允	嬢恋1	7分15秒35
	4位	土屋直人	嬢恋2	7分22秒98
2000mR	1位	嬢恋		2分37秒88
		黒岩慶成(3) 奥村一樹(1)		
		土屋一馬(1) 土屋直人(2)		
学校対抗	2位	嬢恋		27点
	6位	前商		3点
女子500m	3位	川田恵	創世1	44秒21
	4位	土屋直美	嬢恋1	44秒40
	5位	黒岩由紀乃	嬢恋1	44秒83
	6位	須藤美泉	共愛2	46秒25
1000m	2位	黒岩由紀乃	嬢恋1	1分30秒64
	4位	川田恵	創世1	1分31秒21
	5位	土屋直美	嬢恋1	1分31秒71

学校対抗	1位	嬢恋		33点	
	6位	前商		5点	
女子500m	2位	川田恵	創世2	42秒88	
	3位	土屋直美	嬢恋2	43秒40	
	4位	今井美樹	前女2	44秒86	
	5位	黒岩由紀乃	嬢恋2	44秒89	
1000m	2位	土屋直美	嬢恋2	1分26秒85	CR
	3位	川田恵	創世2	1分27秒69	
	4位	今井まどか	創世1	1分27秒99	
1500m	2位	今井まどか	創世1	2分18秒77	
	5位	菅井美穂	渋女1	2分20秒84	
	6位	久保佳乃子	嬢恋1	2分25秒12	
3000m	2位	菅井美穂	渋女1	4分50秒16	
	3位	久保佳乃子	嬢恋1	5分04秒29	
2000mR	2位	嬢恋		2分58秒66	
		土屋直美(2) 黒岩由紀乃(2)			
		市場真奈美(1) 久保佳乃子(1)			
学校対抗	2位	嬢恋		21点	

3位 創 世 17点
4位 渋 女 7点

平成17年度第14回関東高等学校スケート競技大会

第12回スピード競技【平成18年2月4日(土)～5日(日)】

群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

男子500m 1位 田中慎吾 嬢恋2 39秒18
1位 千川芳紀 嬢恋2 39秒18
3位 木暮昭仁 前商3 40秒24
4位 黒岩亮太 嬢恋3 40秒71

1000m 1位 山越竜輔 嬢恋2 1分17秒33
2位 奥村一樹 嬢恋3 1分17秒37
4位 黒岩亮太 嬢恋3 1分21秒26

6位 木暮昭仁 前商3 1分22秒15
1500m 3位 奥村一樹 嬢恋3 2分03秒51

5000m 1位 黒岩信允 嬢恋3 6分58秒75
3位 黒岩泰成 嬢恋2 7分22秒29

2000mR 1位 嬢 恋 2分37秒40
山越竜輔(2) 奥村一樹(3)
千川芳紀(2) 田中慎吾(2)

女子500m 1位 小池由佳子 育英2 43秒21
2位 土屋直美 嬢恋3 43秒32
3位 川田 恵 創世6 44秒04
4位 黒岩由紀乃 嬢恋3 46秒26

1000m 1位 土屋直美 嬢恋3 1分26秒41
2位 小池由佳子 育英2 1分26秒79
3位 川田 恵 創世6 1分29秒99
4位 今井まどか 創世5 1分30秒68

1500m 2位 黒岩美生 嬢恋1 2分16秒72
4位 今井まどか 創世5 2分18秒35
5位 菅井美穂 渋女2 2分19秒27

3000m 2位 菅井美穂 渋女2 4分47秒39
5位 黒岩美生 嬢恋1 4分57秒74

2000mR 1位 嬢 恋 2分56秒75
土屋直美(3) 黒岩由紀乃(3)
黒岩美生(1) 市場真奈美(2)

平成18年度第15回関東高等学校スケート競技大会

第13回スピード競技【平成19年2月2日(金)～4日(日)】

栃木県日光市 日光霧降スケートセンター

男子500m 1位 山越竜輔 嬢恋3 38秒01
2位 千川芳紀 嬢恋3 39秒10
3位 田中慎吾 嬢恋3 39秒59

5位 小川輝之 前商1 39秒75

1000m 1位 山越竜輔 嬢恋3 1分15秒92
2位 田中慎吾 嬢恋3 1分19秒03
4位 千川芳紀 嬢恋3 1分19秒59
5位 小川輝之 前商1 1分20秒07

1500m 3位 土屋駿弥 嬢恋3 2分09秒67
5000m 1位 黒岩泰成 嬢恋3 7分15秒08
7位 尾崎将太 嬢恋3 7分53秒56
8位 黒岩大樹 嬢恋3 8分02秒05

2000mR 1位 嬢 恋 2分31秒77 CR
山越竜輔(3) 田中慎吾(3)
千川芳紀(3) 黒岩泰成(3)

学校対抗 1位 嬢 恋 45点
6位 前 商 4点

女子500m 1位 宮崎麻衣 嬢恋1 43秒53
2位 小池由佳子 育英3 43秒77
3位 市場真奈美 嬢恋3 44秒77
5位 久保和乃子 嬢恋1 46秒82

1000m 1位 黒岩美生 嬢恋2 1分24秒66 CR
4位 宮崎麻衣 嬢恋1 1分27秒50
5位 小池由佳子 育英3 1分29秒50

1500m 1位 市場菜々世 嬢恋1 2分18秒85
2位 菅井美穂 渋女3 2分19秒14
5位 今井まどか 創世6 2分21秒35

3000m 2位 市場菜々世 嬢恋1 4分43秒04
3位 菅井美穂 渋女3 4分44秒12
5位 小林佳乃子 嬢恋3 4分52秒88

2000mR 1位 嬢 恋 2分50秒35 CR
宮崎麻衣(1) 市場菜々世(1)
黒岩美生(2) 市場真奈美(3)

学校対抗 1位 嬢 恋 40点
4位 渋 女 9点
5位 育 英 7点

平成19年度第16回関東高等学校スケート競技大会

第14回スピード競技【平成20年2月1日(金)～3日(日)】

栃木県日光市日光霧降スケートセンター

男子500m 1位 小川輝之 前商2 38秒40
2位 黒岩聖矢 育英1 39秒06
6位 佐藤潤一 嬢恋2 40秒22

1000m 1位 黒岩聖矢 育英1 1分18秒99
3位 小川輝之 前商2 1分19秒48

1500m		雪のため中止			
5000m	3位	黒岩紘岳	嬢恋1	7分33秒06	
	6位	新井佳晃	農二1	7分50秒99	
2000mR	2位	嬢恋		2分41秒98	
		千川岳洋(1)	黒岩紘岳(1)		
		武藤和久(1)	佐藤潤一(2)		
学校対抗	2位	育英		11点	
	3位	前商		10点	

(上位入賞数による)

	4位	嬢恋		10点	
	6位	前商		4点	
女子500m	1位	宮崎麻衣	嬢恋2	42秒94	
	4位	小島理沙	共愛1	46秒93	
	6位	善養寺梢	渋女2	49秒00	
1000m	1位	宮崎麻衣	嬢恋2	1分28秒11	
	6位	小島理沙	共愛1	1分35秒00	
1500m		雪のため中止			
3000m	3位	市場菜々世	嬢恋2	4分46秒00	
	5位	久保和乃子	嬢恋2	4分52秒40	
2000mR	1位	嬢恋		2分51秒71	
		宮崎麻衣(2)	市場菜々世(2)		
		黒岩美生(3)	久保和乃子(2)		
学校対抗	2位	嬢恋		24点	
	6位	共愛		4点	

平成20年度第17回関東高等学校スケート競技大会

第15回スピード競技【平成21年2月7日(金)～8日(日)】

山梨県富士吉田市富士急ハイランド セイコオーバル

男子500m	2位	小川輝之	前商3	38秒13	
	5位	横手祐二	青翠3	39秒50	
1000m	1位	奥村雄樹	嬢恋1	1分15秒50	
	2位	黒岩聖矢	育英2	1分16秒46	
	6位	小川輝之	前商3	1分18秒56	
1500m	2位	奥村雄樹	嬢恋1	2分04秒84	
	6位	黒岩紘岳	嬢恋2	2分10秒33	
5000m	3位	黒岩紘岳	嬢恋2	7分21秒53	
	6位	土屋勝弥	嬢恋1	7分44秒04	
2000mR	2位	嬢恋		2分36秒20	
		千川岳洋(2)	武藤和久(2)		
		奥村雄樹(1)	佐藤潤一(3)		
学校対抗	2位	嬢恋		22点	
	4位	前商		6点	

	5位	育英		5点	
女子500m	1位	井上瑞穂	嬢恋1	43秒90	
	2位	宮崎麻衣	嬢恋3	43秒94	
	4位	小島理沙	共愛2	45秒98	
	5位	黒岩美貴	嬢恋1	46秒09	
1000m	1位	宮崎麻衣	嬢恋3	1分25秒87	
	3位	井上瑞穂	嬢恋1	1分29秒04	
	4位	黒岩美貴	嬢恋1	1分30秒73	
	5位	小島理沙	共愛2	1分32秒42	
1500m	2位	市場菜々世	嬢恋3	2分18秒77	
	5位	久保和乃子	嬢恋3	2分29秒34	
	6位	齋藤慧巳	嬢恋1	2分29秒89	
3000m	3位	久保和乃子	嬢恋3	4分58秒36	
	4位	市場菜々世	嬢恋3	4分58秒55	
	6位	齋藤慧巳	嬢恋1	5分02秒75	
2000mR	1位	嬢恋		2分55秒04	
		宮崎麻衣(3)	黒岩美貴(1)		
		市場菜々世(3)	井上瑞穂(1)		
学校対抗	1位	嬢恋		48点	
	3位	共愛		5点	

平成21年度第18回関東高等学校スケート競技選手権大会

第16回スピード競技【平成22年2月5日(金)～7日(日)】

群馬県総合スポーツセンター 伊香保リンク

男子500m	1位	黒岩聖矢	育英3	38秒17	
	2位	奥村雄樹	嬢恋2	38秒72	
	3位	千川岳洋	嬢恋3	40秒06	
	4位	古市博人	嬢恋1	40秒11	
1000m	3位	古市博人	嬢恋1	1分20秒22	
	5位	武藤和久	嬢恋3	1分20秒57	
	6位	黒岩聖矢	育英3	1分20秒61	
1500m	2位	黒岩紘岳	嬢恋3	2分03秒09	
	3位	武藤和久	嬢恋3	2分03秒79	
5000m	4位	黒岩紘岳	嬢恋3	7分39秒04	
	5位	土屋勝弥	嬢恋2	7分39秒73	
2000mR	1位	嬢恋		2分43秒03	
		古市博人(1)	下田琢也(3)		
		奥村雄樹(2)	黒岩紘岳(3)		
学校対抗	1位	嬢恋		38点	
	4位	育英		7点	
女子500m	1位	井上瑞穂	嬢恋2	44秒43	
	2位	小島理沙	共愛3	45秒36	
	3位	黒岩亜沙美	嬢恋1	47秒48	

1000m	1位	井上 瑞穂	嬢恋2	1分28秒55	2位	黒岩 美貴	嬢恋3	2分20秒79	
	2位	黒岩 美貴	嬢恋2	1分31秒58	4位	井上 明香莉	嬢恋2	2分23秒23	
	4位	小島 理沙	共愛3	1分35秒65	5位	齋藤 慧巳	嬢恋3	2分23秒57	
1500m	3位	菅井 麻由	渋女1	2分19秒91	3000m	1位	齋藤 慧巳	嬢恋3	4分53秒11
	5位	齋藤 慧巳	嬢恋2	2分23秒47	2位	菅井 麻由	渋女2	4分55秒03	
	6位	黒岩 美貴	嬢恋2	2分24秒20	3位	山崎 実紀	嬢恋1	5分00秒79	
3000m	4位	齋藤 慧巳	嬢恋2	5分12秒16	5位	井上 明香莉	嬢恋2	5分04秒88	
	5位	井上 明香莉	嬢恋1	5分14秒51	学校対抗	1位	嬢 恋	44点	
	6位	菅井 麻由	渋女1	5分19秒30		2位	前 商	12点	
2000mR	1位	嬢 恋		3分09秒36		3位	渋 女	11点	
		井上 瑞穂(2)	齋藤 慧美(2)						
		黒岩 美貴(2)	黒岩 亜佐美(1)						
学校対抗	1位	嬢 恋		35点					
	4位	共 愛		8点					
	5位	渋 女		5点					

**平成22年度第19回関東高等学校スケート競技選手権大会
第17回スピード競技【平成23年2月4日(金)～6日(日)】**

栃木県日光市 日光霧降スケートセンター

男子500m	1位	古市 博人	嬢恋2	37秒68
	2位	田中 正晃	嬢恋2	39秒04
	3位	田中 博基	嬢恋2	39秒27
1000m	1位	古市 博人	嬢恋2	1分17秒77
	3位	千川 広貴	嬢恋3	1分20秒24
1500m	1位	下田 琢也	嬢恋3	1分58秒99
	5位	土屋 勝弥	嬢恋3	2分03秒30
	6位	千川 広貴	嬢恋3	2分04秒50
5000m	1位	土屋 良輔	嬢恋1	7分06秒73
	3位	黒岩 宗一郎	嬢恋3	7分20秒96
2000mR	1位	嬢 恋		2分33秒02
		古市 博人(2)	田中 正晃(2)	
		千川 広貴(3)	田中 博基(2)	
学校対抗	1位	嬢 恋		50点
女子500m	1位	千葉 捺美	前商1	42秒33 CR
	2位	井上 瑞穂	嬢恋3	44秒72
	3位	蜂須賀 玲菜	嬢恋1	44秒83
	4位	黒岩 亜沙美	嬢恋2	45秒45
1000m	1位	千葉 捺美	前商1	1分27秒97
	2位	黒岩 亜沙美	嬢恋2	1分32秒15
	3位	蜂須賀 玲菜	嬢恋1	1分33秒74
	6位	加部 祥子	嬢恋1	1分51秒42
1500m	1位	菅井 麻由	渋女2	2分19秒80

**平成23年度第20回関東高等学校スケート競技会選手権大会
第18回スピード競技【平成24年2月4日(土)～5日(日)】**

栃木県日光市 日光霧降スケートセンター

男子500m	1位	田中 正晃	嬢恋3	39秒13
1000m	1位	田中 博基	嬢恋3	1分18秒88
	4位	黒岩 紀之	嬢恋2	1分20秒69
	5位	田中 正晃	嬢恋3	1分22秒28
1500m	1位	黒岩 紀之	嬢恋2	2分01秒23
	2位	田中 博基	嬢恋3	2分02秒81
5000m	5位	小林 創	嬢恋1	7分59秒48
2000mR	1位	嬢 恋		2分38秒96
		小林 創(1)	田中 正晃(3)	
		田中 博基(3)	黒岩 紀之(2)	
学校対抗	1位	嬢 恋		36点
500m	1位	千葉 捺美	前商2	41秒76 CR
	4位	蜂須賀 玲菜	嬢恋2	44秒92
	5位	黒岩 亜沙美	嬢恋3	45秒62
	6位	田中 真理	嬢恋1	1分01秒95
1000m	1位	千葉 捺美	前商2	1分29秒69
	5位	蜂須賀 玲菜	嬢恋2	1分41秒02
	6位	加部 祥子	嬢恋2	1分52秒00
1500m	2位	山崎 実紀	嬢恋2	2分19秒69
	5位	井上 明香莉	嬢恋3	2分22秒26
	6位	山崎 萌香	嬢恋1	2分23秒85
3000m	3位	山崎 実紀	嬢恋2	5分05秒12
	4位	山崎 萌香	嬢恋1	5分08秒50
	5位	井上 明香莉	嬢恋3	5分10秒20
2000mR	1位	嬢 恋		3分03秒53
		田中 真理(1)	黒岩 亜沙美(3)	
		井上 明香莉(3)	蜂須賀 玲菜(2)	
学校対抗	1位	嬢 恋		32点

4位 前 商 12点
6位 渋 女 1点

**平成24年度第21回関東高等学校スケート競技選手権大会
第19回スピード競技【平成25年2月8日(土)～10日(日)】**

山梨県富士吉田市 富士急ハイランド`セイコオーバル

男子 500m 2位 土屋良輔 嬢恋3 39秒20
4位 一場伸一 嬢恋1 39秒88
6位 田子隆太 嬢恋1 40秒64
1000m 2位 黒岩紀之 嬢恋3 1分20秒73
4位 本間源大 嬢恋2 1分21秒76
1500m 2位 小林 創 嬢恋2 2分02秒39
4位 黒岩紀之 嬢恋3 2分06秒18
5000m 1位 土屋良輔 嬢恋3 7分11秒98
2位 飯塚智樹 嬢恋1 7分33秒29
6位 小林 創 嬢恋2 7分46秒72
2000mR 1位 嬢 恋 2分44秒83
本間源大(2) 一場伸一(1)
黒岩紀之(3) 田子隆太(1)
学校対抗 1位 嬢 恋 43点
500m 1位 千葉捺美 前商3 41秒63 CR
4位 蜂須賀玲菜 嬢恋3 44秒95
1000m 1位 千葉捺美 前商3 1分25秒47
4位 蜂須賀玲菜 嬢恋3 1分35秒15
1500m 2位 山崎実紀 嬢恋3 2分22秒06
3位 山崎萌香 嬢恋2 2分26秒59
3000m 2位 山崎実紀 嬢恋3 5分00秒50
3位 山崎萌香 嬢恋2 5分15秒24
学校対抗 1位 嬢 恋 24点
4位 前 商 12点

**平成25年度第22回関東高等学校スケート競技会選手権大会
第20回スピード競技【平成26年2月1日(土)～2日(日)】**

栃木県日光市 日光霧降スケートセンター

男子500m 1位 小林裕司 嬢恋1 38秒18
2位 一場伸一 嬢恋1 39秒48
6位 田子隆太 嬢恋1 41秒18
1000m 3位 小林 創 嬢恋2 1分20秒13
4位 倉持 慶 嬢恋1 1分21秒32
1500m 6位 土屋絹弥 嬢恋1 2分05秒76
5000m 1位 飯塚智樹 嬢恋1 7分26秒79
3位 加部裕貴 嬢恋1 7分33秒26
学校対抗 1位 嬢 恋 30点

女子500m 4位 田中真理 嬢恋2 44秒85
1000m 5位 田中真理 嬢恋2 1分33秒70
6位 山崎真里菜 嬢恋1 1分37秒73
1500m 5位 黒岩史聖 嬢恋1 2分27秒42
6位 山崎真里菜 嬢恋1 2分27秒79
3000m 5位 黒岩史聖 嬢恋1 5分11秒50
学校対抗 2位 嬢 恋 12点

**平成26年度第23回関東高等学校スケート競技会選手権大会
第21回スピード競技【平成27年2月7日(土)～2月8日(日)】**

群馬県総合スポーツセンター 伊香保リンク

男子500m 2位 一場伸一 嬢恋3 38秒68
6位 田子隆太 嬢恋3 40秒03
1000m 3位 一場伸一 嬢恋3 1分19秒68
5位 倉持 慶 嬢恋3 1分20秒02
6位 土屋絹弥 嬢恋3 1分22秒07
1500m 2位 土屋 育 前橋2 2分02秒27
3位 倉持 慶 嬢恋3 2分04秒19
4位 萩原拓巳 嬢恋2 2分04秒23
5位 土屋絹弥 嬢恋3 2分05秒78
5000m 3位 羽生田康貴 嬢恋2 7分47秒08
5位 土屋 育 前橋2 7分53秒30
2000mR 1位 嬢 恋 2分39秒26
土屋絹弥(3) 一場伸一(3)
倉持 慶(3) 田子隆太(3)
学校対抗 1位 嬢 恋 32点
5位 前 橋 7点
女子500m 5位 大川愛弓 渋女1 46秒66
1000m 3位 黒岩千聖 嬢恋1 1分30秒28
4位 山崎真里菜 嬢恋2 1分33秒00
6位 大川愛弓 渋女1 1分38秒27
1500m 6位 黒岩千聖 嬢恋1 2分26秒60
3000m 6位 黒岩史聖 嬢恋2 5分06秒86
学校対抗 1位 嬢 恋 9点
6位 渋 女 3点

**平成27年度第24回関東高等学校スケート競技選手権大会
第22回スピード競技【平成28年1月9日(土)～10日(日)】**

山梨県富士吉田市 富士急ハイランド`セイコオーバル

男子500m 5位 丸山凜太郎 高崎1 40秒29
6位 久佐拓己 渋工2 40秒38
1000m 2位 横沢公希 嬢恋1 1分18秒23
4位 萩原拓巳 嬢恋3 1分21秒46

1500m	4位	萩原拓巳	嬢恋3	2分06秒11
	6位	黒岩岳史	嬢恋3	2分08秒30
5000m	1位	黒岩岳史	嬢恋3	7分37秒11
女子500m	4位	千川あゆみ	嬢恋1	44秒55
1000m	5位	千川あゆみ	嬢恋1	1分32秒18
	6位	黒岩千聖	嬢恋2	1分32秒28
1500m	4位	黒岩千聖	嬢恋2	2分23秒43
	5位	山崎真里菜	嬢恋3	2分24秒24
3000m	5位	黒岩史聖	嬢恋3	5分07秒47
	6位	山崎真里菜	嬢恋3	5分09秒62
2000mR	2位	嬢恋		3分00秒46
		千川あゆみ(1) 黒岩史聖(3)		
		黒岩千聖(2) 山崎真里菜(3)		

平成28年度第25回関東高等学校スケート競技選手権大会
第23回スピード競技【平成29年1月7日(土)～1月8日(日)】

群馬県総合スポーツセンター 伊香保リンク

男子500m	3位	千川龍也	嬢恋3	41秒25
	5位	飯塚陸矢	嬢恋2	41秒49
	6位	久佐拓己	渋工3	41秒73
1000m	1位	横沢公希	嬢恋2	1分19秒26
	6位	千川龍也	嬢恋3	1分21秒89
1500m	2位	蜂須賀大翔	嬢恋1	2分04秒78
	4位	小山剛史	桐一2	2分05秒85
	5位	黒岩太陽	嬢恋1	2分06秒44
	6位	黒岩岳史	嬢恋2	2分06秒78
5000m	1位	黒岩岳史	嬢恋2	7分22秒03
	2位	小山剛史	桐一2	7分28秒98
	3位	蜂須賀大翔	嬢恋1	7分32秒07
	4位	黒岩太陽	嬢恋1	7分42秒73
学校対抗	1位	嬢恋		34点
	4位	桐一		8点
女子500m	2位	大崎有紗	渋女1	44秒74
	3位	千川あゆみ	嬢恋2	45秒00
1000m	2位	千川あゆみ	嬢恋2	1分29秒49
	3位	大崎有紗	渋女1	1分30秒43
	4位	黒岩千聖	嬢恋3	1分30秒98
1500m	4位	千川いづみ	嬢恋1	2分18秒04
	5位	黒岩千聖	嬢恋3	2分21秒18
	6位	長岡芽以	商大附3	2分34秒84
3000m	4位	千川いづみ	嬢恋1	4分47秒26
学校対抗	1位	嬢恋		20点
	5位	渋女		9点

平成29年度第26回関東高等学校スケート競技選手権大会
第24回スピード競技【平成30年1月13日(土)～14日(日)】

栃木県日光市 日光霧降スケートセンター

男子500m	2位	横沢公希	嬢恋3	38秒98
	4位	本間新之助	嬢恋1	39秒98
	6位	黒岩大地	嬢恋1	41秒47
1000m	4位	伊藤琢真	渋工2	1分22秒11
	7位	黒岩大地	嬢恋1	1分24秒06
1500m	3位	蜂須賀大翔	嬢恋2	2分02秒33
	4位	黒岩太陽	嬢恋2	2分05秒63
	5位	伊藤琢真	渋工2	2分06秒30
	6位	千川脩太	嬢恋1	2分06秒44
5000m	2位	千川脩太	嬢恋1	7分26秒46
	3位	小山剛史	桐一3	7分32秒43
	5位	黒岩太陽	嬢恋2	7分35秒19
	6位	黒岩岳史	嬢恋3	7分40秒03
学校対抗	1位	嬢恋		25点
	6位	渋工		5点
女子500m	1位	大崎有紗	渋女2	44秒54
	2位	本多優	嬢恋1	44秒87
1000m	2位	本多優	嬢恋1	1分29秒43
	3位	大崎有紗	渋女2	1分30秒16
	4位	千川あゆみ	嬢恋1	1分34秒58
1500m	3位	篠原梨乃	嬢恋1	2分20秒09
	4位	千川いづみ	嬢恋2	2分25秒47
	5位	千川あゆみ	嬢恋3	2分29秒95
3000m	2位	篠原梨乃	嬢恋1	5分01秒24
	3位	千川いづみ	嬢恋2	5分09秒88
2000mR	1位	嬢恋		3分03秒52
		千川あゆみ(3) 千川いづみ(2)		
		篠原梨乃(1) 本多優(1)		

学校対抗	1位	嬢恋		37点
	4位	渋女		10点

平成30年度第27回関東高等学校スケート競技選手権大会
第25回スピード競技【平成31年2月9日(土)～2月10日(日)】

山梨県富士吉田市 富士急ハイランドセイコーオーバル

男子500m	1位	本間新之助	嬢恋2	38秒40
	2位	土屋慶介	嬢恋1	38秒79
	3位	伊藤琢真	渋工3	39秒31
	5位	黒岩大地	嬢恋2	41秒02
1000m	1位	土屋慶介	嬢恋1	1分18秒80
	2位	伊藤琢真	渋工3	1分18秒96

	3位	本間 新之助	孺恋2	1分19秒42
	6位	黒岩 大地	孺恋2	1分22秒21
1500m	1位	干川 脩太	孺恋2	2分02秒44
	2位	蜂須賀 大翔	孺恋3	2分02秒58
	5位	黒岩 太陽	孺恋3	2分05秒48
5000m	1位	干川 脩太	孺恋2	7分26秒46
	4位	蜂須賀 大翔	孺恋3	7分34秒36
	5位	伊藤 隼人	孺恋1	7分55秒72
	6位	梶原 碧	渋川1	8分27秒40
2000mR	1位	孺 恋		2分36秒78
		本間 新之助(2)	黒岩 太陽(3)	
		蜂須賀 大翔(3)	土屋 慶介(1)	
学校対抗	1位	孺 恋		54点
	4位	渋 工		9点
	5位	渋 川		1点
女子500m	1位	大崎 有紗	渋女3	44秒58
	2位	内田 奈々美	利根実1	45秒86
	5位	黒岩 花子	孺恋1	47秒15
1000m	1位	本多 優	孺恋2	1分28秒76
	2位	大崎 有紗	渋女3	1分31秒44
	4位	黒岩 花子	孺恋1	1分33秒19
	5位	内田 奈々美	利根実1	1分33秒53
1500m	1位	本多 優	孺恋2	2分20秒75
	3位	新井 萌佳	四ツ葉1	2分28秒79
3000m	2位	新井 萌佳	四ツ葉1	5分11秒73
学校対抗	1位	孺 恋		16点
	3位	渋 女		11点
	4位	四ツ 葉		9点
	6位	利根実		7点

平成11年度 第34回群馬県高等学校総合体育大会

兼 第49回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)

平成12年1月7日～8日 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

RR=リンクレコード CR=大会新記録

○男子 500m

1位	土屋清貴	孺恋高	37"76	CR
2位	篠原大輔	孺恋高	38"52	
3位	須藤良輔	前商高	39"54	
4位	三ツ橋皓平	桐生工	40"70	
5位	安斎裕佐	前商高	40"91	
6位	中島崇洋	渋川工	41"30	
7位	市川俊介	渋川工	41"59	
8位	島村祐介	中之条	48"29	

○男子 1500m

1位	橋爪亮	孺恋高	2'00"35	
2位	小川俊之	前商高	2'01"86	
3位	菅藤智	孺恋高	2'03"62	
4位	外丸匠	渋川工	2'05"04	
5位	青山朋巨	青翠高	2'08"54	
6位	市川俊介	渋川工	2'18"52	

○男子 10000m

1位	宮崎今佐人	孺恋高	14'21"61	RR・CR
2位	黒岩慎也	孺恋高	14'36"90	CR
3位	白石貴明	渋川工	15'45"24	
4位	高田大樹	渋川工	17'07"09	

●女子 1000m

1位	小川賛菜	前商高	1'26"34	
2位	川田歩	孺恋高	1'29"20	
3位	柳澤恵美	孺恋高	1'31"04	

○男子オープン 500m

1位	小林和朗	孺恋高	38"43	
2位	宮崎今佐人	孺恋高	38"94	
3位	橋爪亮	孺恋高	39"03	
4位	菅藤智	孺恋高	39"44	
5位	宮崎伸介	孺恋高	40"18	
6位	篠原靖治	孺恋高	40"50	
7位	倉田祐一	孺恋高	40"62	
8位	山崎優	孺恋高	40"93	

○男子2000mR

1位	孺恋	(土屋清貴、小林和朗、篠原大輔、橋爪亮)	2'31"52	RR・CR
2位	渋川	(中島崇洋、市川俊介、高田大樹、外丸匠)	2'45"64	

○男子学校対抗

1位	孺恋高等学校	81点	(27回目 27連勝)
2位	渋川工業高等学校	46点	
3位	前橋商業高等学校	32点	
4位	渋川青翠高等学校	8点	
5位	桐生工業高等学校	7点	
6位	中之条高等学校	2点	

●女子学校対抗

1位	孺恋高等学校	42点	(22回目 6連勝)
2位	前橋商業高等学校	16点	

○男子 1000m

1位	篠原大輔	孺恋高	1'16"81	CR
2位	土屋清貴	孺恋高	1'17"14	CR
3位	小川俊之	前商高	1'19"75	
4位	外丸匠	渋川工	1'20"06	
5位	安斎裕佐	前商高	1'22"37	
6位	中島崇洋	渋川工	1'24"99	
7位	三ツ橋皓平	桐生工	1'26"54	
8位	島村祐介	中之条	1'39"21	

○男子 5000m

1位	小林和朗	孺恋高	7'05"01	
2位	佐藤大輔	孺恋高	7'28"72	
3位	白石貴明	渋川工	7'53"01	
4位	須藤良輔	前商高	7'55"64	
5位	青山朋巨	青翠高	8'00"28	
6位	高田大樹	渋川工	8'28"19	

●女子 500m

1位	小川賛菜	前商高	42"29	CR
2位	川田歩	孺恋高	43"37	
3位	柳澤恵美	孺恋高	47"70	

●女子 1500m

1位	干川明美	孺恋高	2'26"77	
----	------	-----	---------	--

●女子 3000m

1位	干川明美	孺恋高	5'12"32	
----	------	-----	---------	--

○男子オープン 1000m

1位	宮崎伸介	孺恋高	1'21"39	
2位	倉田祐一	孺恋高	1'22"73	
3位	篠原靖治	孺恋高	1'23"18	
4位	山崎優	孺恋高	1'23"57	
5位	小松路英	孺恋高	1'25"59	

○男子オープン 1500m

1位	篠原一紀	孺恋高	2'07"19	
2位	宮崎明	孺恋高	2'07"87	

平成12年度 第35回群馬県高等学校総合体育大会

兼 第50回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)
平成13年1月6日～7日 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

○男子 500m

1位	土屋 智 広	孺恋高	39"38
2位	宮崎 伸 介	孺恋高	39"80
3位	石関 祐 樹	桐生高	40"96
3位	三ツ橋 皓 平	桐生工	40"96
5位	小菅 雅 志	渋川工	41"51
6位	安齋 裕 佐	前商高	41"83

○男子 1000m

1位	菅藤 智	孺恋高	1'16"87
2位	橋爪 亮	孺恋高	1'17"05
3位	石関 祐 樹	桐生高	1'22"42
4位	安齋 裕 佐	前商高	1'22"51
5位	三ツ橋 皓 平	桐生工	1'23"04
6位	小菅 雅 志	渋川工	1'24"09
7位	田上 真 一	桐生高	1'29"04

○男子 1500m

1位	篠原 一 紀	孺恋高	2'02"97
2位	黒岩 裕 昭	孺恋高	2'08"56
3位	田上 真 一	桐生高	2'14"97

○男子 5000m

1位	倉田 哲 也	孺恋高	7'24"64
2位	白石 貴 明	渋川工	7'29"67
3位	宮崎 明	孺恋高	7'37"10

○男子 10000m

1位	黒岩 慎 也	孺恋高	14'47"12
2位	白石 貴 明	渋川工	15'23"19
3位	佐藤 大 輔	孺恋高	15'37"41

●女子 500m

1位	小川 賛 菜	前商高	43"11
2位	川田 歩	孺恋高	43"78

●女子 1000m

1位	小川 賛 菜	前商高	1'27"57
2位	小池 雅 子	前商高	1'36"08

●女子 1500m

1位	干川 浩 未	孺恋高	2'20"87
2位	小池 雅 子	前商高	2'27"62
3位	干川 明 美	孺恋高	2'29"81

●女子 3000m

1位	干川 浩 未	孺恋高	4'54"21
2位	干川 明 美	孺恋高	5'41"66

○男子オープン 500m

1位	篠原 一 紀	孺恋高	39"07
2位	黒岩 慎 也	孺恋高	40"29
3位	黒岩 裕 昭	孺恋高	40"75
4位	佐藤 大 輔	孺恋高	40"94
5位	倉田 哲 也	孺恋高	41"08
6位	宮崎 明	孺恋高	41"15
7位	山崎 優	孺恋高	41"40

○男子オープン 1000m

1位	宮崎 伸 介	孺恋高	1'19"45
2位	山崎 優	孺恋高	1'23"10
3位	土屋 智 広	孺恋高	2'12"24

○男子オープン 1500m

1位	橋爪 亮	孺恋高	2'05"06
2位	菅藤 智	孺恋高	2'05"45

○男子2000mR

1位	孺 恋	(篠原一紀、宮崎伸介、菅藤 智、橋爪 亮)	2'34"92
----	-----	-----------------------	---------

○男子学校対抗

1位	孺 恋 高 等 学 校	80点	(28回目 28連勝)
2位	渋川工業高等学校	21点	
3位	桐生高等学校	19.5点	
4位	桐生工業高等学校	10.5点	
5位	前橋商業高等学校	8点	

●女子学校対抗

1位	孺 恋 高 等 学 校	36点	(23回目 7連勝)
2位	前橋商業高等学校	30点	

平成13年度 第36回群馬県高等学校総合体育大会

兼 第51回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)
平成13年12月28日～29日 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク
CR=大会新記録

○男子 500m

1位	宮崎 伸介 嬬恋	38"22
2位	土屋 智広 嬬恋	39"44
3位	安齋 裕佐 前商	39"85
4位	小菅 雅志 渋工	40"93
5位	清水 勇斗 太商	41"02
6位	安齋 潤 前商	41"63

○男子 1500m

1位	土屋 賢祐 嬬恋	2'03"32
2位	黒岩 裕昭 嬬恋	2'05"49

○男子 10000m

1位	白石 貴明 渋工	15'37"09
2位	倉田 哲也 嬬恋	16'00"29
3位	千川 盛二 嬬恋	16'05"19

●女子 500m

1位	小川 賛菜 前商	41"57 CR
----	----------	----------

●女子 1000m

1位	小川 賛菜 前商	1'25"81
2位	千川 浩未 嬬恋	1'28"08
3位	小池 雅子 前商	1'30"39

○男子オープン 500m

1位	黒岩 裕昭 嬬恋	39"69
2位	黒岩 慶成 嬬恋	40"65

○男子オープン 1000m

1位	宮崎 伸介 嬬恋	1'18"66
2位	土屋 賢祐 嬬恋	1'20"69
3位	土屋 智広 嬬恋	1'23"21

○男子学校対抗

1位	嬬恋高等学校	78点	29回目	29連勝
2位	渋川工業高等学校	25点		
3位	前橋商業高等学校	18点		
4位	太田商業高等学校	9点		

●女子学校対抗

1位	嬬恋高等学校	30点	24回目	8連勝
2位	前橋商業高等学校	28点		

○男子 1000m

1位	菅藤 智 嬬恋	1'16"03 CR
2位	篠原 一紀 嬬恋	1'17"49
3位	安齋 裕佐 前商	1'20"86
4位	清水 勇斗 太商	1'23"07
5位	小菅 雅志 渋工	1'24"82
6位	安齋 潤 前商	1'25"64

○男子 5000m

1位	白石 貴明 渋工	7'25"01
2位	宮崎 明 嬬恋	7'31"15
3位	篠原 嘉孝 嬬恋	7'33"05

○男子2000mR

1位	嬬恋高校	2'35"84
----	------	---------

(土屋智広、宮崎伸介、篠原一紀、菅藤 智)

●女子 1500m

1位	千川 浩未 嬬恋	2'19"35
2位	川田 希 嬬恋	2'20"25
3位	小池 雅子 前商	2'22"39

●女子 3000m

1位	川田 希 嬬恋	5'03"08
----	---------	---------

○男子オープン 1500m

1位	菅藤 智 嬬恋	2'02"22
2位	篠原 一紀 嬬恋	2'02"65
3位	倉田 哲也 嬬恋	2'06"30
4位	篠原 嘉孝 嬬恋	2'08"00
5位	黒岩 慶成 嬬恋	2'09"99
6位	千川 盛二 嬬恋	2'10"11
7位	宮崎 明 嬬恋	2'28"60

平成14年度 第36回群馬県高等学校総合体育大会

兼 第52回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)
平成14年12月28日・29日 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

○男子 500m

1位	土屋智広	嬬恋	39"00
2位	土屋恭兵	嬬恋	40"25
3位	安齋潤	前商	40"35
4位	野中恵太	前商	40"67
5位	清水勇斗	太商	41"88
6位	吉田雅央	前工	44"26
7位	宮本邦生	桐工	44"80
8位	高野守弘	桐南	45"94
9位	今井瞬	渋工	50"86
10位	小菅雅志	渋工	1'06"98

○男子 1500m

1位	黒岩裕昭	嬬恋	2'04"30
2位	宮崎直人	嬬恋	2'09"34
3位	藤井秀文	渋工	2'13"02
4位	清水穂高	桐生	2'18"20
5位	高野守弘	桐南	2'20"69
6位	今井瞬	渋工	2'33"34

○男子2000mR

1位	嬬恋	(土屋智広、黒岩裕昭、土屋賢祐 黒岩慶成)	2'36"49
2位	渋川工業	(今井瞬、小菅雅志、藤井秀文、市場春樹)	2'57"27

●女子 500m

1位	須藤美泉	共愛	47"08
2位	遠藤裕美	青翠	49"81

●女子 1500m

1位	川田希	嬬恋	2'18"94
2位	干川浩未	嬬恋	2'22"42
3位	小池雅子	前商	2'27"10
4位	飯島彩	渋女	2'30"85

○男子オープン 500m

1位	黒岩健太	嬬恋	44"73
----	------	----	-------

○男子オープン 1000m

1位	黒岩裕昭	嬬恋	1'19"57
2位	土屋智広	嬬恋	1'22"07
3位	土屋恭兵	嬬恋	1'22"96
4位	宮崎直人	嬬恋	1'24"51

○男子学校対抗

1位	嬬恋	82点	30回目	30連勝
2位	渋川工業	22点		
3位	前橋商業	21点		
4位	桐生商業	6点	(上位入賞数による)	
5位	太田商業	6点		
6位	桐生南	5点		
7位	前橋工業	3点		
8位	桐生工業	2点		

○男子 1000m

1位	土屋賢祐	嬬恋	1'18"90
2位	黒岩慶成	嬬恋	1'20"03
3位	安齋潤	前商	1'23"78
4位	藤井秀文	渋工	1'24"19
5位	野中恵太	前商	1'24"64
6位	小菅雅志	渋工	1'24"69
7位	清水勇斗	太商	1'24"77
8位	清水穂高	桐生	1'28"61
9位	宮本邦生	桐工	1'31"12
10位	吉田雅央	前工	1'31"56

○男子 5000m

1位	土屋直人	嬬恋	7'38"91
2位	黒岩徳幸	嬬恋	7'39"58

○男子 10000m

1位	干川盛二	嬬恋	15'25"90
2位	倉田哲也	嬬恋	16'14"75

●女子 1000m

1位	干川浩未	嬬恋	1'29"46
2位	小池雅子	前女	1'33"81
3位	須藤美泉	共愛	1'38"18
4位	遠藤裕美	青翠	1'38"33
5位	田上由希	前女	1'43"50

●女子 3000m

1位	川田希	嬬恋	5'09"91
2位	飯島彩	前女	5'27"38
3位	田上由希	前女	5'36"68

○男子オープン 1500m

1位	土屋賢祐	嬬恋	2'01"01
2位	倉田哲也	嬬恋	2'03"25
3位	干川盛二	嬬恋	2'04"90
4位	黒岩慶成	嬬恋	2'06"09
5位	土屋直人	嬬恋	2'06"70
6位	黒岩徳幸	嬬恋	2'11"57
7位	黒岩健太	嬬恋	2'13"82

●女子学校対抗

1位	嬬恋	23点	25回目	9連勝
2位	共愛学園	10点		
3位	前橋商業	9点	(上位入賞数による)	
4位	渋川青翠	9点		
4位	渋川女子	9点		
6位	前橋女子	6点		

平成15年度 第38回群馬県高等学校総合体育大会

兼 第53回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)

平成16年1月6日・7日 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

CR=大会新記録

○男子 500m

1位	黒岩 慶成	孺恋	38"61
2位	土屋 恭兵	孺恋	38"66
3位	木暮 昭仁	前商	39"74
4位	野中 恵太	前商	39"84
5位	中野 健太	樹徳	44"38

○男子 1500m

1位	土屋 一馬	孺恋	2'08"30
2位	宮崎 直人	孺恋	2'08"48
3位	藤井 秀文	渋工	2'09"32
4位	三田 元気	渋川	2'12"93
5位	高野 守弘	桐南	2'18"60

●女子 500m

1位	川田 恵	創世	42"69
2位	土屋 直美	孺恋	43"71
3位	黒岩由紀乃	孺恋	44"49
4位	今井 美樹	前女	45"57
5位	須藤 美泉	共愛	45"77
6位	遠藤 裕美	青翠	47"20

●女子 1500m

1位	篠原 美希	孺恋	2'16"46 CR
2位	飯島 彩	渋女	2'22"72

○男子オープン 500m

1位	奥村 一樹	孺恋	39"35
2位	安齋 潤	前商	39"72
3位	黒岩 亮太	孺恋	41"69
4位	黒岩 健太	孺恋	42"09

○男子オープン 1000m

1位	黒岩 慶成	孺恋	1'18"97
2位	土屋 恭兵	孺恋	1'20"29
3位	黒岩 健太	孺恋	1'26"55
4位	黒岩 亮太	孺恋	1'27"64

○男子2000mR

1位	孺恋	(黒岩慶成、奥村一樹、土屋賢祐、土屋恭兵)	2'35"04
----	----	-----------------------	---------

○男子学校対抗

1位	孺恋	82点	31回目	31連勝
2位	前橋商業	21点		
3位	渋川	11点		
3位	渋川工業	11点		
5位	桐生南	9点		
6位	樹徳	7点		

○男子 1000m

1位	土屋 賢祐	孺恋	1'18"05
2位	奥村 一樹	孺恋	1'20"74
3位	木暮 昭仁	前商	1'21"58
4位	藤井 秀文	渋工	1'23"45
5位	野中 恵太	前商	1'24"15
6位	中野 健太	樹徳	1'37"63

○男子 5000m

1位	干川 盛二	孺恋	7'11"90
2位	篠原 嘉孝	孺恋	7'27"05
3位	三田 元気	渋川	7'55"64
4位	高野 守弘	桐南	8'11"16

○男子 10000m

1位	黒岩 信允	孺恋	14'52"55
2位	土屋 直人	孺恋	15'34"58

●女子 1000m

1位	土屋 直美	孺恋	1'30"22
2位	川田 恵	創世	1'30"92
3位	黒岩由紀乃	孺恋	1'31"63
4位	須藤 美泉	共愛	1'36"23
5位	今井 美樹	前女	1'36"47
6位	遠藤 裕美	青翠	1'39"65

●女子 3000m

1位	篠原 美希	孺恋	4'54"79
2位	飯島 彩	渋女	5'07"71

○男子オープン 1500m

1位	土屋 賢祐	孺恋	2'01"16
2位	土屋 直人	孺恋	2'02"48
3位	干川 盛二	孺恋	2'02"97
4位	黒岩 信允	孺恋	2'06"29
5位	篠原 嘉孝	孺恋	2'08"32

●女子学校対抗

1位	孺恋	31点	26回目	10連勝
2位	創世	11点		
3位	渋川女子	10点		
4位	前橋女子	5点		
4位	共愛学園	5点		
6位	渋川青翠	2点		

平成16年度第39回群馬県高等学校総合体育大会
 兼 第54回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)
 平成16年12月28日・29日 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

○男子 500m

1位	野中 恵太(前商)	39"52
2位	木暮 昭仁(前商)	40"22
3位	黒岩 亮太(孺恋)	40"85
4位	田中 慎悟(孺恋)	41"24
5位	磯村 翼(桐工)	43"88
6位	鍋谷 学志(桐南)	56"96

○男子 1500m

1位	黒岩 徳幸(孺恋)	2'02"00
2位	宮崎 直人(孺恋)	2'05"39
3位	三田 元気(渋川)	2'11"27
4位	三田 太陽(渋川)	2'13"04
5位	高野 守弘(桐南)	2'14"88
6位	磯村 翼(桐工)	2'15"56

○男子2000mR

1位	孺恋(黒岩亮太、奥村一樹、干川芳紀、土屋直人)	2'37"88
----	-------------------------	---------

●女子 500m

1位	小池由佳子(育英)	42"94
2位	川田 恵(創世)	43"31
3位	土屋 直美(孺恋)	43"82
4位	黒岩由紀乃(孺恋)	45"49
5位	遠藤 裕美(青翠)	46"54
6位	今井 美樹(前女)	47"64
7位	鈴木 宏美(桐南)	48"64
8位	鍋谷 美帆(桐南)	51"95
9位	鍋谷 朋美(桐女)	53"05

●女子 1500m

1位	今井まどか(創世)	2'16"56
2位	菅井 美穂(渋女)	2'21"96
3位	久保佳乃子(孺恋)	2'26"52
4位	市場真奈美(孺恋)	2'30"50

●女子2000mR

1位	孺恋(土屋直美、黒岩由紀乃、市場真奈美、久保佳乃子)	3'05"37
----	----------------------------	---------

○男子オープン 500m

1位	山越 竜輔(孺恋)	38"13
2位	奥村 一樹(孺恋)	39"12
3位	干川 芳紀(孺恋)	39"26
4位	土屋 一馬(孺恋)	39"67

○男子オープン 1500m

1位	土屋 直人(孺恋)	1'59"13
2位	黒岩 泰成(孺恋)	2'03"44
3位	黒岩 信允(孺恋)	2'04"07
4位	土屋 駿弥(孺恋)	2'08"63
5位	黒岩 健太(孺恋)	2'12"33
6位	黒岩 大樹(孺恋)	2'12"60
7位	尾崎 将太(孺恋)	2'15"58

○男子学校対抗

1位	孺恋	76点	32回目	32連勝
2位	前橋商業	26点		
3位	渋川	24点		
4位	桐生南	14点		
5位	桐生工	7点		

○男子 1000m

1位	奥村 一樹(孺恋)	1'19"52
2位	干川 芳紀(孺恋)	1'22"09
3位	野中 恵太(前商)	1'22"89
4位	木暮 昭仁(前商)	1'22"99
5位	高野 守弘(桐南)	1'28"77
6位	鍋谷 学志(桐南)	1'32"35

○男子 5000m

1位	土屋 直人(孺恋)	7'10"33
2位	三田 太陽(渋川)	7'59"05
3位	三田 元気(渋川)	8'01"81
4位	尾崎 将太(孺恋)	8'07"72

○男子 10000m

1位	黒岩 信允(孺恋)	14'58"56
2位	黒岩 泰成(孺恋)	15'45"85

●女子 1000m

1位	小池由佳子(育英)	1'30"14
2位	今井 まどか(創世)	1'30"56
3位	川田 恵(創世)	1'30"98
4位	黒岩由紀乃(孺恋)	1'35"02
5位	鈴木 宏美(桐南)	1'39"09
6位	今井 美樹(前女)	1'39"21
7位	遠藤 裕美(青翠)	1'39"97
8位	土屋 直美(孺恋)	1'45"77
9位	鍋谷 美帆(桐南)	1'56"36
10位	鍋谷 朋美(桐女)	1'57"94

●女子 3000m

1位	菅井 美穂(渋女)	5'06"18
2位	久保佳乃子(孺恋)	5'19"67

○男子オープン 1000m

1位	山越 竜輔(孺恋)	1'18"41
2位	黒岩 徳幸(孺恋)	1'22"48
3位	宮崎 直人(孺恋)	1'23"07
4位	土屋 一馬(孺恋)	1'24"61
5位	田中 慎吾(孺恋)	1'25"44
6位	黒岩 亮太(孺恋)	1'25"47
7位	土屋 駿弥(孺恋)	1'26"17
8位	黒岩 健太(孺恋)	1'29"28
9位	黒岩 大樹(孺恋)	1'29"33

●女子オープン 1000m

1位	市場真奈美(孺恋)	1'38"84
----	-----------	---------

●女子学校対抗

1位	孺恋	29点	27回目	11連勝
2位	創世	20点		
3位	前橋育英	12点		
4位	渋川女子	11点		
5位	渋川青翠	2点		
5位	桐生南	2点		
7位	前橋女子	2点		
8位	桐生女子	0点		

平成17年度
第40回群馬県高等学校総合体育大会
兼 第55回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)

平成18

CR=大会新記録

○男子 500m

1位 木暮 昭仁(前商)	39"24
2位 田中 慎悟(嬬恋)	39"49
3位 磯村 翼(桐工)	42"90
4位 黒岩 亮太(嬬恋)	45"22

○男子 1000m

1位 山越 竜輔(嬬恋)	1'15"87 CR
2位 干川 芳紀(嬬恋)	1'19"50
3位 木暮 昭仁(前商)	1'19"87

○男子 1500m

1位 奥村 一樹(嬬恋)	2'03"39
2位 黒岩 大樹(嬬恋)	2'09"97

○男子 5000m

1位 黒岩 徳幸(嬬恋)	7'25"75
2位 尾崎 将太(嬬恋)	7'51"83

○男子 10000m

1位 黒岩 信允(嬬恋)	14'23"91
2位 黒岩 泰成(嬬恋)	15'10"56

○男子2000mR

1位 嬬恋 (山越竜輔、奥村一樹、干川芳紀、田中慎吾)	2'33"23
-----------------------------	---------

●女子 500m

1位 土屋 直美(嬬恋)	42"60
2位 小池由佳子(育英)	42"81
3位 川田 恵(創世)	43"05
4位 市場真奈美(嬬恋)	44"47

●女子 1000m

1位 土屋 直美(嬬恋)	1'24"69 CR
2位 小池由佳子(育英)	1'27"27
3位 川田 恵(創世)	1'29"42
4位 黒岩由紀乃(嬬恋)	1'31"85
5位 今井 まどか(創世)	1'32"09

●女子 1500m

1位 黒岩 美生(嬬恋)	2'14"64 CR
2位 菅井 美穂(渋女)	2'18"96
3位 今井まどか(創世)	2'20"75
4位 久保佳乃子(嬬恋)	2'21"20

●女子 3000m

1位 黒岩 美生(嬬恋)	4'45"35
2位 菅井 美穂(渋女)	4'52"83
3位 久保佳乃子(嬬恋)	4'57"42

●女子2000mR

1位 嬬恋 (土屋直美、黒岩由紀乃、黒岩 美生、市場真奈美)	2'54"81
--------------------------------	---------

○男子オープン 500m

1位 干川 芳紀(嬬恋)	39"64
2位 黒岩 徳幸(嬬恋)	40"32
3位 黒岩 泰成(嬬恋)	40"43
4位 黒岩 信允(嬬恋)	40"51

○男子オープン 1000m

1位 奥村 一樹(嬬恋)	1'18"02
2位 田中 慎吾(嬬恋)	1'19"95
3位 黒岩 大樹(嬬恋)	1'22"55
4位 黒岩 亮太(嬬恋)	1'22"59

○男子オープン 1500m

1位 山越 竜輔(嬬恋)	1'59"52
2位 尾崎 将太(嬬恋)	2'12"83

●女子オープン 1000m

1位 市場真奈美(嬬恋)	1'32"82
--------------	---------

●女子オープン 1500m

1位 黒岩由紀乃(嬬恋)	2'23"11
--------------	---------

○男子学校対抗

1位 嬬恋	79点	33回目	33連勝
2位 前橋商業	14点		
3位 桐生工	6点		

●女子学校対抗

1位 嬬恋	42点	28回目	12連勝
2位 創世	14点		
3位 渋川女子	10点		
3位 前橋育英	10点		

平成18年度
第41回群馬県高等学校総合体育大会成績一覧表
第56回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)
平成19年1月6日・7日 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク
CR=大会新記録

○男子 500m

1位 山越竜輔(孺恋)	37"60 CR
2位 干川芳紀(孺恋)	38"78
3位 小川輝之(前商)	39"38
4位 小松広和(渋工)	43"50
5位 横手裕二(青翠)	43"70
6位 岡村健人(渋工)	45"26

○男子 1500m

1位 土屋駿弥(孺恋)	2'03"57
2位 黒岩大樹(孺恋)	2'11"45

○男子 10000m

1位 黒岩泰成(孺恋)	14'45"18
2位 尾崎将太(孺恋)	16'11"61

●女子 500m

1位 宮崎麻衣(孺恋)	42"63
2位 小池由佳子(育英)	42"69
3位 市場真奈美(孺恋)	44"48
4位 今井まどか(創世)	46"26
5位 善養寺梢(渋女)	50"06

●女子 1500m

1位 黒岩美生(孺恋)	2'11"68 CR
2位 菅井美穂(渋女)	2'15"95
3位 今井まどか(創世)	2'19"22
4位 久保和乃子(孺恋)	2'22"73

○男子オープン 500m

1位 黒岩大樹(孺恋)	42"11
2位 佐藤潤一(孺恋)	42"91

○男子オープン 1500m

1位 田中慎吾(孺恋)	2'04"56
-------------	---------

●女子オープン 1000m

1位 市場真奈美(孺恋)	1'33"82
--------------	---------

○男子2000mR

1位 孺恋(山越竜輔、田中慎吾、干川芳紀、黒岩泰成)	2'34"65
----------------------------	---------

●女子2000mR

1位 孺恋(宮崎麻衣、市場菜々世、黒岩美生、市場真奈美)	2'50"72 CR
------------------------------	------------

○男子学校対抗

1位 孺恋	81点	34回目	34連勝
2位 渋川工業	15点		
3位 前橋商業	13点		
4位 渋川青翠	9点		

○男子 1000m

1位 山越竜輔(孺恋)	1'18"60
2位 小川輝之(前商)	1'21"07
3位 田中慎吾(孺恋)	1'21"83
4位 横手裕二(青翠)	1'30"18
5位 小松広和(渋工)	1'35"31
6位 岡村健人(渋工)	1'38"94

○男子 5000m

1位 黒岩泰成(孺恋)	7'13"39
2位 尾崎将太(孺恋)	7'51"72

●女子 1000m

1位 黒岩美生(孺恋)	1'24"97
2位 宮崎麻衣(孺恋)	1'27"74
3位 小池由佳子(育英)	1'28"51
4位 善養寺梢(渋女)	1'41"28

●女子 3000m

1位 市場菜々世(孺恋)	4'46"09
2位 菅井美穂(渋女)	4'48"91
3位 小林佳乃子(孺恋)	4'55"70

○男子オープン 1000m

1位 干川芳紀(孺恋)	1'21"14
2位 土屋駿弥(孺恋)	1'21"82
3位 佐藤潤一(孺恋)	1'34"27

●女子オープン 500m

1位 市場菜々世(孺恋)	44"04
2位 小林佳々子(孺恋)	45"77
3位 久保和乃子(孺恋)	1'10"35

●女子学校対抗

1位 孺恋	45点	29回目	13連勝
2位 渋川女子	15点		
3位 前橋育英	9点		
4位 創世	7点		

平成19年度
 第42回群馬県高等学校総合体育大会成績一覧表
 兼 第57回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)
 平成20年1月5日(土)・6日(日) 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク
 CR=大会新記録 DQ=失格

○男子 500m

1位	小川輝之(前商)	38"16
2位	黒岩聖矢(菫育)	38"97
3位	佐藤潤一(孺恋)	40"28
4位	横手裕二(青翠)	40"41
5位	千川岳洋(孺恋)	40"51
6位	小松広和(渋工)	42"53

○男子 1000m

1位	小川輝之(前商)	1'17"34
2位	黒岩聖矢(菫育)	1'18"20
3位	武藤久和(孺恋)	1'19"40
4位	横手裕二(青翠)	1'22"36
5位	佐藤潤一(孺恋)	1'23"03
6位	小松広和(渋工)	1'24"05

○男子 1500m

1位	武藤久和(孺恋)	2'03"09
2位	千川岳洋(孺恋)	2'05"29
3位	新井佳晃(農二)	2'06"29

○男子 5000m

1位	黒岩紘岳(孺恋)	7'26"94
2位	新井佳晃(農二)	7'44"96

○男子 10000m

1位	黒岩紘岳(孺恋)	15'00"27
----	----------	----------

●女子 500m

1位	黒岩美生(孺恋)	41"79
2位	宮崎麻衣(孺恋)	41"80
3位	小島理沙(共愛)	45"02
4位	善養寺梢(渋女)	48"21

●女子 1000m

1位	黒岩美生(孺恋)	1'24"18 CR
2位	宮崎麻衣(孺恋)	1'25"45
3位	小島理沙(共愛)	1'34"95
4位	善養寺梢(渋女)	1'40"02

●女子 1500m

1位	市場菜々世(孺恋)	2'14"24
2位	久保和乃子(孺恋)	2'18"34

●女子 3000m

1位	市場菜々世(孺恋)	4'39"70
2位	久保和乃子(孺恋)	4'49"89

○男子2000mR

孺恋(千川岳洋、黒岩紘岳、武藤久和、佐藤潤一) DQ

●女子2000mR

1位	孺恋(宮崎麻衣、市場菜々世、黒岩美生、久保和乃子)	2'49"21 CR
----	---------------------------	------------

○男子学校対抗

1位	孺恋	51点	35回目	35連勝
2位	前橋商業	16点		
3位	前橋育英	14点		
4位	東農大二	13点		
5位	渋川青翠	10点		
6位	渋川工業	6点		

●女子学校対抗

1位	孺恋	49点	30回目	14連勝
2位	共愛学園	8点		
3位	渋川女子	6点		

平成20年度
 第43回群馬県高等学校総合体育大会成績一覧表
 第58回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)
 平成20年12月27日(土)・28日(日) 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

○男子 500m

1位	黒岩 聖矢 (育英)	39"17
2位	横手 祐二 (青翠)	39"65
3位	武藤 久和 (孺恋)	40"06
4位	小川 輝之 (前商)	40"91
5位	佐藤 潤一 (孺恋)	41"37
6位	小松 広和 (渋工)	41"61

○男子 1500m

1位	奥村 雄樹 (孺恋)	2'01"95
2位	下田 琢也 (孺恋)	2'04"84
3位	新井 佳晃 (農二)	2'11"88

○男子 10000m

1位	黒岩 紘岳 (孺恋)	15'12"05
2位	土屋 勝弥 (孺恋)	16'03"40

●女子 500m

1位	宮崎 麻衣 (孺恋)	41"75
2位	井上 瑞穂 (孺恋)	43"53
3位	小島 理沙 (共愛)	46"49
4位	善養寺 梢 (渋女)	49"72

●女子 1500m

1位	市場菜々世 (孺恋)	2'15"14
2位	齋藤 慧巳 (孺恋)	2'29"42

○男子2000mR

1位	孺恋 (干川岳洋、武藤久和、奥村雄樹、佐藤潤一)	2'38"69
----	--------------------------	---------

●女子2000mR

1位	孺恋 (宮崎麻衣、黒岩美貴、市場菜々世、井上瑞穂)	2'53"91
----	---------------------------	---------

○男子学校対抗

1位	孺恋高等学校	51点	36回目	36歳連勝
2位	前橋育英高校	12点		
3位	渋川青翠高校	10点		
4位	東京農大第二高校	8点		
5位	前橋商業高校	5点		
6位	渋川工業高校	2点		

○男子 1000m

1位	黒岩 聖矢 (育英)	1'18"64
2位	横手 祐二 (青翠)	1'19"78
3位	武藤 久和 (孺恋)	1'21"63
4位	干川 岳洋 (孺恋)	1'21"65
5位	小川 輝之 (前商)	1'24"12
6位	小松 広和 (渋工)	1'25"94

○男子 5000m

1位	黒岩 紘岳 (孺恋)	7'30"47
2位	干川 広貴 (孺恋)	8'02"46
3位	新井 佳晃 (農二)	8'08"70

●女子 1000m

1位	宮崎 麻衣 (孺恋)	1'26"40
2位	黒岩 美貴 (孺恋)	1'31"57
3位	小島 理沙 (共愛)	1'33"70
4位	善養寺 梢 (渋女)	1'40"45

●女子 3000m

1位	市場菜々世 (孺恋)	4'57"60
2位	久保和乃子 (孺恋)	5'02"47

●女子学校対抗

1位	孺恋高等学校	49点	31回目	15連勝
2位	共愛学園高	8点		
3位	渋川女子高	6点		

平成21年度
第44回群馬県高等学校総合体育大会成績一覧表
兼 第59回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)
平成22年1月5日(火)・6日(水) 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

○男子 500m

1位	黒岩 聖矢(育英)	38"46
2位	古市 博人(嬭恋)	39"17
3位	田中 正晃(嬭恋)	40"44

男子 500mオープン

1位	奥村 雄樹(嬭恋)	38"35
2位	千川 岳洋(嬭恋)	40"01

○男子 1500m

1位	下田 琢也(嬭恋)	2'04"79
2位	武藤 久和(嬭恋)	2'06"88
3位	石塚 貴大(前橋)	2'12"78
4位	並木 崇人(渋工)	2'17"87
5位	川崎 穂高(前橋)	2'20"12

男子 1500mオープン

1位	黒岩 紘岳(嬭恋)	2'02"36
2位	土屋 勝弥(嬭恋)	2'06"29
3位	千川 広貴(嬭恋)	2'09"04
4位	田中 博基(嬭恋)	2'09"51
5位	黒岩宗一郎(嬭恋)	2'12"21

●女子 500m

1位	井上 瑞穂(嬭恋)	44"44
2位	小島 理沙(共愛)	45"61
3位	黒岩亜沙美(嬭恋)	47"84

●女子 1500m

1位	齋藤 慧巳(嬭恋)	2'20"39
2位	菅井 麻由(渋女)	2'23"13
3位	黒岩 美貴(嬭恋)	2'23"47

女子 1500mオープン

1位	井上明香莉(嬭恋)	2'29"74
2位	黒岩亜沙美(嬭恋)	2'30"11

○男子2000mR

1位	嬭恋(古市博人、下田琢也、奥村雄樹、黒岩紘岳)	2'35"23
----	-------------------------	---------

●女子2000mR

1位	嬭恋(井上瑞穂、齋藤慧美、黒岩美貴、黒岩亜沙美)	3'07"28
----	--------------------------	---------

○男子学校対抗

1位	嬭恋高等学校	57点	37回目	37連勝
2位	前橋育英高校	11点		
3位	前橋高校	10点		
4位	東京農大第二高校	8点		
5位	渋川工業高校	5点		

○男子 1000m

1位	奥村 雄樹(嬭恋)	1'16"10
2位	黒岩 聖矢(育英)	1'16"23
3位	千川 岳洋(嬭恋)	1'21"52

男子 1000mオープン

1位	古市 博人(嬭恋)	1'18"26
2位	武藤 久和(嬭恋)	1'18"97
3位	下田 琢也(嬭恋)	1'19"10
4位	田中 博基(嬭恋)	1'20"56
5位	田中 正晃(嬭恋)	1'21"85

○男子 5000m

1位	黒岩宗一郎(嬭恋)	7'44"22
2位	千川 広貴(嬭恋)	7'45"49
3位	新井 佳晃(農二)	7'56"33
4位	石塚 貴大(前橋)	8'08"81
5位	並木 崇人(渋工)	8'41"12
6位	川崎 穂高(前橋)	8'42"95

○男子 10000m

1位	黒岩 紘岳(嬭恋)	14'59"54
2位	土屋 勝弥(嬭恋)	15'36"74
3位	新井 佳晃(農二)	16'31"15

●女子 1000m

1位	黒岩 美貴(嬭恋)	1'29"14
2位	井上 瑞穂(嬭恋)	1'30"41
3位	小島 理沙(共愛)	1'33"97

●女子 3000m

1位	齋藤 慧巳(嬭恋)	4'50"85
2位	菅井 麻由(渋女)	5'04"55
3位	井上明香莉(嬭恋)	5'08"69

●女子学校対抗

1位	嬭恋高校	42点	32回目	16連勝
2位	渋川女子高校	10点		
3位	共愛学園高校	9点		

平成22年度
 第45回群馬県高等学校総合体育大会成績一覧表
 兼 第60回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)
 平成23年1月5日(水)・6日(木) 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク
 CR=大会新記録

○男子 500m

1位	田中 正晃(嬭恋)	39"03
----	-----------	-------

男子 500mオープン

1位	奥村 雄樹(嬭恋)	37"79
2位	古市 博人(嬭恋)	38"33
3位	下田 琢也(嬭恋)	38"92
4位	千川 広貴(嬭恋)	40"02

○男子 1500m

1位	田中 博基(嬭恋)	2'03"12
2位	石塚 貴大(前橋)	2'10"46
3位	並木 崇人(渋工)	2'14"12

男子 オープン1500m

1位	土屋 勝弥(嬭恋)	2'02"48
2位	黒岩 紀之(嬭恋)	2'02"58

○男子 10000m

1位	土屋 良輔(嬭恋)	14'31"86
2位	黒岩宗一郎(嬭恋)	15'04"86

●女子 500m

1位	千葉 捺美(前商)	42"22
2位	黒岩 美貴(嬭恋)	43"78
3位	蜂須賀玲菜(嬭恋)	45"76

女子 オープン500m

1位	井上 瑞穂(嬭恋)	1'02"35
----	-----------	---------

●女子 1500m

1位	菅井 麻由(渋女)	2'17"68
2位	山崎 実紀(嬭恋)	2'25"27

女子 1500mオープン

1位	齋藤 慧巳(嬭恋)	2'17"70
2位	黒岩亜沙美(嬭恋)	2'20"87
3位	加部 祥子(嬭恋)	2'46"05

○男子2000mR

1位	嬭恋 (古市博人、田中 正晃、千川広貴、奥村雄樹)	2'34"12
----	---------------------------	---------

●女子2000mR

1位	嬭恋 (井上瑞穂、齋藤慧巳、黒岩 美貴、蜂須賀玲菜)	3'01"42
----	----------------------------	---------

○男子学校対抗

1位	嬭恋高等学校	50点	38回目	38連勝
2位	前橋高校	9点		
3位	渋川工業高校	7点		

○男子 1000m

1位	田中 正晃(嬭恋)	1'19"01
2位	田中 博基(嬭恋)	1'19"18

男子 1000mオープン

1位	奥村 雄樹(嬭恋)	1'14"90
2位	下田 琢也(嬭恋)	1'15"75
3位	古市 博人(嬭恋)	1'16"97
4位	黒岩 紀之(嬭恋)	1'18"27

○男子 5000m

1位	土屋 良輔(嬭恋)	6'57"22 CR
2位	黒岩宗一郎(嬭恋)	7'12"24
3位	石塚 貴大(前橋)	8'22"96
4位	並木 崇人(渋工)	8'35"16

男子 オープン5000m

1位	土屋 勝弥(嬭恋)	7'43"72
2位	千川 広貴(嬭恋)	7'53"66

●女子 1000m

1位	千葉 捺美(前商)	1'27"90
2位	黒岩 美貴(嬭恋)	1'30"31
3位	蜂須賀玲菜(嬭恋)	1'35"38

女子 1000mオープン

1位	黒岩亜沙美(嬭恋)	1'30"90
2位	井上 瑞穂(嬭恋)	1'31"57
3位	加部 祥子(嬭恋)	1'48"38

●女子 3000m

1位	菅井 麻由(渋女)	5'00"62
2位	山崎 実紀(嬭恋)	5'16"57

女子 3000mオープン

1位	齋藤 慧巳(嬭恋)	4'50"00
----	-----------	---------

●女子学校対抗

1位	嬭恋高校	33点	33回目	17連勝
2位	前橋商業高校	12点		
2位	渋川女子高校	12点		

平成23年度
第46回群馬県高等学校総合体育大会成績一覧表
第61回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)
平成23年12月28日(水)・29日(木) 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

○男子 500m

1位	田中 正晃(嬭恋)	39"32
2位	田口一代(健大高)	42"31
3位	松崎 雄也(中央中等)	43"44

○男子 1000m

1位	黒岩 紀之(嬭恋)	1'18"69
2位	田中 正晃(嬭恋)	1'20"48
3位	並木 崇人(嬭恋)	1'24"47
4位	田口 一代(健大高)	1'25"50
5位	松崎 雄也(中央中等)	1'30"85

○男子 1500m

1位	黒岩 紀之(嬭恋)	2'02"60
2位	田中 博基(嬭恋)	2'04"27
3位	並木 崇人(渋工)	2'11"84

○男子 5000m

1位	土屋 良輔(嬭恋)	7'02"71
2位	小林 創(嬭恋)	7'41"56

○男子 10000m

1位	土屋 良輔(嬭恋)	1'34"82
2位	小林 創(嬭恋)	15'52"62

○男子2000mR

1位	嬭 恋	(田中正晃 土屋良輔 田中博基 黒岩紀之)
----	-----	-----------------------

男子 1000mオープン

1位	田中 博基(嬭恋)	1'18"34
----	-----------	---------

●女子 500m

1位	蜂須賀玲菜(嬭恋)	45"71
2位	松崎 智子(健大高)	48"13
3位	中野 楓(健大高)	49"39

●女子 1000m

1位	千葉 捺美(前商)	1'26"49
2位	松崎 智子(健大高)	1'36"04
3位	千葉 夏鈴(前商)	1'39"04
4位	蜂須賀玲菜(嬭恋)	1'39"11
5位	中野 楓(健大高)	1'42"05

●女子 1500m

1位	菅井 麻由(渋女)	2'13"14
2位	山崎 萌香(嬭恋)	2'21"36
3位	千葉 夏鈴(前商)	2'33"54

●女子 3000m

1位	菅井 麻由(渋女)	4'52"88
2位	山崎 萌香(嬭恋)	5'01"42

●女子2000mR

1位	嬭 恋	2'57"97
----	-----	---------

(井上明香莉、黒岩亜沙美、樋 沙織、蜂須賀玲菜)

女子 1000mオープン

1位	黒岩亜沙美(嬭恋)	1'34"95
2位	加部 祥子(嬭恋)	1'45"13

女子 1500mオープン

1位	齋藤 慧巳(嬭恋)	2'17"70
2位	黒岩亜沙美(嬭恋)	2'20"87
3位	加部 祥子(嬭恋)	2'46"05

女子 3000mオープン

1位	樋 沙織(嬭恋)	4'35"11
2位	井上明香莉(嬭恋)	5'05"28

○男子学校対抗

1位	嬭 恋	55点	39回目 39連勝
2位	健 大 高	8点	(上位入賞数による)
3位	渋 工	8点	
4位	中 央 中 等	6点	

●女子学校対抗

1位	嬭 恋	24点	34回目 18連勝
2位	健 大 高	16点	
3位	前 商	14点	
4位	渋 女	12点	

平成24年度
 第47回群馬県高等学校総合体育大会成績一覧表
 第62回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)
 平成25年1月5日(土)・6日(日) 群馬県総合スポーツセンター 伊香保リンク
 CR=大会新記録

○男子 500m

1位	小林 裕司(孺恋1)	39"18
2位	田子 隆太(孺恋1)	41"21
3位	田口 一代(健大高3)	42"51

○男子 5000m

1位	土屋 良輔(孺恋3)	6'50"78 CR
2位	加部 貴裕(孺恋1)	7'20"25

○男子 1000m

1位	黒岩 紀之(孺恋3)	1'16"92
2位	本間 源大(孺恋2)	1'21"71
3位	田口 一代(健大高3)	1'25"87

○男子 10000m

1位	土屋 良輔(孺恋3)	14'52"83
2位	飯塚 智樹(孺恋1)	15'54"75

○男子 1500m

1位	小林 創(孺恋2)	2'03"93
2位	土屋 絹弥(孺恋1)	2'05"47

男子 500mオープン

1位	一場 伸一(孺恋1)	40"55
----	------------	-------

男子 1500mオープン

1位	加部 貴裕(孺恋1)	2'02"09
2位	黒岩 紀之(孺恋3)	2'03"52
3位	倉持 慶(孺恋1)	2'10"44
4位	本間 源大(孺恋2)	2'11"51

男子 1000mオープン

1位	小林 裕司(孺恋1)	1'18"82
2位	一場 伸一(孺恋1)	1'21"99
2位	倉持 慶(孺恋1)	1'21"99
4位	田子 隆太(孺恋1)	1'22"49

男子 5000mオープン

1位	飯塚 智樹(孺恋1)	7'16"62
2位	小林 創(孺恋2)	7'28"35
3位	土屋 絹弥(孺恋1)	7'32"62

●女子 500m

1位	千葉 捺美(前商3)	42"55
2位	岡部 栞(健大高1)	44"35
3位	蜂須賀玲菜(孺恋3)	45"90
4位	田中 真理(孺恋2)	46"52
5位	松崎 智子(健大高2)	50"14

●女子 1500m

1位	樋 沙織(孺恋3)	2'10"63 CR
2位	山崎 実紀(孺恋3)	2'20"49
3位	中野 楓(健大高2)	2'47"84

●女子 1000m

1位	千葉 捺美(前商3)	1'25"06
2位	岡部 栞(健大高1)	1'32"57
3位	蜂須賀玲菜(孺恋3)	1'33"04
4位	松崎 智子(健大高2)	1'38"68

●女子 3000m

1位	山崎 実紀(孺恋3)	4'49"70
2位	山崎 萌香(孺恋2)	4'59"57
3位	中野 楓(健大高2)	5'44"29

女子 1500mオープン

1位	山崎 萌香(孺恋2)	2'23"13
----	------------	---------

女子 3000mオープン

1位	樋 沙織(孺恋3)	4'34"39
----	-----------	---------

○男子学校対抗

1位	孺恋	55点	40回目	40連勝
2位	健大高	8点		

●女子学校対抗

1位	孺恋	33点	35回目	19連勝
2位	健大高	23点		
3位	前商	12点		

平成25年度
 第50回群馬県高等学校総合体育大会成績一覧表
 第63回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)
 平成26年1月4日(土)・5日(日) 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

○男子 500m

1位	小林裕司 (嬭恋)	38"40
2位	田子隆太 (嬭恋)	40"66
3位	大崎匠家 (渋川)	41"28
4位	相田将太郎 (渋工)	42"96

○男子 1000m

1位	一場伸一 (嬭恋)	1'19"59
2位	本間源大 (嬭恋)	1'21"49
3位	大崎匠家 (渋川)	1'23"63
4位	相田将太郎 (渋工)	1'27"48

○男子 1500m

1位	倉持慶 (嬭恋)	2'03"77
2位	土屋育 (前橋)	2'04"77

○男子 5000m

1位	加部貴裕 (嬭恋)	7'07"60
2位	飯塚智樹 (嬭恋)	7'25"04
3位	土屋育 (前橋)	7'38"03

○男子 10000m

1位	飯塚智樹 (嬭恋)	15'02"66
2位	加部貴裕 (嬭恋)	15'03"71

○男子2000mR

1位	嬭恋	2'36"90
----	----	---------

(小林裕司、一場伸一、倉持慶、加部貴裕)

男子 500mオープン

1位	一場伸一 (嬭恋)	39"33
----	-----------	-------

男子 1000mオープン

1位	小林裕司 (嬭恋)	1'19"23
2位	倉持慶 (嬭恋)	1'19"94
3位	田子隆太 (嬭恋)	1'22"91
4位	萩原拓巳 (嬭恋)	1'43"10

男子 1500mオープン

1位	本間源大 (嬭恋)	2'07"36
2位	萩原拓巳 (嬭恋)	2'07"95

男子 5000mオープン

1位	羽生田康貴 (嬭恋)	7'30"95
----	------------	---------

男子 10000mオープン

1位	羽生田康貴 (嬭恋)	15'56"22
----	------------	----------

●女子 500m

1位	岡部栞 (健大高)	43"65
2位	田中真理 (嬭恋)	44"69
3位	大川愛弓 (渋女)	45"67
4位	高橋七星 (太工)	58"30
5位	細谷知世 (桐女)	59"07

●女子 1000m

1位	田中真理 (嬭恋)	1'30"89
2位	岡部栞 (健大高)	1'31"61
3位	大川愛弓 (渋女)	1'31"99
4位	山崎真里菜 (嬭恋)	1'33"10
5位	高橋七星 (太工)	2'03"92

●女子 1500m

1位	黒岩史聖 (嬭恋)	2'21"48
2位	山崎真里菜 (嬭恋)	2'26"06

●女子 3000m

1位	黒岩史聖 (嬭恋)	5'01"44
----	-----------	---------

○男子学校対抗

1位	嬭恋	55点	41回目	41連勝
2位	前橋	9点		
3位	渋川	8点		
4位	渋工	6点		

●女子学校対抗

1位	嬭恋	31点	36回目
2位	健大高	1点	
3位	渋女	8点	
4位	太工	5点	
5位	桐女	2点	

平成26年度
第49回群馬県高等学校総合体育大会成績一覧表

第64回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)

平成27年1月5日(月)・6日(火) 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

○男子 500m

1位	一場 伸一(嬭恋)	38"85
2位	田子 隆太(嬭恋)	39"96
3位	大崎 匠家(渋川)	40"31
4位	久佐 拓己(渋工)	40"69
5位	伊藤 裕希(前西)	42"15

○男子 1500m

1位	倉持 慶(嬭恋)	2'00"19
2位	土屋 育(前橋)	2'00"22
3位	萩原 拓巳(嬭恋)	2'06"03

○男子 10000m

1位	飯塚 智樹(嬭恋)	14'29"44
2位	羽生田 康貴(嬭恋)	15'08"01

男子 500mオープン

1位	小林 裕司(嬭恋)	37"73
2位	干川 龍也(嬭恋)	41"61

男子 1500mオープン

1位	土屋 絹弥(嬭恋)	2'03"91
----	-----------	---------

●女子 500m

1位	岡部 栞(健大高)	44"23
2位	大川 愛弓(渋女)	46"79
3位	高橋 七星(太工)	57"41

●女子 1500m

1位	黒岩 千聖(嬭恋)	2'19"36
2位	黒岩 史聖(嬭恋)	2'19"82
3位	長岡 芽以(商大附)	2'46"11

女子 1500mオープン

1位	山崎 真里菜(嬭恋)	2'26"64
----	------------	---------

○男子学校対抗

1位	嬭恋	58.5点	42回目	42連勝
2位	前橋	9点	(上位入賞による)	
3位	渋川	8.5点		
4位	渋工	6点		
5位	前西	4点		

○男子 1000m

1位	土屋 絹弥(嬭恋)	1'21"33
2位	萩原 拓巳(嬭恋)	1'21"73
	大崎 匠家(渋川)	1'21"73
4位	久佐 拓己(渋工)	1'24"10
5位	伊藤 裕希(前西)	1'27"71

○男子 5000m

1位	加部 貴裕(嬭恋)	7'22"26
2位	羽生田 康貴(嬭恋)	7'47"40
3位	土屋 育(前橋)	7'49"53

○男子2000mR

1位	嬭恋	2'33"96
----	----	---------

(小林裕司、一場伸一、倉持 慶、田子隆太)
嬭恋

男子 1000mオープン

1位	小林 裕司(嬭恋)	1'18"97
2位	倉持 慶(嬭恋)	1'19"37
3位	一場 伸一(嬭恋)	1'19"80
4位	田子 隆太(嬭恋)	1'23"50
5位	干川 龍也(嬭恋)	1'24"96

●女子 1000m

1位	岡部 栞(健大高)	1'31"24
2位	黒岩 千聖(嬭恋)	1'31"78
3位	大川 愛弓(渋女)	1'35"99
4位	高橋 七星(太工)	2'01"89

●女子 3000m

1位	黒岩 史聖(嬭恋)	5'01"00
2位	山崎 真里菜(嬭恋)	5'16"10
3位	長岡 芽以(商大附)	5'56"30

●女子学校対抗

1位	嬭恋	27点	37回目	21連勝
2位	健大高	12点		
3位	渋女	9点		
4位	商大附	8点		
5位	太工	7点		

平成27年度
第50回群馬県高等学校総合体育大会成績一覧表
第65回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)

平成27年12月28日(月)・29日(火) 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

○男子 500m

1位 横沢 公希(嬭恋)	39"73
2位 丸山 凜太朗(高崎)	40"54
3位 久佐 拓己(渋工)	41"09
4位 干川 龍也(嬭恋)	41"17

○男子 1000m

1位 横沢 公希(嬭恋)	1'19"19
2位 土屋 育(前橋)	1'21"87
3位 丸山 凜太朗(高崎)	1'23"12
4位 萩原 拓巳(嬭恋)	1'23"46
5位 久佐 拓己(渋工)	1'28"33

○男子 1500m

1位 土屋 育(前橋)	2'07"14
2位 小山 剛史(桐一)	2'08"71
3位 萩原 拓巳(嬭恋)	2'09"02
4位 飯塚 陸矢(嬭恋)	2'11"52

○男子 5000m

1位 黒岩 岳史(嬭恋)	7'37"47
2位 羽生田 康貴(嬭恋)	7'38"50
3位 小山 剛史(桐一)	7'42"82

○男子 10000m

1位 黒岩 岳史(嬭恋)	15'31"74
2位 羽生田 康貴(嬭恋)	16'00"97

男子 1000mオープン

1位 干川 龍也(嬭恋)	1'25"29
2位 飯塚 陸矢(嬭恋)	1'25"74

●女子 500m

1位 干川あゆみ(嬭恋)	44"68
2位 井上 紗江加(育英)	46"60
3位 篠原 未来(育英)	48"20

●女子 1000m

1位 黒岩 千聖(嬭恋)	1'30"95
2位 干川あゆみ(嬭恋)	1'32"51
3位 井上 紗江加(育英)	1'41"88
4位 長岡 芽以(商大府)	1'45"42
5位 篠原 未来(育英)	2'06"73

●女子 1500m

1位 黒岩 千聖(嬭恋)	2'24"49
2位 長岡 芽以(商大府)	2'45"00
3位 山崎 真里菜(嬭恋)	2'50"68

●女子 3000m

1位 山崎 真里菜(嬭恋)	5'14"59
---------------	---------

●女子 2000mR

1位 嬭 恋	3'01"72
--------	---------

(干川あゆみ、黒岩史聖、黒岩千聖、山崎真里菜)

○男子学校対抗

1位 嬭 恋	47点	43回目	43連勝
2位 前 橋	11点		
3位 高 崎	9点		
3位 桐 一	9点		
5位 渋 工	6点		

●女子学校対抗

1位 嬭 恋	37点	38回目	22連勝
2位 育 英	15点		
3位 商 大 附	8点		

平成28年度
第51回群馬県高等学校総合体育大会成績一覧表
第66回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)

平成28年12月27日(火)・28日(水) 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

○男子 500m

1位	横沢 公希(嬭恋)	39"47
2位	丸山凜太郎(高崎)	39"73
3位	干川 龍也(嬭恋)	40"89
4位	藤生 智也(桐工)	43"44
5位	久佐 拓己(渋工)	56"08

○男子 1500m

1位	蜂須賀大翔(嬭恋)	2'03"25
2位	小山 剛史(桐一)	2'05"98
3位	飯塚 陸矢(嬭恋)	2'12"60

○男子 10000m

1位	黒岩 岳史(嬭恋)	15'43"27
2位	黒岩 太陽(嬭恋)	15'52"69

○男子 2000mR

1位	嬭恋	2'40"49
----	----	---------

(横沢公希、蜂須賀大翔、飯塚陸矢、干川龍也)

●女子 500m

1位	大崎 有紗(渋女)	43"96
2位	干川あゆみ(嬭恋)	44"45
3位	柗瀬ななみ(市前橋)	47"81

●女子 1500m

1位	干川いずみ(嬭恋)	2'18"10
2位	黒岩 千聖(嬭恋)	2'23"89
3位	長岡 芽以(商大府)	2'39"71

○男子学校対抗

1位	嬭恋	56点	44回目	44連勝
2位	桐	10点		
2位	高崎	10点		
4位	渋工	5点		
4位	桐工	5点		

○男子 1000m

1位	横沢 公希(嬭恋)	1'20"48
2位	丸山凜太郎(高崎)	1'22"17
3位	干川 龍也(嬭恋)	1'25"36
4位	久佐 拓己(渋工)	1'27"53
5位	藤生 智也(桐工)	1'31"42

○男子 5000m

1位	黒岩 岳史(嬭恋)	7'38"44
2位	小山 剛史(桐一)	7'48"90
3位	蜂須賀大翔(嬭恋)	7'51"25

男子 1000mオープン

1位	飯塚 陸矢(嬭恋)	1'24"09
----	-----------	---------

男子 5000mオープン

1位	黒岩 太陽(嬭恋)	7'44"19
----	-----------	---------

●女子 1000m

1位	干川あゆみ(嬭恋)	1'30"60
2位	大崎 有紗(渋女)	1'31"77
3位	柗瀬ななみ(市前橋)	1'35"33
4位	長岡 芽以(商大府)	1'42"16
5位	黒岩 千聖(嬭恋)	2'01"78

●女子 3000m

1位	干川いずみ(嬭恋)	4'54"94
----	-----------	---------

●女子学校対抗

1位	嬭恋	30点	39回目	23連勝
2位	渋女	11点		
3位	市前橋	8点		
4位	商大附	7点		

平成29年度

第52回群馬県高等学校総合体育大会成績一覧表

兼 第67回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)

平成30年1月6日(土)・7日(日) 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク

○男子 500m

1位	横沢 公希(嬭恋)	38"31
2位	本間 新之助(嬭恋)	39"61
3位	清水 悠太(樹徳)	41"90
4位	藤生 智也(桐工)	42"40
5位	松崎 淳也(育英)	42"43
6位	小泉 思聞(農二)	45"15
7位	本田 泰斗(渋工)	45"40

○男子 1000m

1位	本間 新之助(嬭恋)	1'20"10
2位	伊藤 琢真(渋工)	1'20"84
3位	飯塚 陸矢(嬭恋)	1'24"30
4位	松崎 淳也(育英)	1'27"63
5位	清水 悠太(樹徳)	1'28"21
6位	本田 泰斗(渋工)	1'29"19
7位	小泉 思聞(農二)	1'32"05
8位	藤生 智也(桐工)	2'08"63

○男子 1500m

1位	蜂須賀大翔(嬭恋)	1'59"99
2位	小山 剛史(桐一)	2'02"42
3位	伊藤 琢真(渋工)	2'04"54
4位	黒岩 大地(嬭恋)	2'09"21

○男子 5000m

1位	干川 脩太(嬭恋)	7'18"47
2位	小山 剛史(桐一)	7'35"06
3位	黒岩 太陽(嬭恋)	7'38"33

○男子 10000m

1位	干川 脩太(嬭恋)	15'11"80
2位	黒岩 岳史(嬭恋)	15'54"02

○男子 2000mR

1位	嬭恋	2'37"13
----	----	---------

(黒岩大地、飯塚陸矢、蜂須賀大翔、本間新之助)

男子 500mオープン

1位	飯塚 陸矢(嬭恋)	39"79
----	-----------	-------

男子 1000mオープン

1位	黒岩 大地(嬭恋)	1'21"38
----	-----------	---------

男子 1500mオープン

1位	黒岩 太陽(嬭恋)	2'06"96
----	-----------	---------

男子 5000mオープン

1位	蜂須賀 大翔(嬭恋)	7'21"42
----	------------	---------

●女子 500m

1位	大崎 有紗(渋女)	43"55
2位	本多 優(嬭恋)	43"86
3位	大川 夏美(吾妻)	43"92
4位	干川 あゆみ(嬭恋)	45"66
5位	柗瀬 あかり(市立前)	46"17
6位	山口 友菜(市立前)	48"48

●女子 1000m

1位	大川 夏美(吾妻)	1'27"22
2位	本多 優(嬭恋)	1'28"35
3位	大崎 有紗(渋女)	1'29"64
4位	干川 あゆみ(嬭恋)	1'30"53
5位	柗瀬 ななみ(市立前)	1'35"01
6位	山口 友菜(市立前)	1'41"11

●女子 1500m

1位	篠原 梨乃(嬭恋)	2'16"06
2位	干川 いずみ(嬭恋)	2'20"04
3位	柗瀬 あかり(市立前)	2'24"39
4位	柗瀬 ななみ(市立前)	2'29"88

●女子 3000m

1位	篠原 梨乃(嬭恋)	4'49"69
2位	干川 いずみ(嬭恋)	5'08"77

●女子 2000mR

1位	嬭恋	3'01"26
----	----	---------

(干川あゆみ、干川いずみ、篠原梨乃、本多 優)

○男子学校対抗

1位	嬭恋	56点	45回目	45連勝
2位	桐一	10点	上位入賞数による	
3位	渋工	10点		
4位	樹徳	6点		
5位	育英	5点		
6位	桐工	3点		
7位	農二	1点		

●女子学校対抗

1位	嬭恋	43点	40回目	24連勝
2位	市前橋	11点		
3位	渋女	10点		
3位	吾妻	10点		

平成30年度
第53回群馬県高等学校総合体育大会成績一覧表
 兼 第68回群馬県高等学校スケート競技選手権大会(スピード競技)
 平成31年1月5日(土)・6日(日) 群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク
 DNS:棄権(組合せ後) WDR:棄権(組合せ前) DQ:失格

○男子 500m

1位	土屋 慶介(嬭恋)	38"51
2位	本間新之助(嬭恋)	39"24
3位	伊藤 琢真(渋工)	39"84
4位	松崎 淳也(育英)	41"43
5位	本田 泰斗(渋工)	45"27

○男子 1500m

1位	蜂須賀大翔(嬭恋)	2'00"46
2位	黒岩 太陽(嬭恋)	2'05"93
3位	梶原 碧(渋川)	2'20"04

○男子 10000m

1位	干川 脩太(嬭恋)	14'34"09
2位	伊藤 隼人(嬭恋)	DNS

男子 500mオープン

1位	山下 太一(渋工)	50"94
----	-----------	-------

男子 1500mオープン

1位	狩野 亜聞(嬭恋)	2'01"67
2位	黒岩 大地(嬭恋)	2'12"35

●女子 500m

1位	大川 夏美(吾中央)	42"82
2位	大崎 有紗(渋女)	44"19
3位	黒岩 花子(嬭恋)	45"31
4位	柗瀬あかり(市立前)	47"46
5位	山口 友菜(市立前)	49"00
6位	内田奈々美(利根実)	58"91

●女子 1500m

1位	本多 優(嬭恋)	2'15"75
2位	篠原 梨乃(嬭恋)	2'19"97
3位	新井 萌佳(四ツ葉)	2'31"03

●女子 2000mR

1位	嬭恋高校	2'57"24
(黒岩花子、干川いずみ、篠原梨乃、本多 優)		

○男子学校対抗

1位	嬭恋	44点	46回目	46連勝
2位	渋工	13点		
3位	渋川	9点		
4位	育英	6点		

○男子 1000m

1位	狩野 亜聞(嬭恋)	1'17"28
2位	伊藤 琢真(渋工)	1'18"82
3位	黒岩 大地(嬭恋)	1'22"74
4位	松崎 淳也(育英)	1'26"52
5位	本田 泰斗(渋工)	1'30"20

○男子 5000m

1位	蜂須賀大翔(嬭恋)	7'23"85
2位	梶原 碧(渋川)	8'12"75
3位	伊藤 隼人(嬭恋)	WDR

○男子 2000mR

1位	嬭恋高校	DQ
(本間新之助、黒岩太陽、蜂須賀大翔、土屋慶介)		

男子 1000mオープン

1位	土屋 慶介(嬭恋)	1'18"55
2位	本間新之助(嬭恋)	1'19"14
3位	山下 太一(渋工)	1'42"50

男子 5000mオープン

1位	干川 脩太(嬭恋)	7'10"85
2位	黒岩 太陽(嬭恋)	7'30"82

●女子 1000m

1位	本多 優(嬭恋)	1'26"22
2位	大川 夏美(吾中央)	1'27"55
3位	内田奈々美(利根実)	1'30"66
4位	大崎 有紗(渋女)	1'31"88
5位	黒岩 花子(嬭恋)	1'33"89
6位	山口 友菜(市立前)	1'40"45
7位	柗瀬あかり(市立前)	1'41"86

●女子 3000m

1位	篠原 梨乃(嬭恋)	4'44"82
2位	新井 萌佳(四ツ葉)	4'59"31

●女子学校対抗

1位	嬭恋	34点	41回目	25連勝
2位	吾中央	11点		
3位	四ツ葉	9点		
4位	渋女	8点		
5位	市前橋	6点		
6位	利根実	5点		

全国高等学校スケート競技選手権大会入賞者一覧

2000mR 6位 嬬恋 2分35秒54

HR:日本高校新記録 GHR:群馬県高校新記録
CR:大会新記録 RR:リンク新記録

黒岩 慶成(3) 奥村 一樹(1)
土屋 賢祐(3) 土屋 恭平(2)

学校対抗 8位 嬬恋 17点

平成11年度第49回大会【平成12年1月22日(土)～26日(水)】

平成16年度第54回大会【平成17年1月23日(日)～27日(金)】

栃木県日光市 日光霧降スケートセンター

青森県八戸市 長根運動公園スケート場

スピード競技

男子1000m 8位 山越 竜輔 嬬恋1 1分18秒98

男子500m 1位 土屋 清貴 嬬恋3 37秒56

5000m 8位 黒岩 信允 嬬恋2 7分14秒03

1500m 7位 小林 和朗 嬬恋3 1分58秒90

10000m 5位 黒岩 信允 嬬恋2 15分06秒82

5000m 1位 宮崎 今佐人 嬬恋3 7分00秒22

2000mR 3位 嬬恋 2分33秒86

4位 小林 和朗 嬬恋3 7分06秒83

山越 竜輔(1) 奥村 一樹(2)

10000m 1位 宮崎 今佐人 嬬恋3 14分19秒83 RR

干川 芳紀(1) 土屋 恭兵(3)

学校対抗 3位 嬬恋 39点

学校対抗 6位 嬬恋 21点

女子500m 8位 小川 賛菜 前商1 42秒72

平成17年度第55回大会【平成18年1月22日(日)～26日(木)】

平成12年度第50回大会【平成13年1月21日(日)～25日(木)】

北海道苫小牧市 ハイランドスポーツセンター

山梨県富士吉田市 富士急ハイランドセイコオーバル

男子500m1回目 6位 山越 竜輔 嬬恋2 38秒70

男子1000m 2位 橋爪 亮 嬬恋3 1分15秒89

2回目 7位 山越 竜輔 嬬恋2 38秒36

10000m 2位 黒岩 慎也 嬬恋3 14分40秒59

合計 6位 山越 竜輔 嬬恋2 77.06

2000MR 5位 嬬恋 2分31秒99

1000m 6位 山越 竜輔 嬬恋2 1分17秒29

学校対抗 6位 嬬恋 22点

5000m 1位 黒岩 信允 嬬恋3 7分02秒83

女子500m 7位 小川 賛菜 前商2 42秒40

10000m 1位 黒岩 信允 嬬恋3 14分23秒88 RR

1000m 6位 小川 賛菜 前商2 1分26秒43

2000mR 4位 嬬恋 2分35秒39

山越 竜輔(2) 奥村 一樹(3)

干川 芳紀(2) 田中 慎吾(2)

平成13年度第51回大会【平成14年1月20日(日)～24日(木)】

学校対抗 2位 嬬恋 36点

北海道帯広市 帯広の森アイススケートリンク

女子1000m 8位 土屋 直美 嬬恋3 1分27秒26

男子2000mR 3位 嬬恋 2分32秒18

1500m 7位 黒岩 美生 嬬恋1 2分16秒15

土屋 智広(2) 宮崎 伸介(3)

篠原 一紀(3) 菅藤 智(3)

2000mR 4位 嬬恋 2分55秒67

土屋 直美(3) 黒岩 由紀乃(3)

黒岩 美生(1) 市場 真奈美(2)

女子500m 8位 小川 賛菜 前商3 42秒24

学校対抗 8位 嬬恋 16点

1000m 5位 小川 賛菜 前商3 1分26秒82

平成18年度第56回大会【平成19年1月21日(日)～25日(木)】

平成14年度第52回全大会【平成15年1月19日(土)～23日(水)】

アイスホッケー競技選手権大会

群馬県総合スポーツセンター 伊香保リンク

栃木県日光市 日光霧降スケートセンター

男子2000mR 5位 嬬恋 2分34秒35

男子500m1回目 5位 山越 竜輔 嬬恋3 38秒29

土屋 智広(3) 黒岩 裕昭(3)

土屋 賢祐(2) 黒岩 慶成(2)

2回目 5位 山越 竜輔 嬬恋3 38秒06

合計 5位 山越 竜輔 嬬恋3 76.35

平成15年度第53回大会【平成16年1月21日(水)～25日(日)】

5000m 4位 黒岩 泰成 嬬恋3 7分09秒29

岩手県盛岡市 岩手県営スケート場

10000m 1位 黒岩 泰成 嬬恋3 15分02秒89

男子10000m 4位 黒岩 信允 嬬恋1 15分32秒39

2000mR 3位 嬬恋 2分33秒01

		山越 竜輔(3) 田中 慎吾(3)			
		千川 芳紀(3) 黒岩 泰成(3)			
学校対抗	3位 嬬 恋		32点		
女子500m1回目	5位 小池 由佳子育英3		42秒46		
	8位 宮崎 麻衣 嬬恋1		43秒18		
2回目	3位 宮崎 麻衣 嬬恋1		42秒65		
	8位 小池 由佳子育英3		43秒74		
合計	5位 宮崎 麻衣 嬬恋1		85.83 GHR		
	6位 小池 由佳子育英3		86.20		
1000m	5位 黒岩 美生 嬬恋2		1分25秒81		
100m	2位 黒岩 美生 嬬恋2		2分10秒64 GHR		
	7位 市場 菜々世嬬恋1		2分12秒98		
3000m	2位 市場 菜々世嬬恋1		4分35秒86		
	8位 菅井 美穂 渋谷3		4分39秒96		
2000mR	1位 嬬 恋		2分50秒70		
	宮崎 麻衣(1) 市場 菜々世(1)				
	黒岩 美生(2) 市場 真奈美(3)				
学校対抗	2位 嬬 恋		41点		

平成19年度第57回大会【平成20年1月20日(日)～24日(木)】

山梨県富士吉田市 富士急ハイランドセイコーオーバル

男子500m1回目	8位 小川 輝之 前商2		38秒53		
	10位 黒岩 聖矢 育英1		38秒81		
2回目	4位 小川 輝之 前商2		38秒08		
	8位 黒岩 聖矢 育英1		39"23		
合計	5位 小川 輝之 前商2		76.61		
	8位 黒岩 聖矢 育英1		78.09		
女子500m1回目	8位 宮崎 麻衣 嬬恋3		42秒09		
2回目	7位 宮崎 麻衣 嬬恋2		42秒43		
合計	8位 宮崎 麻衣 嬬恋3		84.52		
1000m	3位 黒岩 美生 嬬恋3		1分23秒10		
1500m	6位 市場 菜々世嬬恋2		2分16秒95		
2000mR	2位 嬬 恋				
	宮崎 麻衣(2) 市場 菜々世(2)				
	黒岩 美生(3) 久保 和乃子(2)				
学校対抗	4位 嬬 恋		26.5点		

平成20年度第58回大会【平成21年1月18日(日)～22日(木)】

岐阜県恵那市 クリスタルパーク恵那スケート場

男子500m1回目	1位 黒岩 聖矢 育英2		37秒63		
2回目	3位 黒岩 聖矢 育英2		37秒93		
合計	2位 黒岩 聖矢 育英2		75.56		

1000m	7位 黒岩 聖矢 育英2		1分17秒90		
10000m	6位 黒岩 紘岳 嬬恋2		14分48秒08		
2000mR	6位 嬬 恋		2分36秒73 RR		
	干川 岳洋(2) 武藤 和久(2)				
	奥村 雄樹(1) 佐藤 潤一(3)				
女子500m1回目	8位 宮崎 麻衣 嬬恋3		42秒09		
2回目	7位 宮崎 麻衣 嬬恋3		42秒43		
合計	8位 宮崎 麻衣 嬬恋3		84.52		
1000m	6位 宮崎 麻衣 嬬恋3		1分24秒87		
1500m	8位 市場 菜々世嬬恋3		2分12秒52		
2000mR	3位 嬬 恋		2分50秒31		
	宮崎 麻衣(3) 黒岩 美貴(1)				
	市場 菜々世(3) 井上 瑞穂(1)				
学校対抗	8位 嬬 恋		19点		

平成21年度第59回大会【平成22年1月20日(水)～24日(日)】

北海道釧路市 柳町スピードスケート場

男子500m1回目	4位 奥村 雄樹 嬬恋2		38秒74		
2回目	7位 奥村 雄樹 嬬恋2		38秒85		
合計	6位 奥村 雄樹 嬬恋2		77.59		
1000m	5位 奥村 雄樹 嬬恋2		1分18秒09		
2000mR	3位 嬬 恋		2分35秒38		
	古市 博人(1) 下田 琢也(2)				
	奥村 雄樹(2) 黒岩 紘岳(3)				
学校対抗	4位 嬬 恋		21点		
女子2000mR	4位 嬬 恋		3分00秒67		
	井上 瑞穂(2) 齋藤 慧巳(2)				
	黒岩 美貴(2) 黒岩 亜沙美(1)				
学校対抗	8位 嬬 恋		10点		

平成22年度第60回大会【平成23年1月17日(月)～21日(金)】

長野県長野市 エム・ウェーブ

男子500m1回目	3位 奥村 雄樹 嬬恋3		36秒84 GHR		
2回目	6位 奥村 雄樹 嬬恋3		36秒85 GHR		
合計	4位 奥村 雄樹 嬬恋3		73.69 GHR		
1000m	8位 下田 琢也 嬬恋3		1分14秒83		
5000m	2位 土屋 良輔 嬬恋1		6分45秒88		
10000m	1位 土屋 良輔 嬬恋1		13分53秒82 GHR		
2000mR	3位 嬬 恋		2分27秒15		
			HR,GHR,CR,RR		
	古市 博人(2) 田中 正晃(2)				
	干川 広貴(3) 奥村 雄樹(3)				

学校対抗 3位 嬬 恋 37点
女子1500m 5位 樋 沙織 嬬恋1 2分05秒41 GHR
3000m 5位 樋 沙織 嬬恋1 4分25秒88 GHR
2000mR 4位 嬬 恋 2分48秒28
井上 瑞穂(3) 齋藤 慧巳(3)
黒岩 美貴(3) 樋 沙織(1)

学校対抗 5位 嬬 恋 21点

平成23年度第61回大会【平成24年1月20日(金)～24日(火)】

群馬県総合スポーツセンター 伊香保リンク

男子500m1回目 6位 古市 博人 嬬恋3 37秒84
2回目 9位 古市 博人 嬬恋3 37秒86
合 計 7位 古市 博人 嬬恋3 75.70
1000m 8位 古市 博人 嬬恋3 1分15秒08
5000m 1位 土屋 良輔 嬬恋2 7分02秒99
10000m 2位 土屋 良輔 嬬恋2 14分14秒72
2000mR 2位 嬬 恋 2分28秒50
古市 博人(3) 田中 正晃(3)
田中 博基(3) 黒岩 紀之(2)

学校対抗 3位 嬬 恋 33点

女子500m1回目 3位 千葉 捺美 前商2 41秒45
2回目 4位 千葉 捺美 前商2 41秒53
合 計 4位 千葉 捺美 前商2 82.98
1500m 1位 樋 沙織 嬬恋2 2分07秒06
3000m 2位 樋 沙織 嬬恋2 4分28秒80
2000mR 7位 嬬 恋 2分52秒38
田中 真理(1) 黒岩 亜沙美(3)
樋 沙織(2) 蜂須 賀玲菜(2)

学校対抗 5位 嬬 恋 25点

平成24年度第62回大会【平成25年1月22日(火)～26日(土)】

北海道釧路市 柳町スピードスケート場

男子5000m 1位 土屋 良輔 嬬恋3 6分53秒84
10000m 1位 土屋 良輔 嬬恋3 15分23秒35
2000mR 6位 嬬 恋 2分39秒54
小林 裕司(1) 一場 伸一(1)
黒岩 紀之(3) 田子 隆太(1)

学校対抗 5位 嬬 恋 27点

女子500m1回目 6位 千葉 捺美 前商3 42秒41
2回目 7位 千葉 捺美 前商3 42秒79
合 計 6位 千葉 捺美 前商3 85.20
1000m 4位 樋 沙織 嬬恋3 1分25秒51

1500m 5位 樋 沙織 嬬恋3 2分11秒94

学校対抗 7位 嬬 恋 13点

平成25年度第63回大会【平成26年1月21日(火)～24日(金)】

青森県八戸市 長根運動公園パイピングスケートリンク

男子500m1回目 6位 小林 裕司 嬬恋2 38秒40
2回目 8位 小林 裕司 嬬恋2 38秒49
合 計 8位 小林 裕司 嬬恋2 76.89
2000mR 6位 嬬 恋 2分37秒60
小林 裕司(2) 一場 伸一(2)
倉持 慶(2) 加部 貴裕(2)

平成26年度第64回大会【平成27年1月21日(水)～25日(日)】

山形県山形市 山形市総合スポーツセンタースケート場

男子2000mR 6位 嬬 恋 2分35秒14
小林 裕司(3) 一場 伸一(3)
倉持 慶(3) 田子 隆太(3)

平成27年度第65回大会【平成28年1月20日(水)～23日(日)】

岩手県盛岡市 岩手県営スケート場

男子2000mR 8位 嬬 恋 2分42秒05
横沢 公希(1) 萩原 拓巳(3)
飯塚 陸矢(1) 干川 龍也(2)
女子2000mR 8位 嬬 恋 3分04秒96
干川 あゆみ(1) 黒岩 史聖(3)
黒岩 史聖(2) 山崎 真里菜(3)

平成28年度第66回大会【平成29年1月19日(木)～1月23日(月)】

栃木県日光市 星野・石幡記念日光霧降スケートセンター

※入賞なし

平成29年度第67回大会【平成30年1月22日(月)～26日(金)】

山梨県富士吉田市 富士急ハイランドセイコオーバル

※入賞なし

平成30年度第68回大会【平成31年1月22日(火)～26日(土)】

福島県郡山市 磐梯熱海スポーツパーク郡山スケート場

男子1000m 8位 土屋 慶介 嬬恋1 1分18秒36
10000m 7位 干川 脩太 嬬恋2 14分44秒70
2000mR 6位 嬬 恋 2分33秒23
本間 新之助(2) 黒岩 太陽(3)
蜂須賀 大翔(3) 土屋 慶介(1)

チームハッシュート 6位 嬬 恋 4分20秒32

黒岩 太陽(3) 蜂須賀 大翔(3) 干川 脩太(2)

学校対抗 8位 嬬 恋 20点

第20回 全国中学校スケート大会

H12.2.6-9

長野市

	種目	順位	氏名	所属	記録
男子	1000m	23位	土屋 賢祐	長野原西中	1'22"74
	1500m	23位	土屋 賢祐	長野原西中	2'10"95
	3000m	18位	倉田 哲也	孺恋西中	4'22"30

第21回 全国中学校スケート大会

H13.2.4-6

八戸市

	種目	順位	氏名	所属	記録
男子	500m	24位	浅井 忠臣	長野原西中	41"70
	1500m	19位	入沢 啓	長野原西中	2'09"07
	5000m	12位	干川 盛二	孺恋西中	7'45"07
女子	500m	19位	貞包 紘子	渋川中	45"28
	1500m	16位	川田 希	伊香保中	2'22"33

第22回 全国中学校スケート大会

H14.2.4-6

富士吉田市

	種目	順位	氏名	所属	記録
男子	500m	11位	山越 竜輔	孺恋西中	39"56
		16位	土屋 恭平	孺恋西中	40"40
	3000m	19位	入沢 啓	長野原西中	4'29"30
		21位	土屋 直人	孺恋東中	4'30"23
女子	500m	13位	小池由佳子	小野上中	44"33
		16位	黒岩由紀乃	孺恋西中	45"27
	1000m	15位	黒岩由紀乃	孺恋西中	1'31"69
		24位	小池由佳子	小野上中	1'47"00転
	1500m	15位	今井まどか	北橋中学	2'20"46

第23回 全国中学校スケート大会

H15.2.9-11

帯広市

	種目	順位	氏名	所属	記録
男子	500m	2位	山越 竜輔	孺恋西中	39"03
		21位	木暮 昭仁	群大付中	41"93
	1000m	5位	山越 竜輔	孺恋西中	1'21"00
	3000m	17位	黒岩 信允	孺恋西中	4'34"51
	5000m	8位	黒岩 信允	孺恋西中	7'48"44
女子	500m	11位	小池由佳子	小野上中	44"83
		18位	黒岩由紀乃	孺恋西中	46"00
	1000m	16位	黒岩由紀乃	孺恋西中	1'34"08
		21位	川田 恵	創世中学	1'35"14
	1500m	5位	篠原 美希	孺恋西中	2'19"05

第24回 全国中学校スケート大会

H16.2.8-10

伊香保

	種目	順位	氏名	所属	記録
男子	500m	2位	山越 竜輔	孺恋西中	38"43
		9位	干川 芳紀	孺恋西中	39"46
	1000m	3位	山越 竜輔	孺恋西中	1'18"99
		22位	干川 芳紀	孺恋西中	1'23"84
	1500m	16位	土屋 駿弥	孺恋西中	2'08"76
	3000m	16位	黒岩 泰成	孺恋西中	4'36"43
学校対抗 孺恋西中 19点 4位					
女子	500m	8位	小池由佳子	小野上中	43"14
	1000m	3位	今井まどか	北橋中	1'27"97
		7位	小池由佳子	小野上中	1'28"86
		22位	宮崎 麻衣	孺恋西中	1'35"04
		23位	久保佳乃子	長野原西中	1'35"70
	1500m	13位	市場菜々世	孺恋西中	2'18"94
3000m	7位	市場菜々世	孺恋西中	4'57"60	
学校対抗 北橋中 7点 11位 小野上中 5点 14位 孺恋西中 4点 15位 長西中 1点					

第25回 全国中学校スケート大会

H17. 2. 4-7

八戸市

	種目	順位	氏名	所属	記録
女子	500m	15位	宮崎 麻衣	孺恋西中	44"55
	1000m	19位	宮崎 麻衣	孺恋西中	1'34"09
	3000m	6位	黒岩 美生	孺恋西中	4'54"85
		10位	市場菜々世	孺恋西中	4'55"89
学校対抗		孺恋西中 7点 11位			

第26回 全国中学校スケート大会

H18. 2. 4-7

釧路市

	種目	順位	氏名	所属	記録
男子	500m	20位	小川 輝之	前橋南橘	40"84
	1500m	24位	干川 岳洋	孺恋西中	2'22"40
女子	500m	6位	宮崎 麻衣	孺恋西中	44"26
	1000m	15位	宮崎 麻衣	孺恋西中	1'34"86
	1500m	3位	市場菜々世	孺恋西中	2'19"47
学校対抗		孺恋西中			

第27回 全国中学校スケート大会

H19. 2. 4-7

苫小牧市

	種目	順位	氏名	所属	記録
男子	500m	12位	黒岩 聖矢	孺恋西中	40"52
		16位	奥村 雄樹	孺恋西中	41"08
	3000m	16位	黒岩 紘岳	孺恋西中	4'31"67
		20位	武藤 久和	長野原西中	4'34"68
女子	500m	9位	井上 瑞穂	長野原西中	44"36
		18位	百崎いろり	孺恋西中	45"29
	1000m	18位	井上 瑞穂	長野原西中	1'33"42
	1500m	23位	黒岩 美貴	孺恋西中	2'25"85
学校対抗		孺恋西中			

第28回 全国中学校スケート大会

H20. 2. 3-5

長野市

	種目	順位	氏名	所属	記録
男子	500m	7位	古市 博人	孺恋西中	39"46
		18位	田中 博基	長野原西中	40"84
	1000m	15位	古市 博人	孺恋西中	1'20"41
		17位	奥村 雄樹	孺恋西中	1'21"36
	1500m	3位	奥村 雄樹	孺恋西中	1'59"33
		17位	下田 琢也	長野原西中	2'05"68
	5000m	16位	土屋 良輔	孺恋西中	7'34"02
		18位	久保 宣宗	長野原西中	7'40"21
		19位	横沢 右京	孺恋東中	7'42"94
		22位	石塚 貴大	孺恋東中	7'50"67
男子学校対抗		孺恋西中 13点 10位 長野原西中 3点 21位 孺恋東中 2点 27位			
女子	500m	10位	井上 瑞穂	長野原西中	42"87
		12位	千葉 捺美	赤堀中	43"00
	1000m	14位	井上 瑞穂	長野原西中	1'28"01
		23位	土屋 萌	長野原西中	1'32"48
	1500m	13位	黒岩 美貴	孺恋西中	2'16"93
3000m	21位	菅井 麻由	伊香保中	4'53"64	
女子学校対抗		長野原西中 3点 17位 孺恋西中 1点 29位 赤堀中 1点 29位 伊香保 1点 29位			

第29回 全国中学校スケート大会

H21. 2. 5-7 長野市

		種目	順位	氏名	所属	記 録	
男	500m	5	古市博人	孺恋西	38.94		
		14	田中正晃	長野原西	40.03		
		15	田中博基	長野原西	40.06		
		24	八木直樹	孺恋東	41.91		
	1000m	23	田中正晃	長野原西	1:23.03		
	5000m	13	土屋良輔	孺恋西	7:21.19		
		22	久保宣宗	長野原西	7:40.12		
学校対抗		孺恋西 6点 17位	長野原西 4点 21位	孺恋東			
女	500m	3	千葉捺美	伊勢崎赤堀	41.49		
		10	百崎いろり	孺恋西	42.65		
		15	土屋 萌	長野原西	43.64		
	1000m	9	千葉捺美	伊勢崎赤堀	1:25.99		
		21	土屋 萌	長野原西	1:31.59		
	1500m	10	樋 沙織	孺恋東	2:14.31		
	3000m	10	樋 沙織	孺恋東	4:43.15		
学校対抗		伊勢崎赤堀 8点 10位	長野原西 2点 22位	孺恋東 2点 22位	孺恋西 1点 31位		

第30回 全国中学校スケート大会

H22. 1. 30-2. 2 長野市

		種目	順位	氏名	所属	記 録	
男	500m	20	黒岩紀之	孺恋西	40.33		
	3000m	6	土屋良輔	孺恋西	4:08.16		
		16	横沢右京	孺恋東	4:21.96		
	5000m	5	土屋良輔	孺恋西	7:12.67		
学校対抗		孺恋西 10点 11位	孺恋東 1点 39位				
女	500m	優勝	千葉捺美	赤堀	41.43		
		8	土屋 萌	長野原西	42.94		
		12	岡部 菜	共愛	43.41		
	1000m	3	千葉捺美	赤堀	1:24.22		
		8	樋 沙織	孺恋東	1:24.82		
学校対抗		伊勢崎赤堀 16点 3位	長野原西 2点 19位	孺恋東 2点 19位	共愛 1点 33位		

第31回 全国中学校スケート大会

H23. 1. 29-2. 1 長野市

		種目	順位	氏名	所属	記 録	
男	500m	4	小林裕司	孺恋西	38"98		
	1000m	13	小林裕司	孺恋西	1'19"46		
		16	黒岩一聖	孺恋西	1'19"84		
		18	小林 創	長野原西	1'20"24		
	1500m	9	黒岩一聖	孺恋西	2'02"99		
学校対抗		孺恋西 9点 12位	長野原西 1点 35位				
女	500m	10	岡部 菜	共愛	43"15		
		15	田中真理	長野原西	43"36		
	1000m	19	山崎早也香	長野原西	1'28"75		
学校対抗		長野原西 2点 19位	共愛 1点 33位				

第32回 全国中学校スケート大会

H24. 1. 28-31 長野市

		種目	順位	氏名	所属	記 録			
男	500m	3	小林裕司	孺恋西	38.39	3	38.28	3	76.67
	1000m	7	小林裕司	孺恋西	1:18.24				
	1500m	9	黒岩一聖	孺恋西	2:01.73				
		17	土屋 絹弥	孺恋西	2:04.12				
	5000m	15	飯塚智樹	孺恋西	7:19.38				
		21	加部 貴裕	孺恋西	7:31.65				
学校対抗		孺恋西 14点 6位							
女	500m	7	岡部 菜	共愛	42.57	8	42.15	6	84.72
	1000m	11	山崎早也香	長野原西	1:26.72				
		24	大川愛弓	東吾妻原町	1:32.56				
学校対抗		共愛 4点 16位	長野原西 2点 23位	原町 1点 34位					

第33回 全国中学校スケート大会

H25. 2. 02-05

長野市

	種目	順位	氏名	所属	記録				
	500m	20	大崎 匠家	伊香保中	40.40	22	39.52	11	79.92
男子	1000m	23	百崎 心太郎	孺恋中学	1:22.94				
	1500m	22	百崎 心太郎	孺恋中学	2:07.42				
	3000m	13	土屋 育	長野原西	4:16.62				
	5000m	7	土屋 育	長野原西	7:11.97				
	学校対抗	長野原西 4点 21位	孺恋西 2点 27位	伊香					
女子	3000m	22	土屋 実	長野原西	4:47.41				
		23	中野 あやめ	前橋元総社	4:50.55				
	学校対抗	長野原西 1点 29位	前橋元総社 1点 29位						

第34回 全国中学校スケート大会

H26. 2. 01-04

長野市

	種目	順位	氏名	所属	記録				
男子	1000m	15	百崎心太郎	孺恋中学	1:20.05				
	学校対抗	孺恋 1点 40位							
女子	500m	22	大崎 有紗	伊香保中	44.45	22	44.92	22	89.37
	1000m	22	黒岩 千聖	孺恋中学	1:30.10				
	1500m	16	土屋 実	長野原西	2:15.21				
	3000m	23	井上紗江加	孺恋中学	5:01.39				
	学校対抗	孺恋中学 2点 23位	長野原西 1点 33位	伊香保 1点 33位					

第35回 全国中学校スケート大会

H27. 1. 31-2. 03

長野市

	種目	順位	氏名	所属	記録				
男子	500m	9	横沢 公希	孺恋中学	39:045	9	38:908	8	77.953
	1000m	7	横沢 公希	孺恋中学	1:17.88				
	学校対抗	孺恋西 4点 18位							
女子	500m	18	大川 夏美	東吾妻原町	43:941	17	44:293	18	88.234
	1000m	16	大崎 有紗	伊香保	1:28.91				
	3000m	4	土屋 実	長野原西	4:31.37				
	学校対抗	長野原西 7点 14位	伊香保 1点 31位	東吾妻原町 1点 31位					

第36回 全国中学校スケート大会

H28. 1. 30-2.02

長野市

	種目	順位	氏名	所属	記録				
男子	1500m	10	蜂須賀 大翔	孺恋中学	2:01.80				
	学校対抗	孺恋 1点 37位							
女子	500m	7	大崎 有紗	伊香保	42.467	6	42.367	6	85.600
		12	大川 夏美	東吾妻	43.147	11	43.074	12	86.221
	1000m	9	大崎 有紗	伊香保	1:27.08				
	1500m	21	篠原 梨乃	孺恋中学	2:19.13				
	学校対抗	伊香保 4点 16位	東吾妻 1点 32位	孺恋 1点 32位					

第37回 全国中学校スケート大会

H29. 2. 04-05

長野市

	種目	順位	氏名	所属	記録				
男子	500m	12	本間新之助	孺恋中学	39.628	11	39.696	13	79.324
	1500m	18	干川 脩太	孺恋中学	2:03.68				
	学校対抗	孺恋西 2点 23位							
女子	500m	4	大川 夏美	東吾妻	41.952	4	41.857	4	83.809
	1000m	6	大川 夏美	東吾妻	1:25.103				
	1500m	19	篠原 梨乃	孺恋中学	2:15.90				
	3000m	19	篠原 梨乃	孺恋中学	4:50.68				
	学校対抗	東吾妻 10点 10位 孺恋 2点 23位							

第38回 全国中学校スケート大会

H30. 2. 03-06

長野市

	種目	順位	氏名	所属	記録				
男子	500m	18	土屋 慶介	孺恋中学	39.96	18	40.00	17	79.96
	1000m	18	土屋 慶介	孺恋中学	1:21.38				
	学校対抗	孺恋 2点 27位							
女子	3000m	22	櫻井くれは	長野原西	4:57.69				
	学校対抗	長野原西 1点 32位							

第39回 全国中学校スケート大会

H31. 2. 02-05

長野市

	種目	順位	氏名	所属	記録				
男子	500m	16	小野里佳吾	金島中学	40.625	19	40.289	16	80.914
		19	横沢 大希	孺恋中学	40.675	21	40.861	20	81.536
	1000m	4	市場 翔太	孺恋中学	1:16.62				
		21	青木龍之介	相生中学	1:21.77				
		23	横沢 大希	孺恋中学	1:22.15				
	1500m	7	市場 翔太	孺恋中学	1:58.82				
22		黒岩 心	孺恋中学	4:28.64					
学校対抗	孺恋 10点 12位 金島 1点34位 相生 1点 3								